

徳島市
地域福祉に関するアンケート調査

結果報告書

令和8年3月
徳島市

目次

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 報告書の見方	1
II 調査結果（市民）	2
1 回答者の属性	2
1 年齢.....	2
2 世帯構成.....	2
3 職業.....	3
2 住まいについて	4
1 居住地区・期間.....	4
2 現在の地区に住み続けたいか.....	7
3 地域の課題について.....	10
3 「支え合いの意識を持った地域づくり」について.....	15
1 各世代との交流について.....	15
2 お住まいの地域について.....	23
3 民生委員・児童委員の認知状況.....	29
4 近所付き合いについて.....	38
4 「包括的な福祉サービス提供の仕組みづくり」について.....	43
1 福祉について.....	43
2 福祉についての相談窓口.....	49
3 福祉情報について.....	56
4 必要だと思う支援.....	62
5 福祉サービスについて.....	65
6 地域に関する環境の変化について.....	70
7 福祉施策について.....	80
8 重層的支援体制整備事業について.....	83
9 成年後見制度について.....	86
5 「地域福祉の担い手づくり」について	97
1 地域活動について.....	97
2 地域共生社会について.....	110
6 「安全で安心して暮らせる環境づくり」について.....	122
1 買い物・通院時の移動手段について.....	122
2 買い物支援サービスについて.....	131
3 防災に対する備えについて.....	136
4 避難行動要支援者支援制度について.....	147
5 孤独・孤立・ひきこもりについて.....	152
6 再犯防止の取組みについて.....	174

7	その他	178
1	幸福度	178
2	自由意見	181
Ⅲ	調査結果（事業所）	186
1	貴団体のことについて	186
2	団体が行っている福祉活動について	187
3	防災に対する備えについて	194
4	貴団体の福祉活動と他団体や地域との関わり合いについて	198
5	地域共生社会の実現に向けて	219
6	孤独・孤立・ひきこもり対策について	224
7	再犯防止の取組みについて	229
8	成年後見制度について	235
9	その他について	239

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、「第4期徳島市地域福祉計画」の策定に向け、市民の皆さまや、各団体等の皆さまの地域福祉や地域を支え合う活動の意識や実態をお伺いし、次期計画づくりや福祉推進に向けた基礎資料とするために実施しました。

2 調査設計

【市民アンケート調査】

調査対象	市内在住の15歳以上の男女
調査実施期間	令和7年12月1日～12月22日
調査方法	郵送による配布・回収およびweb回答
調査数	2,046人
回収数（率）	819人（40.0%）

【事業所アンケート調査】

調査対象	徳島市内の団体（事業所）
調査実施期間	令和7年12月1日～12月22日
調査方法	郵送による配布・回収およびweb回答
調査数	136団体
回収数（率）	82団体（60.3%）

3 報告書の見方

- (1) 基数となるべき実数は、(n=〇〇)と表示する。各比率はすべてを100%として百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのために、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問があるが、その場合、回答の合計は回答者数を上回ることがある。
- (3) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。

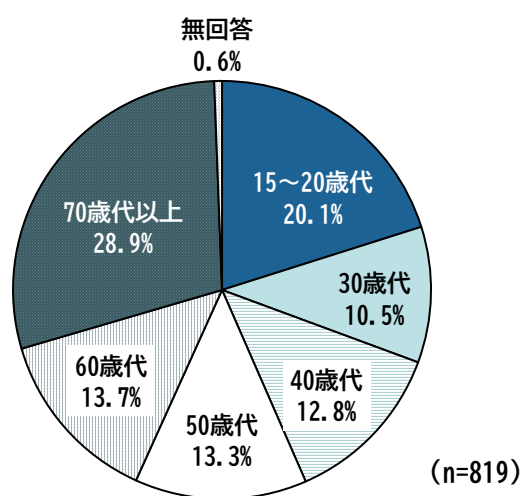
Ⅱ 調査結果（市民）

1 回答者の属性

1 年齢

回答者の年齢をみると、「70歳代以上」が28.9%と最も高く、次いで「15～20歳代」が20.1%、「60歳代」が13.7%となっています。

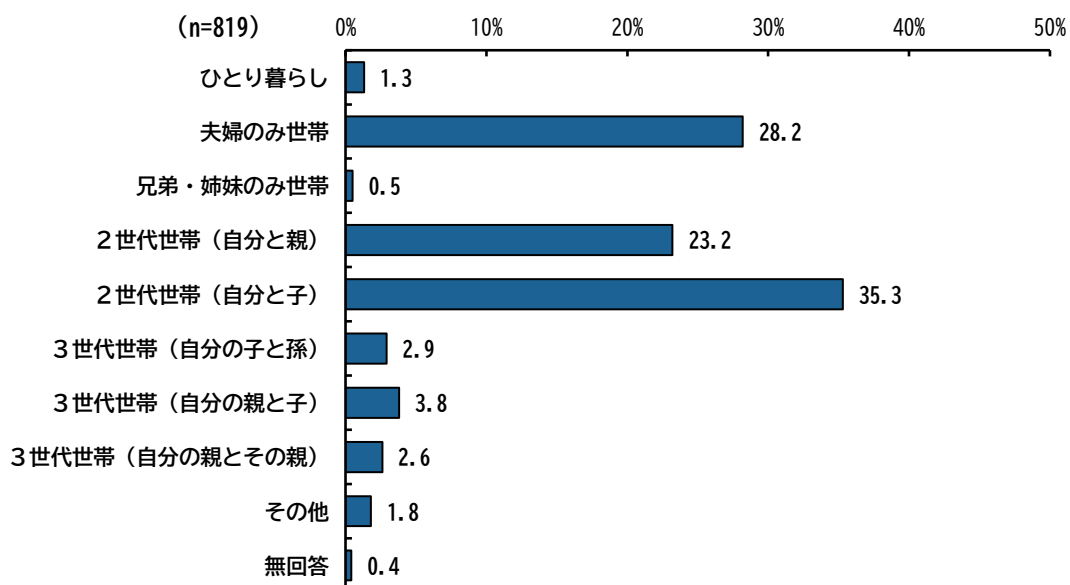
図表 1 年齢（全体）



2 世帯構成

回答者の世帯構成をみると、「2世代世帯（自分と子）」が35.3%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が28.2%、「2世代世帯（自分と親）」が23.2%となっています。

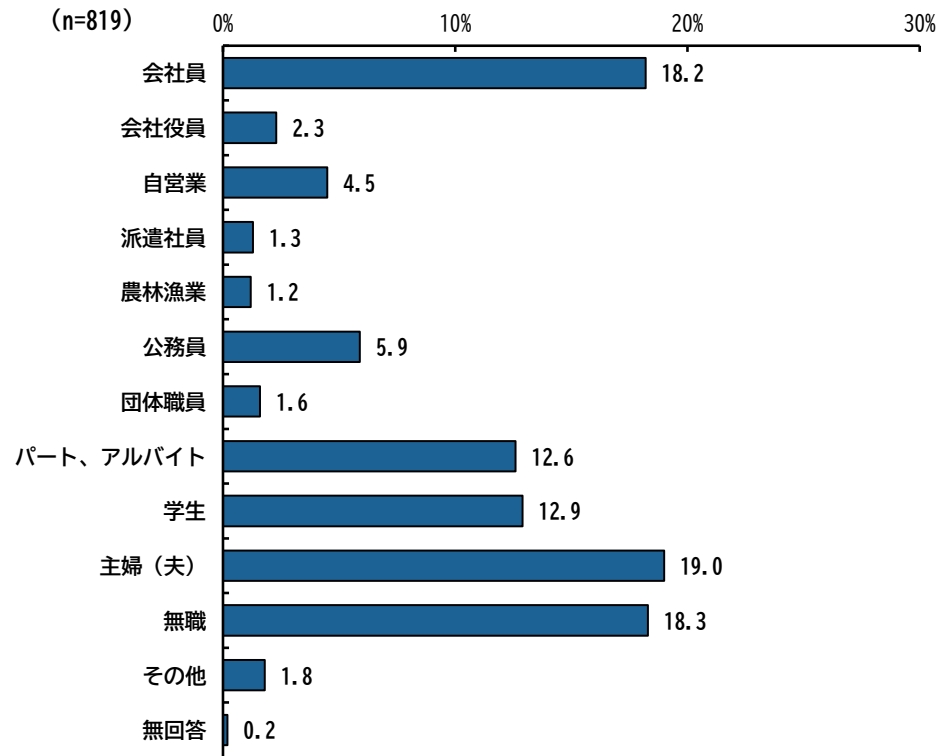
図表 2 世帯構成（全体）



3 職業

回答者の職業をみると、「主婦（夫）」が19.0%と最も高く、次いで「無職」が18.3%、「会社員」が18.2%となっています。

図表 3 職業（全体）



2 住まいについて

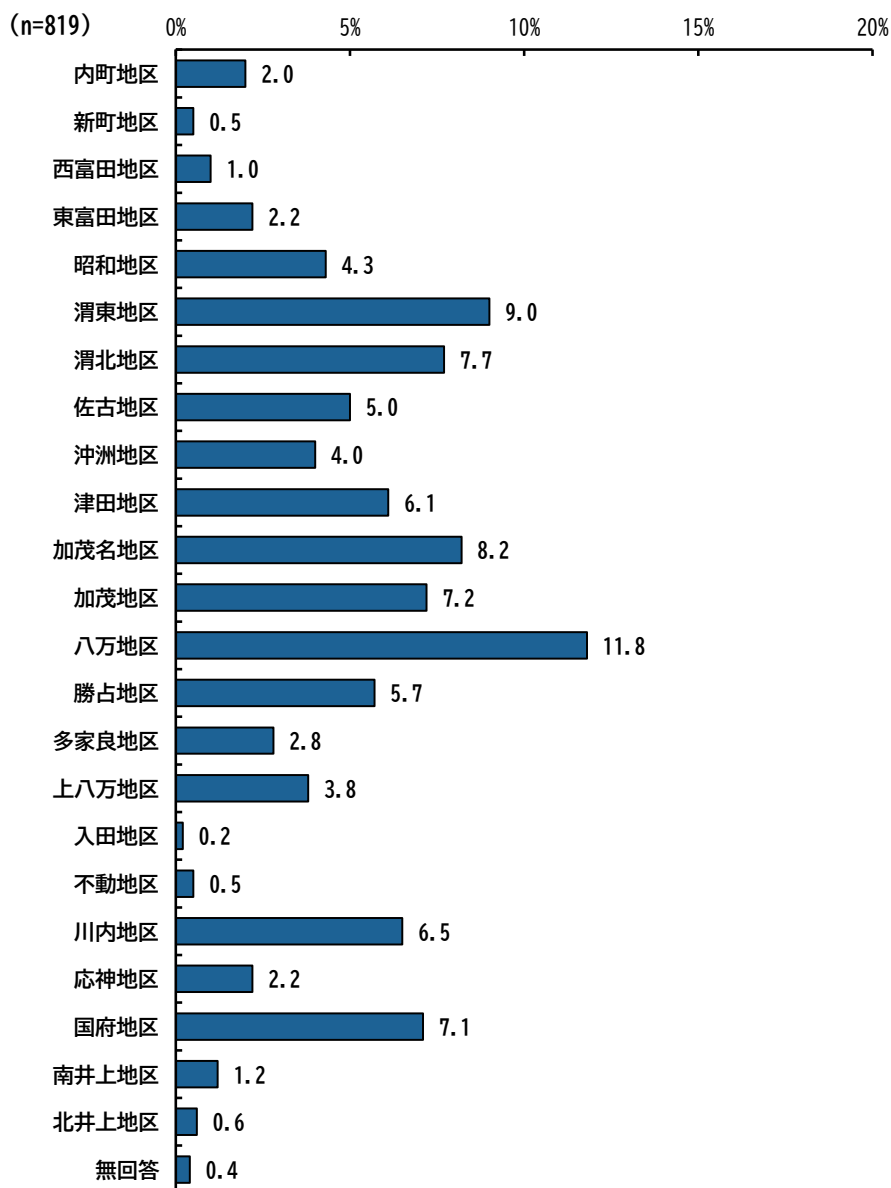
1 居住地区・期間

問5 現在のお住まいの地区はどこですか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

居住地区をみると、「八万地区」が11.8%と最も高く、次いで「渭東地区」が9.0%、「加茂名地区」が8.2%と続いています。

図表 4 居住地区（全体）



問6 現在お住まいの地区には、どのくらいの期間お住まいですか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

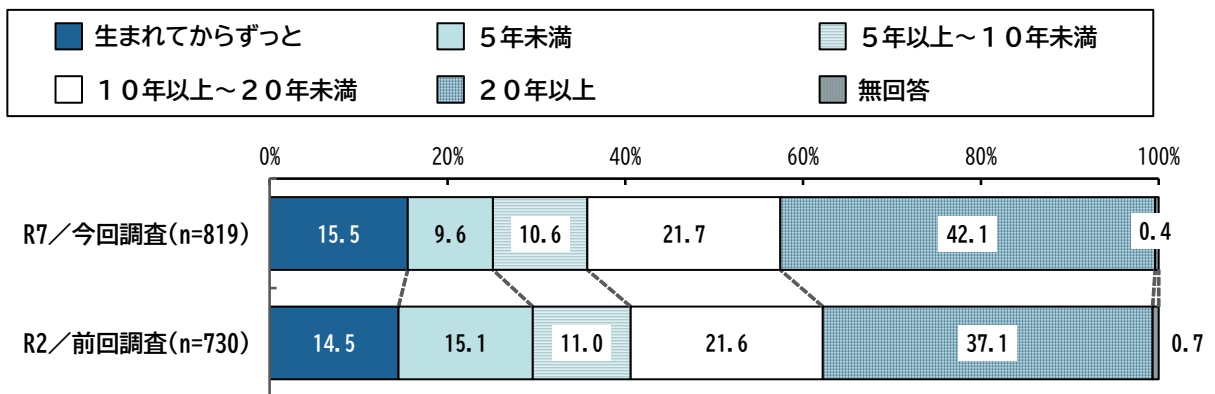
居住期間をみると、「20年以上」が42.1%と最も高く、次いで「10年以上～20年未満」が21.7%、「生まれてからずっと」が15.5%と続いています。

前回調査と比較すると、「5年未満」が5.5ポイント減少しています。

【属性別の傾向】

地区別にみると、ほとんどの地区で「20年以上」が最も高くなっています。

図表 5 居住期間（全体、前回比較）



図表 6 居住期間（全体、地区別）

	全体	生まれてからずっと	5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上	無回答
全体	819	15.5	9.6	10.6	21.7	42.1	0.4
内町地区	16	6.3	25.0	12.5	25.0	31.3	-
新町地区	4	25.0	-	-	25.0	50.0	-
西富田地区	8	-	12.5	25.0	37.5	25.0	-
東富田地区	18	11.1	5.6	11.1	16.7	55.6	-
昭和地区	35	14.3	22.9	5.7	22.9	34.3	-
渭東地区	74	20.3	9.5	12.2	23.0	35.1	-
渭北地区	63	7.9	11.1	15.9	23.8	41.3	-
佐古地区	41	14.6	7.3	9.8	22.0	46.3	-
沖洲地区	33	9.1	6.1	24.2	30.3	30.3	-
津田地区	50	18.0	4.0	6.0	18.0	54.0	-
加茂名地区	67	16.4	6.0	14.9	13.4	49.3	-
加茂地区	59	25.4	18.6	11.9	23.7	20.3	-
八万地区	97	12.4	12.4	6.2	21.6	47.4	-
勝占地区	47	14.9	4.3	12.8	12.8	55.3	-
多家良地区	23	13.0	-	8.7	17.4	60.9	-
上八万地区	31	12.9	12.9	3.2	16.1	54.8	-
入田地区	2	50.0	-	-	-	50.0	-
不動地区	4	25.0	-	-	-	75.0	-
川内地区	53	11.3	7.5	11.3	24.5	43.4	1.9
応神地区	18	44.4	-	5.6	22.2	27.8	-
国府地区	58	13.8	12.1	5.2	32.8	36.2	-
南井上地区	10	40.0	-	-	30.0	30.0	-
北井上地区	5	-	-	40.0	20.0	40.0	-

2 現在の地区に住み続けたいか

問7 現在お住まいの地区に、住み続けたいと思いますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

居住意向をみると、「住み続けたい」が50.4%と最も高く、「どちらかといえば住み続けたい」を合計すると、77.3%が『今後も住み続けたい』と回答しています。

一方、「どちらかといえば他の市町村に移りたい」と「他の市町村に移りたい」を合計すると、6.3%が他市町村への移住を希望しています。

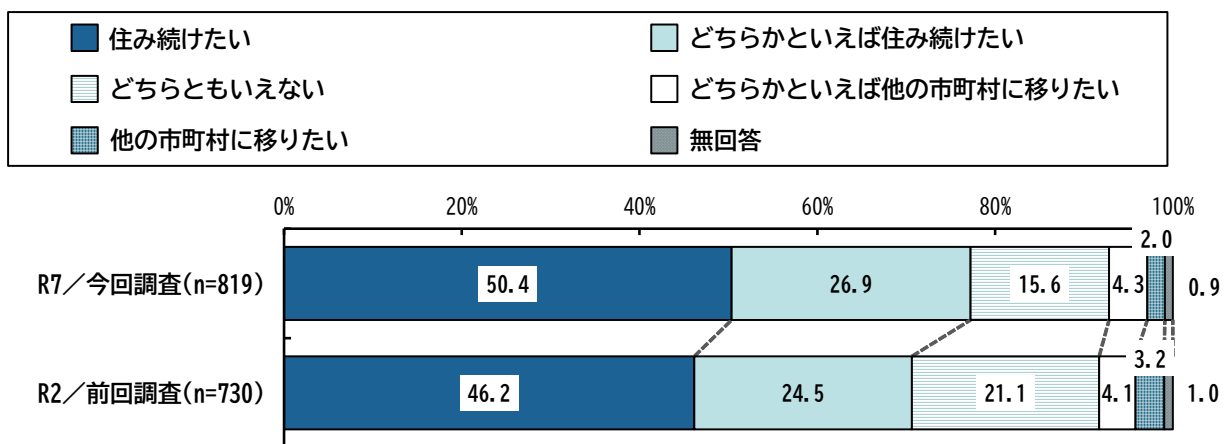
前回調査と比較すると、『今後も住み続けたい』割合が6.6ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

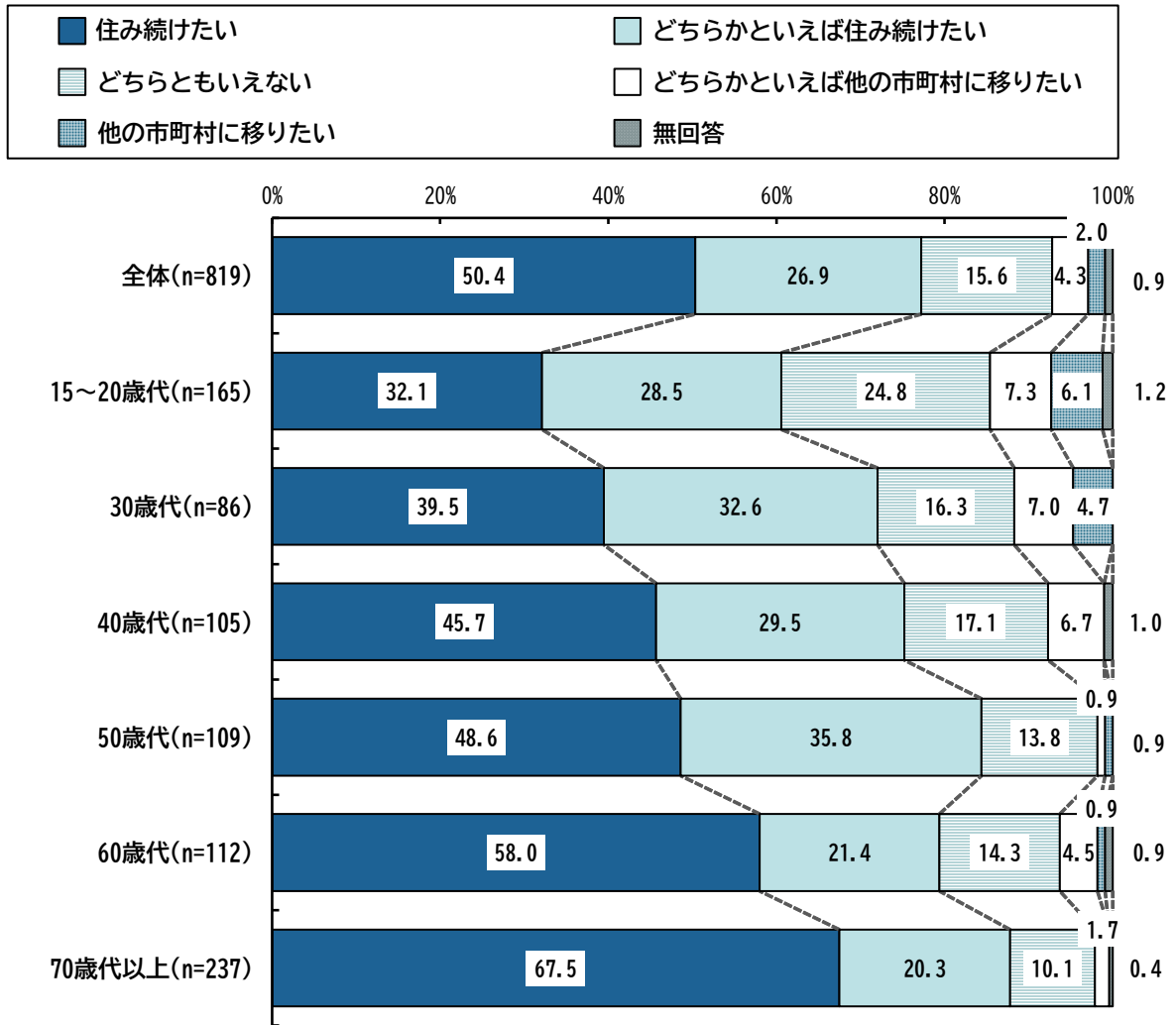
年齢別にみると、「住み続けたい」は、年齢が上がるにつれて増加しています。

地区別にみると、いずれの地区も「住み続けたい」が最も高くなっています。

図表 7 現在の地区に住み続けたいか（全体、前回比較）



図表 8 現在の地区に住み続けたいか（全体、年齢別）



図表 9 現在の地区に住み続けたいか（全体、地区別）

	全体	住み続けたい	どちらかといえ ば住み続けたい	どちらともい えない	移り たい	ど ちらかといえ ば他の市町村 に	他 の市町村に移 りたい	無 回 答	今 後 も 住 み 続 け たい + ど ち ら か と い え ば 住 み 続 け たい	他 市 町 村 に 移 り たい （ ど ち ら か と い え ば 他 の 市 町 村 に 移 り たい + 他 の 市 町 村 に 移 り たい）
全体	819	50.4	26.9	15.6	4.3	2.0	0.9	77.3	6.3	
内町地区	16	43.8	37.5	-	12.5	6.3	-	81.3	18.8	
新町地区	4	50.0	25.0	-	-	-	25.0	75.0	0.0	
西富田地区	8	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	50.0	25.0	
東富田地区	18	55.6	33.3	11.1	-	-	-	88.9	0.0	
昭和地区	35	57.1	17.1	20.0	2.9	2.9	-	74.2	5.8	
渭東地区	74	55.4	27.0	16.2	1.4	-	-	82.4	1.4	
渭北地区	63	57.1	23.8	14.3	3.2	1.6	-	80.9	4.8	
佐古地区	41	48.8	36.6	12.2	2.4	-	-	85.4	2.4	
沖洲地区	33	45.5	24.2	21.2	6.1	3.0	-	69.7	9.1	
津田地区	50	46.0	30.0	18.0	2.0	2.0	2.0	76.0	4.0	
加茂名地区	67	41.8	35.8	13.4	4.5	3.0	1.5	77.6	7.5	
加茂地区	59	47.5	27.1	15.3	6.8	1.7	1.7	74.6	8.5	
八万地区	97	58.8	21.6	14.4	3.1	2.1	-	80.4	5.2	
勝占地区	47	38.3	29.8	21.3	4.3	4.3	2.1	68.1	8.6	
多家良地区	23	43.5	26.1	17.4	8.7	4.3	-	69.6	13.0	
上八万地区	31	45.2	22.6	22.6	9.7	-	-	67.8	9.7	
入田地区	2	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0	50.0	
不動地区	4	50.0	-	25.0	25.0	-	-	50.0	25.0	
川内地区	53	54.7	24.5	15.1	3.8	1.9	-	79.2	5.7	
応神地区	18	61.1	16.7	16.7	-	5.6	-	77.8	5.6	
国府地区	58	51.7	36.2	6.9	3.4	1.7	-	87.9	5.1	
南井上地区	10	60.0	10.0	30.0	-	-	-	70.0	0.0	
北井上地区	5	60.0	-	40.0	-	-	-	60.0	0.0	

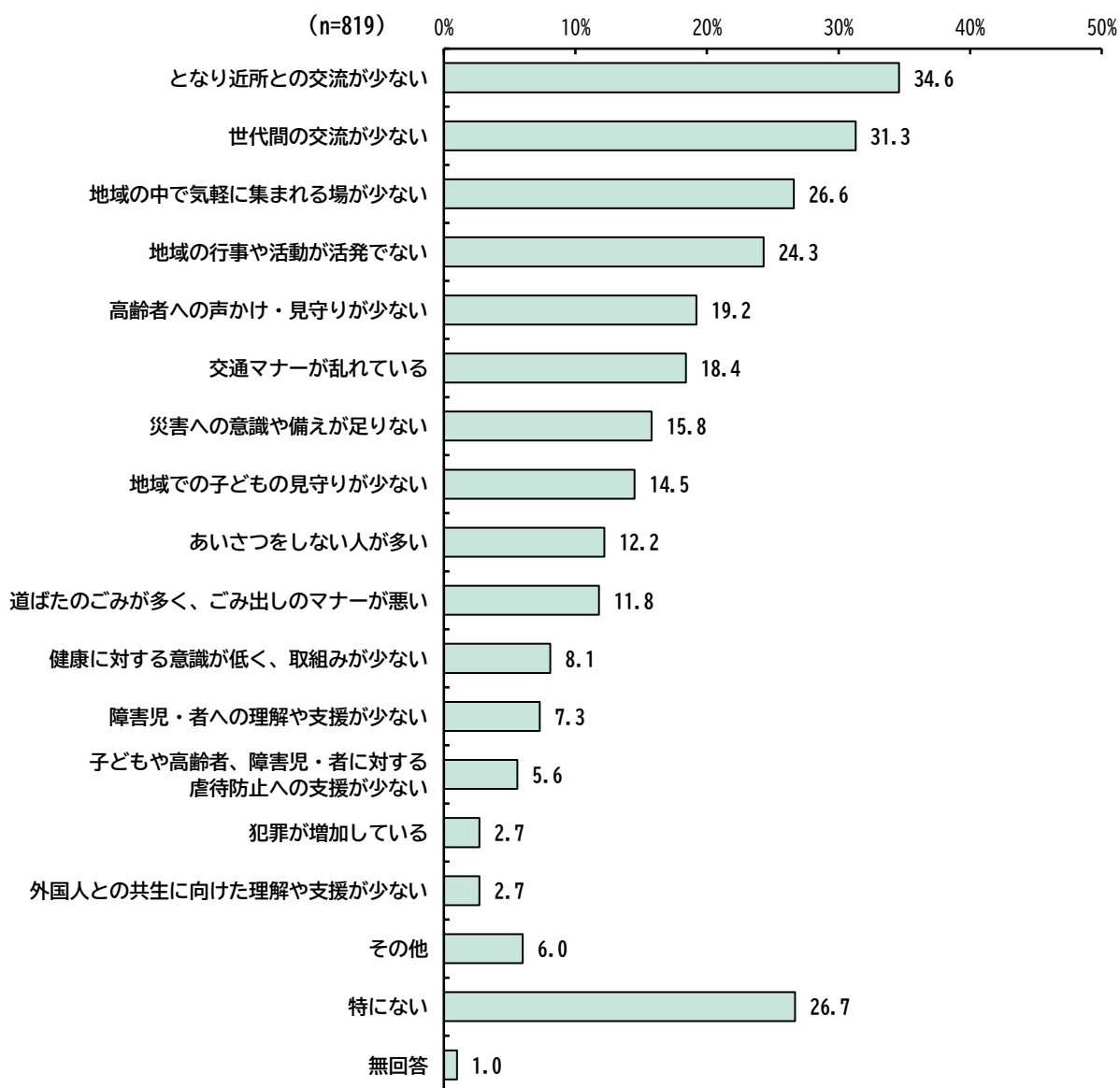
3 地域の課題について

問8 あなたの住む地域の状況や課題は、次のうちどれですか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

地域の課題をみると、「となり近所との交流が少ない」が34.6%と最も高く、次いで「世代間の交流が少ない」が31.3%、「特にない」が26.7%と続いています。

図表 10 地域の課題（全体／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、15～20歳代では「特にない」、30、40、60、70歳代では「あいさつをしない人が多い」、50歳代では「となり近所との交流が少ない」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別にみると、内町など11の地区で「となり近所との交流が少ない」が最も高くなっています。

一方、東富田、多家良、上八万、国府地区では「世代間の交流が少ない」、勝浦、北井上地区では「地域の行事や活動が活発でない」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 11 地域の課題（全体、年齢別）

	全体	あいさつをしない人が多い	となり近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の行事や活動が活発でない	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	地域での子どもの見守りが少ない	高齢者への声かけ・見守りが少ない	障害児・者への理解や支援が少ない	子どもや高齢者、障害児・者に対する虐待防止への支援が少ない	健康に対する意識が低く、取組みが少ない	犯罪が増加している	災害への意識や備えが足りない	交通マナーが乱れている	道ばたのごみが多く、ごみ出しのマナーが悪い	外国人との共生に向けた理解や支援が少ない	その他	特にない	無回答
全体	819	34.6	31.3	26.6	24.3	19.2	18.4	15.8	14.5	12.2	11.8	8.1	7.3	5.6	2.7	2.7	6.0	26.7	1.0
15～20歳代	165	27.3	21.8	22.4	17.0	10.3	24.8	11.5	7.3	8.5	12.1	3.6	3.6	3.0	3.6	4.8	4.2	33.9	1.2
30歳代	86	38.4	34.9	36.0	30.2	18.6	30.2	19.8	26.7	9.3	16.3	5.8	11.6	10.5	-	1.2	11.6	22.1	-
40歳代	105	33.3	27.6	24.8	20.0	15.2	28.6	12.4	25.7	17.1	11.4	13.3	9.5	3.8	2.9	2.9	7.6	23.8	1.0
50歳代	109	32.1	33.9	24.8	27.5	22.9	21.1	16.5	15.6	13.8	12.8	7.3	10.1	11.0	4.6	3.7	3.7	28.4	0.9
60歳代	112	35.7	32.1	27.7	24.1	21.4	12.5	17.0	11.6	15.2	11.6	7.1	6.3	2.7	4.5	3.6	9.8	30.4	0.9
70歳代以上	237	39.7	36.7	27.0	27.8	24.5	7.2	18.1	11.0	11.8	10.1	10.5	6.8	5.5	1.3	0.8	3.8	22.4	0.4

図表 12 地域の課題（全体、地区別）

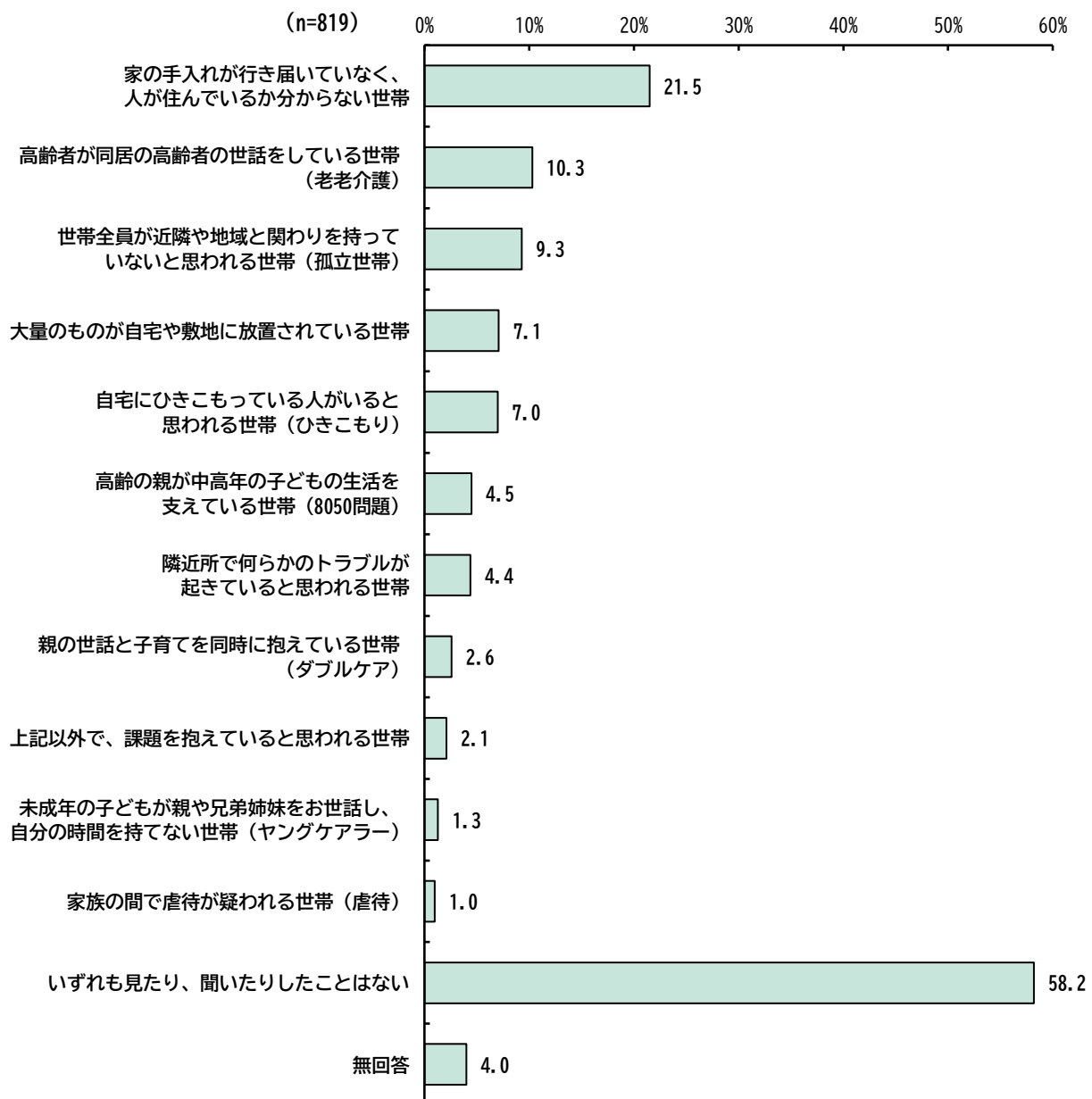
	全体	となり近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	地域の行事や活動が活発でない	高齢者への声かけ・見守りが少ない	交通マナーが乱れている	災害への意識や備えが足りない	地域での子どもの見守りが少ない	あいさつをしない人が多い	道ばたのごみが多く、ごみ出しのマナーが悪い	健康に対する意識が低く、取組みが少ない	障害児・者への理解や支援が少ない	子どもや高齢者、障害児・者に対する虐待防止への支援が少ない	犯罪が増加している	外国人との共生に向けた理解や支援が少ない	その他	特にない	無回答
全体	819	34.6	31.3	26.6	24.3	19.2	18.4	15.8	14.5	12.2	11.8	8.1	7.3	5.6	2.7	2.7	6.0	26.7	1.0
内町地区	16	43.8	31.3	18.8	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	6.3	-	-	-	-	-	-	12.5	31.3	-
新町地区	4	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-
西富田地区	8	62.5	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	12.5	-	-	-	12.5	-	12.5	37.5	-
東富田地区	18	38.9	50.0	38.9	33.3	27.8	22.2	27.8	22.2	5.6	5.6	11.1	11.1	5.6	-	5.6	-	11.1	-
昭和地区	35	45.7	31.4	17.1	14.3	11.4	8.6	14.3	8.6	8.6	14.3	5.7	2.9	-	-	-	-	37.1	-
渭東地区	74	39.2	32.4	28.4	27.0	25.7	18.9	16.2	21.6	14.9	17.6	8.1	13.5	9.5	5.4	5.4	4.1	29.7	1.4
渭北地区	63	41.3	31.7	23.8	20.6	25.4	12.7	11.1	17.5	11.1	7.9	6.3	3.2	4.8	1.6	1.6	6.3	20.6	1.6
佐古地区	41	48.8	46.3	31.7	34.1	24.4	24.4	22.0	22.0	17.1	14.6	14.6	7.3	4.9	-	4.9	7.3	19.5	2.4
沖洲地区	33	33.3	30.3	36.4	27.3	15.2	15.2	27.3	15.2	18.2	12.1	12.1	15.2	6.1	-	-	6.1	18.2	-
津田地区	50	44.0	22.0	20.0	20.0	16.0	16.0	16.0	8.0	14.0	2.0	4.0	6.0	-	-	4.0	4.0	24.0	-
加茂名地区	67	31.3	22.4	28.4	28.4	20.9	22.4	11.9	13.4	13.4	11.9	7.5	7.5	4.5	1.5	3.0	7.5	23.9	-
加茂地区	59	42.4	33.9	27.1	27.1	15.3	35.6	15.3	13.6	8.5	16.9	10.2	5.1	5.1	3.4	-	1.7	20.3	1.7
八万地区	97	26.8	32.0	26.8	23.7	19.6	17.5	15.5	11.3	11.3	15.5	11.3	8.2	8.2	4.1	2.1	7.2	36.1	-
勝占地区	47	36.2	36.2	31.9	40.4	21.3	10.6	19.1	17.0	14.9	8.5	4.3	12.8	8.5	-	4.3	4.3	29.8	-
多家良地区	23	13.0	26.1	13.0	17.4	8.7	21.7	13.0	13.0	-	4.3	4.3	-	-	8.7	-	8.7	26.1	-
上八万地区	31	12.9	41.9	41.9	16.1	25.8	19.4	12.9	12.9	19.4	9.7	6.5	9.7	6.5	3.2	-	6.5	19.4	-
入田地区	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
不動地区	4	25.0	50.0	-	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-
川内地区	53	35.8	28.3	24.5	13.2	15.1	26.4	13.2	15.1	18.9	11.3	9.4	9.4	9.4	-	1.9	13.2	26.4	-
応神地区	18	16.7	22.2	16.7	33.3	11.1	5.6	27.8	11.1	5.6	11.1	5.6	-	5.6	5.6	-	5.6	38.9	-
国府地区	58	29.3	34.5	31.0	22.4	19.0	12.1	13.8	12.1	6.9	8.6	8.6	3.4	5.2	6.9	5.2	6.9	27.6	3.4
南井上地区	10	10.0	-	-	-	-	10.0	10.0	20.0	10.0	30.0	-	-	-	-	20.0	-	30.0	-
北井上地区	5	20.0	20.0	40.0	40.0	-	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-	40.0	-

問9 あなたがお住まいの地区で、次のような世帯を見たり、聞いたりしたことはありますか。
【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

次のような世帯を見たり、聞いたりしたことがあるかをみると、「いずれも見たり、聞いたりしたことはない」が58.2%と最も高く、次いで「家の手入れが行き届いてなく、人が住んでいるか分からない世帯」が21.5%、「高齢者が同居の高齢者の世話をしている世帯（老老介護）」が10.3%と続いています。

図表 13 問題のある世帯を見たことがあるか（全体）



【属性別の傾向】

地区別にみると、不動地区を除くすべての地区で「いずれも見たり、聞いたりしたことはない」が最も高くなっています。

図表 14 問題のある世帯を見たことがあるか（全体、地区別）

	全体	い く、 世帯 人が 住ん でい るか 分か らな い	家 の 手 入 れ が 行 き 届 い て い な い	高 齢 者 が 同 居 の 高 齢 者 の 世 話 を し て い る （ 老 老 介 護 ）	世 帯 全 員 が 近 隣 や 地 域 と 関 わ り を 持 つ て い な い と 思 わ れ る 世 帯 （ 孤 立 世 帯 ）	大 量 の も の が 自 宅 や 敷 地 に 放 置 さ れ て い る 世 帯	自 宅 に ひ き こ も つ て い る 人 が い る と 思 わ れ る 世 帯 （ ひ き こ も り ）	問 題 を 支 え て い る 世 帯 （ 8 0 5 0 ）	高 齢 の 親 が 中 高 年 の 子 ど も の 生 活 を 支 え て い る 世 帯	隣 近 所 で 何 ら か の ト ラ ブ ル が 起 き て い る と 思 わ れ る 世 帯	親 の 世 話 と 子 育 て を 同 時 に 抱 え て い る 世 帯 （ ダ ブ ル ケ ア ）	上 記 以 外 で 、 課 題 を 抱 え て い る 世 帯	未 成 年 の 子 ど も が 親 や 兄 弟 姉 妹 を お 世 話 し 、 自 分 の 時 間 を 持 て な い 世 帯 （ ヤ ン グ ケ ア ラ ー ）	家 族 の 間 で 虐 待 が 疑 わ れ る 世 帯 （ 虐 待 ）	こ の い ず れ も 見 た り 、 聞 い た り し た こ と は な い	無 回 答
全体	819	21.5	10.3	9.3	7.1	7.0	4.5	4.4	2.6	2.1	1.3	1.0	58.2	4.0		
内町地区	16	6.3	12.5	-	6.3	6.3	6.3	-	-	6.3	-	-	75.0	-		
新町地区	4	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-		
西富田地区	8	25.0	-	-	12.5	12.5	12.5	12.5	-	-	12.5	-	62.5	-		
東富田地区	18	5.6	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	-	-	-	-	5.6	83.3	-		
昭和地区	35	11.4	11.4	2.9	2.9	8.6	-	-	2.9	5.7	-	-	60.0	-		
渭東地区	74	17.6	10.8	12.2	4.1	8.1	8.1	4.1	2.7	2.7	-	-	62.2	1.4		
渭北地区	63	17.5	12.7	6.3	4.8	-	1.6	4.8	4.8	1.6	-	-	60.3	6.3		
佐古地区	41	26.8	12.2	9.8	-	7.3	4.9	-	2.4	2.4	7.3	4.9	46.3	9.8		
沖洲地区	33	30.3	3.0	3.0	9.1	-	3.0	6.1	-	-	-	3.0	63.6	3.0		
津田地区	50	28.0	16.0	14.0	8.0	8.0	10.0	2.0	-	2.0	-	-	46.0	6.0		
加茂名地区	67	32.8	11.9	9.0	11.9	9.0	4.5	4.5	3.0	-	3.0	1.5	44.8	3.0		
加茂地区	59	35.6	11.9	3.4	10.2	5.1	5.1	10.2	1.7	3.4	-	-	55.9	-		
八万地区	97	19.6	11.3	11.3	5.2	6.2	1.0	4.1	2.1	1.0	3.1	2.1	61.9	4.1		
勝占地区	47	19.1	10.6	19.1	8.5	10.6	4.3	8.5	6.4	2.1	4.3	2.1	55.3	6.4		
多家良地区	23	4.3	4.3	8.7	-	4.3	-	-	-	8.7	-	-	69.6	4.3		
上八万地区	31	32.3	12.9	12.9	32.3	12.9	12.9	3.2	-	3.2	-	-	45.2	-		
入田地区	2	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-		
不動地区	4	50.0	-	25.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-		
川内地区	53	13.2	3.8	9.4	3.8	9.4	3.8	3.8	1.9	-	-	-	67.9	1.9		
応神地区	18	27.8	11.1	16.7	-	5.6	5.6	5.6	-	-	-	-	55.6	5.6		
国府地区	58	17.2	8.6	6.9	5.2	8.6	5.2	1.7	6.9	1.7	-	-	65.5	8.6		
南井上地区	10	10.0	10.0	10.0	-	10.0	-	-	10.0	-	-	-	60.0	10.0		
北井上地区	5	20.0	-	-	20.0	-	-	20.0	-	20.0	-	-	60.0	-		

3 「支え合いの意識を持った地域づくり」について

1 各世代との交流について

問 10 他の世代の方々と接する機会がありますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

他の世代の方々と接する機会があるかをみると、「毎日ある」「十分にある」「ある程度ある」を合計した『接する機会がある』割合は43.8%となっています。

一方、「少ししかない」と「全くない」を合計した『接する機会がない』割合は54.9%となっており、『接する機会がある』割合を上回っています。

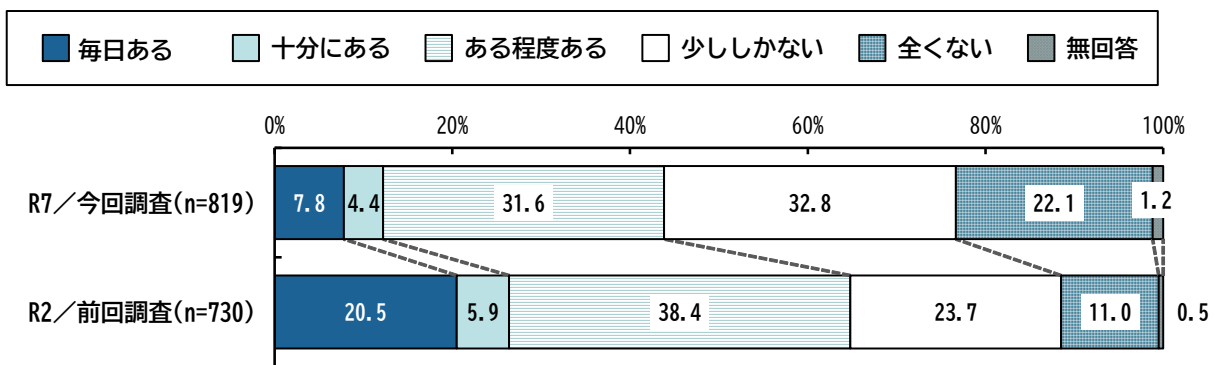
前回調査と比較すると、『接する機会がある』割合が21.0ポイント減少し、『接する機会がない』割合が20.2ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

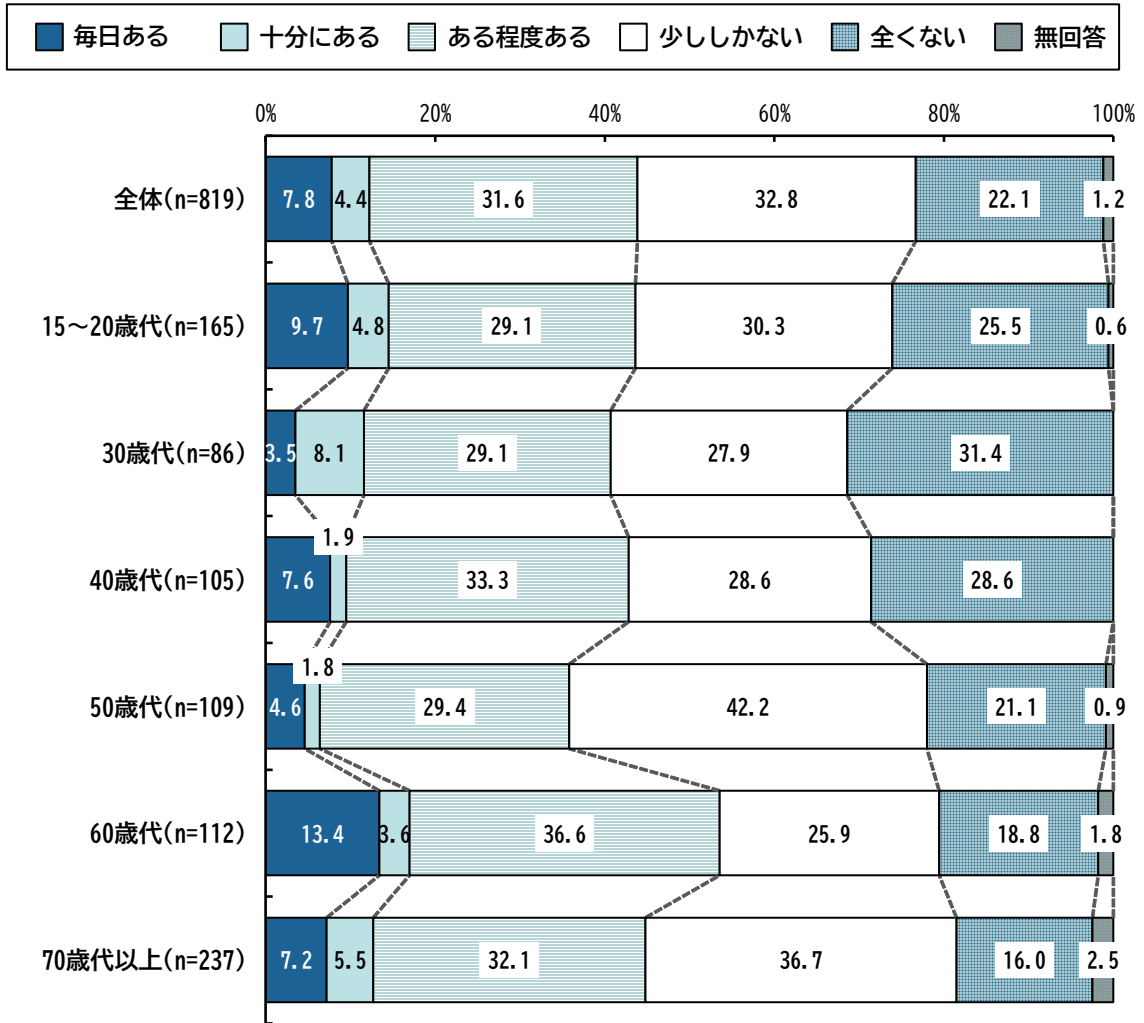
年齢別にみると、『接する機会がある』割合が最も高いのは、60歳代となっています。

地区別にみると、『接する機会がある』割合が最も高いのは南井上地区となっています。

図表 15 他の世代の方々と接する機会があるか（全体、前回比較）



図表 16 他の世代の方々と接する機会があるか（全体、年齢別）



図表 17 他の世代の方々と接する機会があるか（全体、地区別）

	全体	毎日ある	十分に ある	ある 程度 ある	少 し し か な い	全 く な い	無 回 答	接する機会がある（毎日ある） +	接する機会がない（少ししかない） +
全体	819	7.8	4.4	31.6	32.8	22.1	1.2	43.8	54.9
内町地区	16	6.3	-	25.0	50.0	18.8	-	31.3	68.8
新町地区	4	25.0	-	25.0	-	50.0	-	50.0	50.0
西富田地区	8	12.5	-	25.0	37.5	25.0	-	37.5	62.5
東富田地区	18	11.1	11.1	16.7	50.0	11.1	-	38.9	61.1
昭和地区	35	11.4	2.9	34.3	25.7	25.7	-	48.6	51.4
渭東地区	74	8.1	5.4	33.8	29.7	21.6	1.4	47.3	51.3
渭北地区	63	9.5	3.2	23.8	46.0	17.5	-	36.5	63.5
佐古地区	41	2.4	4.9	31.7	36.6	19.5	4.9	39.0	56.1
沖洲地区	33	3.0	-	36.4	33.3	24.2	3.0	39.4	57.5
津田地区	50	8.0	2.0	38.0	26.0	22.0	4.0	48.0	48.0
加茂名地区	67	7.5	4.5	34.3	29.9	23.9	-	46.3	53.8
加茂地区	59	10.2	6.8	27.1	30.5	22.0	3.4	44.1	52.5
八万地区	97	5.2	4.1	34.0	35.1	19.6	2.1	43.3	54.7
勝占地区	47	10.6	6.4	23.4	29.8	29.8	-	40.4	59.6
多家良地区	23	8.7	4.3	34.8	34.8	17.4	-	47.8	52.2
上八万地区	31	6.5	3.2	35.5	32.3	22.6	-	45.2	54.9
入田地区	2	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0	50.0
不動地区	4	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-	50.0	50.0
川内地区	53	7.5	-	34.0	39.6	18.9	-	41.5	58.5
応神地区	18	5.6	-	27.8	27.8	38.9	-	33.4	66.7
国府地区	58	10.3	12.1	27.6	27.6	22.4	-	50.0	50.0
南井上地区	10	10.0	-	60.0	20.0	10.0	-	70.0	30.0
北井上地区	5	-	-	60.0	-	40.0	-	60.0	40.0

問11 他の世代の方々との交流する場（町内会、地域の行事等）があれば参加したいと思いますか。
【どちらかに○】

【全体の傾向】

他の世代の方々との交流する場があれば参加したいかをみると、「参加したいと思う」が42.7%、「参加したいと思わない」が54.8%となっています。

前回調査と比較すると、「参加したいと思う」が1.7ポイント減少しています。

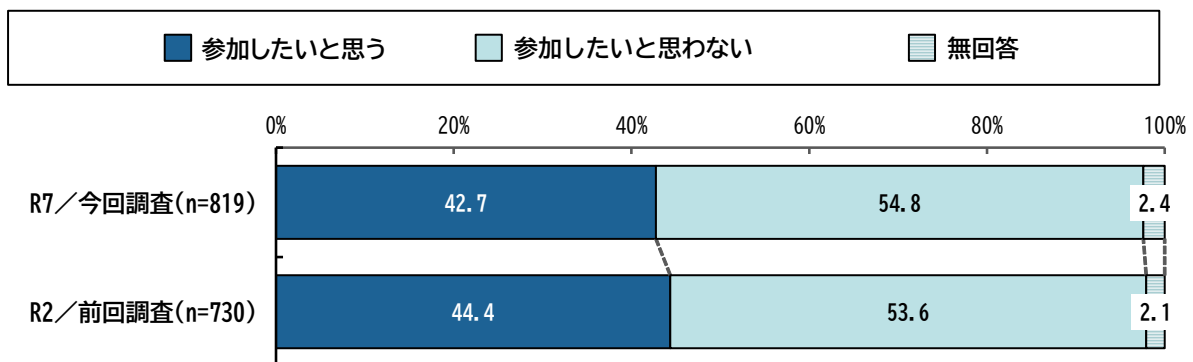
【属性別の傾向】

年齢別にみると、「参加したいと思う」は70歳代以上が最も高くなっています。

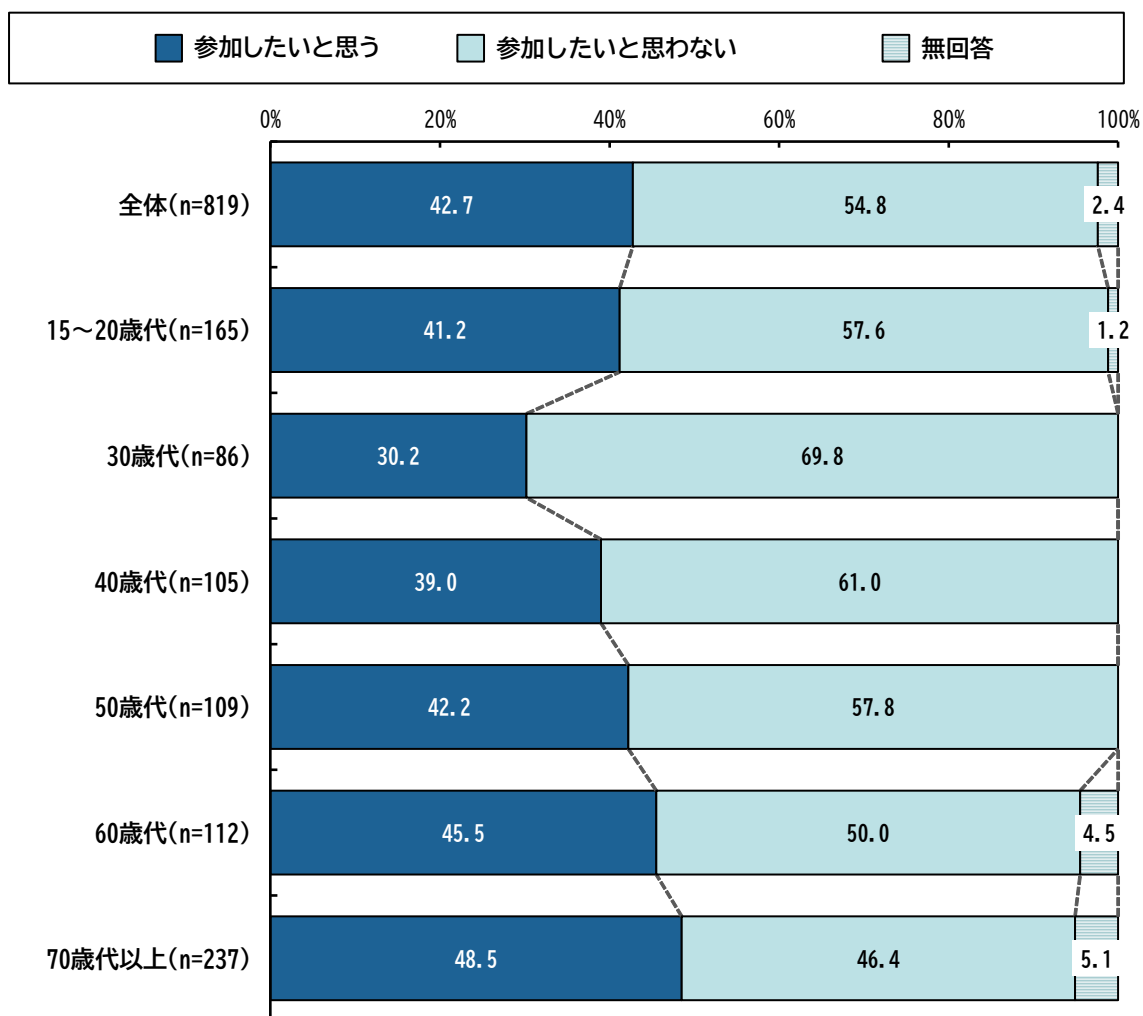
一方、30歳代では「参加したいと思う」が30.2%と他の年齢に比べて低くなっています。

地区別にみると、「参加したいと思う」が「参加したいと思わない」を上回っているのは、東富田、昭和、渭北、勝占、多家良、応神、国府、南井上、北井上地区となっています。

図表 18 他の世代の方々との交流する場があれば参加したいか（全体、前回比較）



図表 19 他の世代の方々との交流する場があれば参加したいか（全体、年齢別）



図表 20 他の世代の方々との交流する場があれば参加したいか（全体、地区別）

	全体	参加したいと思う	参加したいと思わない	無回答
全体	819	42.7	54.8	2.4
内町地区	16	37.5	62.5	-
新町地区	4	50.0	50.0	-
西富田地区	8	25.0	75.0	-
東富田地区	18	55.6	44.4	-
昭和地区	35	54.3	45.7	-
渭東地区	74	37.8	60.8	1.4
渭北地区	63	52.4	47.6	-
佐古地区	41	31.7	56.1	12.2
沖洲地区	33	39.4	54.5	6.1
津田地区	50	36.0	62.0	2.0
加茂名地区	67	34.3	62.7	3.0
加茂地区	59	32.2	64.4	3.4
八万地区	97	41.2	56.7	2.1
勝占地区	47	53.2	44.7	2.1
多家良地区	23	56.5	34.8	8.7
上八万地区	31	29.0	64.5	6.5
入田地区	2	-	100.0	-
不動地区	4	50.0	50.0	-
川内地区	53	45.3	54.7	-
応神地区	18	55.6	44.4	-
国府地区	58	51.7	48.3	-
南井上地区	10	60.0	40.0	-
北井上地区	5	60.0	40.0	-

問11で「参加したいと思わない」を選択した方

問11-1 その理由について、ご自由に記入してください。【自由記述】

【全体の傾向】

参加したくない理由については367件の意見が寄せられました。大別すると、「時間が無い・忙しい」「興味がない・必要ない・面倒」「人付き合いが苦手」「肉体的、心理的、金銭的な負担」「健康上の問題」「友人・知人が参加しないから」「将来的に徳島県から離れるため」「普段から交流が無いため」となり、それぞれの代表的な意見を抜粋しました。

図表 21 参加したいと思わない理由

時間が無い・忙しい
休みやプライベートな時間は自分のために使いたい。
学業に忙しいから。
もっと他の事に時間を使いたい。例えば親しい友人との旅行、家族との時間を増やす。家事（そうじ）など。
様々な趣味の集まりに出かけており満足している。時間的にも今のままで十分である。
家族の世話で時間がない。

興味がない・必要ない・面倒
行事に参加するのが手間。
興味がない。
わずらわしいから。
交流が必要ない。
高齢者のコミュニティに興味がない。

人付き合いが苦手
社交的な性格ではないので親しくない人との関わりが苦手であり、ましてや多世代の方々との交流となると共通する話題も少なく、少なからず抵抗や難しさを感じてしまうから。
人とのコミュニケーションが苦手だから。
他の人と余り関わりたくない。
かかわりの重要性は理解しているのですが、周辺の人との距離感がよくわからない。
会いたいと思わない。近所のコミュニティーに依存しなくても大丈夫。

肉体的、心理的、金銭的な負担

- トラブルが嫌なので参加したくない。
- 世代が違い過ぎると価値観が大きく異なる為、同調を求められた時にストレスを感じるから。
- 一度参加すると次回以降義務化されそうだから。
- 高齢者が会を執り仕切っている為。
- 町内会費の請求をされたくないから。

健康上の問題

- 足腰が弱くなりつつあるので。
- 健康上の理由もあり、出かける気にならない。
- 歩くのに思うように歩けない。
- 障害者がいて、一緒に行くのはむずかしい。
- 調子が悪いので、のんびりとしていたい。

友人・知人が参加しないから

- 親しい人がいない。
- 周辺に参加しそうな人が居ないため。
- 一人で行く勇気はないが、一緒に行ける人がいないから。
- 同世代が参加するかどうかわからないから。
- 引っ越してきて間もないので、知り合いが居ないので。

将来的に徳島県から離れるため

- 徳島県へ永住する予定がないので。
- 転勤で引っ越しが多いため。
- 長く住む予定ではないため。
- いずれ転勤するから。
- ずっとこの地区に住むわけではないため特に交流がなくても困らない。

普段から交流が無いため

- 昔から住んでいないので、親しみがわからない。
- 普段から付き合いがないから。
- 常に交流がないので行きたくない。
- この地域に来て何十年もなるけど、交流がないから。
- 現在、地域の人との付き合いが全くないから。

2 お住まいの地域について

問 12 現在、あなたの世帯は町内会に加入していますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

町内会の加入状況を見ると、「加入している」が 58.6%、「加入していない」が 38.8%となっています。

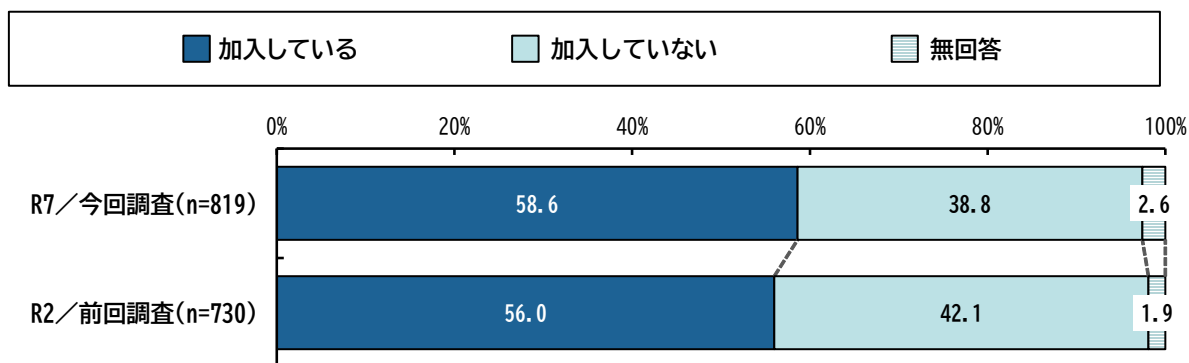
前回調査と比較すると、「加入している」が 2.6 ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

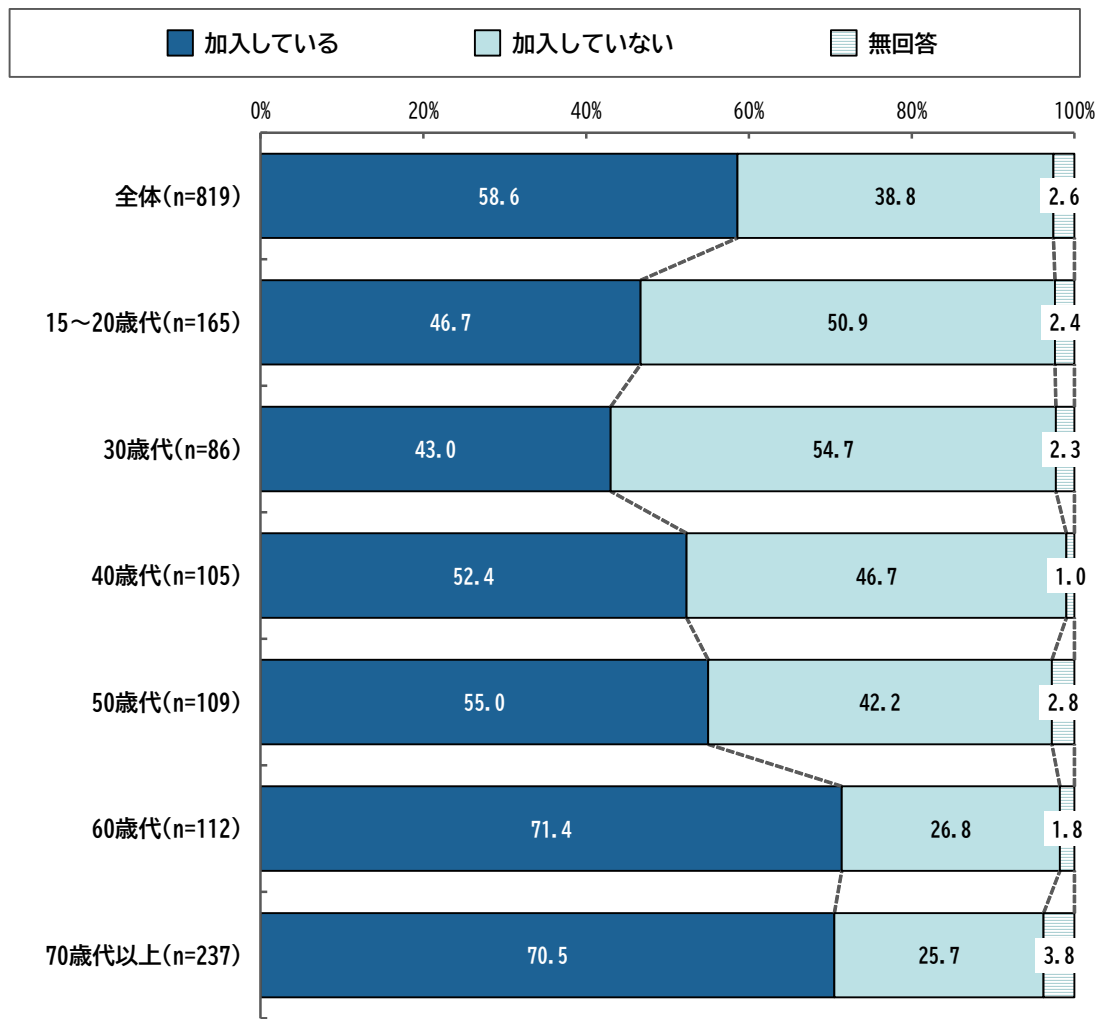
年齢別にみると、「加入している」は 60 歳代以上で 7 割を超えて高くなっています。

地区別にみると、「加入していない」が「加入している」を上回っているのは、西富田、昭和、佐古、沖洲、加茂地区となっています。

図表 22 町内会の加入状況（全体、前回比較）



図表 23 町内会の加入状況（全体、年齢別）



図表 24 町内会の加入状況（全体、地区別）

	全 体	加 入 し て い る	加 入 し て い な い	無 回 答
全体	819	58.6	38.8	2.6
内町地区	16	50.0	43.8	6.3
新町地区	4	50.0	25.0	25.0
西富田地区	8	12.5	87.5	-
東富田地区	18	66.7	33.3	-
昭和地区	35	42.9	54.3	2.9
渭東地区	74	55.4	44.6	-
渭北地区	63	61.9	33.3	4.8
佐古地区	41	43.9	51.2	4.9
冲洲地区	33	36.4	57.6	6.1
津田地区	50	58.0	42.0	-
加茂名地区	67	53.7	44.8	1.5
加茂地区	59	40.7	55.9	3.4
八万地区	97	62.9	34.0	3.1
勝占地区	47	61.7	38.3	-
多家良地区	23	95.7	4.3	-
上八万地区	31	87.1	12.9	-
入田地区	2	100.0	-	-
不動地区	4	50.0	50.0	-
川内地区	53	71.7	26.4	1.9
応神地区	18	72.2	22.2	5.6
国府地区	58	62.1	36.2	1.7
南井上地区	10	90.0	-	10.0
北井上地区	5	60.0	20.0	20.0

問 12 で「加入していない」を選択した方

問 12-1 町内会に加入していない最も大きな理由は何ですか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

町内会に加入していない最も大きな理由をみると、「町内会があるか知らないから」が 30.2%と最も高く、次いで「町内会が存在しないから」が 23.9%、「特に理由はない」が 18.6%となっています。

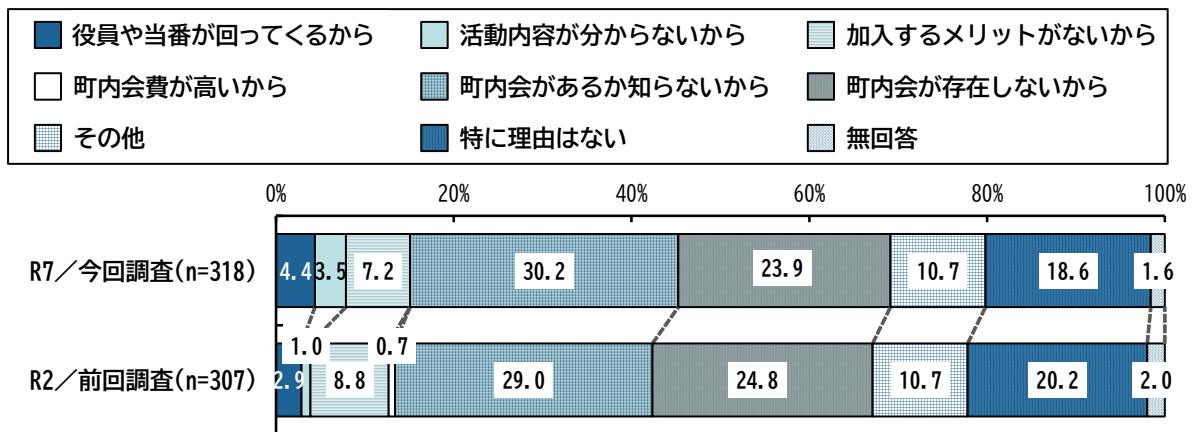
前回調査と比較すると、「活動内容が分からないから」が 2.5 ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

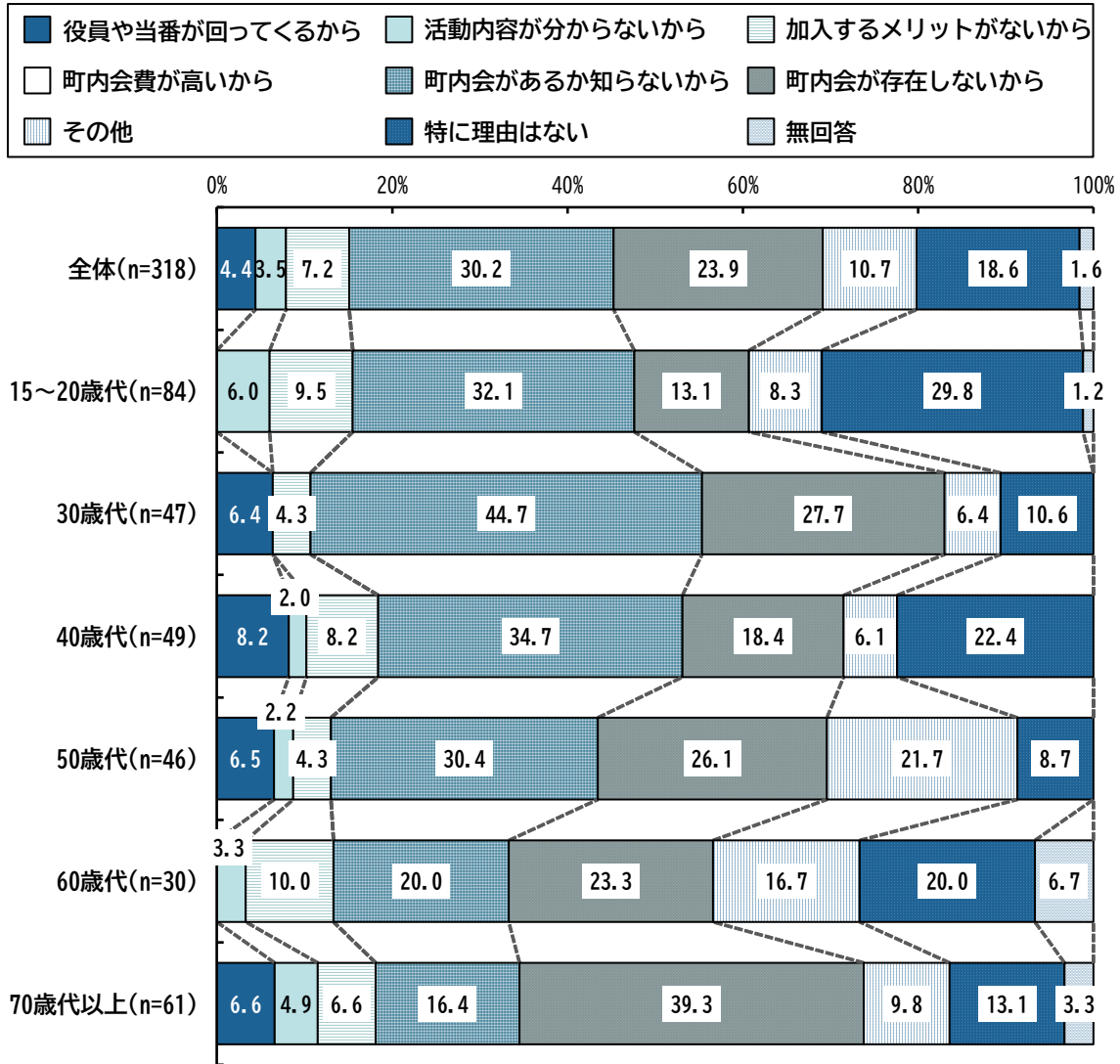
年齢別にみると、15～50 歳代では「町内会があるか知らないから」が最も高くなっていますが、60 歳代以上では「町内会が存在しないから」が最も高くなっています。

地区別にみると、ほとんどの地区で、「町内会があるか知らないから」「町内会が存在しないから」が最大の理由となっています。

図表 25 町内会に加入していない理由（全体、前回比較）



図表 26 町内会に加入していない理由（全体、年齢別）



図表 27 町内会に加入していない理由（全体、地区別）

	全体	役員や当番が回ってくるから	活動内容が分からないから	加入するメリットがないから	町内会費が高いから	町内会があるか知らないから	町内会が存在しないから	その他	特に理由はない	無回答
全体	318	4.4	3.5	7.2	-	30.2	23.9	10.7	18.6	1.6
内町地区	7	-	-	-	-	28.6	14.3	14.3	42.9	-
新町地区	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
西富田地区	7	14.3	14.3	-	-	28.6	14.3	-	28.6	-
東富田地区	6	-	-	-	-	33.3	16.7	-	50.0	-
昭和地区	19	-	-	5.3	-	26.3	15.8	21.1	26.3	5.3
渭東地区	33	6.1	3.0	6.1	-	30.3	24.2	9.1	21.2	-
渭北地区	21	4.8	9.5	9.5	-	28.6	9.5	14.3	19.0	4.8
佐古地区	21	-	-	9.5	-	42.9	28.6	9.5	4.8	4.8
沖洲地区	19	5.3	5.3	-	-	26.3	42.1	5.3	15.8	-
津田地区	21	-	4.8	14.3	-	4.8	52.4	9.5	14.3	-
加茂名地区	30	6.7	-	13.3	-	23.3	30.0	20.0	3.3	3.3
加茂地区	33	6.1	-	6.1	-	45.5	9.1	6.1	24.2	3.0
八万地区	33	3.0	6.1	9.1	-	39.4	12.1	12.1	18.2	-
勝占地区	18	11.1	5.6	5.6	-	22.2	27.8	5.6	22.2	-
多家良地区	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
上八万地区	4	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-
入田地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不動地区	2	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-
川内地区	14	-	-	7.1	-	50.0	28.6	-	14.3	-
応神地区	4	-	-	25.0	-	-	75.0	-	-	-
国府地区	21	9.5	4.8	4.8	-	14.3	28.6	9.5	28.6	-
南井上地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北井上地区	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-

3 民生委員・児童委員の認知状況

問13 あなたは、民生委員・児童委員を知っていますか。また、民生委員に相談したことや民生委員を志望したいと思ったことがありますか。【それぞれ一つだけに○】

(名称・存在)

【全体の傾向】

民生委員・児童委員の認知状況をみると、「知っている」が65.9%、「知らない」が31.4%となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」が2.0ポイント減少しています。

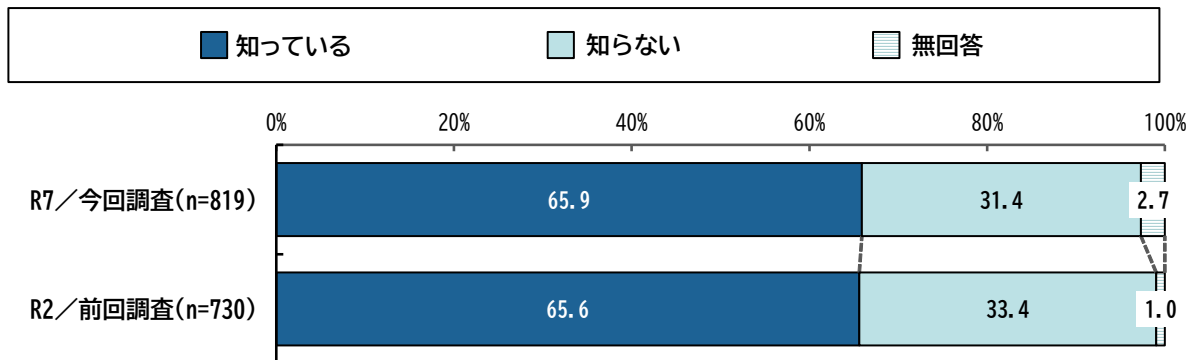
【属性別の傾向】

年齢別にみると、「知っている」は50歳代で80.7%と最も高くなっています。また、60歳代以上でも7割を超えています。

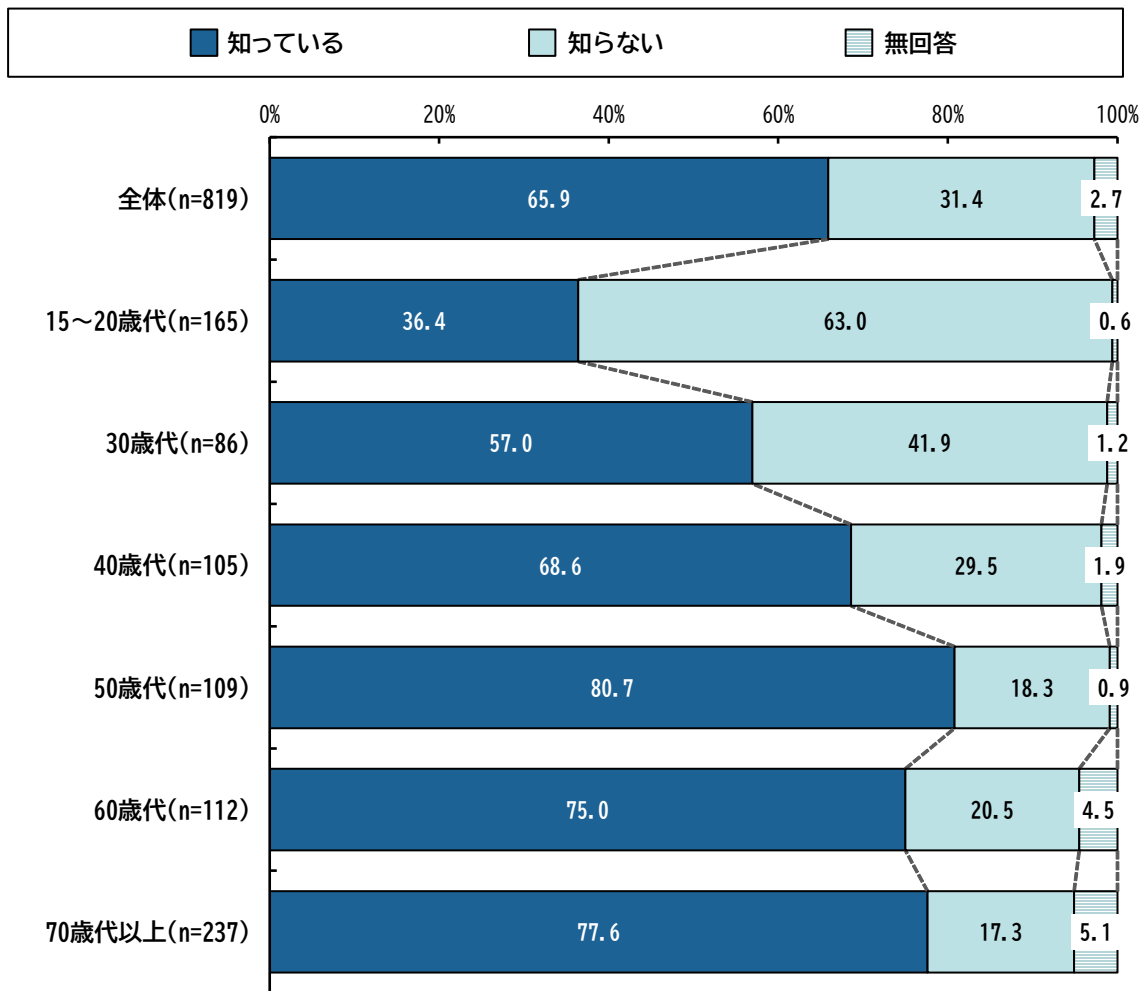
一方、15～20歳代では「知っている」は36.4%となっており、認知度は他の年齢に比べて低くなっています。

地区別にみると、ほとんどの地区で「知っている」が「知らない」を上回っており、特に勝占地区で80.9%と最も高くなっています。

図表 28 民生委員・児童委員の認知状況（全体、前回比較）



図表 29 民生委員・児童委員の認知状況（全体、年齢別）



図表 30 民生委員・児童委員の認知状況（全体、地区別）

	全体	知っている	知らない	無回答
全体	819	65.9	31.4	2.7
内町地区	16	75.0	25.0	-
新町地区	4	75.0	25.0	-
西富田地区	8	50.0	37.5	12.5
東富田地区	18	77.8	22.2	-
昭和地区	35	65.7	31.4	2.9
渭東地区	74	70.3	29.7	-
渭北地区	63	66.7	33.3	-
佐古地区	41	68.3	22.0	9.8
沖洲地区	33	57.6	39.4	3.0
津田地区	50	68.0	30.0	2.0
加茂名地区	67	67.2	28.4	4.5
加茂地区	59	61.0	37.3	1.7
八万地区	97	63.9	33.0	3.1
勝占地区	47	80.9	19.1	-
多家良地区	23	69.6	30.4	-
上八万地区	31	71.0	25.8	3.2
入田地区	2	50.0	50.0	-
不動地区	4	50.0	50.0	-
川内地区	53	62.3	32.1	5.7
応神地区	18	77.8	16.7	5.6
国府地区	58	56.9	41.4	1.7
南井上地区	10	40.0	50.0	10.0
北井上地区	5	40.0	60.0	-

(相談の有無)

【全体の傾向】

民生委員・児童委員への相談の有無をみると、「したことがある」が2.7%、「したことはない」が92.4%となっています。

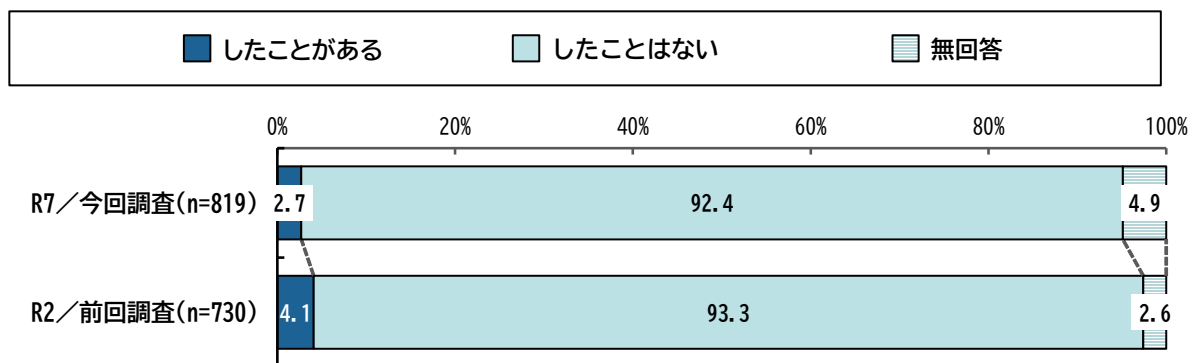
前回調査と比較すると、「したことがある」が1.4ポイント減少しています。

【属性別の傾向】

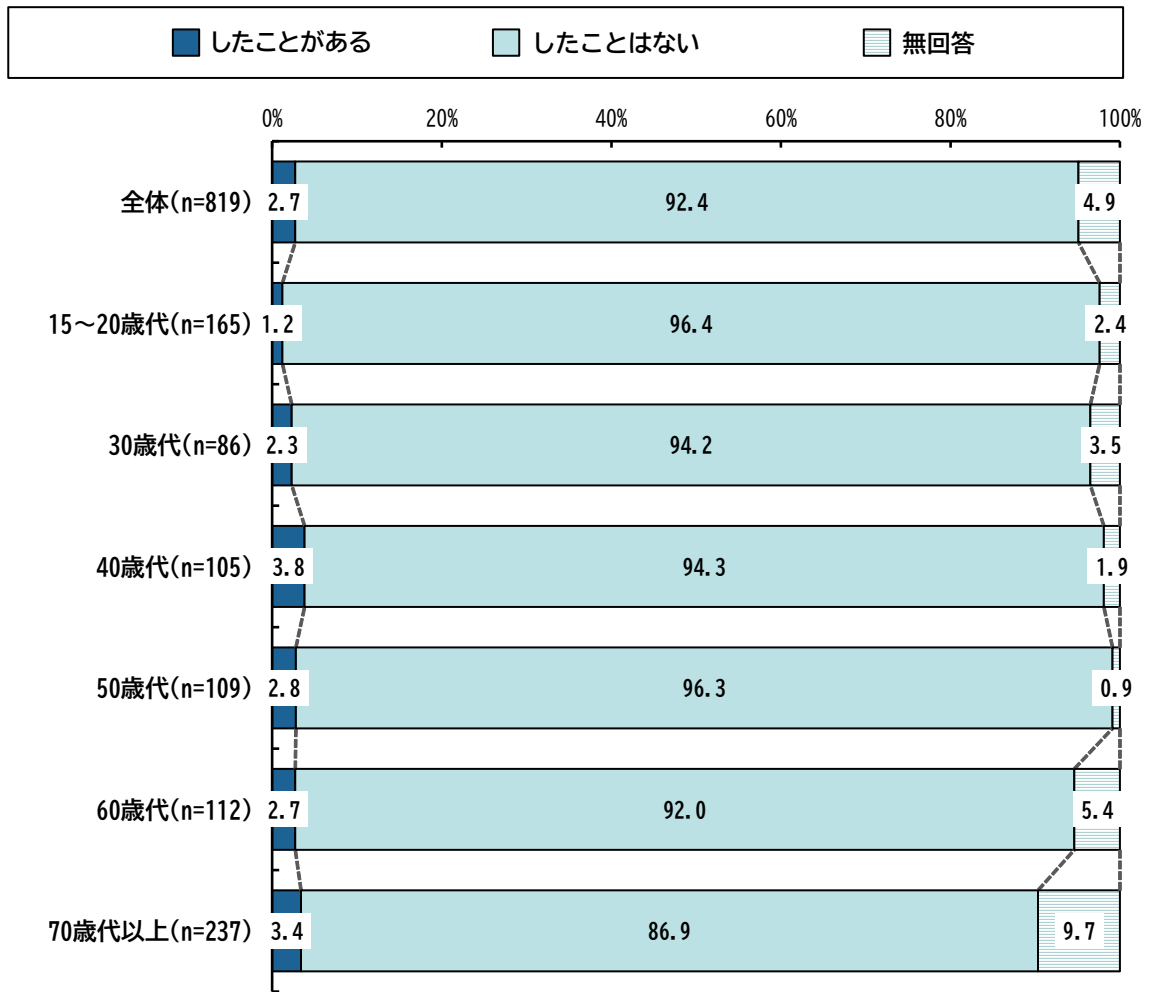
年齢別にみると、いずれの年齢も「したことがある」は1割未満となっています。

地区別にみると、いずれの地区も「したことはない」が「したことがある」を上回っています。

図表 31 民生委員・児童委員への相談の有無（全体、前回比較）



図表 32 民生委員・児童委員への相談の有無（全体、年齢別）



図表 33 民生委員・児童委員への相談の有無（全体、地区別）

	全体	したことがある	したことはない	無回答
全体	819	2.7	92.4	4.9
内町地区	16	-	93.8	6.3
新町地区	4	-	100.0	-
西富田地区	8	-	75.0	25.0
東富田地区	18	11.1	83.3	5.6
昭和地区	35	-	91.4	8.6
渭東地区	74	1.4	91.9	6.8
渭北地区	63	3.2	96.8	-
佐古地区	41	-	90.2	9.8
冲洲地区	33	-	97.0	3.0
津田地区	50	8.0	86.0	6.0
加茂名地区	67	-	94.0	6.0
加茂地区	59	1.7	94.9	3.4
八万地区	97	5.2	89.7	5.2
勝占地区	47	-	97.9	2.1
多家良地区	23	4.3	87.0	8.7
上八万地区	31	-	96.8	3.2
入田地区	2	-	100.0	-
不動地区	4	-	75.0	25.0
川内地区	53	5.7	90.6	3.8
応神地区	18	5.6	88.9	5.6
国府地区	58	3.4	94.8	1.7
南井上地区	10	-	100.0	-
北井上地区	5	-	100.0	-

(志望の意向)

【全体の傾向】

民生委員・児童委員を志望したいと思ったことをみると、「してみたい」が7.4%、「したくない」が84.2%となっています。

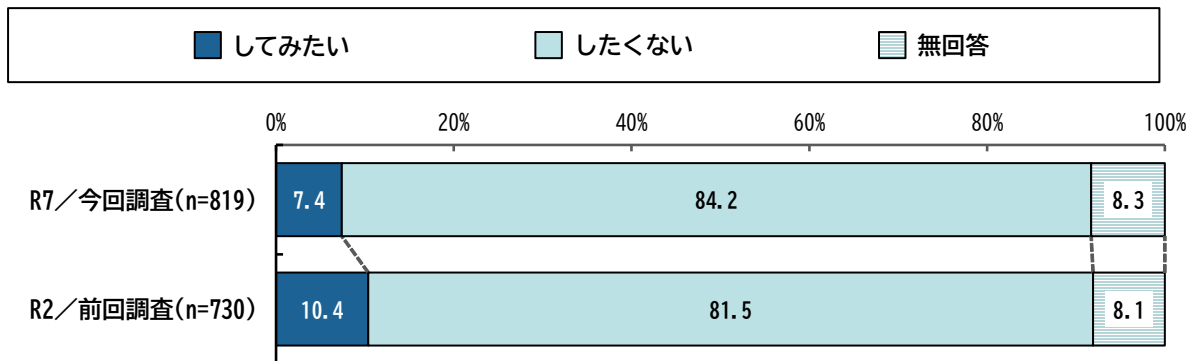
前回調査と比較すると、「してみたい」が3.0ポイント減少しています。

【属性別の傾向】

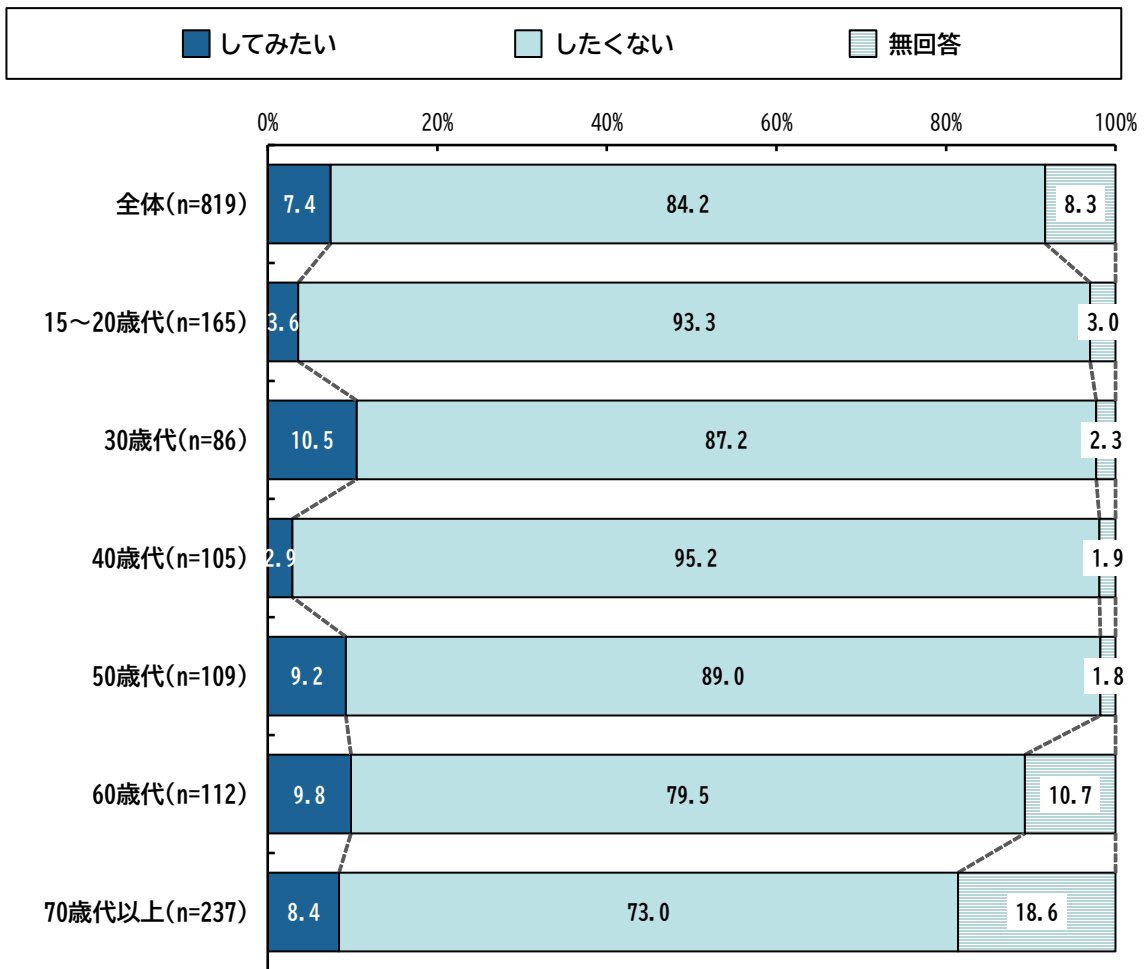
年齢別にみると、いずれの年齢も「したくない」が7割を超えており、特に40歳代で95.2%と最も高くなっています。

地区別にみると、いずれの地区も「したくない」が「してみたい」を上回っています。

図表 34 民生委員・児童委員を志望したいと思ったことはあるか（全体、前回比較）



図表 35 民生委員・児童委員を志望したいと思ったことはあるか（全体、年齢別）



図表 36 民生委員・児童委員を志望したいと思ったことはあるか（全体、地区別）

	全体	してみたい	したくない	無回答
全体	819	7.4	84.2	8.3
内町地区	16	-	93.8	6.3
新町地区	4	-	100.0	-
西富田地区	8	12.5	75.0	12.5
東富田地区	18	16.7	83.3	-
昭和地区	35	2.9	91.4	5.7
渭東地区	74	18.9	74.3	6.8
渭北地区	63	6.3	88.9	4.8
佐古地区	41	7.3	80.5	12.2
沖洲地区	33	6.1	84.8	9.1
津田地区	50	8.0	84.0	8.0
加茂名地区	67	7.5	83.6	9.0
加茂地区	59	6.8	81.4	11.9
八万地区	97	2.1	85.6	12.4
勝占地区	47	4.3	91.5	4.3
多家良地区	23	17.4	73.9	8.7
上八万地区	31	-	96.8	3.2
入田地区	2	-	100.0	-
不動地区	4	-	75.0	25.0
川内地区	53	7.5	83.0	9.4
応神地区	18	11.1	72.2	16.7
国府地区	58	6.9	87.9	5.2
南井上地区	10	10.0	80.0	10.0
北井上地区	5	-	80.0	20.0

4 近所付き合いについて

問 14 あなたは、ご近所や地域の人とどの程度の付き合いをしていますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

近所付き合いの程度をみると、「会ったときにあいさつをかわす程度」が 52.9%と最も高く、次いで「会えば立ち話をする程度」が 22.8%、「困っていることがあれば助け合うような人がいる」が 13.1%と続いています。

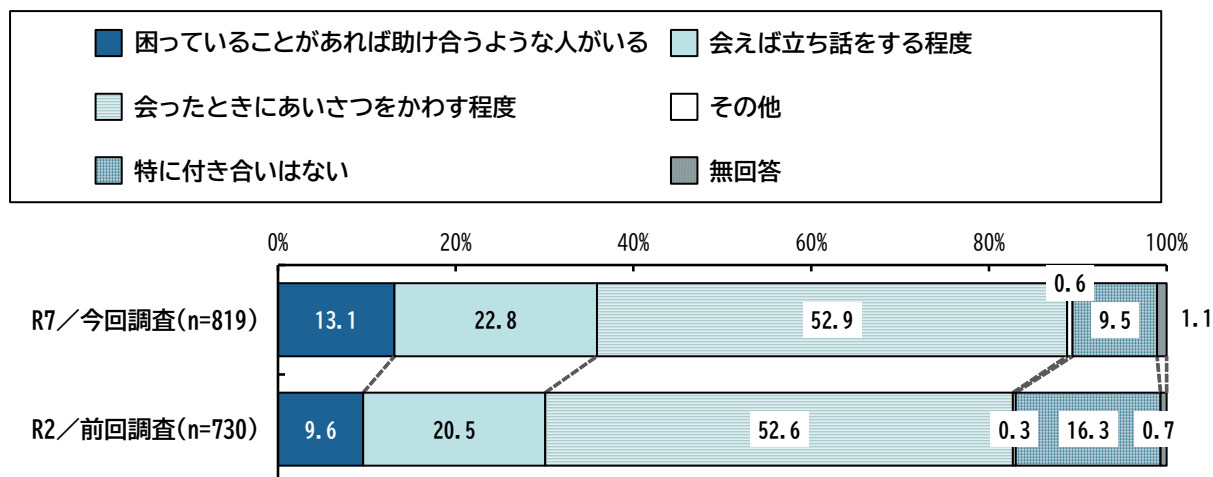
前回調査と比較すると、「特に付き合いはない」が 6.8 ポイント減少しています。

【属性別の傾向】

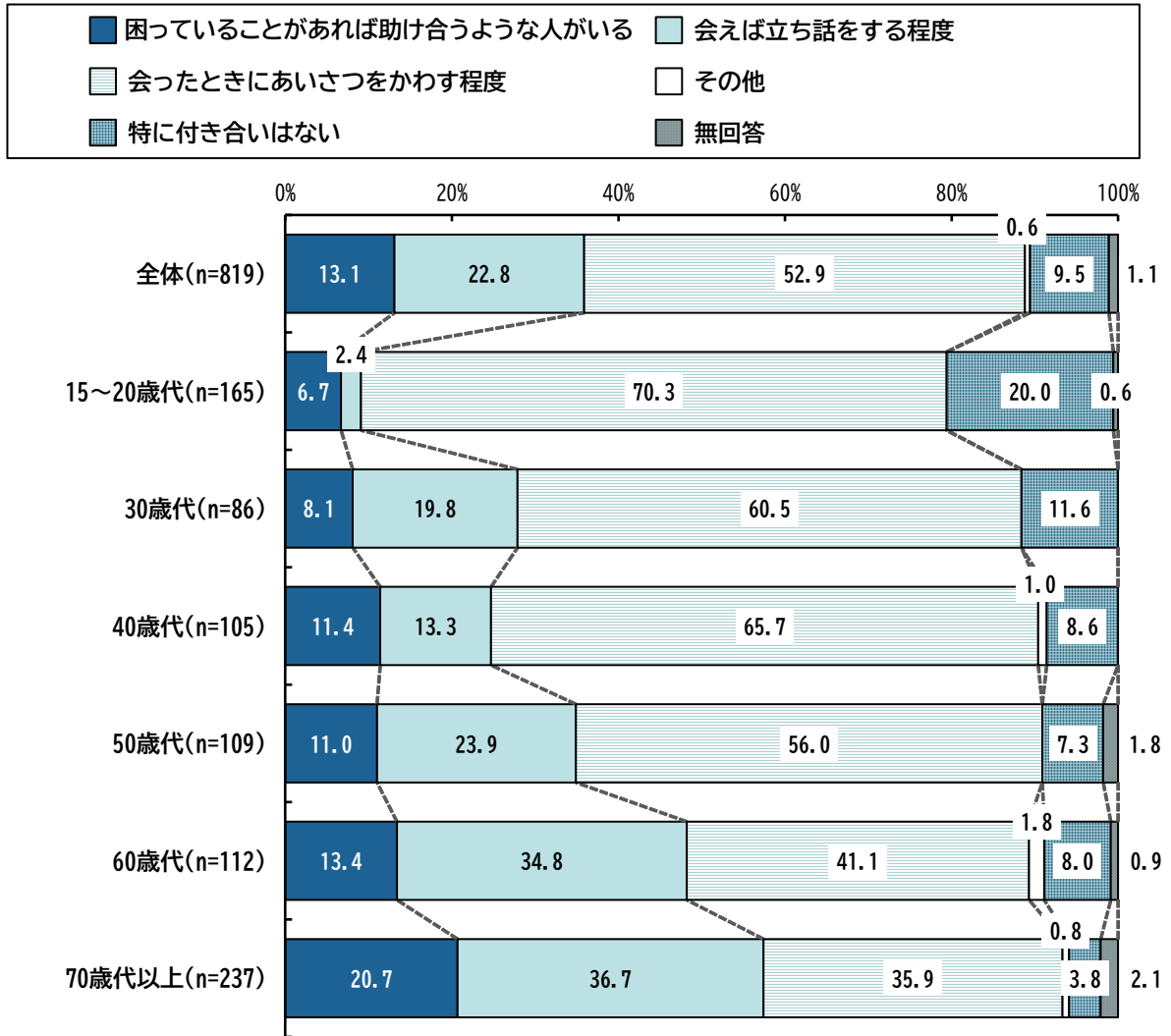
年齢別にみると、15～20 歳代では「会えば立ち話をする程度」が 2.4%と他の年齢に比べて低くなっています。また、「特に付き合いはない」が 20.0%と他の年齢に比べて高く、15～20 歳代が最も近所付き合いが希薄である傾向がみられます。

地区別にみると、ほとんどの地区で「会ったときにあいさつをかわす程度」が最も高くなっていますが、南井上、北井上地区では「困っていることがあれば助け合うような人がいる」が最も高くなっています。

図表 37 近所付き合いの程度（全体、前回比較）



図表 38 近所付き合いの程度（全体、年齢別）



図表 39 近所付き合いの程度（全体、地区別）

	全体	困っている人がいる割合	会えば立ち話をする程度	会ったときにあいさつをかわす程度	その他	特に付き合いはない	無回答
全体	819	13.1	22.8	52.9	0.6	9.5	1.1
内町地区	16	6.3	25.0	56.3	-	12.5	-
新町地区	4	-	25.0	75.0	-	-	-
西富田地区	8	-	-	87.5	-	12.5	-
東富田地区	18	16.7	27.8	50.0	-	5.6	-
昭和地区	35	17.1	22.9	51.4	-	8.6	-
渭東地区	74	10.8	17.6	60.8	-	10.8	-
渭北地区	63	11.1	28.6	55.6	1.6	3.2	-
佐古地区	41	4.9	19.5	56.1	-	14.6	4.9
沖洲地区	33	3.0	21.2	63.6	-	9.1	3.0
津田地区	50	14.0	32.0	42.0	2.0	10.0	-
加茂名地区	67	16.4	23.9	49.3	-	9.0	1.5
加茂地区	59	5.1	18.6	64.4	-	10.2	1.7
八万地区	97	12.4	25.8	51.5	1.0	8.2	1.0
勝占地区	47	17.0	23.4	44.7	-	12.8	2.1
多家良地区	23	34.8	17.4	43.5	4.3	-	-
上八万地区	31	16.1	25.8	48.4	-	9.7	-
入田地区	2	-	-	50.0	-	50.0	-
不動地区	4	25.0	50.0	25.0	-	-	-
川内地区	53	11.3	20.8	52.8	1.9	9.4	3.8
応神地区	18	11.1	27.8	50.0	-	11.1	-
国府地区	58	17.2	17.2	51.7	-	13.8	-
南井上地区	10	40.0	30.0	30.0	-	-	-
北井上地区	5	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-

問 15 おおむね5年前と比べて、ご近所や地域の人との付き合いは増えていますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

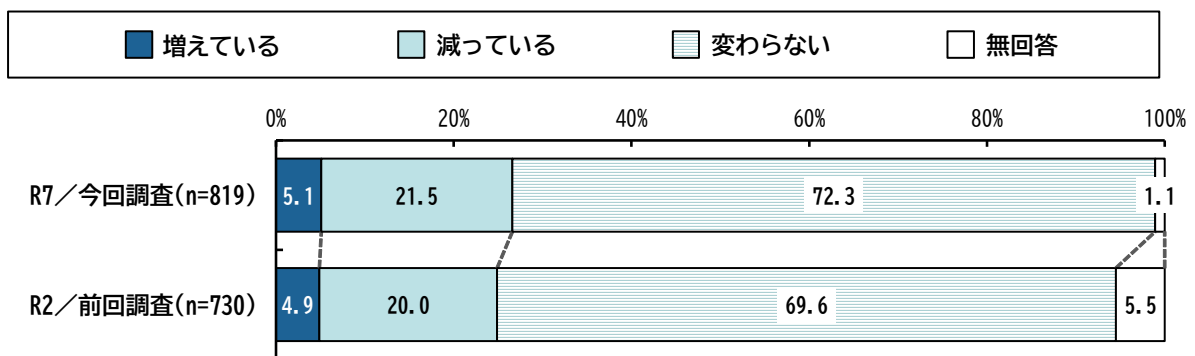
5年前と比べて、ご近所や地域の人との付き合いは増えているかをみると、「変わらない」が72.3%と最も高く、次いで「減っている」が21.5%、「増えている」が5.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「変わらない」が2.7ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

地区別にみると、ほとんどの地区で「変わらない」が最も高くなっていますが、不動地区では「減っている」が最も高くなっています。

図表 40 近所付き合いは増加しているか（全体、前回比較）



図表 41 近所付き合いは増加しているか（全体、地区別）

	全体	増えている	減っている	変わらない	無回答
全体	819	5.1	21.5	72.3	1.1
内町地区	16	6.3	25.0	68.8	-
新町地区	4	-	-	100.0	-
西富田地区	8	-	-	100.0	-
東富田地区	18	11.1	22.2	66.7	-
昭和地区	35	8.6	8.6	82.9	-
渭東地区	74	1.4	24.3	74.3	-
渭北地区	63	4.8	19.0	76.2	-
佐古地区	41	4.9	24.4	65.9	4.9
沖洲地区	33	-	27.3	69.7	3.0
津田地区	50	2.0	28.0	68.0	2.0
加茂名地区	67	7.5	25.4	65.7	1.5
加茂地区	59	5.1	20.3	72.9	1.7
八万地区	97	3.1	15.5	79.4	2.1
勝占地区	47	6.4	27.7	66.0	-
多家良地区	23	13.0	17.4	69.6	-
上八万地区	31	16.1	29.0	54.8	-
入田地区	2	-	-	100.0	-
不動地区	4	-	75.0	25.0	-
川内地区	53	-	18.9	79.2	1.9
応神地区	18	5.6	16.7	77.8	-
国府地区	58	8.6	20.7	70.7	-
南井上地区	10	10.0	20.0	70.0	-
北井上地区	5	-	-	100.0	-

4 「包括的な福祉サービス提供の仕組みづくり」について

1 福祉について

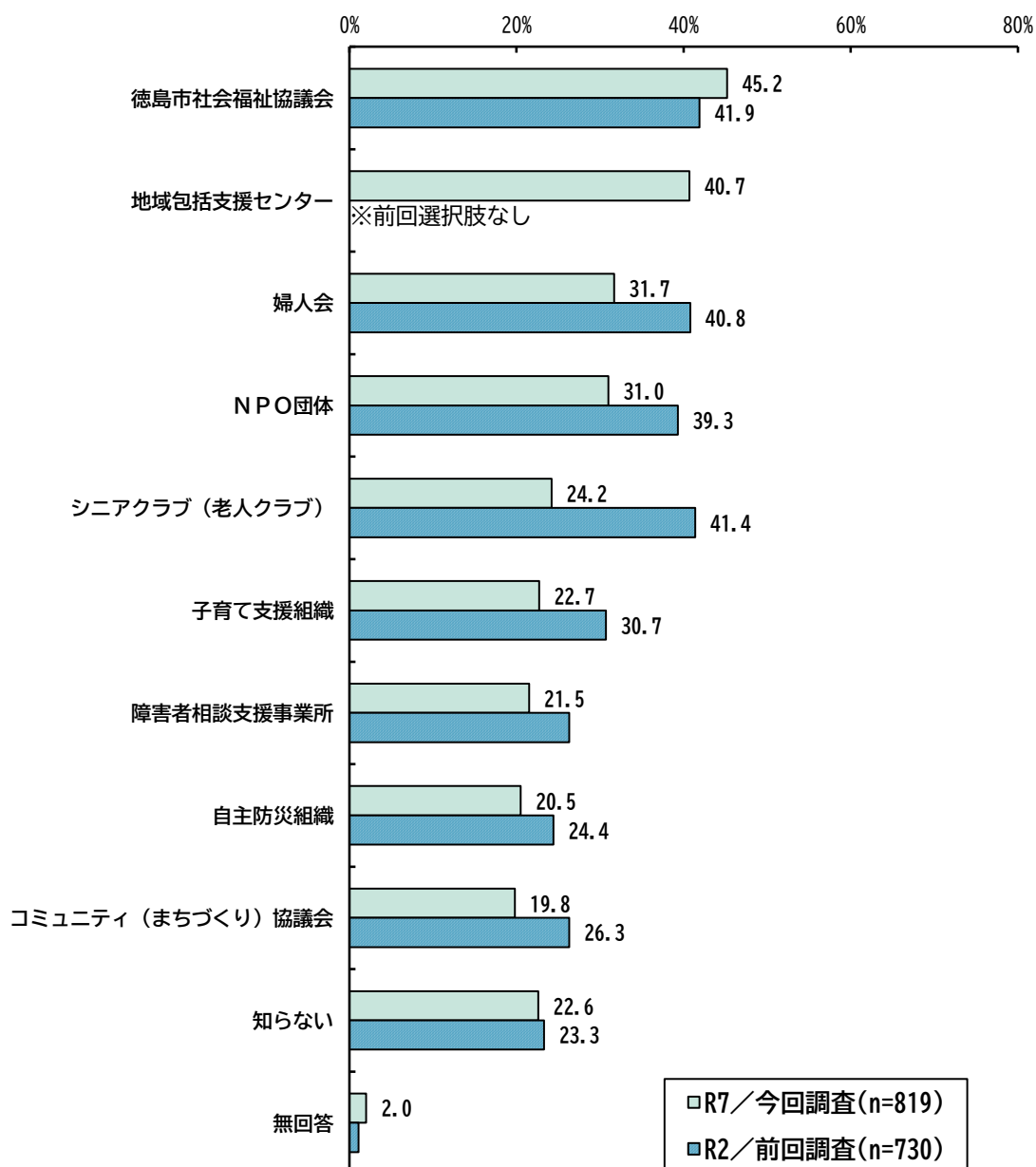
問 16 あなたは、次の福祉に関する団体等を知っていますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

福祉団体の認知度をみると、「徳島市社会福祉協議会」が45.2%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が40.7%、「婦人会」が31.7%と続いています。

前回調査と比較すると、「徳島市社会福祉協議会」は増加していますが、それ以外の団体はいずれも減少しています。

図表 42 福祉団体の認知度（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、15～20歳代では「NPO団体」、30歳代以上では「徳島市社会福祉協議会」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別にみると、ほとんどの地区で「徳島市社会福祉協議会」が最も高くなっています。

一方、佐古、加茂名地区では「地域包括支援センター」、川内、応神地区では「婦人会」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 43 福祉団体の認知度（全体、年齢別／複数回答）

	全体	徳島市社会福祉協議会	地域包括支援センター	婦人会	NPO団体	シニアクラブ（老人クラブ）	子育て支援組織	障害者相談支援事業所	自主防災組織	議会 コミュニティ（まちづくり）協	知らない	無回答
全体	819	45.2	40.7	31.7	31.0	24.2	22.7	21.5	20.5	19.8	22.6	2.0
15～20歳代	165	20.0	27.9	15.2	41.2	15.2	23.0	14.5	11.5	17.0	32.1	2.4
30歳代	86	54.7	51.2	30.2	40.7	23.3	31.4	37.2	16.3	17.4	23.3	-
40歳代	105	49.5	46.7	31.4	31.4	23.8	33.3	32.4	14.3	20.0	23.8	1.9
50歳代	109	61.5	54.1	43.1	37.6	23.9	32.1	27.5	23.9	24.8	14.7	-
60歳代	112	51.8	44.6	40.2	23.2	29.5	22.3	21.4	25.9	17.0	20.5	0.9
70歳代以上	237	46.4	35.4	35.4	21.5	29.1	11.0	13.5	27.4	21.9	19.4	3.8

図表 44 福祉団体の認知度（全体、地区別／複数回答）

	全体	徳島市社会福祉協議会	地域包括支援センター	婦人会	NPO団体	シニアクラブ（老人クラブ）	子育て支援組織	障害者相談支援事業所	自主防災組織	議会	コミュニティ（まちづくり）協	知らない	無回答
全体	819	45.2	40.7	31.7	31.0	24.2	22.7	21.5	20.5	19.8	22.6	2.0	
内町地区	16	37.5	25.0	31.3	31.3	31.3	12.5	18.8	18.8	12.5	37.5	-	
新町地区	4	50.0	25.0	-	25.0	-	50.0	25.0	-	-	25.0	-	
西富田地区	8	50.0	12.5	37.5	37.5	12.5	-	-	-	-	37.5	-	
東富田地区	18	55.6	55.6	55.6	44.4	33.3	27.8	11.1	27.8	33.3	22.2	-	
昭和地区	35	40.0	34.3	25.7	31.4	20.0	31.4	17.1	17.1	14.3	34.3	2.9	
渭東地区	74	47.3	36.5	24.3	35.1	17.6	20.3	17.6	20.3	16.2	16.2	5.4	
渭北地区	63	44.4	42.9	17.5	33.3	28.6	30.2	20.6	22.2	23.8	23.8	1.6	
佐古地区	41	41.5	61.0	34.1	39.0	34.1	17.1	26.8	19.5	19.5	7.3	7.3	
沖洲地区	33	39.4	30.3	21.2	30.3	12.1	15.2	18.2	9.1	15.2	21.2	3.0	
津田地区	50	46.0	42.0	18.0	26.0	22.0	12.0	16.0	36.0	20.0	20.0	2.0	
加茂名地区	67	49.3	55.2	28.4	29.9	25.4	25.4	31.3	16.4	22.4	22.4	1.5	
加茂地区	59	47.5	47.5	39.0	30.5	22.0	30.5	28.8	16.9	20.3	22.0	1.7	
八万地区	97	43.3	37.1	39.2	37.1	24.7	28.9	19.6	17.5	14.4	23.7	3.1	
勝占地区	47	42.6	36.2	17.0	27.7	19.1	21.3	21.3	12.8	14.9	23.4	-	
多家良地区	23	65.2	47.8	65.2	26.1	56.5	30.4	21.7	43.5	30.4	13.0	-	
上八万地区	31	54.8	48.4	32.3	29.0	19.4	12.9	22.6	25.8	41.9	22.6	-	
入田地区	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	
不動地区	4	50.0	-	25.0	-	25.0	-	-	50.0	-	25.0	-	
川内地区	53	41.5	43.4	50.9	32.1	28.3	22.6	24.5	20.8	20.8	24.5	-	
応神地区	18	38.9	22.2	44.4	16.7	27.8	11.1	22.2	38.9	27.8	27.8	-	
国府地区	58	34.5	31.0	31.0	24.1	19.0	19.0	19.0	20.7	17.2	29.3	-	
南井上地区	10	60.0	30.0	30.0	20.0	30.0	20.0	30.0	10.0	30.0	10.0	-	
北井上地区	5	100.0	60.0	60.0	40.0	40.0	60.0	60.0	20.0	20.0	-	-	

問 17 日常生活や医療・福祉のことで困っていること、不安なことはありますか。

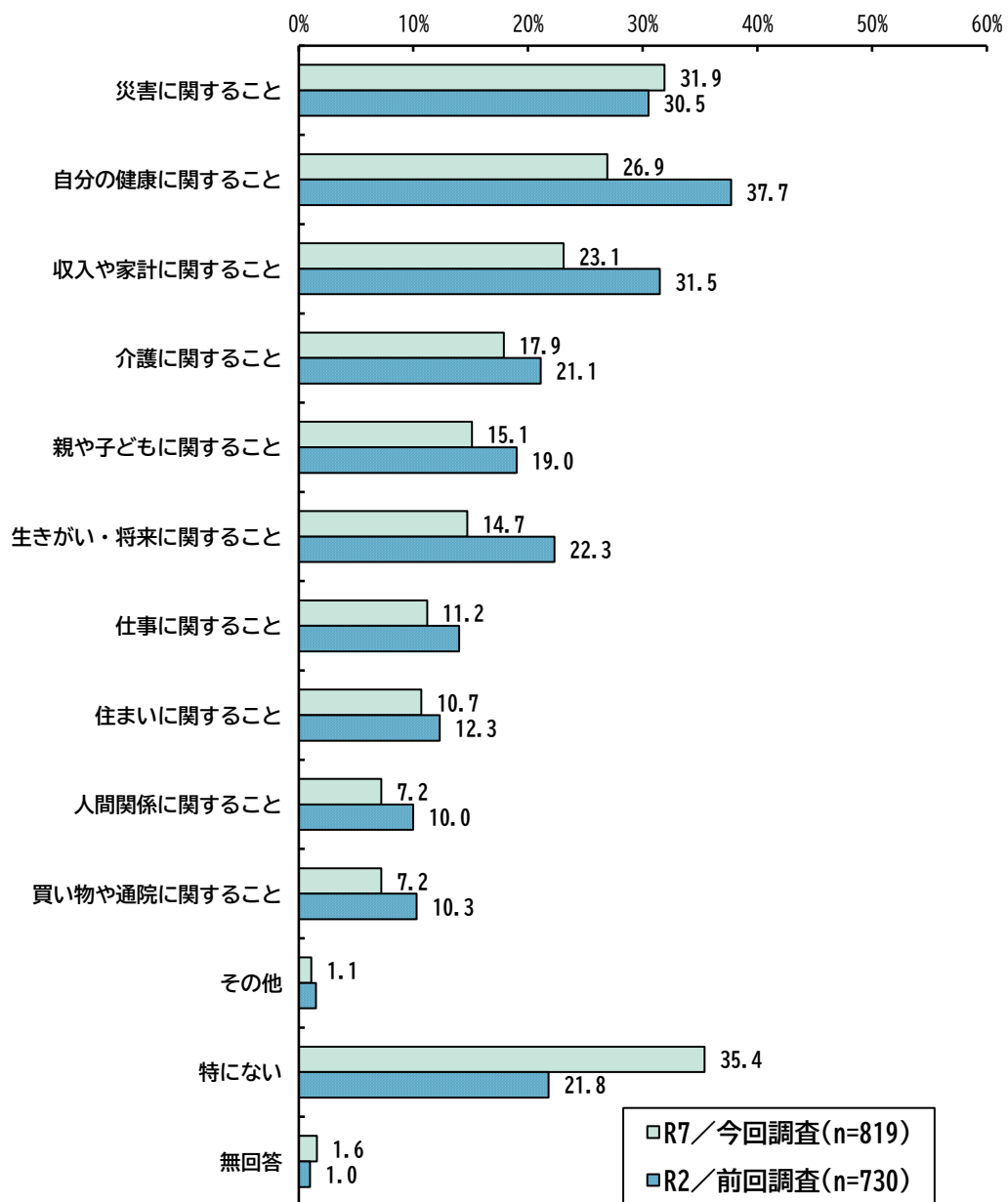
【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

日常生活や医療・福祉のことで困っていることや不安なことをみると、「特にない」が 35.4%と最も高く、次いで「災害に関すること」が 31.9%、「自分の健康に関すること」が 26.9%と続いています。

前回調査と比較すると、「特にない」が 13.6 ポイント増加しています。

図表 45 日常生活や医療・福祉のことで困っていることなど（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、15～20歳代、60歳代では「特にない」、30～40歳代では「災害に関する事」、50歳代では「介護に関する事」、70歳代以上では「自分の健康に関する事」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別にみると、渭東、渭北、佐古、津田、加茂名、川内、南井上地区では「災害に関する事」、西富田、勝占地区では「自分の健康に関する事」、東富田、北井上地区では「収入や家計に関する事」、不動地区では介護に関する事、新町地区では「親や子どもに関する事」というように、地区によって困っていることが異なる傾向がみられます。

図表 46 日常生活や医療・福祉のことで困っていることなど（全体、年齢別／複数回答）

	全体	災害に関する事	自分の健康に関する事	収入や家計に関する事	介護に関する事	親や子どもに関する事	生きがい・将来に関する事	仕事に関する事	住まいに関する事	人間関係に関する事	買い物や通院に関する事	その他	特にない	無回答
全体	819	31.9	26.9	23.1	17.9	15.1	14.7	11.2	10.7	7.2	7.2	1.1	35.4	1.6
15～20歳代	165	27.3	14.5	21.2	5.5	9.1	20.6	12.7	9.1	10.3	3.6	1.2	44.8	1.2
30歳代	86	47.7	24.4	36.0	11.6	30.2	20.9	25.6	18.6	14.0	3.5	1.2	25.6	-
40歳代	105	36.2	21.0	30.5	19.0	21.9	13.3	19.0	7.6	13.3	2.9	-	32.4	1.0
50歳代	109	30.3	24.8	28.4	36.7	26.6	19.3	15.6	14.7	8.3	8.3	0.9	31.2	-
60歳代	112	29.5	31.3	23.2	20.5	16.1	10.7	4.5	14.3	2.7	5.4	1.8	33.0	0.9
70歳代以上	237	29.1	37.1	14.3	18.1	5.5	8.9	3.0	7.2	1.7	13.5	1.3	37.1	3.4

図表 47 日常生活や医療・福祉のことで困っていることなど（全体、地区別／複数回答）

	全体	災害に関すること	自分の健康に関すること	収入や家計に関すること	介護に関すること	親や子どもに関すること	生きがい・将来に関すること	仕事に関すること	住まいに関すること	人間関係に関すること	買い物や通院に関すること	その他	特にない	無回答
全体	819	31.9	26.9	23.1	17.9	15.1	14.7	11.2	10.7	7.2	7.2	1.1	35.4	1.6
内町地区	16	18.8	25.0	18.8	18.8	12.5	6.3	6.3	6.3	6.3	-	-	43.8	-
新町地区	4	25.0	25.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-
西富田地区	8	12.5	50.0	37.5	12.5	-	12.5	-	12.5	12.5	-	-	37.5	-
東富田地区	18	38.9	27.8	44.4	33.3	16.7	22.2	27.8	11.1	16.7	5.6	-	27.8	-
昭和地区	35	34.3	22.9	22.9	14.3	14.3	17.1	8.6	11.4	5.7	-	2.9	40.0	-
渭東地区	74	35.1	32.4	25.7	25.7	16.2	13.5	12.2	21.6	12.2	2.7	-	33.8	-
渭北地区	63	33.3	27.0	19.0	14.3	9.5	17.5	7.9	14.3	3.2	6.3	-	33.3	1.6
佐古地区	41	36.6	29.3	19.5	19.5	34.1	19.5	7.3	12.2	9.8	9.8	-	34.1	7.3
沖洲地区	33	24.2	33.3	21.2	12.1	15.2	6.1	18.2	6.1	6.1	6.1	-	39.4	9.1
津田地区	50	34.0	28.0	20.0	12.0	14.0	14.0	6.0	12.0	10.0	4.0	4.0	32.0	-
加茂名地区	67	32.8	32.8	23.9	17.9	9.0	16.4	19.4	7.5	4.5	9.0	3.0	29.9	1.5
加茂地区	59	30.5	25.4	27.1	11.9	23.7	18.6	11.9	8.5	5.1	8.5	1.7	37.3	1.7
八万地区	97	30.9	21.6	26.8	16.5	10.3	13.4	8.2	7.2	7.2	4.1	-	38.1	2.1
勝占地区	47	36.2	38.3	27.7	14.9	25.5	19.1	17.0	10.6	2.1	17.0	-	17.0	-
多家良地区	23	26.1	34.8	8.7	17.4	13.0	8.7	8.7	4.3	4.3	21.7	-	47.8	-
上八万地区	31	32.3	16.1	22.6	9.7	12.9	6.5	9.7	12.9	3.2	6.5	-	48.4	3.2
入田地区	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
不動地区	4	25.0	25.0	-	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0	-
川内地区	53	35.8	18.9	22.6	26.4	15.1	17.0	7.5	9.4	9.4	5.7	-	32.1	1.9
応神地区	18	16.7	33.3	11.1	27.8	11.1	5.6	16.7	11.1	11.1	16.7	11.1	38.9	-
国府地区	58	25.9	13.8	17.2	19.0	10.3	15.5	8.6	10.3	8.6	6.9	1.7	43.1	-
南井上地区	10	50.0	20.0	30.0	20.0	30.0	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	40.0	-
北井上地区	5	40.0	40.0	60.0	20.0	-	-	20.0	-	-	20.0	-	20.0	-

2 福祉についての相談窓口

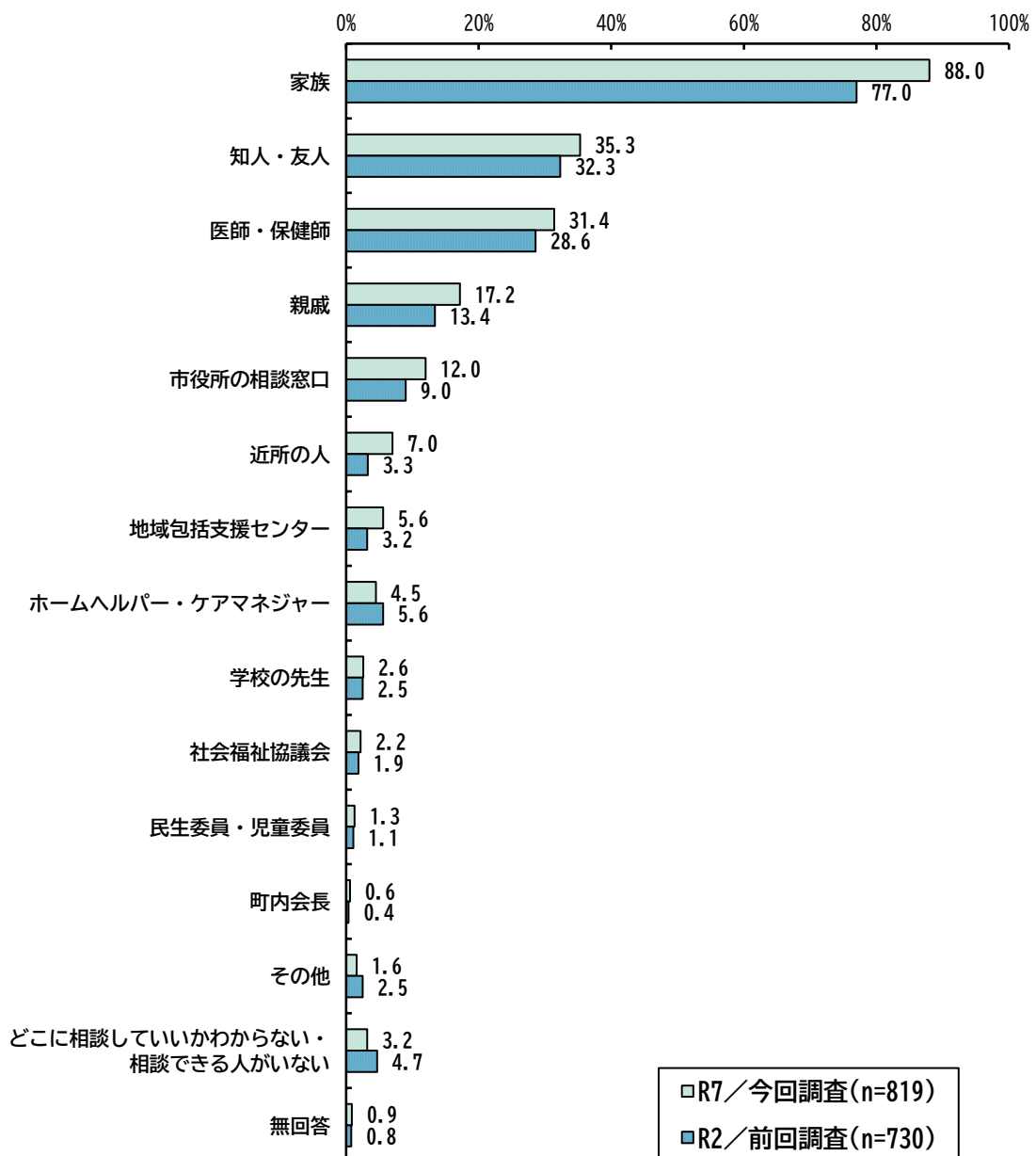
問 18 日常生活や医療・福祉のことで困ったとき、誰に相談しますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

日常生活や医療・福祉のことで困ったときの相談相手を見ると、「家族」が 88.0%と最も高く、次いで「知人・友人」が 35.3%、「医師・保健師」が 31.4%と続いています。

前回調査と比較すると、「家族」が 11.0 ポイント増加しています。

図表 48 日常生活や医療・福祉のことで困ったときの相談相手（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

地区別にみると、いずれの地区も「家族」が最も高くなっています。

図表 49 日常生活や医療・福祉のことで困ったときの相談相手（全体、地区別／複数回答）

	全体	家族	知人・友人	医師・保健師	親戚	市役所の相談窓口	近所の人	地域包括支援センター	ホームヘルパー・ケアマネジャー	学校の先生	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	町内会長	その他	どこに相談していいかわからない・相談できる人がいない	無回答
全体	819	88.0	35.3	31.4	17.2	12.0	7.0	5.6	4.5	2.6	2.2	1.3	0.6	1.6	3.2	0.9
内町地区	16	81.3	12.5	31.3	25.0	18.8	-	6.3	6.3	6.3	6.3	-	-	12.5	-	-
新町地区	4	100.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西富田地区	8	62.5	25.0	37.5	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	12.5	12.5	-
東富田地区	18	77.8	33.3	22.2	5.6	-	5.6	-	16.7	-	-	-	-	-	11.1	-
昭和地区	35	94.3	40.0	31.4	22.9	14.3	5.7	8.6	2.9	-	5.7	-	-	-	-	-
渭東地区	74	87.8	29.7	29.7	12.2	12.2	4.1	2.7	4.1	1.4	2.7	1.4	1.4	1.4	4.1	-
渭北地区	63	79.4	38.1	34.9	12.7	15.9	9.5	6.3	6.3	1.6	1.6	1.6	1.6	3.2	3.2	-
佐古地区	41	92.7	43.9	34.1	31.7	26.8	7.3	7.3	4.9	4.9	-	-	-	-	2.4	4.9
沖洲地区	33	90.9	39.4	21.2	24.2	6.1	-	-	3.0	-	-	-	-	-	3.0	3.0
津田地区	50	90.0	30.0	30.0	24.0	8.0	6.0	6.0	2.0	4.0	2.0	2.0	-	-	2.0	-
加茂名地区	67	88.1	31.3	23.9	23.9	9.0	4.5	9.0	4.5	6.0	3.0	4.5	-	-	4.5	1.5
加茂地区	59	88.1	45.8	25.4	6.8	10.2	-	3.4	5.1	1.7	-	-	-	-	3.4	1.7
八万地区	97	89.7	32.0	26.8	16.5	11.3	8.2	8.2	2.1	3.1	3.1	1.0	2.1	2.1	3.1	2.1
勝占地区	47	89.4	31.9	44.7	14.9	14.9	12.8	10.6	4.3	-	2.1	-	-	-	6.4	-
多家良地区	23	82.6	39.1	43.5	8.7	17.4	13.0	4.3	13.0	-	8.7	-	-	4.3	4.3	-
上八万地区	31	87.1	32.3	29.0	19.4	6.5	3.2	9.7	6.5	-	3.2	-	-	9.7	-	-
入田地区	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不動地区	4	100.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川内地区	53	88.7	35.8	30.2	24.5	9.4	7.5	1.9	1.9	3.8	-	1.9	-	-	-	-
応神地区	18	94.4	22.2	33.3	5.6	11.1	5.6	5.6	16.7	5.6	5.6	11.1	5.6	-	-	-
国府地区	58	93.1	44.8	41.4	19.0	13.8	15.5	3.4	1.7	5.2	1.7	1.7	-	1.7	3.4	-
南井上地区	10	90.0	40.0	50.0	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-
北井上地区	5	80.0	60.0	40.0	-	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 19 市役所の相談窓口や社会福祉協議会、地域の民生委員・児童委員、地域包括支援センター等において福祉相談に対応しています。あなたは、現在の相談支援体制は十分だと思いますか。
【一つだけに○】

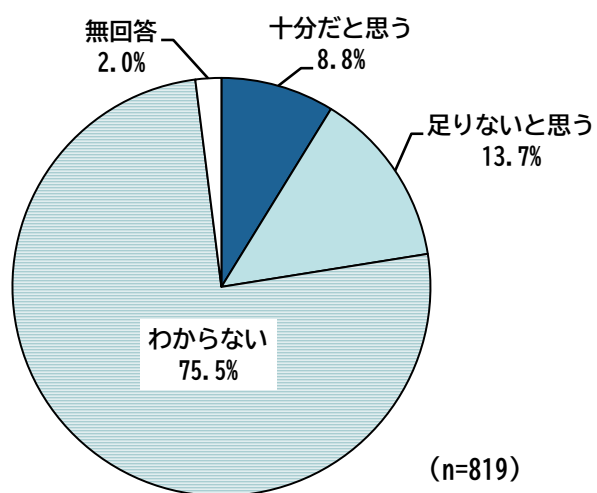
【全体の傾向】

日現在の相談支援体制は十分だと思うかをみると、「わからない」が 75.5%と最も高く、次いで「足りないと思う」が 13.7%、「十分だと思う」が 8.8%と続いています。

【属性別の傾向】

地区別にみると、いずれの地区も「わからない」が最も高くなっています。

図表 50 現在の相談支援体制は十分だと思うか（全体）



図表 51 現在の相談支援体制は十分だと思うか（全体、地区別）

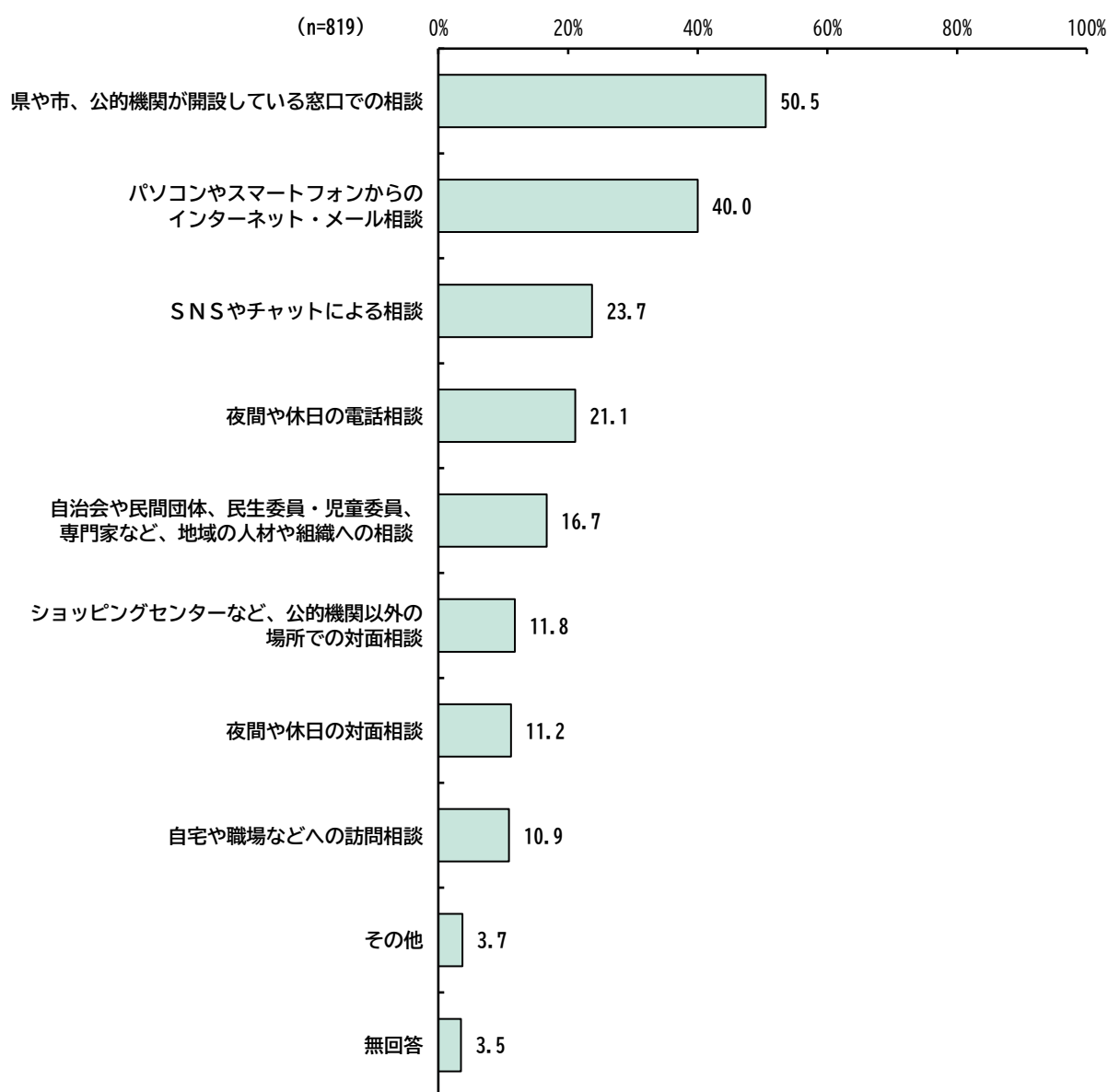
	全体	十分だと思う	足りないと思う	わからない	無回答
全体	819	8.8	13.7	75.6	2.0
内町地区	16	-	6.3	93.8	-
新町地区	4	-	25.0	75.0	-
西富田地区	8	12.5	12.5	75.0	-
東富田地区	18	11.1	22.2	61.1	5.6
昭和地区	35	14.3	-	85.7	-
渭東地区	74	2.7	12.2	85.1	-
渭北地区	63	11.1	9.5	79.4	-
佐古地区	41	14.6	22.0	56.1	7.3
沖洲地区	33	9.1	9.1	78.8	3.0
津田地区	50	18.0	12.0	70.0	-
加茂名地区	67	9.0	22.4	65.7	3.0
加茂地区	59	8.5	15.3	74.6	1.7
八万地区	97	7.2	11.3	77.3	4.1
勝占地区	47	4.3	21.3	74.5	-
多家良地区	23	4.3	17.4	73.9	4.3
上八万地区	31	9.7	3.2	87.1	-
入田地区	2	-	-	100.0	-
不動地区	4	-	25.0	75.0	-
川内地区	53	5.7	9.4	81.1	3.8
応神地区	18	-	22.2	72.2	5.6
国府地区	58	15.5	17.2	67.2	-
南井上地区	10	10.0	-	90.0	-
北井上地区	5	-	20.0	80.0	-

問 20 あなたは悩みや不安について、どのような方法で相談できるとよいと思いますか。
【三つまで〇】

【全体の傾向】

悩みや不安について、どのような方法で相談できるとよいかをみると、「県や市、公的機関が開設している窓口での相談」が50.5%と最も高く、次いで「パソコンやスマートフォンからのインターネット・メール相談」が40.0%、「SNSやチャットによる相談」が23.7%と続いています。

図表 52 望む相談方法（全体／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、15～40歳代では「パソコンやスマートフォンからのインターネット・メール相談」、50歳代以上では「県や市、公的機関が開設している窓口での相談」が最も高くなっています。

地区別にみると、ほとんどの地区で「県や市、公的機関が開設している窓口での相談」が最も高くなっていますが、新町、西富田、入田、応神、南井上地区では「パソコンやスマートフォンからのインターネット・メール相談」が最も高くなっています。

図表 53 望む相談方法（全体、年齢別／複数回答）

	全体	県や市、公的機関が開設している窓口での相談	パソコンやスマートフォンからの相談	SNSやチャットによる相談	夜間や休日の電話相談	人材 児童委員会、民間団体、民生委員・	自治会や民間団体、民生委員・	的機関以外の場所での対面相談	シヨッピングセンターなど、公	夜間や休日の対面相談	自宅や職場などへの訪問相談	その他	無回答
全体	819	50.5	40.0	23.7	21.1	16.7	11.8	11.2	10.9	3.7	3.5		
15～20歳代	165	26.7	61.8	53.3	22.4	7.9	6.7	11.5	7.3	1.8	1.2		
30歳代	86	45.3	53.5	47.7	17.4	11.6	14.0	14.0	11.6	2.3	-		
40歳代	105	44.8	51.4	32.4	20.0	18.1	18.1	13.3	11.4	1.9	1.9		
50歳代	109	58.7	56.9	18.3	25.7	21.1	14.7	14.7	7.3	1.8	0.9		
60歳代	112	58.9	30.4	6.3	21.4	20.5	16.1	9.8	12.5	3.6	3.6		
70歳代以上	237	63.7	12.7	1.7	20.3	19.8	8.0	8.4	13.9	7.2	8.0		

図表 54 望む相談方法（全体、地区別／複数回答）

	全体	県や市、公的機関が開設している窓口での相談	パソコンやスマートフォン・メール相談	SNSやチャットによる相談	夜間や休日の電話相談	人材 児童委員、専門家など、地域の	自治会や民間団体、民生委員・	的機関以外の場所での対面相談	シヨッピングセンターなど、公	夜間や休日の対面相談	自宅や職場などへの訪問相談	その他	無回答
全体	819	50.5	40.0	23.7	21.1	16.7	11.8	11.2	10.9	3.7	3.5		
内町地区	16	68.8	31.3	12.5	12.5	6.3	12.5	12.5	6.3	-	-		
新町地区	4	50.0	75.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-		
西富田地区	8	12.5	62.5	50.0	12.5	-	12.5	-	-	12.5	12.5		
東富田地区	18	72.2	38.9	11.1	27.8	27.8	22.2	16.7	16.7	5.6	-		
昭和地区	35	54.3	42.9	25.7	11.4	31.4	14.3	8.6	8.6	-	5.7		
渭東地区	74	52.7	43.2	21.6	23.0	17.6	10.8	13.5	12.2	4.1	-		
渭北地区	63	50.8	47.6	30.2	22.2	20.6	9.5	6.3	4.8	3.2	-		
佐古地区	41	46.3	43.9	17.1	24.4	14.6	17.1	7.3	7.3	7.3	9.8		
沖洲地区	33	42.4	39.4	24.2	18.2	18.2	18.2	3.0	12.1	9.1	9.1		
津田地区	50	54.0	42.0	28.0	16.0	18.0	8.0	6.0	14.0	-	6.0		
加茂名地区	67	52.2	41.8	32.8	28.4	14.9	7.5	16.4	17.9	-	3.0		
加茂地区	59	49.2	45.8	32.2	22.0	11.9	10.2	8.5	10.2	1.7	1.7		
八万地区	97	47.4	39.2	24.7	26.8	18.6	13.4	14.4	11.3	4.1	2.1		
勝占地区	47	57.4	27.7	19.1	23.4	17.0	14.9	12.8	10.6	2.1	2.1		
多家良地区	23	47.8	39.1	8.7	30.4	13.0	8.7	17.4	8.7	13.0	-		
上八万地区	31	41.9	32.3	16.1	12.9	9.7	6.5	6.5	16.1	3.2	12.9		
入田地区	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-		
不動地区	4	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	25.0	-		
川内地区	53	50.9	35.8	17.0	13.2	20.8	11.3	17.0	11.3	3.8	3.8		
応神地区	18	44.4	50.0	22.2	16.7	11.1	11.1	16.7	11.1	-	-		
国府地区	58	50.0	32.8	24.1	19.0	13.8	13.8	10.3	6.9	5.2	6.9		
南井上地区	10	50.0	50.0	20.0	30.0	10.0	20.0	20.0	10.0	-	-		
北井上地区	5	40.0	-	-	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-		

3 福祉情報について

問 21 あなたは、自分に必要な福祉の情報を入手できていると思いますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

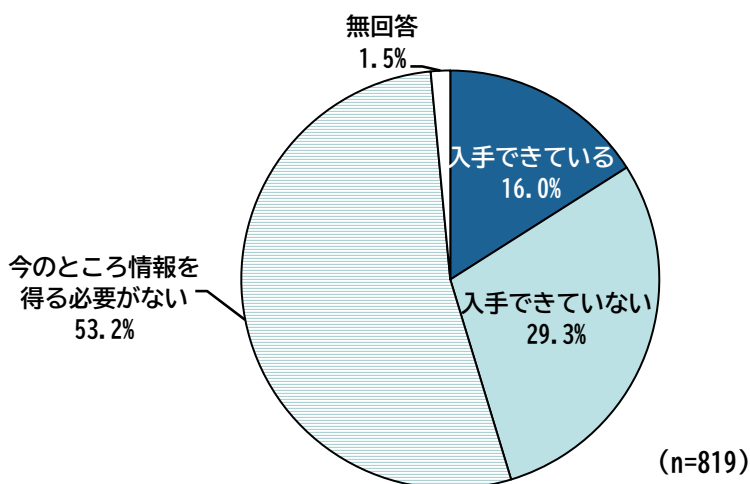
必要な福祉の情報を入手できているかをみると、「今のところ情報を得る必要がない」が 53.2%と最も高く、次いで「入手できていない」が 29.3%、「入手できている」が 16.0%と続いています。

【属性別の傾向】

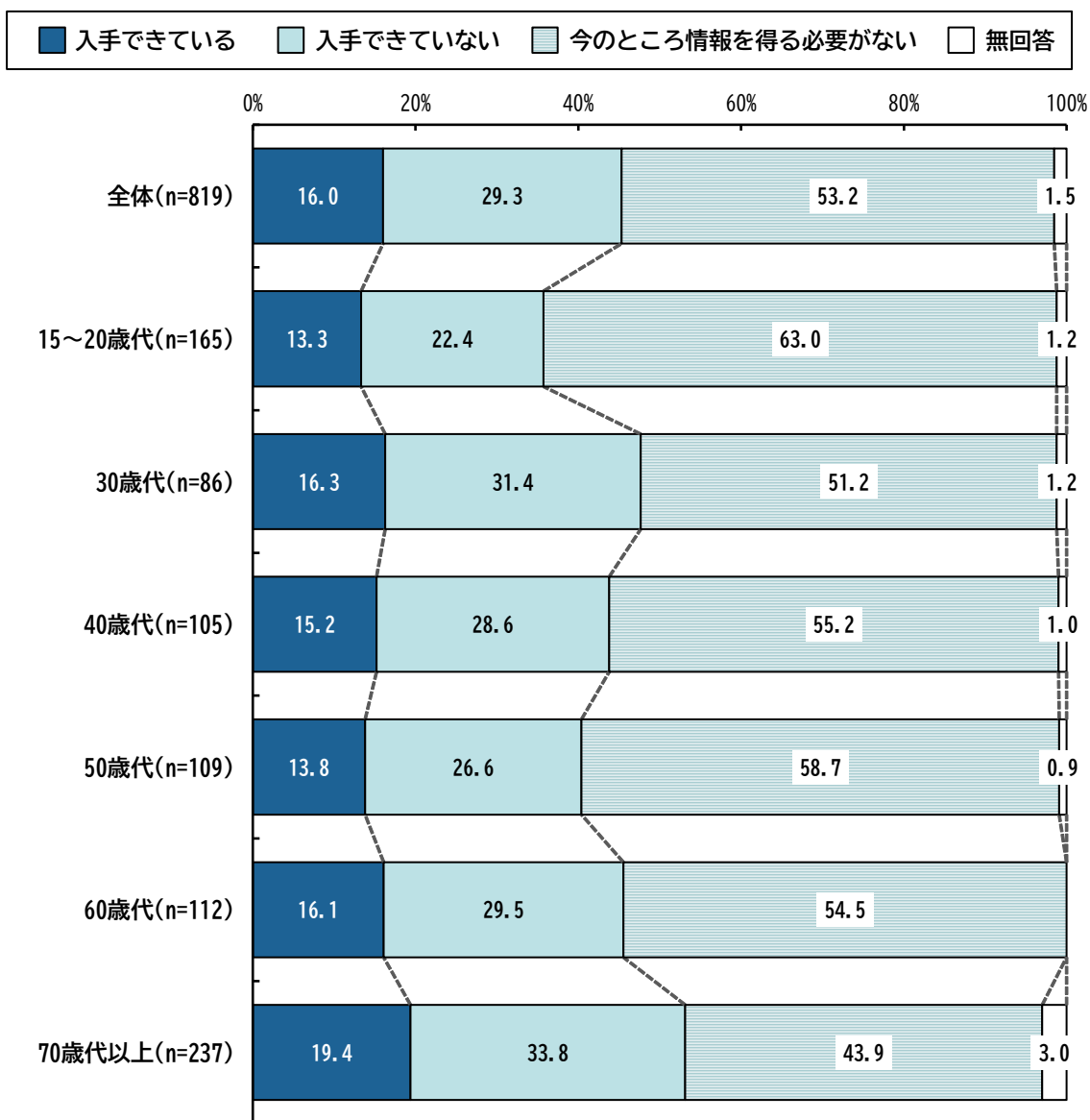
年齢別にみると、「入手できている」割合は 70 歳代以上が最も高くなっていますが、「入手できていない」割合も 70 歳代以上が最も高くなっています。また、いずれの年齢においても「入手できている」割合は 2 割未満となっています。

地区別にみると、東富田、沖洲地区では「入手できていない」割合が最も高くなっています。

図表 55 必要な福祉の情報を入手できているか（全体）



図表 56 必要な福祉の情報を入手できているか（全体、年齢別）



図表 57 必要な福祉の情報を入手できているか（全体、地区別）

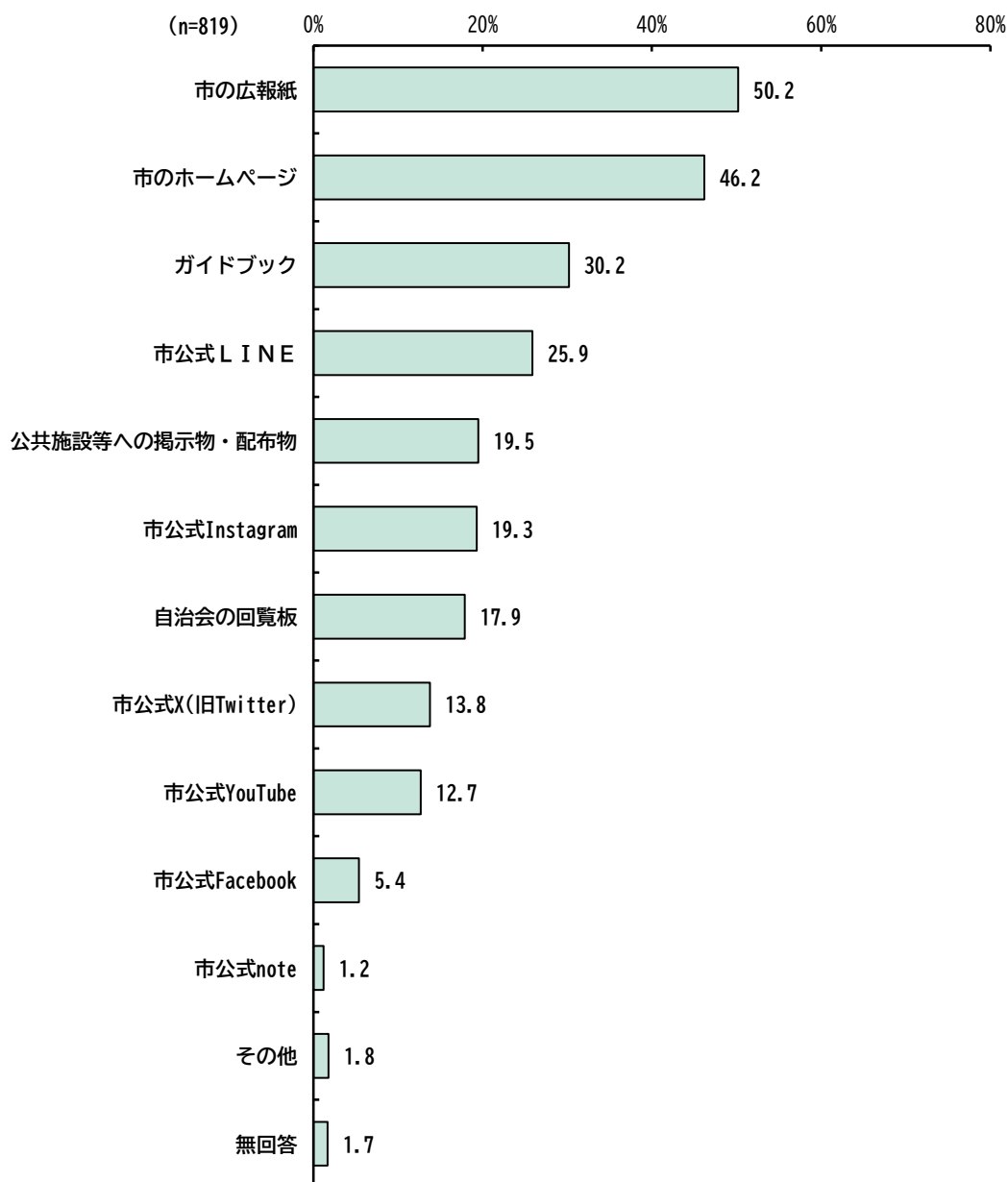
	全体	入手できている	入手できていない	今のところ情報を得る必要がない	無回答
全体	819	16.0	29.3	53.2	1.5
内町地区	16	18.8	12.5	68.8	-
新町地区	4	-	-	100.0	-
西富田地区	8	25.0	25.0	50.0	-
東富田地区	18	33.3	44.4	22.2	-
昭和地区	35	25.7	22.9	51.4	-
渭東地区	74	1.4	35.1	63.5	-
渭北地区	63	22.2	23.8	54.0	-
佐古地区	41	17.1	34.1	43.9	4.9
沖洲地区	33	18.2	39.4	39.4	3.0
津田地区	50	14.0	36.0	48.0	2.0
加茂名地区	67	20.9	22.4	55.2	1.5
加茂地区	59	20.3	15.3	59.3	5.1
八万地区	97	17.5	33.0	47.4	2.1
勝占地区	47	8.5	38.3	51.1	2.1
多家良地区	23	17.4	26.1	56.5	-
上八万地区	31	19.4	32.3	48.4	-
入田地区	2	-	-	100.0	-
不動地区	4	25.0	-	75.0	-
川内地区	53	13.2	30.2	56.6	-
応神地区	18	5.6	33.3	61.1	-
国府地区	58	15.5	31.0	51.7	1.7
南井上地区	10	10.0	10.0	80.0	-
北井上地区	5	-	-	100.0	-

問 22 市の福祉情報は、どのように発信されると接しやすいと思いますか（どこから入手したいですか）。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

接しやすいと思う福祉情報の入手先をみると、「市の広報紙」が 50.2%と最も高く、次いで「市のホームページ」が 46.2%、「ガイドブック」が 30.2%と続いています。

図表 58 接しやすいと思う福祉情報の入手先（全体／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、15～50歳代は「市のホームページ」、60歳以上では「市の広報紙」が最も高くなっています。

地区別にみると、ほとんどの地区で「市の広報紙」もしくは「市のホームページ」が主な情報の入手先となっていますが、新町地区では「市公式LINE」、南井上地区では「ガイドブック」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 59 接しやすいと思う福祉情報の入手先（全体、年齢別／複数回答）

	全体	市の広報紙	市のホームページ	ガイドブック	市公式LINE	公共施設等への掲示物・配布物	市公式Instagram	自治会の回覧板	市公式X（旧Twitter）	市公式YouTube	市公式Facebook	市公式note	その他	無回答
全体	819	50.2	46.2	30.2	25.9	19.5	19.3	17.9	13.8	12.7	5.4	1.2	1.8	1.7
15～20歳代	165	18.8	51.5	16.4	40.6	16.4	41.8	8.5	30.9	27.3	7.9	3.6	0.6	0.0
30歳代	86	34.9	53.5	30.2	36.0	25.6	37.2	2.3	24.4	16.3	8.1	0.0	4.7	1.2
40歳代	105	30.5	53.3	29.5	40.0	26.7	24.8	14.3	16.2	11.4	9.5	1.9	2.9	1.9
50歳代	109	53.2	61.5	33.9	35.8	18.3	22.0	12.8	12.8	15.6	8.3	0.9	3.7	1.8
60歳代	112	65.2	50.9	36.6	15.2	18.8	2.7	22.3	6.3	8.9	2.7	0.0	0.9	0.9
70歳代以上	237	78.1	27.8	35.0	6.3	16.9	1.3	30.8	0.8	2.5	0.8	0.4	0.8	3.0

図表 60 接しやすいと思う福祉情報の入手先（全体、地区別／複数回答）

	全体	市の広報紙	市のホームページ	ガイドブック	市公式LINE	公共施設等への掲示物・配布物	市公式Instagram	自治会の回覧板	市公式X（旧Twitter）	市公式YouTube	市公式Facebook	市公式note	その他	無回答
全体	819	50.2	46.2	30.2	25.9	19.5	19.3	17.9	13.8	12.7	5.4	1.2	1.8	1.7
内町地区	16	62.5	50.0	25.0	18.8	12.5	6.3	-	-	12.5	-	-	-	-
新町地区	4	25.0	25.0	25.0	75.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-
西富田地区	8	37.5	62.5	12.5	12.5	12.5	25.0	-	25.0	12.5	12.5	-	-	12.5
東富田地区	18	77.8	44.4	27.8	22.2	27.8	11.1	27.8	11.1	11.1	5.6	-	5.6	-
昭和地区	35	54.3	51.4	48.6	22.9	20.0	20.0	25.7	11.4	17.1	2.9	-	-	2.9
渭東地区	74	54.1	60.8	33.8	28.4	17.6	21.6	13.5	14.9	13.5	5.4	-	2.7	1.4
渭北地区	63	42.9	49.2	28.6	28.6	17.5	22.2	20.6	17.5	17.5	6.3	4.8	6.3	1.6
佐古地区	41	56.1	65.9	26.8	22.0	17.1	14.6	12.2	17.1	14.6	4.9	2.4	-	2.4
沖洲地区	33	60.6	45.5	15.2	30.3	12.1	21.2	12.1	12.1	6.1	6.1	-	3.0	-
津田地区	50	46.0	46.0	30.0	26.0	14.0	16.0	10.0	14.0	14.0	6.0	-	-	2.0
加茂名地区	67	49.3	44.8	41.8	23.9	29.9	19.4	17.9	14.9	13.4	9.0	3.0	3.0	1.5
加茂地区	59	30.5	35.6	25.4	30.5	13.6	27.1	8.5	13.6	16.9	-	1.7	3.4	1.7
八万地区	97	52.6	39.2	19.6	29.9	14.4	23.7	25.8	10.3	10.3	4.1	1.0	2.1	1.0
勝占地区	47	57.4	38.3	40.4	29.8	31.9	25.5	21.3	14.9	8.5	8.5	2.1	-	-
多家良地区	23	69.6	52.2	43.5	8.7	39.1	-	30.4	-	8.7	4.3	-	-	-
上八万地区	31	45.2	38.7	35.5	22.6	29.0	16.1	25.8	12.9	9.7	6.5	3.2	-	3.2
入田地区	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
不動地区	4	50.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
川内地区	53	45.3	41.5	30.2	24.5	15.1	17.0	17.0	18.9	15.1	5.7	-	1.9	1.9
応神地区	18	61.1	44.4	16.7	27.8	16.7	5.6	27.8	5.6	5.6	-	-	-	-
国府地区	58	48.3	46.6	27.6	24.1	19.0	17.2	12.1	19.0	8.6	10.3	-	-	5.2
南井上地区	10	30.0	30.0	50.0	40.0	10.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-
北井上地区	5	60.0	40.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-

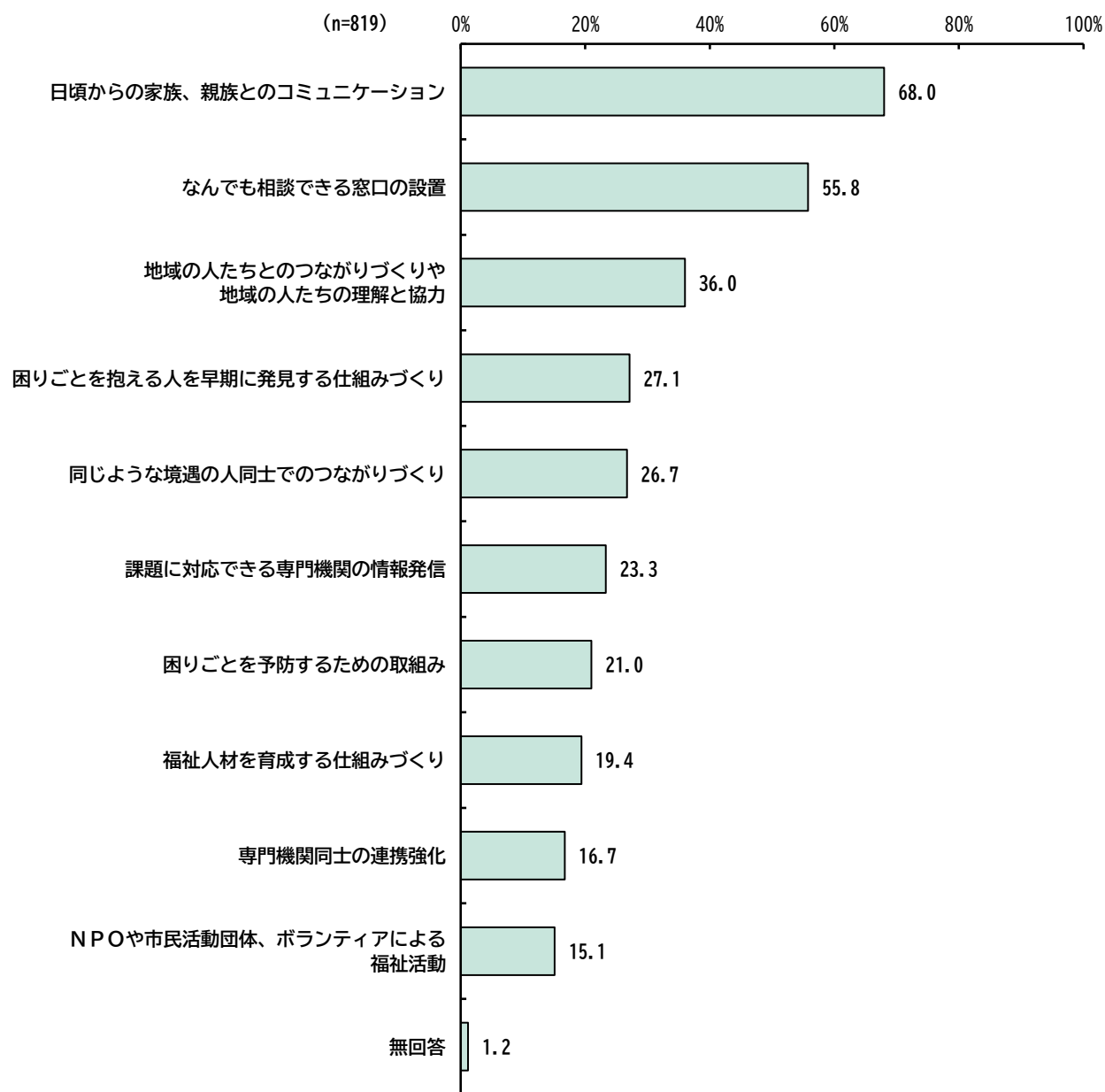
4 必要だと思う支援

問 23 生活上の困りごとを抱える人を支援するために、あなたが必要と思うものは何ですか。
【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

生活上の困りごとを抱える人の支援で、あなたが必要と思うものをみると、「日頃からの家族、親族とのコミュニケーション」が 68.0%と最も高く、次いで「なんでも相談できる窓口の設置」が 55.8%、「地域の人たちとのつながりづくりや地域の人たちの理解と協力」が 36.0%と続いています。

図表 61 必要だと思う支援（全体／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、60歳代では「なんでも相談できる窓口の設置」が最も高くなっています。

地区別にみると、ほとんどの地区で「日頃からの家族、親族とのコミュニケーション」もしくは「なんでも相談できる窓口の設置」が最も高くなっていますが、多家良地区では「地域の人たちとのつながりづくりや地域の人たちの理解と協力」が最も高くなっています。

図表 62 必要だと思う支援（全体、年齢別／複数回答）

	全体	日頃からの家族、親族とのコミュニケーション	なんでも相談できる窓口の設置	地域の人たちとのつながりづくりや地域の人たちの理解と協力	見たりごを抱える人を早期に発見する仕組みづくり	同じような境遇の人同士でのつながりづくり	課題に対応できる専門機関の情報発信	み	困りごとを予防するための取り組み	福祉人材を育成する仕組みづくり	専門機関同士の連携強化	NPOや市民活動団体、ボランティアによる福祉活動	無回答
全体	819	68.0	55.8	36.0	27.1	26.7	23.3	21.0	19.4	16.7	15.1	1.2	
15～20歳代	165	76.4	44.2	32.1	26.7	31.5	15.2	28.5	15.8	15.2	13.3	0.6	
30歳代	86	73.3	55.8	25.6	27.9	37.2	25.6	25.6	19.8	22.1	16.3	-	
40歳代	105	61.9	55.2	33.3	29.5	31.4	28.6	25.7	21.9	24.8	11.4	1.0	
50歳代	109	67.0	59.6	38.5	33.0	28.4	32.1	23.9	27.5	25.7	24.8	1.8	
60歳代	112	59.8	70.5	42.0	26.8	27.7	31.3	22.3	17.0	16.1	15.2	0.9	
70歳代以上	237	67.9	54.4	39.2	23.2	16.9	17.7	10.5	17.7	8.4	12.7	2.1	

図表 63 必要だと思う支援（全体、地区別／複数回答）

	全体	日頃からの家族、親族とのコミュニケーション	なんでも相談できる窓口の設置	地域の人たちとのつながりづくりや地域の人たちの理解と協力	困りごとを抱える人を早期に見出す仕組みづくり	同じような境遇の人同士でのつながりづくり	課題に対応できる専門機関の情報発信	困りごとを予防するための取り組み	福祉人材を育成する仕組みづくり	専門機関同士の連携強化	NPOや市民活動団体、ボランティアによる福祉活動	無回答
全体	819	68.0	55.8	36.0	27.1	26.7	23.3	21.0	19.4	16.7	15.1	1.2
内町地区	16	56.3	43.8	37.5	43.8	18.8	37.5	18.8	31.3	12.5	6.3	-
新町地区	4	50.0	50.0	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-
西富田地区	8	62.5	50.0	25.0	-	-	-	12.5	-	-	12.5	-
東富田地区	18	61.1	72.2	66.7	22.2	27.8	27.8	27.8	27.8	5.6	22.2	-
昭和地区	35	82.9	62.9	51.4	28.6	20.0	14.3	22.9	20.0	11.4	14.3	-
渭東地区	74	73.0	64.9	27.0	24.3	29.7	29.7	25.7	17.6	16.2	14.9	2.7
渭北地区	63	63.5	63.5	38.1	31.7	23.8	23.8	17.5	17.5	14.3	17.5	3.2
佐古地区	41	63.4	65.9	31.7	22.0	31.7	41.5	24.4	24.4	31.7	22.0	4.9
沖洲地区	33	72.7	48.5	33.3	18.2	21.2	15.2	12.1	15.2	12.1	12.1	-
津田地区	50	66.0	58.0	36.0	28.0	24.0	20.0	26.0	14.0	10.0	14.0	-
加茂名地区	67	71.6	61.2	38.8	34.3	35.8	25.4	25.4	20.9	20.9	14.9	1.5
加茂地区	59	64.4	42.4	30.5	33.9	33.9	23.7	35.6	18.6	25.4	11.9	-
八万地区	97	74.2	54.6	36.1	22.7	23.7	22.7	17.5	20.6	20.6	9.3	1.0
勝占地区	47	72.3	55.3	46.8	34.0	25.5	27.7	21.3	25.5	14.9	21.3	-
多家良地区	23	56.5	47.8	65.2	26.1	30.4	21.7	4.3	17.4	13.0	17.4	-
上八万地区	31	64.5	58.1	35.5	22.6	35.5	25.8	16.1	25.8	16.1	16.1	-
入田地区	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
不動地区	4	50.0	50.0	25.0	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-
川内地区	53	66.0	49.1	30.2	35.8	28.3	17.0	20.8	24.5	15.1	22.6	-
応神地区	18	77.8	55.6	22.2	5.6	16.7	5.6	-	5.6	11.1	16.7	-
国府地区	58	60.3	44.8	24.1	20.7	25.9	22.4	19.0	13.8	12.1	15.5	3.4
南井上地区	10	100.0	70.0	60.0	50.0	20.0	20.0	40.0	20.0	30.0	10.0	-
北井上地区	5	60.0	-	40.0	20.0	40.0	-	-	20.0	20.0	-	-

5 福祉サービスについて

問 24 現在、行政が行っている福祉（高齢者、障害者（児）、子育て支援、低所得者に対する福祉など）サービスについて、あなたの考えに近いものはどれですか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

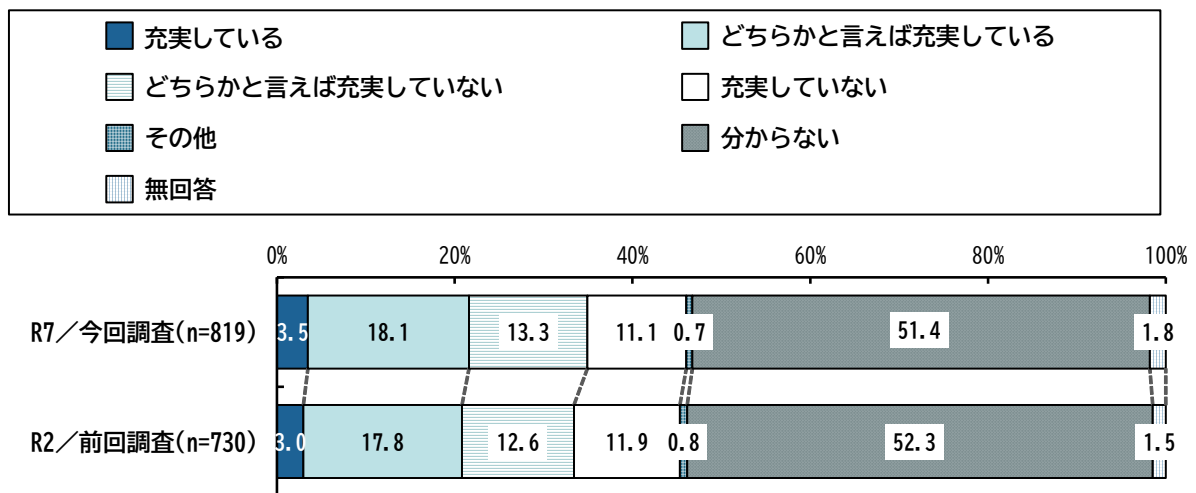
自身の福祉サービスに対する考えをみると、「分からない」が51.4%と半数以上を占めています。一方、「充実している」と「どちらかといえば充実している」を合計した『充実している』割合は21.6%、「どちらかといえば充実していない」と「充実していない」を合計した『充実していない』割合は24.4%となり、『充実していない』が『充実している』を上回っています。

前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。

【属性別の傾向】

地区別にみると、内町、新町、渭北、津田、川内、応神、国府地区では『充実している』割合が『充実していない』割合を上回っています。

図表 64 福祉サービスに対する考え（全体、前回比較）



図表 65 福祉サービスに対する考え（全体、地区別）

	全体	充実している	どちらかと言えば充実している	いどちらかと言えば充実していない	充実していない	その他	分からない	無回答	充実している（どちらかという）	充実していない（どちらかという）+ 充実している
全体	819	3.5	18.1	13.3	11.1	0.7	51.4	1.8	21.6	24.4
内町地区	16	-	31.3	-	-	6.3	62.5	-	31.3	0.0
新町地区	4	-	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	0.0
西富田地区	8	12.5	-	12.5	-	-	75.0	-	12.5	12.5
東富田地区	18	-	16.7	16.7	33.3	-	33.3	-	16.7	50.0
昭和地区	35	2.9	14.3	17.1	8.6	2.9	54.3	-	17.2	25.7
渭東地区	74	1.4	17.6	9.5	10.8	-	58.1	2.7	19.0	20.3
渭北地区	63	6.3	27.0	9.5	4.8	-	50.8	1.6	33.3	14.3
佐古地区	41	-	17.1	19.5	7.3	-	53.7	2.4	17.1	26.8
沖洲地区	33	-	6.1	21.2	9.1	-	63.6	-	6.1	30.3
津田地区	50	6.0	18.0	8.0	12.0	-	56.0	-	24.0	20.0
加茂名地区	67	7.5	13.4	14.9	14.9	3.0	44.8	1.5	20.9	29.8
加茂地区	59	3.4	22.0	20.3	10.2	-	42.4	1.7	25.4	30.5
八万地区	97	2.1	16.5	10.3	9.3	1.0	57.7	3.1	18.6	19.6
勝占地区	47	-	12.8	17.0	14.9	-	55.3	-	12.8	31.9
多家良地区	23	-	17.4	34.8	13.0	4.3	30.4	-	17.4	47.8
上八万地区	31	3.2	12.9	16.1	16.1	-	48.4	3.2	16.1	32.2
入田地区	2	-	-	50.0	-	-	50.0	-	0.0	50.0
不動地区	4	-	25.0	-	25.0	-	50.0	-	25.0	25.0
川内地区	53	7.5	17.0	5.7	11.3	-	52.8	5.7	24.5	17.0
応神地区	18	5.6	22.2	11.1	5.6	-	55.6	-	27.8	16.7
国府地区	58	6.9	25.9	10.3	10.3	-	44.8	1.7	32.8	20.6
南井上地区	10	-	30.0	20.0	30.0	-	20.0	-	30.0	50.0
北井上地区	5	-	20.0	-	20.0	-	60.0	-	20.0	20.0

問 24 で「どちらかといえば充実していない」「充実していない」を選択した方

問 24-1 具体的にどの分野で福祉サービスが充実していないと思いますか。

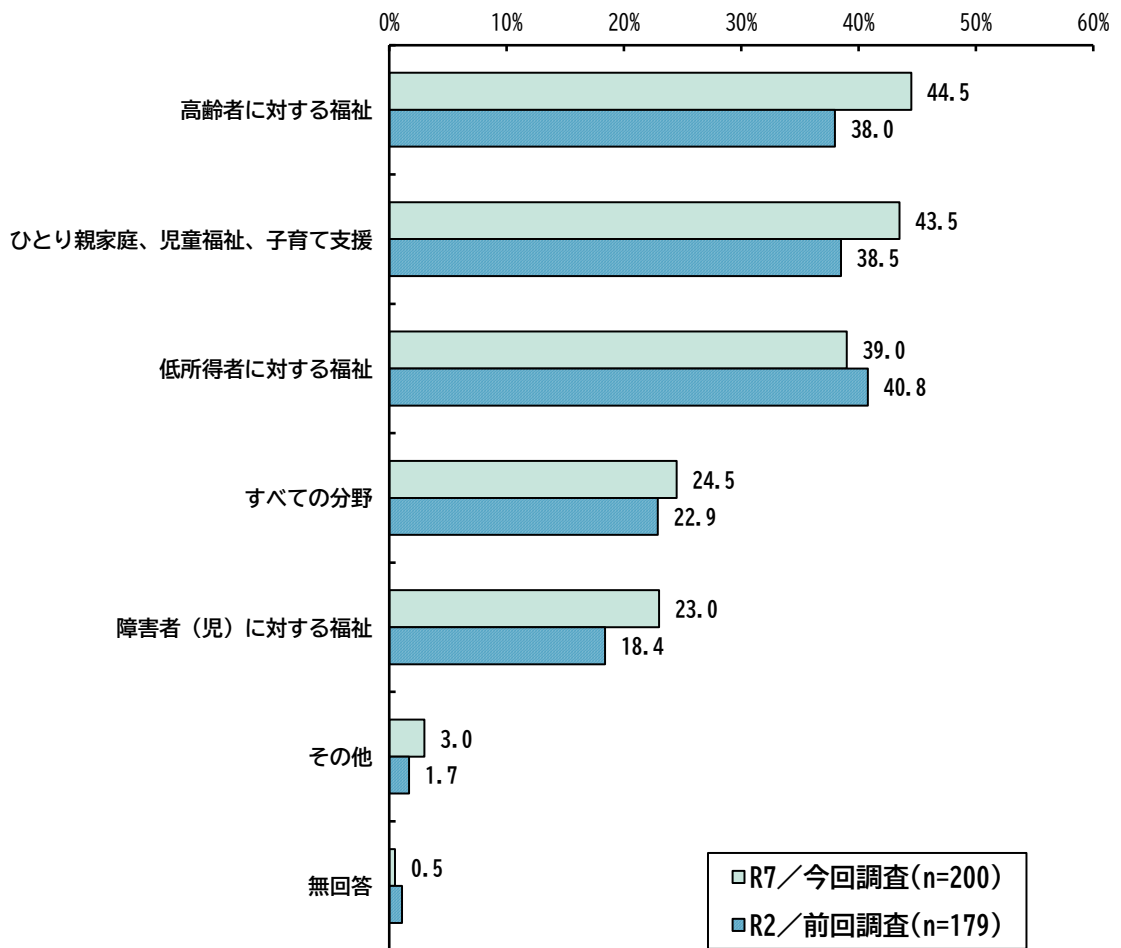
【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

充実していないと思う福祉サービスの分野をみると、「高齢者に対する福祉」が 44.5%と最も高く、次いで「ひとり親家庭、児童福祉、子育て支援」が 43.5%、「低所得者に対する福祉」が 39.0%と続いています。

前回調査と比較すると、「高齢者に対する福祉」が 6.5 ポイント増加しています。

図表 66 充実していないと思う福祉サービスの分野（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、15～40歳代では「ひとり親家庭、児童福祉、子育て支援」、50歳代以上では「高齢者に対する福祉」がそれぞれ最も高く、年齢によって充実していないと思うサービスに違いがみられます。

地区別にみると、東富田、渭東、渭北、加茂名、応神、南井上地区では「低所得者に対する福祉」が最も高くなっています。

図表 67 充実していないと思う福祉サービス（全体、年齢別／複数回答）

	全体	高齢者に対する福祉	ひとり親家庭、児童福祉、子育て支援	低所得者に対する福祉	すべての分野	障害者（児）に対する福祉	その他	無回答
全体	200	44.5	43.5	39.0	24.5	23.0	3.0	0.5
15～20歳代	34	20.6	61.8	29.4	32.4	17.6	2.9	-
30歳代	25	16.0	76.0	44.0	20.0	28.0	4.0	-
40歳代	23	17.4	56.5	30.4	26.1	26.1	-	-
50歳代	24	58.3	50.0	37.5	25.0	29.2	-	-
60歳代	29	62.1	24.1	44.8	24.1	31.0	3.4	-
70歳代以上	63	65.1	23.8	42.9	20.6	15.9	4.8	-

図表 68 充実していないと思う福祉サービス（全体、地区別／複数回答）

	全体	高齢者に対する福祉	ひとり親家庭、児童福祉、子育て支援	低所得者に対する福祉	すべての分野	障害者（児）に対する福祉	その他	無回答
全体	200	44.5	43.5	39.0	24.5	23.0	3.0	0.5
内町地区	-	-	-	-	-	-	-	-
新町地区	-	-	-	-	-	-	-	-
西富田地区	1	-	-	-	100.0	-	-	-
東富田地区	9	33.3	44.4	66.7	33.3	-	-	-
昭和地区	9	22.2	55.6	22.2	11.1	11.1	-	-
渭東地区	15	53.3	40.0	53.3	20.0	33.3	-	-
渭北地区	9	33.3	33.3	44.4	22.2	22.2	-	-
佐古地区	11	18.2	54.5	36.4	18.2	45.5	18.2	-
沖洲地区	10	70.0	50.0	40.0	-	40.0	-	-
津田地区	10	70.0	30.0	50.0	-	10.0	-	-
加茂名地区	20	35.0	50.0	50.0	30.0	25.0	5.0	-
加茂地区	18	44.4	61.1	27.8	27.8	33.3	5.6	-
八万地区	19	47.4	52.6	42.1	21.1	31.6	-	-
勝占地区	15	60.0	53.3	40.0	20.0	26.7	6.7	-
多家良地区	11	36.4	27.3	-	45.5	18.2	-	-
上八万地区	10	-	60.0	10.0	30.0	10.0	-	10.0
入田地区	1	-	-	-	100.0	-	-	-
不動地区	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-
川内地区	9	77.8	22.2	22.2	22.2	33.3	-	-
応神地区	3	100.0	-	100.0	33.3	-	-	-
国府地区	12	50.0	16.7	33.3	41.7	-	8.3	-
南井上地区	5	40.0	40.0	100.0	-	-	-	-
北井上地区	1	-	100.0	-	-	-	-	-

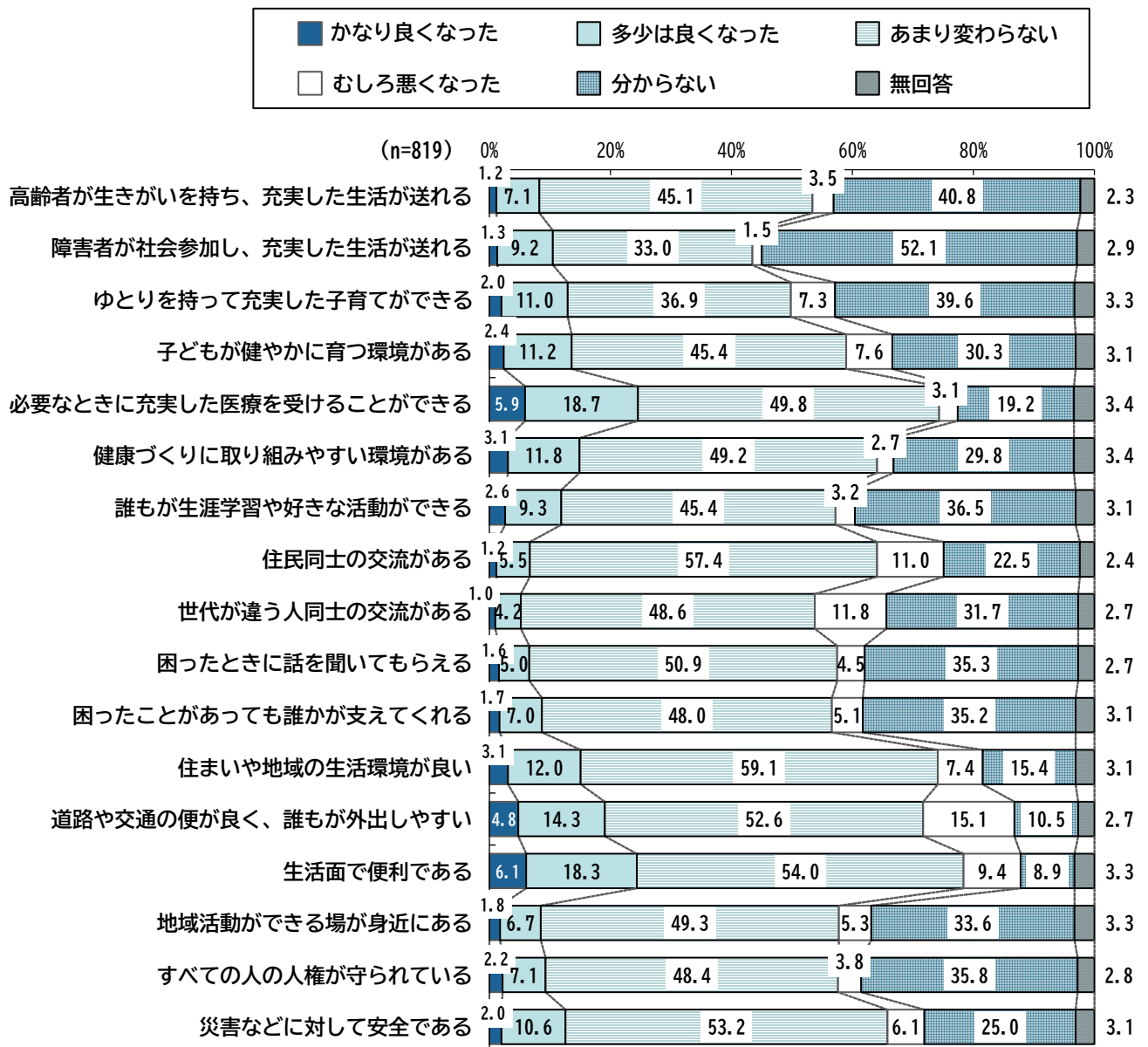
6 地域に関する環境の変化について

問 25 あなたのお住まいの地域に関する環境について、おおむね5年前と比べて次のことがどのように変わったと思いますか。【それぞれ一つだけに○】

【全体の傾向】

5年前と変化したことをみると、「かなり良くなった」と「多少は良くなった」を合計した『良くなった』割合が最も高いのは、“必要なときに充実した医療を受けることができる”（24.6%）、次いで“生活面で便利である”（24.4%）、“道路や交通の便が良く、誰もが外出しやすい”（19.1%）と続いています。

図表 69 地域に関する環境の変化について（全体）



【前回比較】

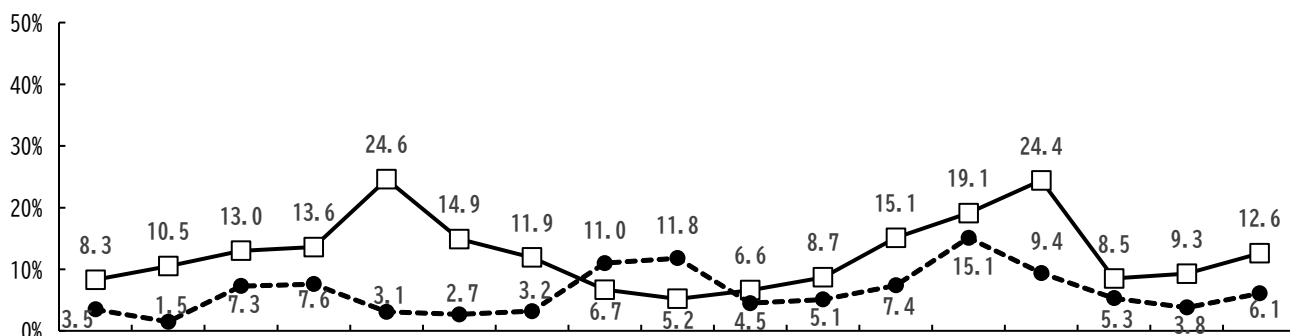
前回調査と比較すると、“道路や交通の便が良く、誰もが外出しやすい”について「良くなった」の割合が4.2ポイント減少しています。

図表 70 地域に関する環境の変化について（全体、前回比較）

※選択肢「かなりよくなった」と「多少は良くなった」を合計して「良くなった」としている。

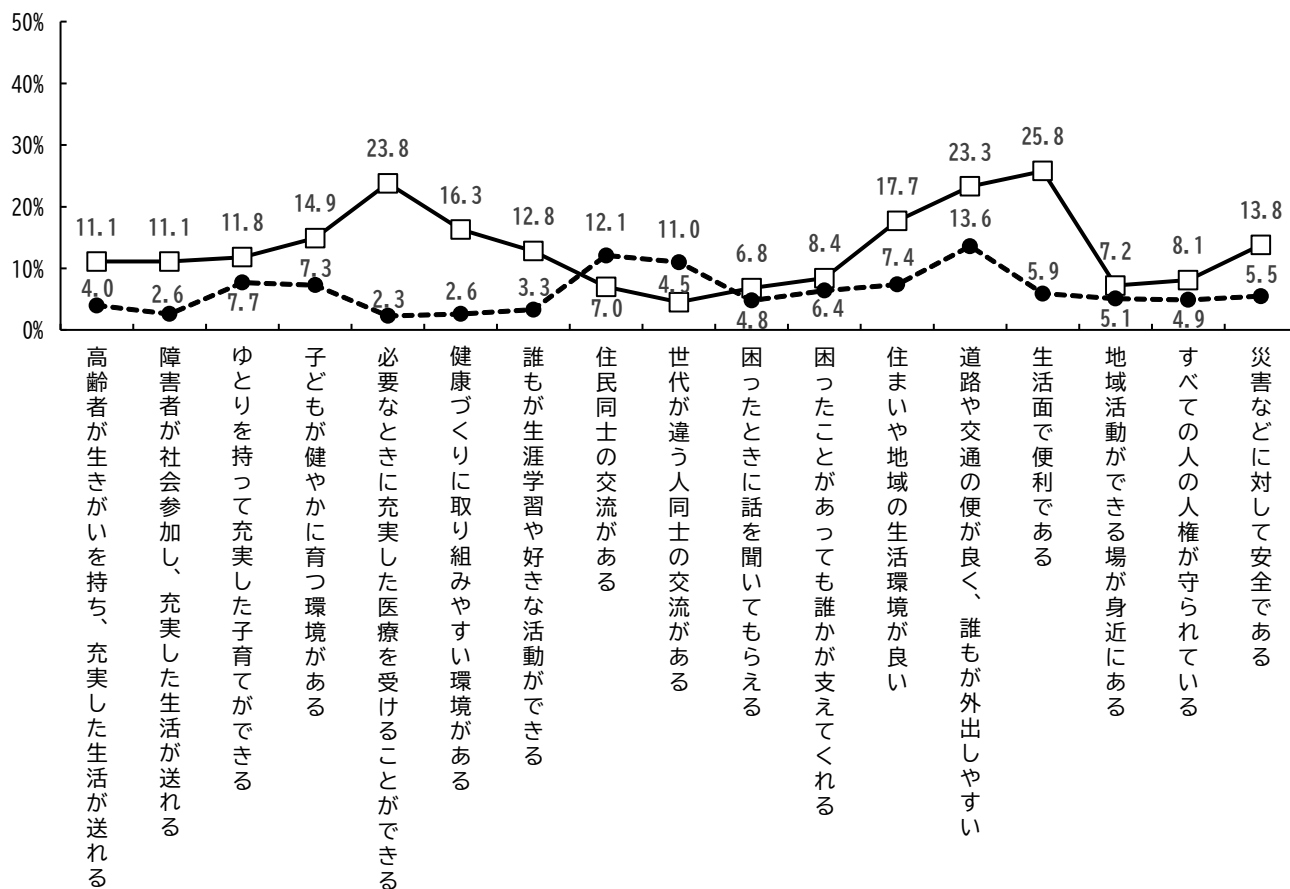
R7／今回調査(n=819)

—□— 良くなった -●- むしろ悪くなった



R2／前回調査(n=730)

—□— 良くなった -●- むしろ悪くなった



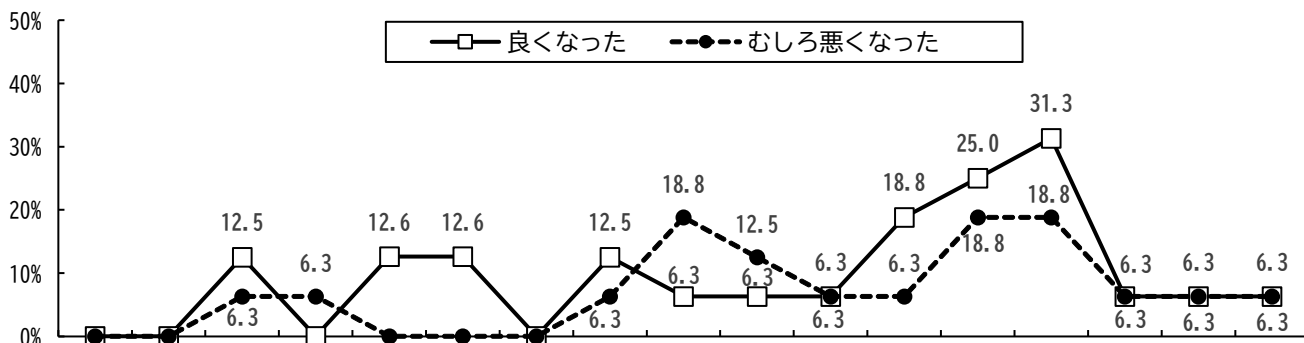
【地区別の傾向】

地区別にみると、“必要なときに充実した医療を受けることができる”については、ほとんどの地区において『良くなった』が「むしろ悪くなった」を上回るか同値となっています。

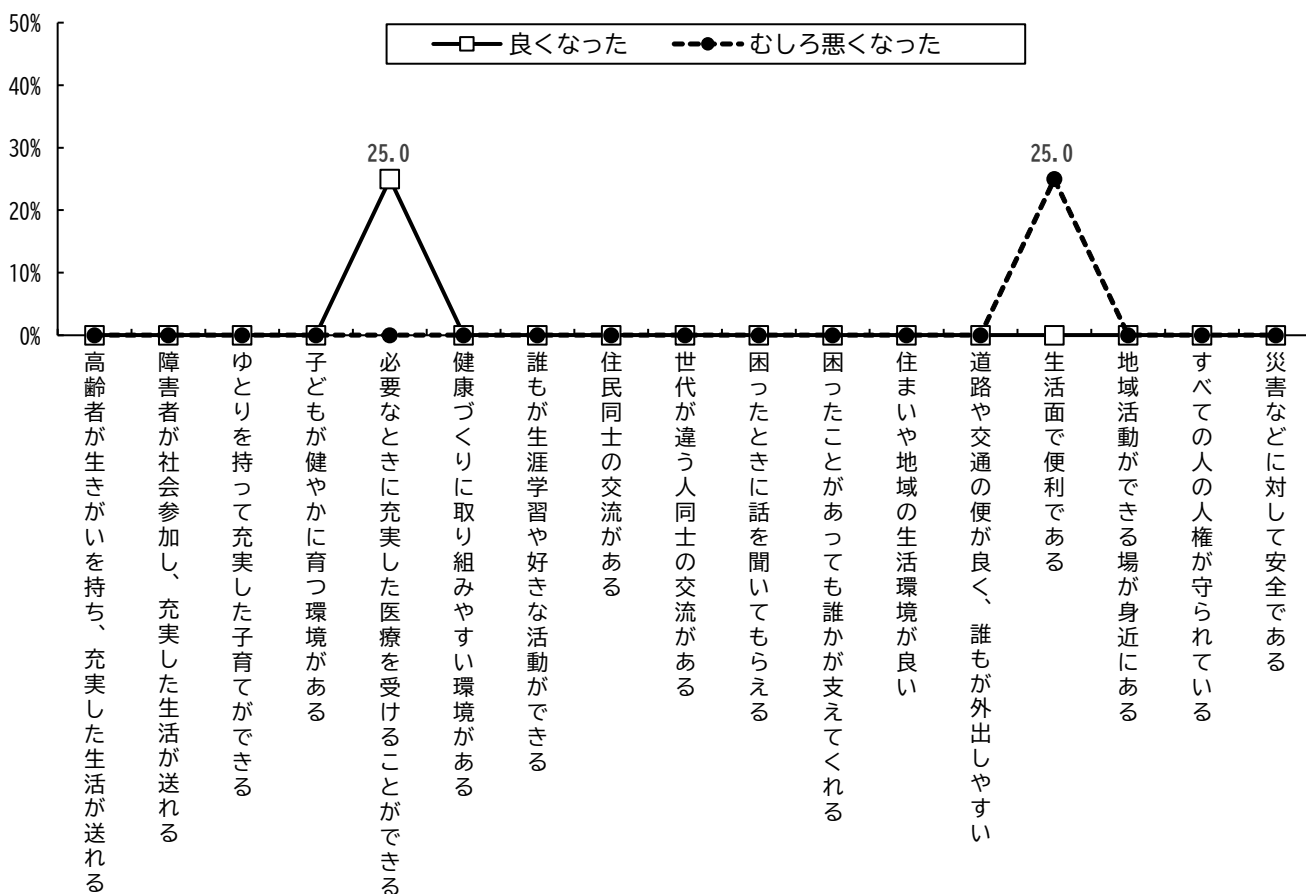
一方、“世代が違う人同士の交流がある”については、西富田地区を除く、すべての地区において「むしろ悪くなった」が上回るか同値となっています。また、“住民同士の交流がある”については、内町、上八万地区の2地区のみ『良くなった』が上回っています。

図表 71 地域に関する環境の変化について（全体、地域別）

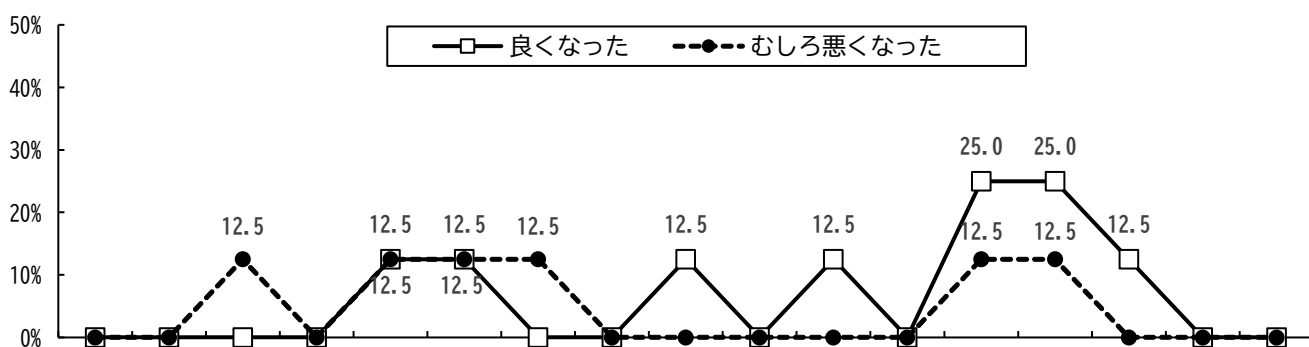
内町(n=16)



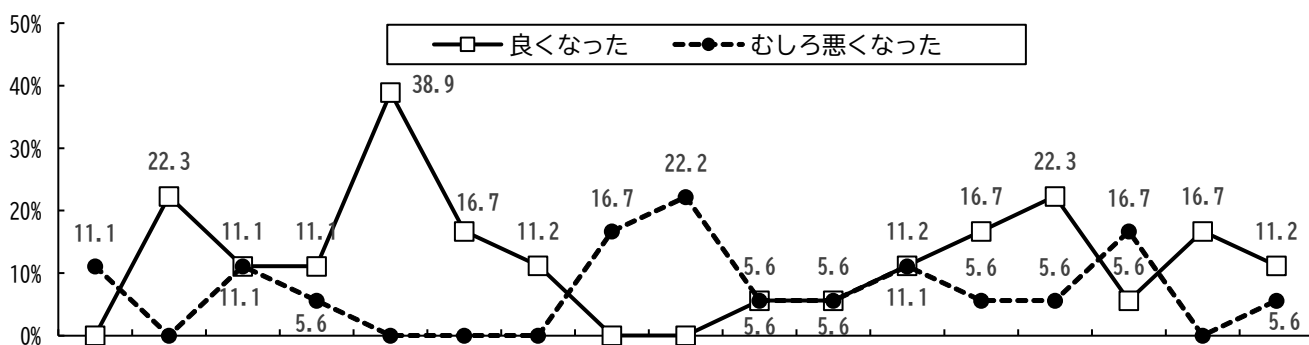
新町(n=4)



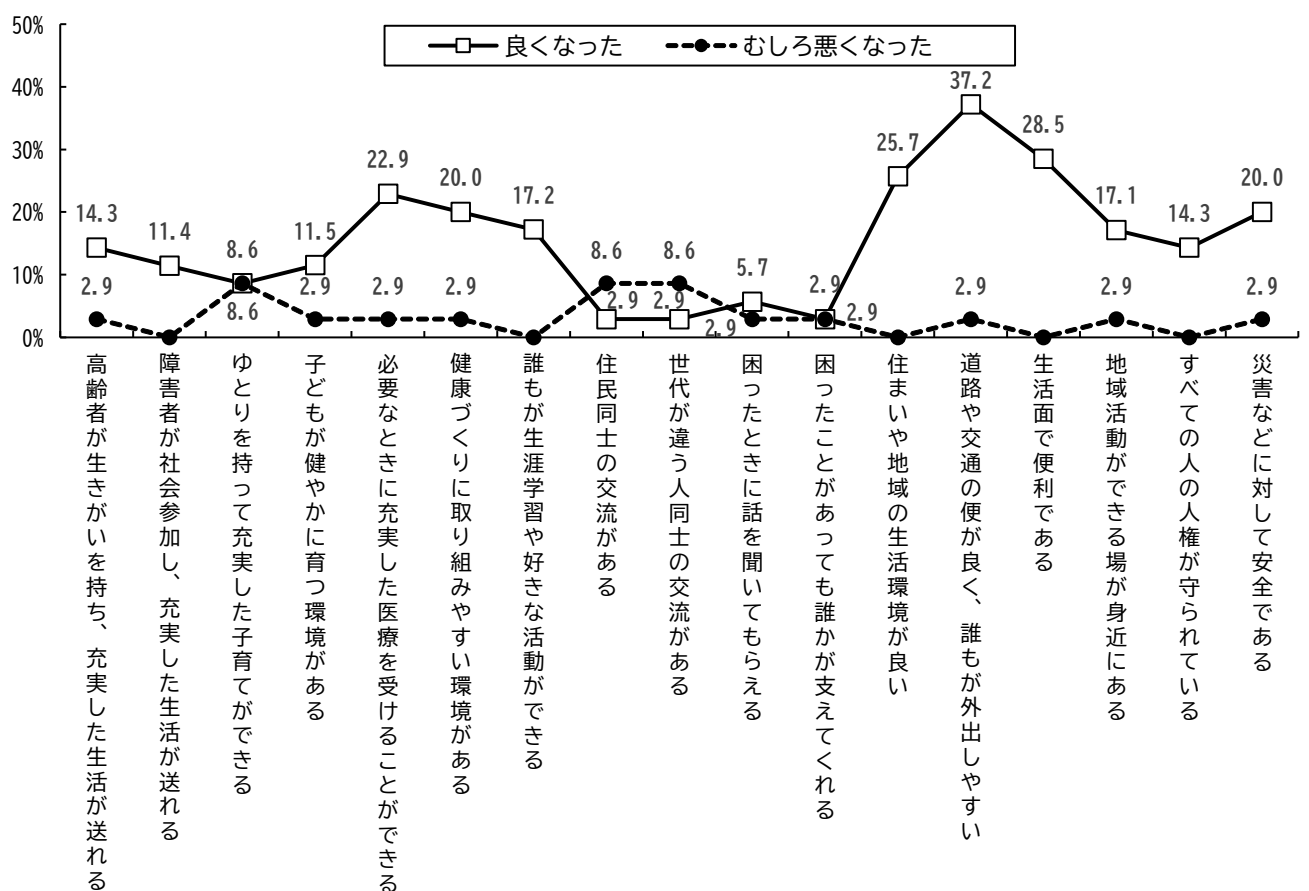
西富田(n=8)



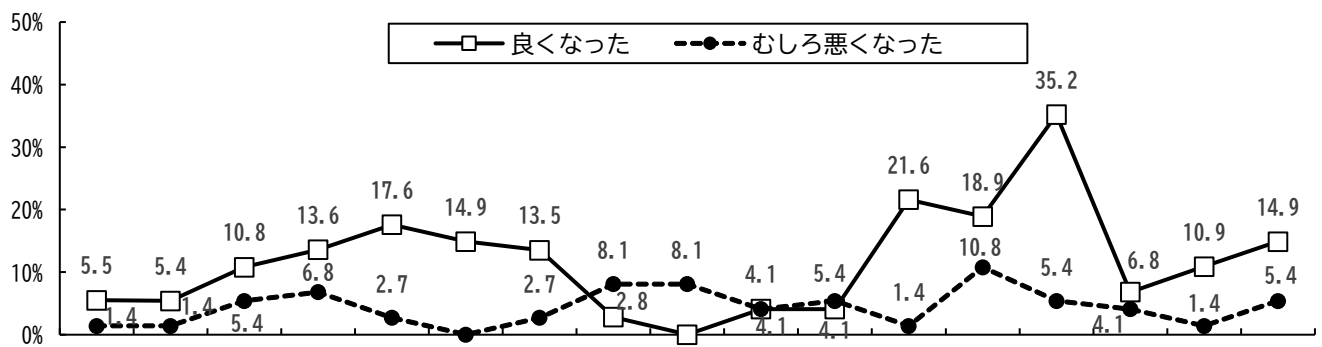
東富田(n=18)



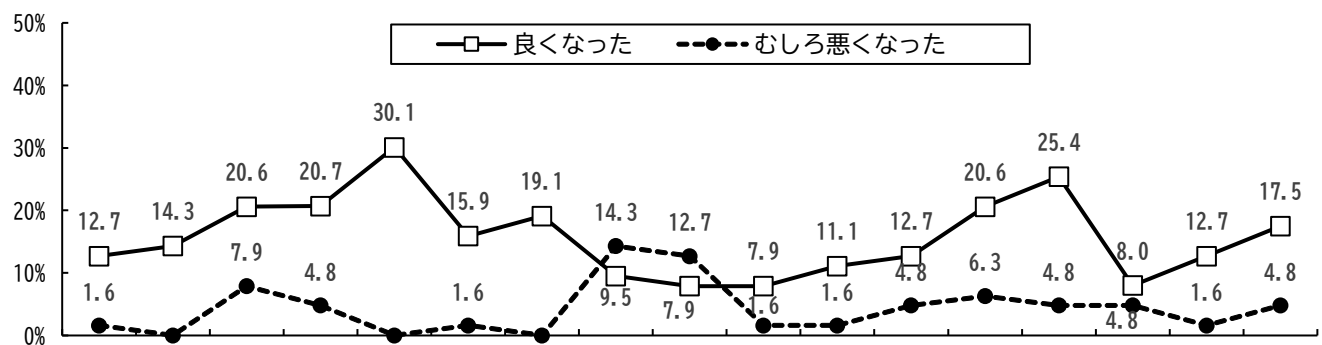
昭和(n=35)



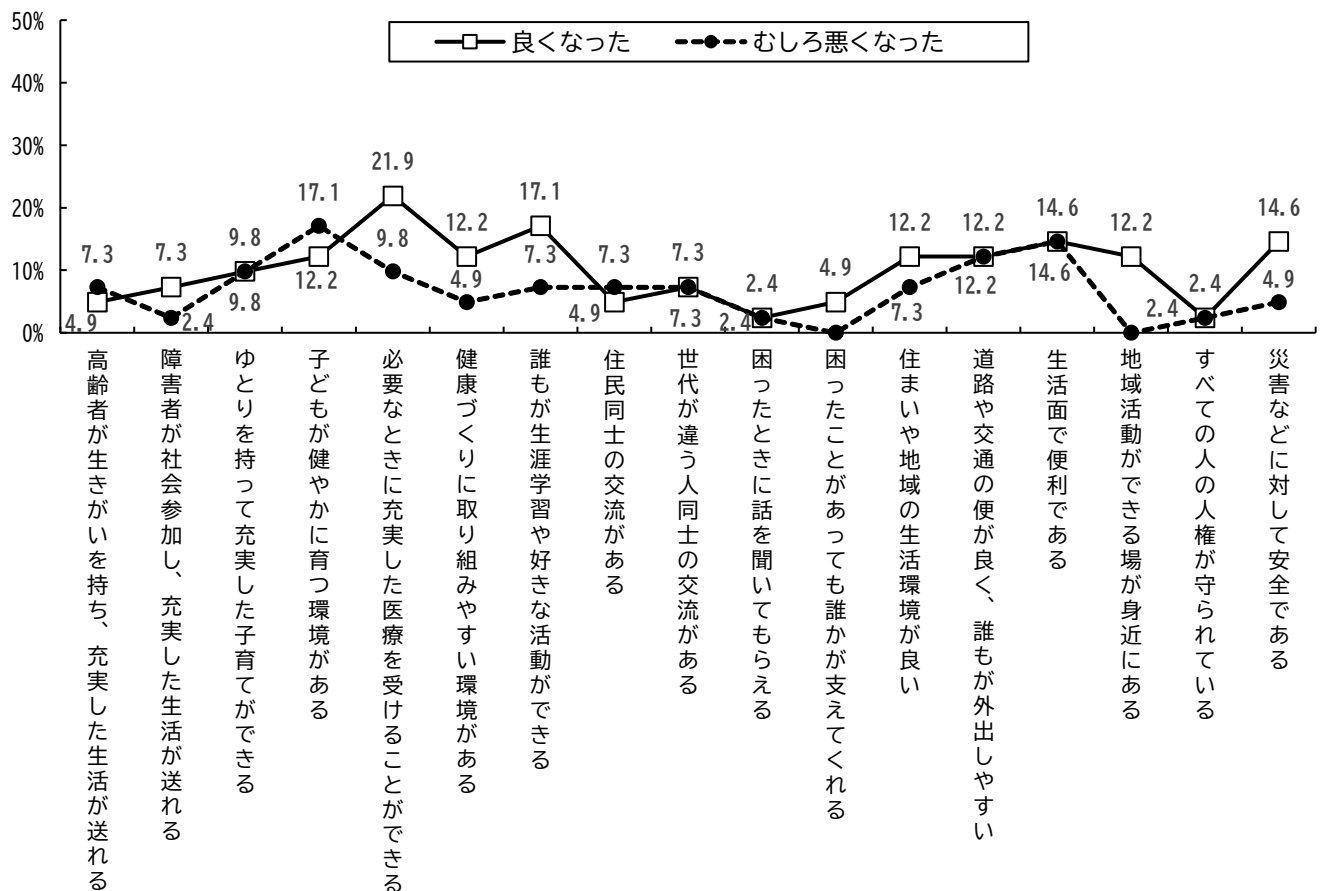
渭東(n=74)



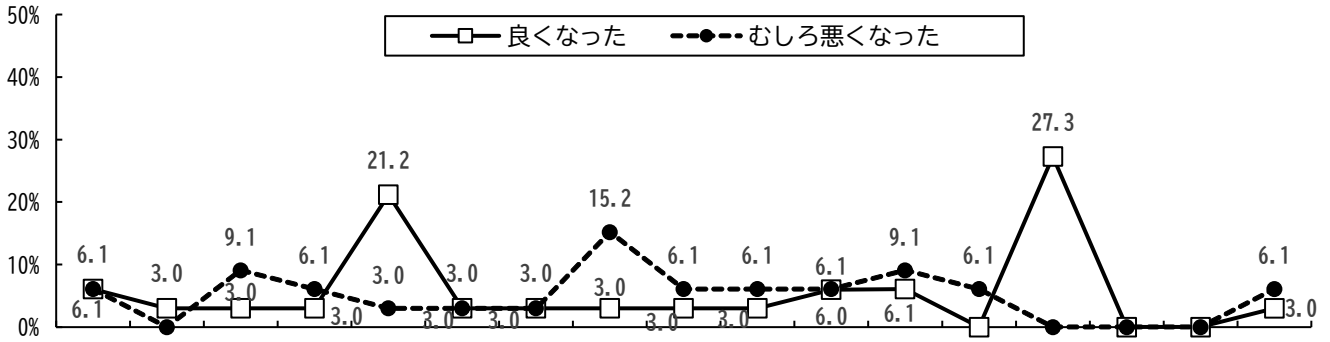
渭北(n=63)



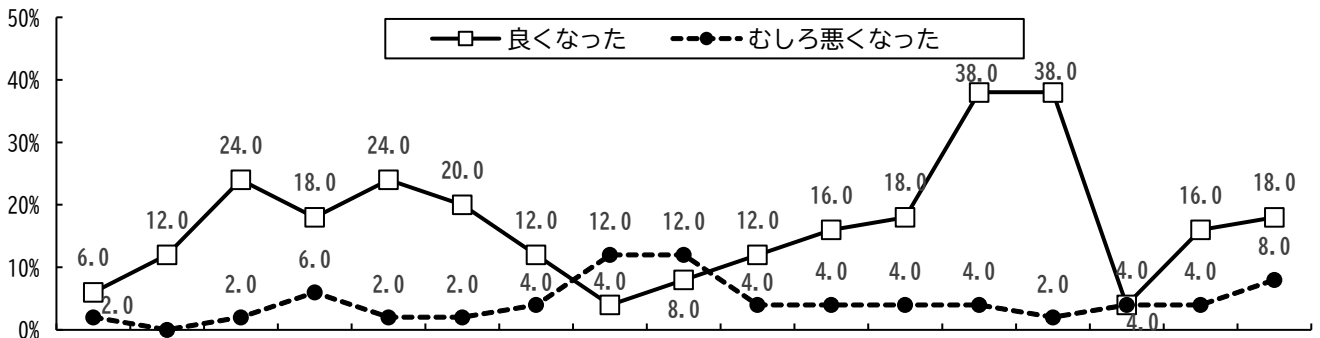
佐古(n=41)



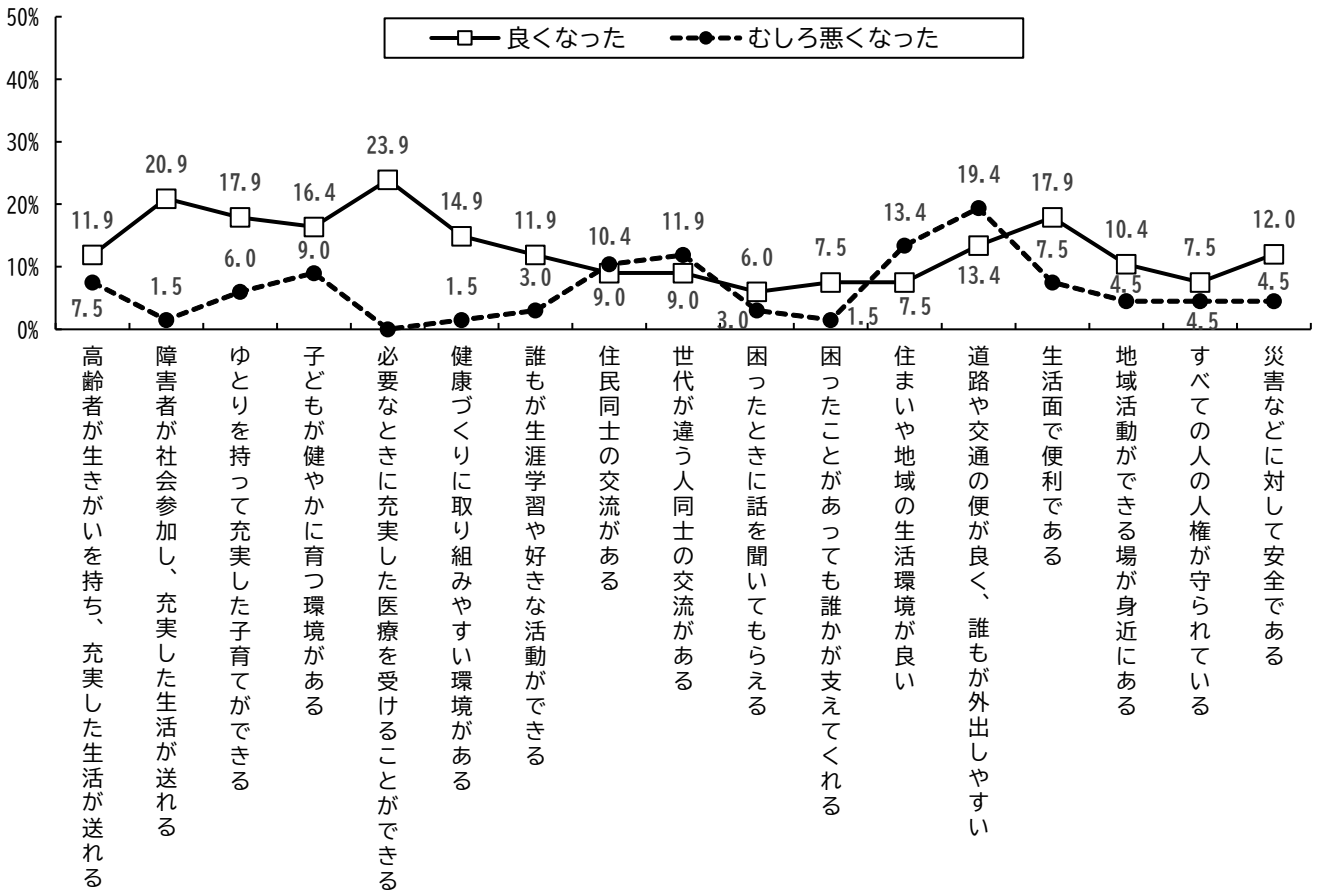
沖洲(n=33)



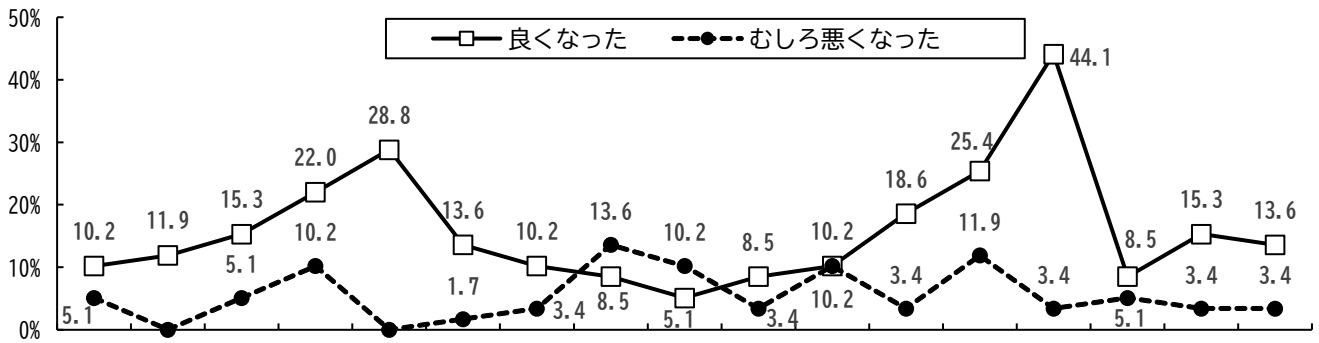
津田(n=50)



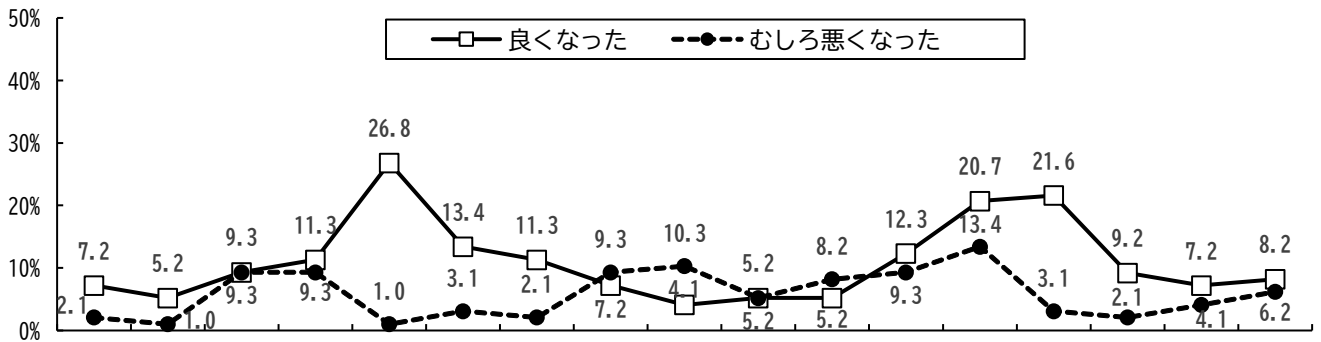
加茂名(n=67)



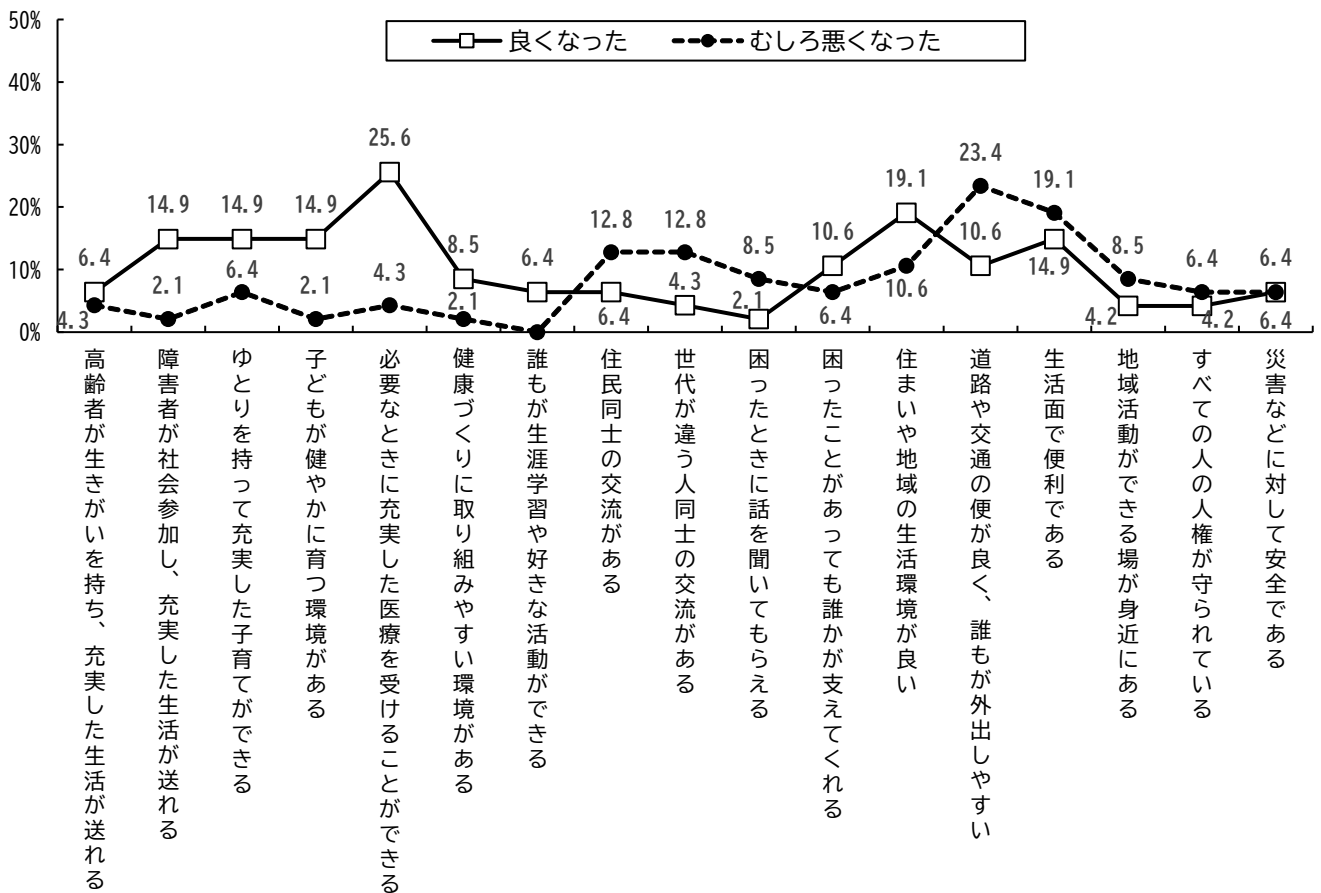
加茂(n=59)



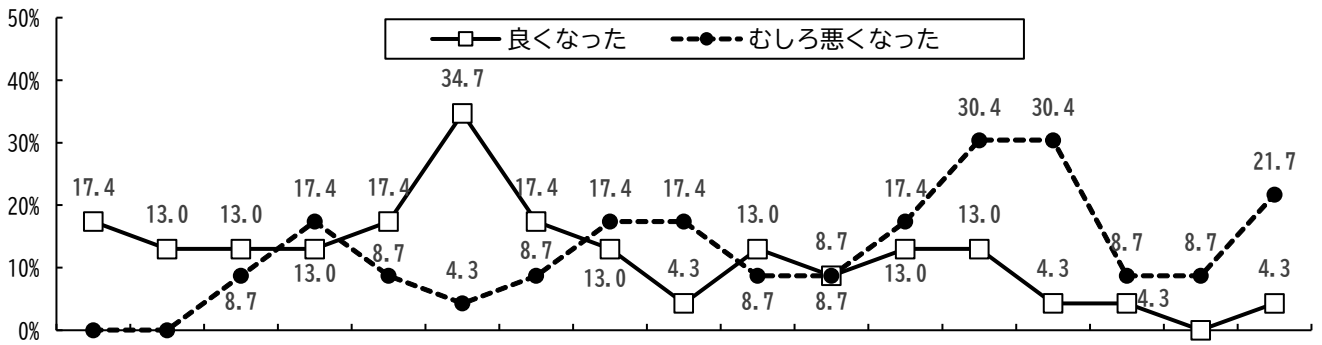
八万(n=97)



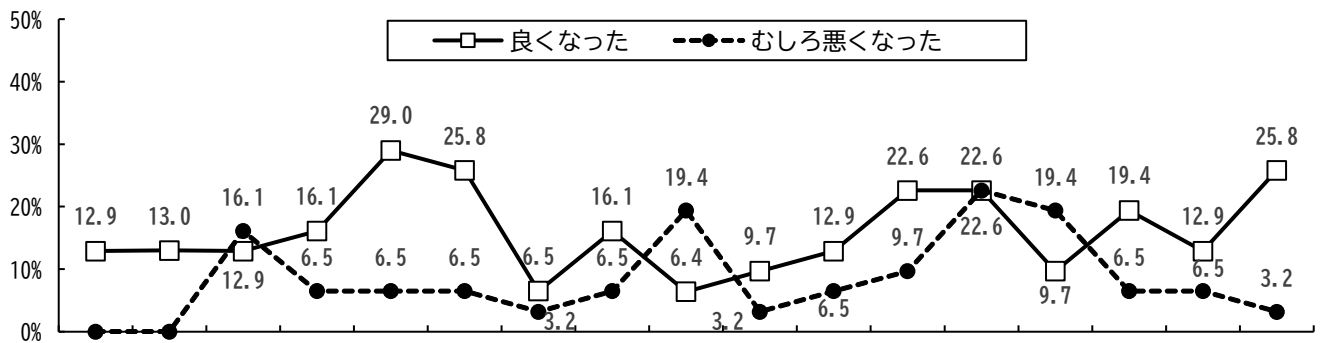
勝占(n=47)



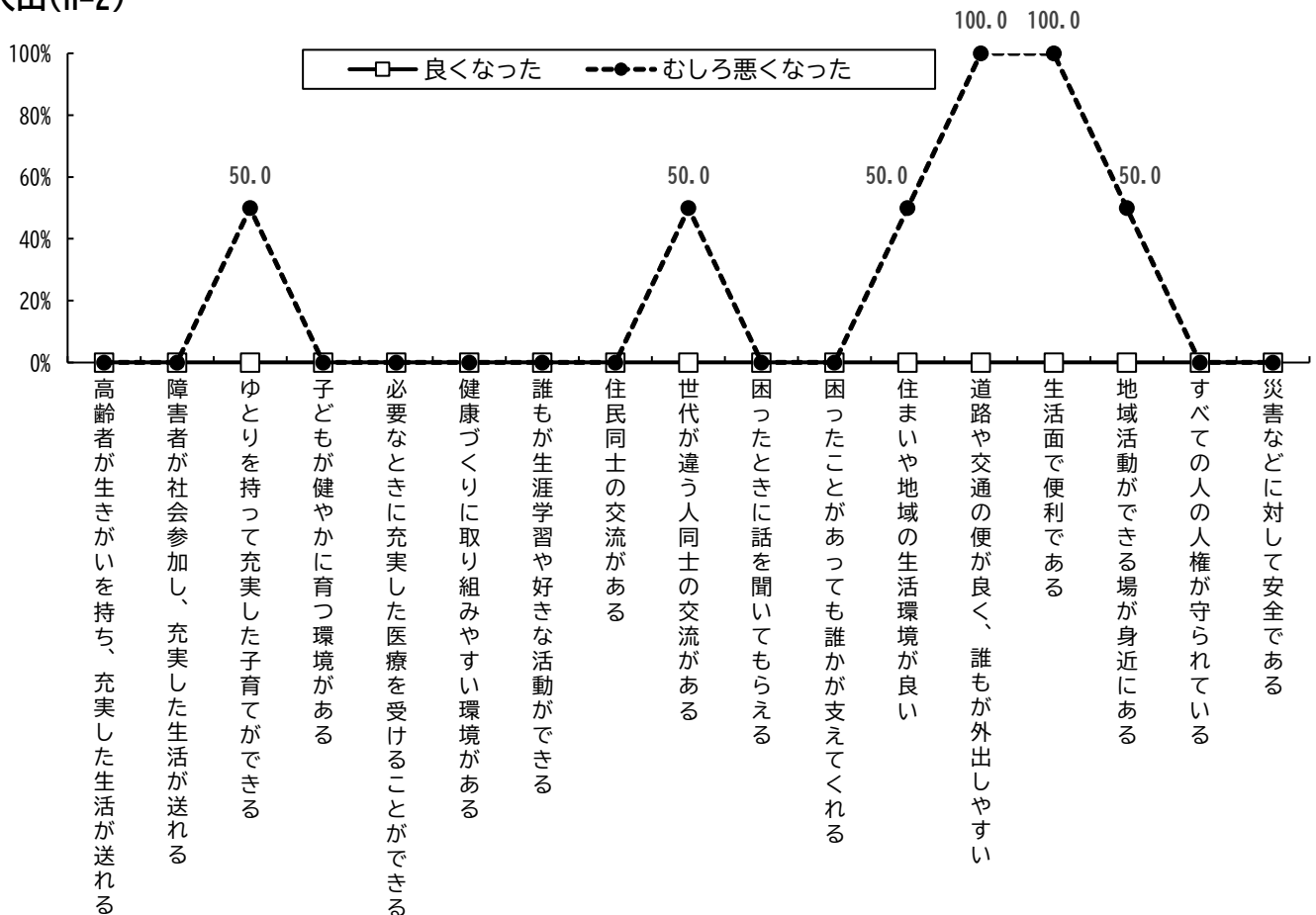
多家良(n=23)



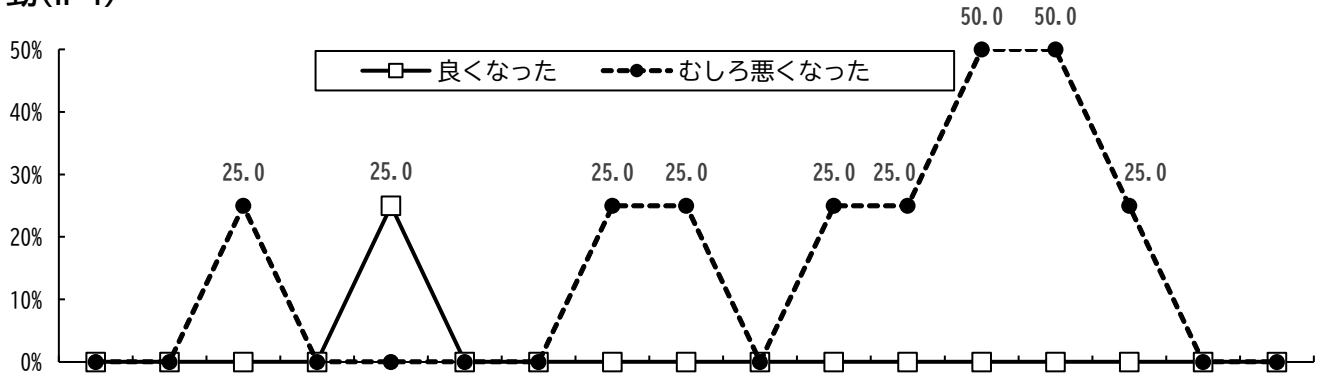
上八万(n=31)



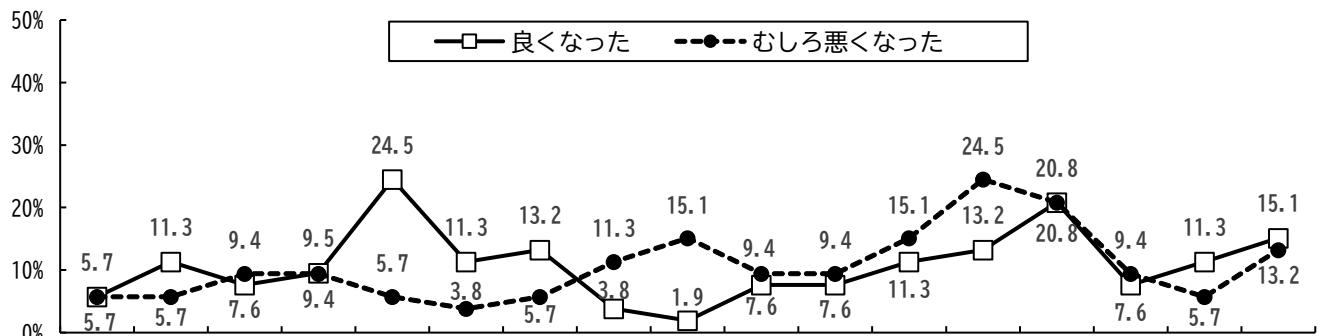
入田(n=2)



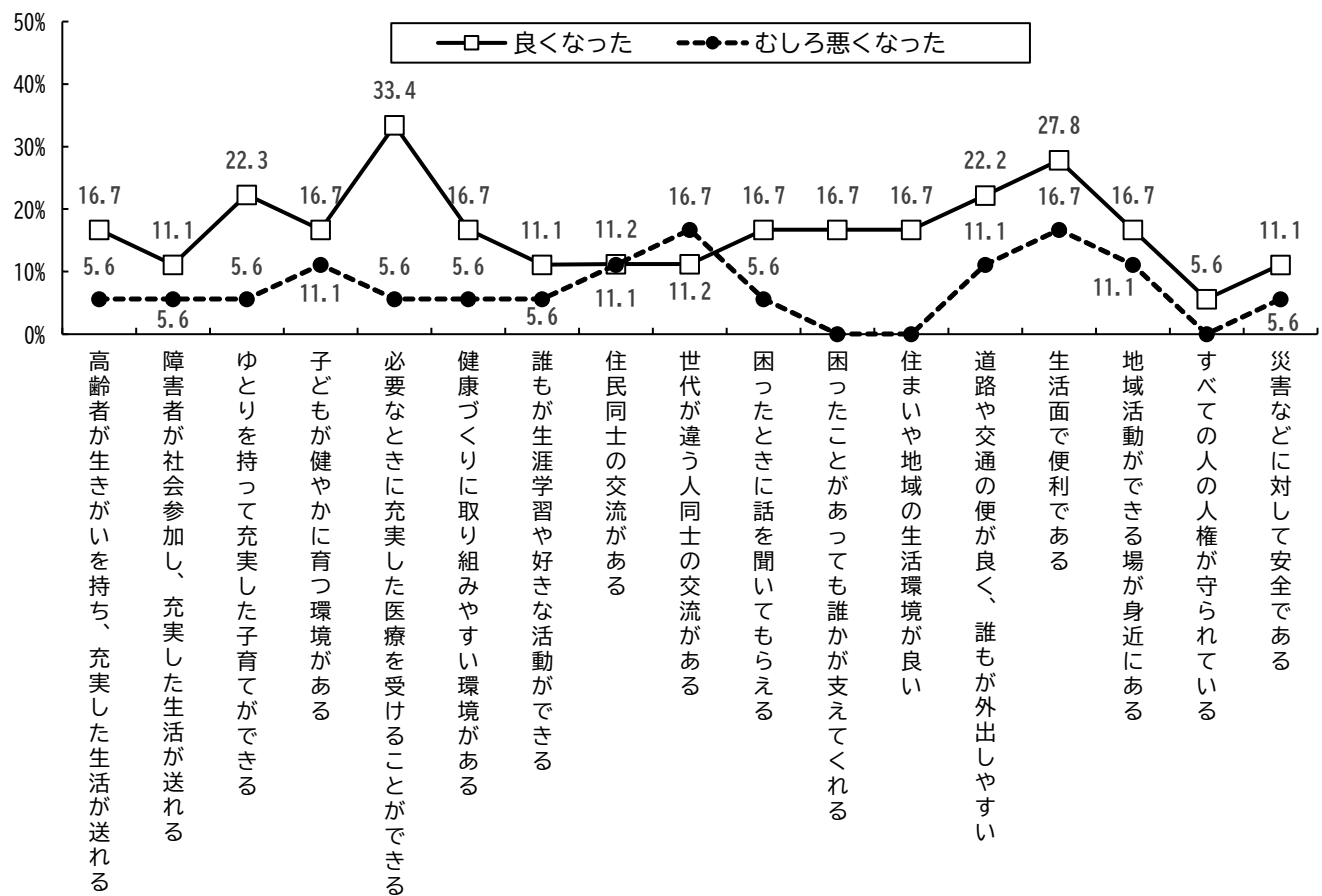
不動(n=4)



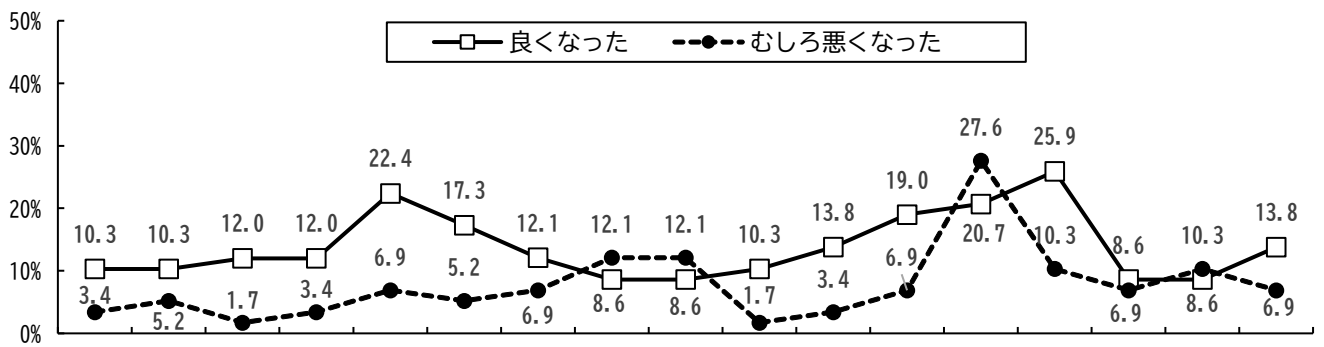
川内(n=53)



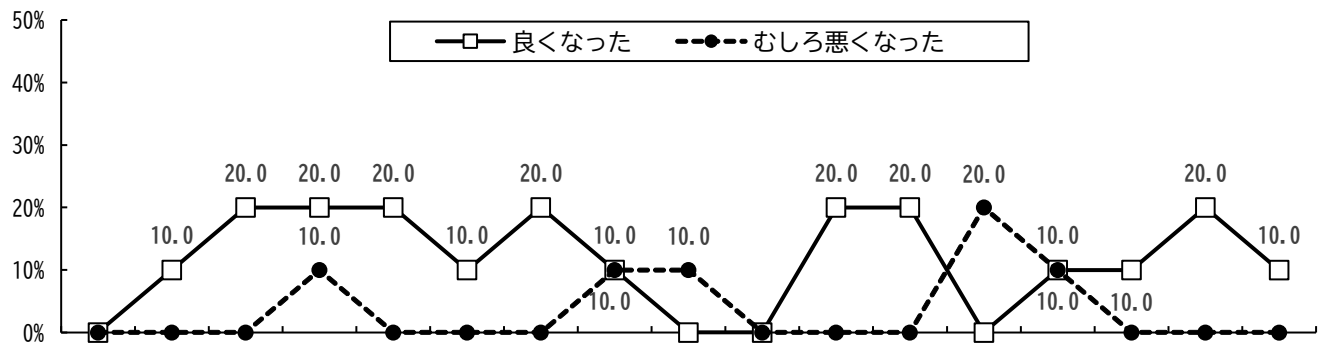
応神(n=18)



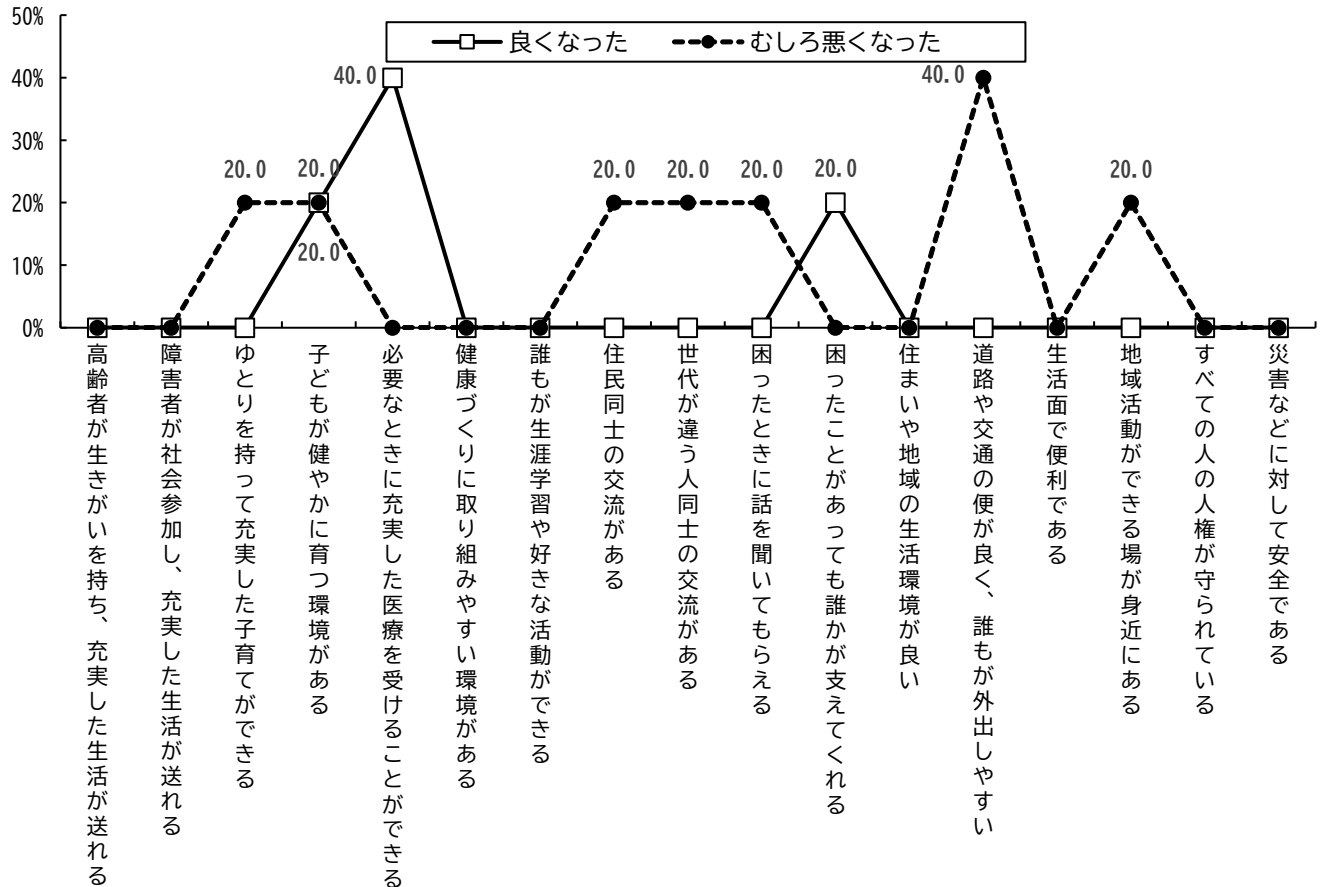
国府(n=58)



南井上(n=10)



北井上(n=5)



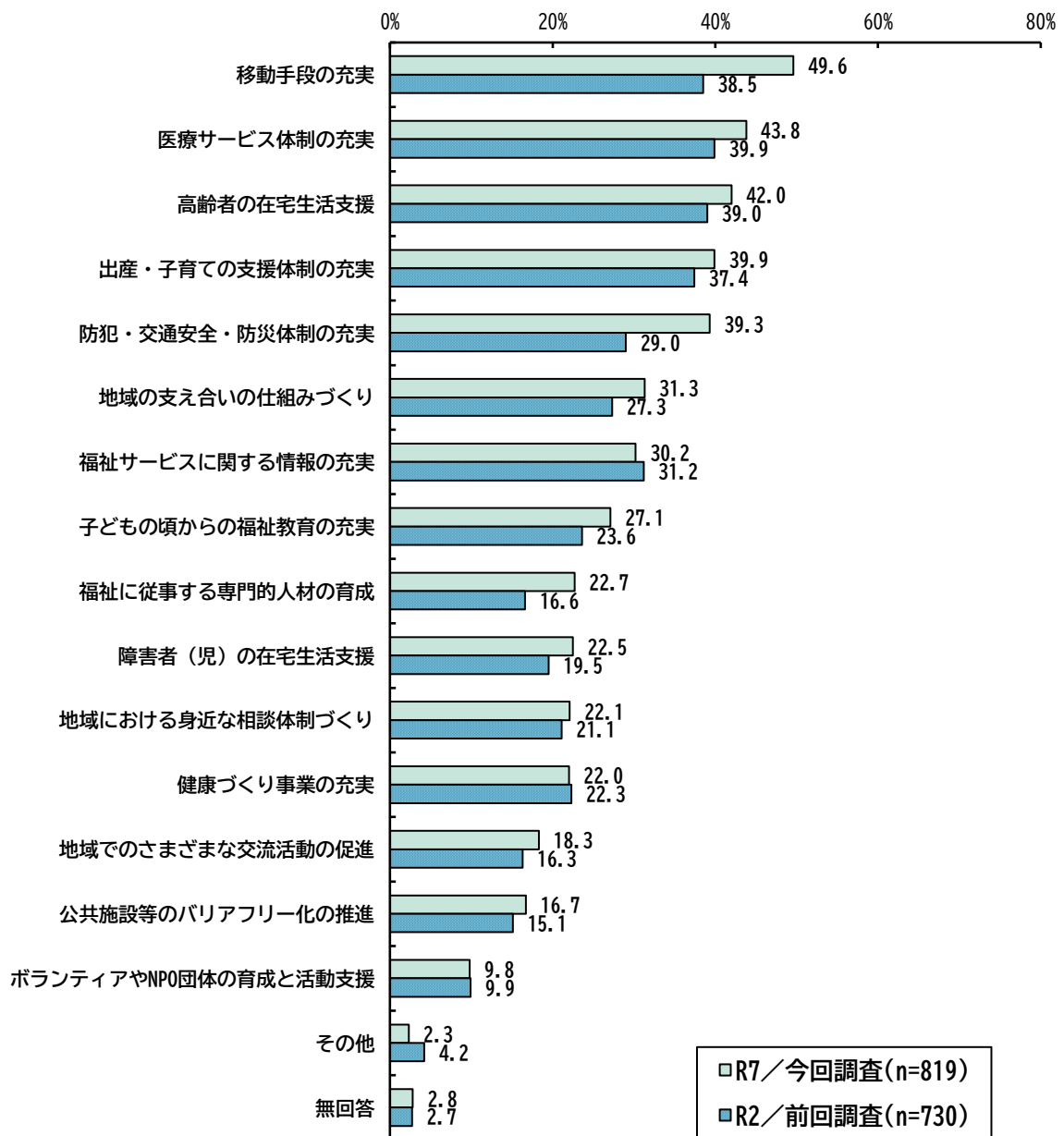
7 福祉施策について

問 26 徳島市の福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取組みはどれですか。
【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

徳島市の福祉施策充実のために重要と考える取組をみると、「移動手段の充実」が49.6%と最も高く、次いで「医療サービス体制の充実」が43.8%、「高齢者の在宅生活支援」が42.0%と続いています。前回調査と比較すると、「移動手段の充実」が11.1ポイント増加しています。

図表 72 重要と考える取組み（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、15～40歳代では「出産・子育ての支援体制の充実」、50歳代以上では「高齢者の在宅生活支援」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別にみると、13地区で「移動手段の充実」が最も高くなっています。また、渭北、八万、入田地区では「防犯・交通安全・防災体制の充実」、東富田、南井上地区では「地域の支え合いの仕組みづくり」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 73 重要と考える取組み（全体、年齢別／複数回答）

	全体	移動手段の充実	医療サービス体制の充実	高齢者の在宅生活支援	出産・子育ての支援体制の充実	防犯・交通安全・防災体制の充実	地域の支え合いの仕組みづくり	福祉サービスに関する情報の充実	子どもの頃からの福祉教育の充実	福祉に従事する専門的人材の育成	障害者（児）の在宅生活支援	地域における身近な相談体制づくり	健康づくり事業の充実	地域でのさまざまな交流活動の促進	公共施設等のバリアフリー化の推進	ボランティアやNPO団体の育成と活動支援	その他	無回答
全体	819	49.6	43.8	42.0	39.9	39.3	31.3	30.2	27.1	22.7	22.5	22.1	22.0	18.3	16.7	9.8	2.3	2.8
15～20歳代	165	48.5	37.6	24.2	53.3	35.2	32.1	18.8	30.3	17.6	18.8	17.0	15.8	12.7	20.0	10.9	1.8	0.6
30歳代	86	53.5	44.2	31.4	67.4	45.3	19.8	27.9	43.0	23.3	32.6	23.3	19.8	17.4	20.9	7.0	1.2	-
40歳代	105	50.5	41.9	31.4	51.4	41.0	27.6	25.7	32.4	22.9	19.0	18.1	21.9	17.1	12.4	4.8	2.9	2.9
50歳代	109	50.5	47.7	51.4	37.6	42.2	33.0	35.8	28.4	31.2	26.6	29.4	23.9	22.0	19.3	11.9	3.7	1.8
60歳代	112	50.9	45.5	54.5	35.7	46.4	29.5	41.1	25.9	20.5	23.2	29.5	20.5	16.1	17.0	8.9	0.9	3.6
70歳代以上	237	48.1	46.0	52.3	19.0	34.6	35.9	33.3	16.5	22.8	20.3	19.8	26.2	21.5	13.5	10.5	3.0	5.1

図表 74 重要と考える取組み（全体、地区別／複数回答）

	全体	移動手段の充実	医療サービス体制の充実	高齢者の在宅生活支援	出産・子育ての支援体制の充実	防犯・交通安全・防災体制の充実	地域の支え合いの仕組みづくり	福祉サービスに関する情報の充実	子どもの頃からの福祉教育の充実	福祉に従事する専門的人材の育成	障害者（児）の在宅生活支援	地域における身近な相談体制づくり	健康づくり事業の充実	地域でのさまざまな交流活動の促進	公共施設等のバリアフリー化の推進	ボランティアやNPO団体の育成と活動支援	その他	無回答
全体	819	49.6	43.8	42.0	39.9	39.3	31.3	30.2	27.1	22.7	22.5	22.1	22.0	18.3	16.7	9.8	2.3	2.8
内町地区	16	50.0	43.8	31.3	37.5	25.0	31.3	18.8	25.0	12.5	12.5	6.3	31.3	18.8	12.5	-	6.3	-
新町地区	4	75.0	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-
西富田地区	8	37.5	37.5	12.5	37.5	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5	-	12.5	-	-	12.5	-	-	12.5
東富田地区	18	44.4	38.9	27.8	33.3	38.9	50.0	16.7	16.7	27.8	16.7	27.8	38.9	38.9	11.1	5.6	11.1	5.6
昭和地区	35	57.1	60.0	48.6	42.9	40.0	45.7	31.4	22.9	17.1	22.9	25.7	34.3	20.0	25.7	14.3	-	2.9
渭東地区	74	52.7	52.7	48.6	48.6	43.2	28.4	29.7	36.5	18.9	28.4	21.6	18.9	17.6	23.0	13.5	1.4	2.7
渭北地区	63	44.4	42.9	42.9	36.5	47.6	46.0	38.1	28.6	28.6	25.4	33.3	23.8	17.5	20.6	12.7	-	-
佐古地区	41	48.8	53.7	51.2	43.9	46.3	22.0	34.1	34.1	29.3	26.8	31.7	19.5	17.1	14.6	12.2	4.9	7.3
沖洲地区	33	39.4	30.3	39.4	45.5	36.4	27.3	36.4	21.2	12.1	15.2	27.3	18.2	21.2	12.1	-	3.0	3.0
津田地区	50	36.0	40.0	44.0	32.0	34.0	28.0	42.0	22.0	16.0	22.0	22.0	26.0	16.0	14.0	4.0	2.0	8.0
加茂名地区	67	61.2	40.3	55.2	34.3	34.3	25.4	38.8	28.4	25.4	29.9	35.8	19.4	20.9	17.9	16.4	-	3.0
加茂地区	59	52.5	44.1	30.5	49.2	47.5	18.6	20.3	32.2	18.6	25.4	15.3	25.4	15.3	10.2	5.1	1.7	-
八万地区	97	46.4	34.0	37.1	38.1	47.4	34.0	26.8	27.8	25.8	24.7	18.6	20.6	17.5	23.7	6.2	4.1	3.1
勝占地区	47	51.1	44.7	53.2	36.2	40.4	34.0	38.3	27.7	25.5	27.7	23.4	19.1	23.4	19.1	6.4	-	-
多家良地区	23	56.5	43.5	30.4	30.4	26.1	43.5	21.7	21.7	26.1	13.0	17.4	21.7	21.7	13.0	13.0	4.3	4.3
上八万地区	31	45.2	54.8	45.2	58.1	29.0	41.9	32.3	38.7	19.4	29.0	16.1	29.0	16.1	19.4	9.7	3.2	-
入田地区	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不動地区	4	50.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0	-	-	25.0	-	-	-	-	25.0
川内地区	53	50.9	47.2	49.1	41.5	45.3	28.3	30.2	30.2	28.3	22.6	17.0	18.9	18.9	15.1	15.1	1.9	1.9
応神地区	18	66.7	38.9	33.3	27.8	50.0	33.3	22.2	22.2	11.1	5.6	11.1	38.9	16.7	22.2	11.1	-	-
国府地区	58	51.7	41.4	32.8	41.4	29.3	22.4	25.9	20.7	24.1	15.5	15.5	8.6	10.3	6.9	15.5	3.4	3.4
南井上地区	10	20.0	30.0	40.0	30.0	20.0	40.0	20.0	10.0	30.0	-	20.0	20.0	20.0	10.0	-	-	-
北井上地区	5	80.0	60.0	40.0	40.0	20.0	40.0	-	-	20.0	-	20.0	20.0	40.0	-	-	-	-

8 重層的支援体制整備事業について

問 27 徳島市において「重層的支援体制整備事業」は必要だと思いますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

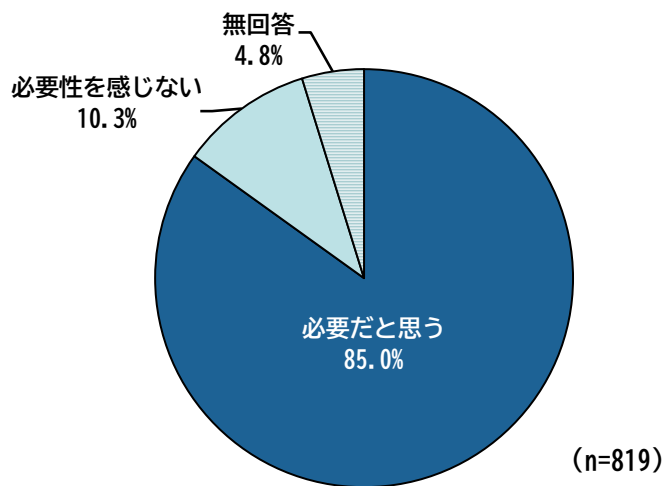
「重層的支援体制整備事業」の必要性をみると、「必要だと思う」が85.0%、「必要性を感じない」が10.3%となっています。

【属性別の傾向】

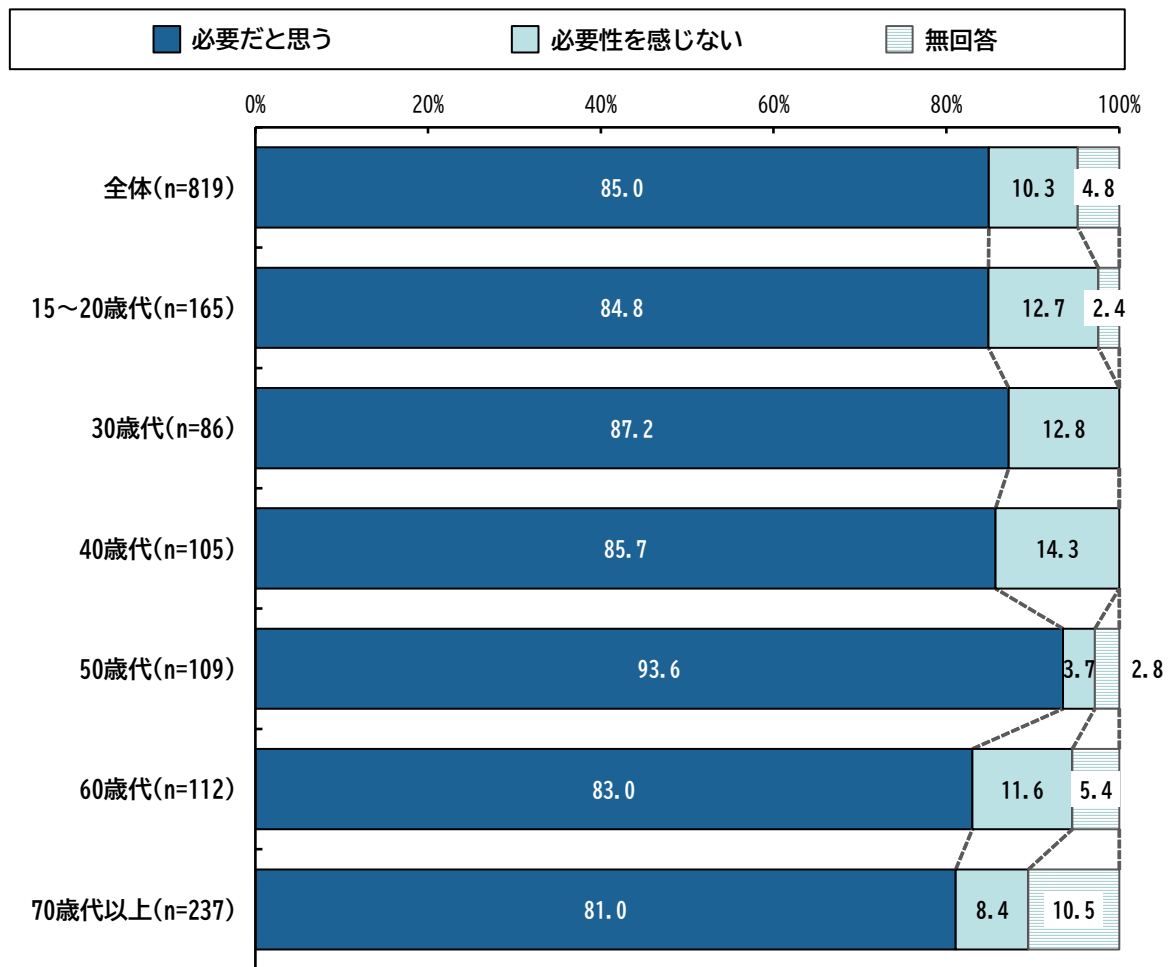
年齢別にみると、「必要だと思う」は50歳代で特に高く、9割を超えています。

地区別にみると、ほとんどの地区で「必要だと思う」が「必要性を感じない」を上回っています。

図表 75 「重層的支援体制整備事業」の必要性（全体）



図表 76 「重層的支援体制整備事業」は必要だと思うか（全体、年齢別）



図表 77 「重層的支援体制整備事業」は必要だと思うか（全体、地区別）

	全体	必要だと思う	必要性を感じない	無回答
全体	819	85.0	10.3	4.8
内町地区	16	81.3	18.8	-
新町地区	4	75.0	25.0	-
西富田地区	8	75.0	12.5	12.5
東富田地区	18	83.3	11.1	5.6
昭和地区	35	88.6	2.9	8.6
渭東地区	74	79.7	16.2	4.1
渭北地区	63	87.3	9.5	3.2
佐古地区	41	82.9	4.9	12.2
沖洲地区	33	87.9	6.1	6.1
津田地区	50	86.0	10.0	4.0
加茂名地区	67	82.1	13.4	4.5
加茂地区	59	91.5	8.5	-
八万地区	97	85.6	9.3	5.2
勝占地区	47	80.9	14.9	4.3
多家良地区	23	87.0	8.7	4.3
上八万地区	31	77.4	19.4	3.2
入田地区	2	50.0	50.0	-
不動地区	4	100.0	-	-
川内地区	53	88.7	7.5	3.8
応神地区	18	88.9	5.6	5.6
国府地区	58	87.9	5.2	6.9
南井上地区	10	80.0	10.0	10.0
北井上地区	5	80.0	20.0	-

9 成年後見制度について

問 28 あなたは、成年後見制度を知っていますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

「成年後見制度」の認知状況をみると、「少し知っている」が 36.3%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が 32.1%、「全く知らない」が 21.4%と続いています。

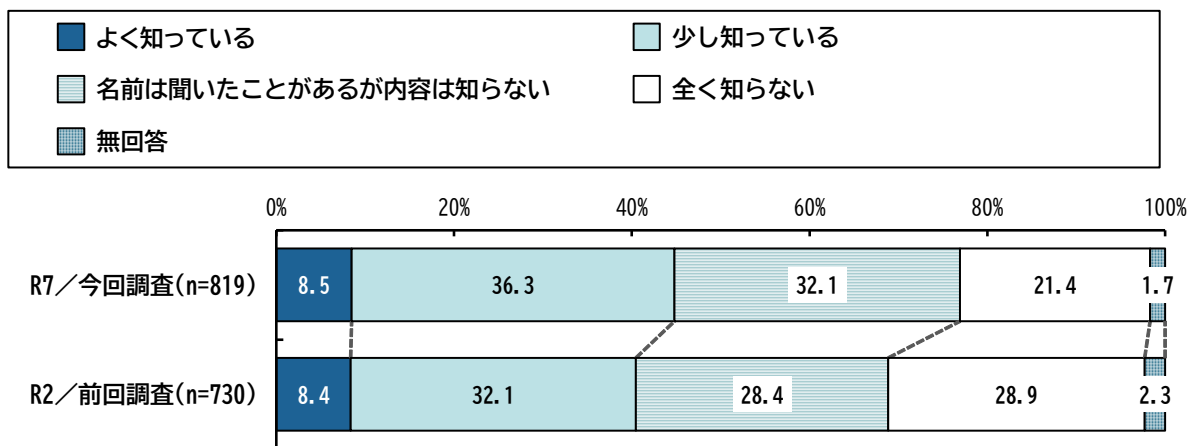
前回調査と比較すると、「全く知らない」が 7.5 ポイント減少しています。一方、「少し知っている」が 4.2 ポイント増加し、「よく知っている」もわずかに増加していることから、認知度は上昇傾向にあると言えます。

【属性別の傾向】

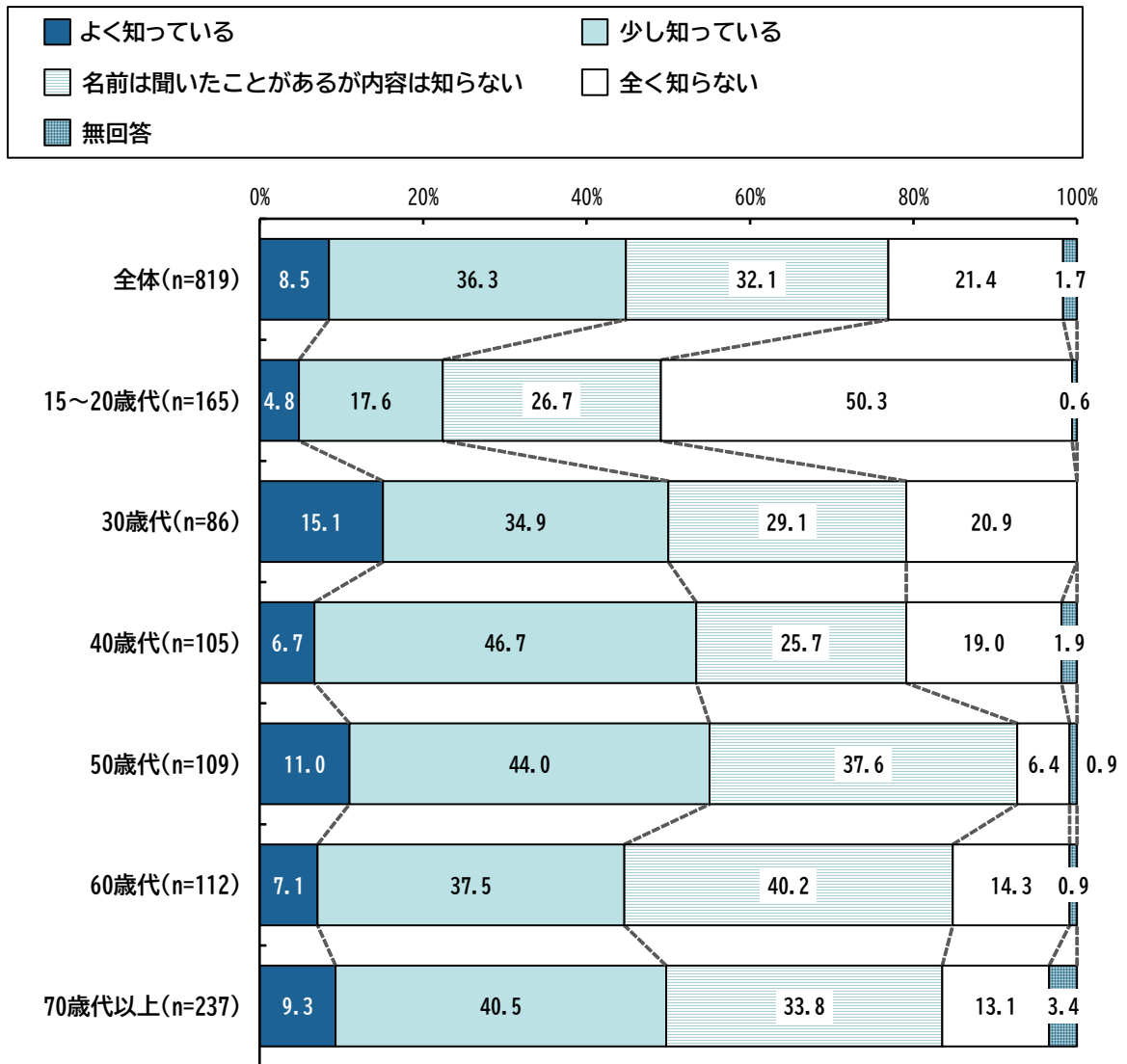
年齢別にみると、「よく知っている」は 30 歳代で最も高くなっています。

地区別にみると、ほとんどの地区において「少し知っている」「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が最も高くなっていますが、西富田、津田、入田、国府地区では「全く知らない」が最も高くなっています。

図表 78 「成年後見制度」の認知状況（全体、前回比較）



図表 79 「成年後見制度」の認知状況（全体、年齢別）



図表 80 「成年後見制度」の認知状況（全体、地区別）

	全体	よく知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが内容は知らない	全く知らない	無回答
全体	819	8.5	36.3	32.1	21.4	1.7
内町地区	16	6.3	43.8	25.0	25.0	-
新町地区	4	-	25.0	50.0	25.0	-
西富田地区	8	12.5	25.0	12.5	37.5	12.5
東富田地区	18	22.2	33.3	33.3	5.6	5.6
昭和地区	35	14.3	34.3	25.7	22.9	2.9
渭東地区	74	8.1	32.4	40.5	17.6	1.4
渭北地区	63	4.8	41.3	38.1	15.9	-
佐古地区	41	4.9	63.4	17.1	12.2	2.4
沖洲地区	33	9.1	24.2	39.4	27.3	-
津田地区	50	10.0	30.0	20.0	38.0	2.0
加茂名地区	67	14.9	35.8	28.4	19.4	1.5
加茂地区	59	15.3	37.3	25.4	22.0	-
八万地区	97	5.2	38.1	38.1	16.5	2.1
勝占地区	47	10.6	34.0	38.3	17.0	-
多家良地区	23	-	52.2	17.4	26.1	4.3
上八万地区	31	9.7	35.5	45.2	9.7	-
入田地区	2	-	-	-	100.0	-
不動地区	4	25.0	25.0	50.0	-	-
川内地区	53	3.8	37.7	35.8	22.6	-
応神地区	18	5.6	22.2	38.9	33.3	-
国府地区	58	5.2	24.1	32.8	32.8	5.2
南井上地区	10	-	50.0	10.0	30.0	10.0
北井上地区	5	20.0	40.0	40.0	-	-

問 29 あなた自身や親族が、認知症などにより判断が十分にできなくなった場合に「成年後見制度」を利用したいですか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

「成年後見制度」の利用意向をみると、「分からない」が 50.4%と最も高く、次いで「利用したい」が 34.2%、「利用しない」が 12.5%と続いています。

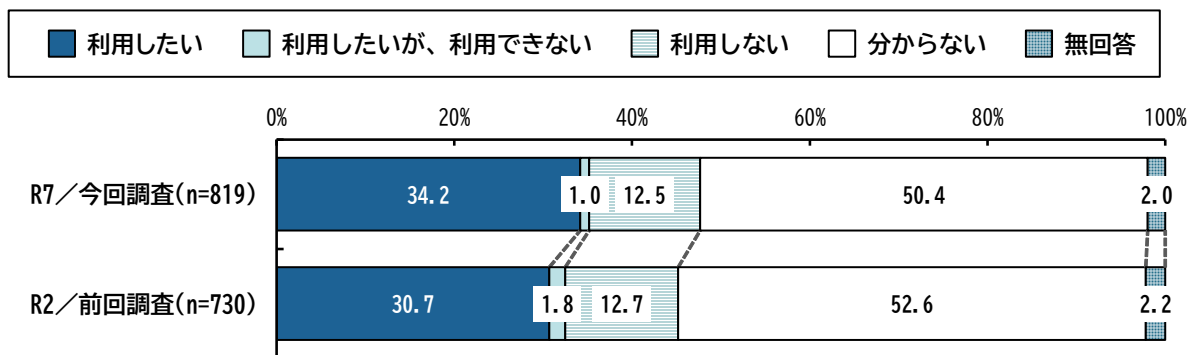
前回調査と比較すると、「利用したい」が 3.5 ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

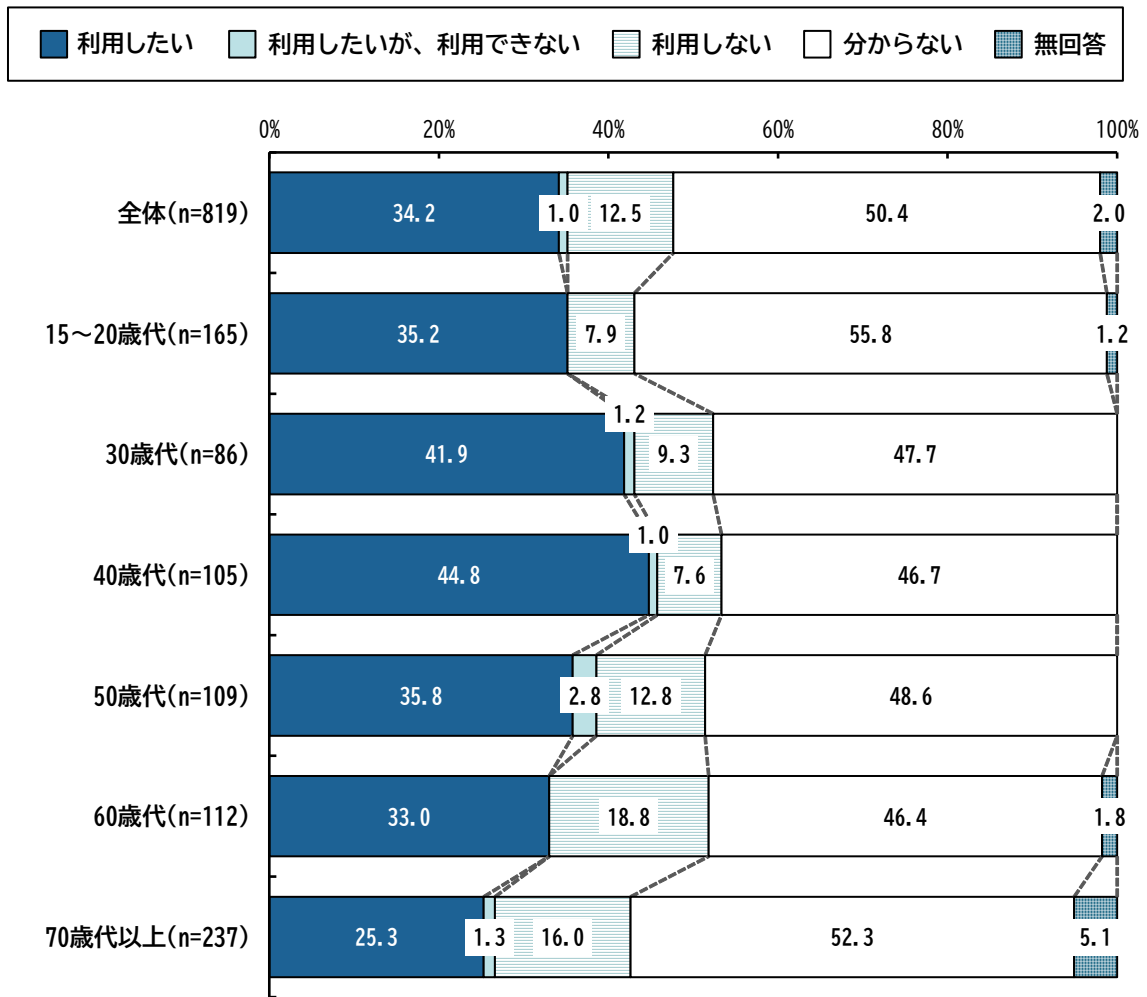
年齢別にみると、「利用したい」が最も高いのは 40 歳代となっています。

地区別にみると、西富田、東富田、渭北、北井上地区では「利用したい」が最も高くなっています。

図表 81 「成年後見制度」の利用意向（全体、前回比較）



図表 82 「成年後見制度」の利用意向（全体、年齢別）



図表 83 「成年後見制度」の利用意向（全体、地区別）

	全体	利用したい	利用したいが、 利用できない	利用しない	分からない	無回答
全体	819	34.2	1.0	12.5	50.4	2.0
内町地区	16	31.3	-	6.3	62.5	-
新町地区	4	25.0	-	-	75.0	-
西富田地区	8	50.0	-	-	50.0	-
東富田地区	18	55.6	-	5.6	33.3	5.6
昭和地区	35	40.0	-	5.7	51.4	2.9
渭東地区	74	29.7	-	10.8	59.5	-
渭北地区	63	49.2	-	14.3	33.3	3.2
佐古地区	41	29.3	4.9	19.5	43.9	2.4
沖洲地区	33	30.3	3.0	6.1	54.5	6.1
津田地区	50	32.0	-	24.0	42.0	2.0
加茂名地区	67	26.9	1.5	17.9	53.7	-
加茂地区	59	33.9	1.7	16.9	47.5	-
八万地区	97	41.2	1.0	8.2	46.4	3.1
勝占地区	47	25.5	-	14.9	59.6	-
多家良地区	23	13.0	4.3	21.7	56.5	4.3
上八万地区	31	32.3	-	9.7	58.1	-
入田地区	2	-	-	-	100.0	-
不動地区	4	25.0	-	-	75.0	-
川内地区	53	34.0	1.9	9.4	52.8	1.9
応神地区	18	16.7	-	5.6	72.2	5.6
国府地区	58	37.9	-	6.9	51.7	3.4
南井上地区	10	30.0	-	30.0	40.0	-
北井上地区	5	40.0	-	20.0	40.0	-

問 29 で「利用したいが、利用できない」「利用しない」を選択した方

問 29-1 その理由について、ご自由に記入してください。【自由記述】

【全体の傾向】

制度を利用できない、しない理由については、88 件の意見が寄せられました。大別すると、「家族・親族に任せたい」「家族・親族以外を信用できない」「制度自体の問題（金銭面など）」「必要がない」となり、それぞれの代表的な意見を抜粋しました。

図表 84 制度を利用できない、しない理由（自由記述）

家族・親族に任せたい
家族がいるから。
成年後見人をたてる前に本人の意思を尊重して、家族や自分で支援したい。
子ども（県外）と相談する。兄弟もいるので相談する。
親族に管理してもらおう。
なるべく親族で解決したい。他人では少し不安。

家族・親族以外を信用できない
後見人の人柄にもよるが預金通帳など全部後見人の名義に変更し、領収書もなく自由に下ろし使う人もいる。
信用できる人が自分で分からないから。
自分が希望しない後見人に遺産が渡ったら嫌だから。
身内以外の人にまかせるのは、少し不安を感じるから。
選ばれた成年後見人がいい人とは限らない。知らない人に任せたくない（どんな人か分からない）。

制度自体の問題（金銭面など）
裁判所への報告が必要と聞き、それは大変だと思いました。
費用がかかる。手続き等が大変である。
利用しにくい制度と思うから。
あまり良い意見を聞かないから。
後見人が弁護士等の外部専門家で、財産管理を柔軟にできなかつたり後見料がかかたりして使い勝手が悪いと感じる。本人の身内が後見人となって親族の同意を得て財産管理ができる制度ができれば利用したい。

必要がない
現在は必要を感じていない。
無資産だから。
自分自身で考える。
自分で解決できる。
今はまだ大丈夫だと思うから。

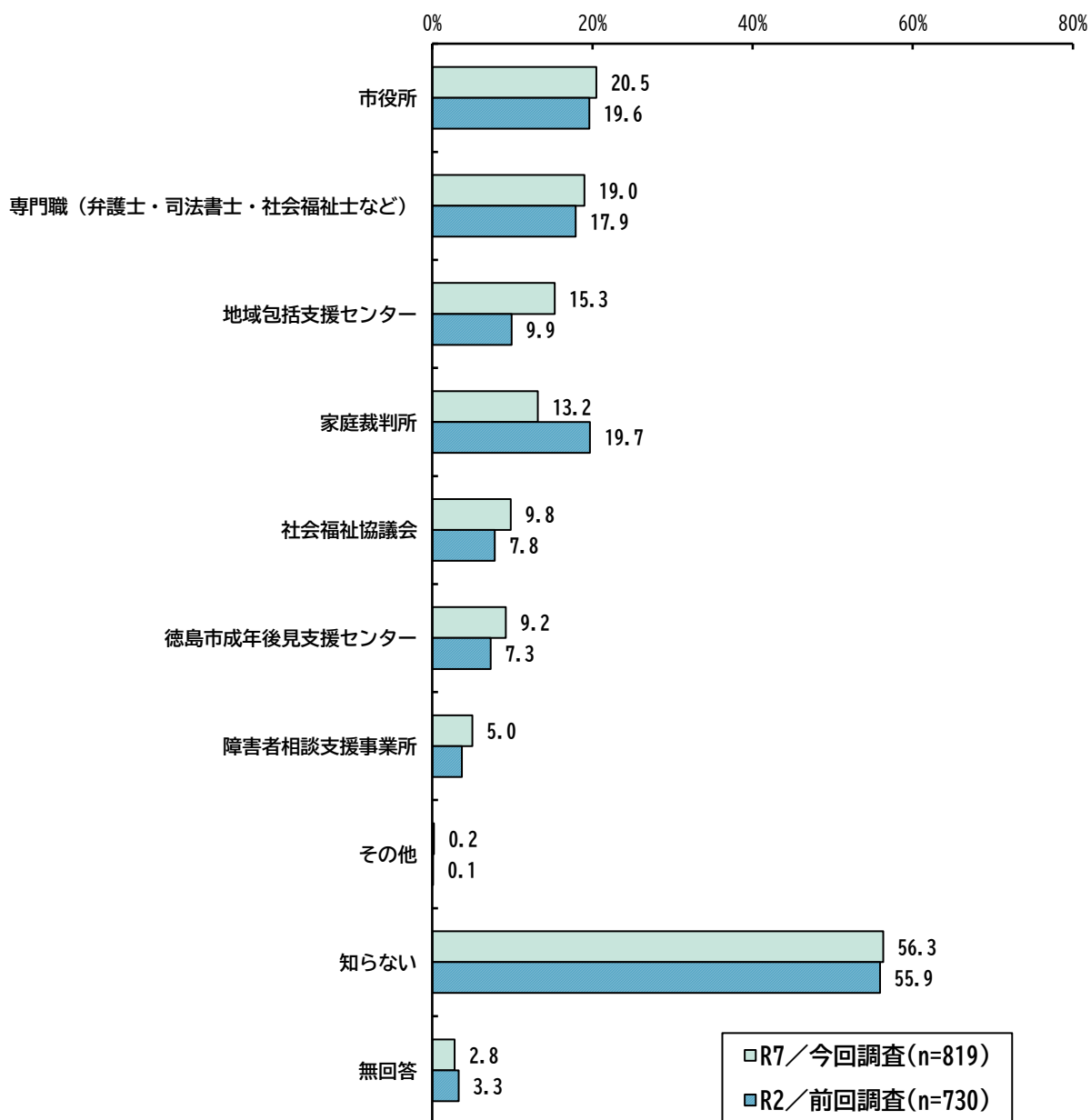
問 30 成年後見制度について相談できる機関を知っていますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

成年後見制度について相談できる機関の認知状況をみると、「市役所」が20.5%、「専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士など）」が19.0%、「地域包括支援センター」が15.3%と続いています。一方、「知らない」は56.3%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「家庭裁判所」が6.5ポイント減少しています。

図表 85 成年後見制度について相談できる機関の認知状況（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

地区別にみると、ほとんどの地区で「知らない」が最も高くなっていますが、北井上地区では「市役所」「専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士など）」が同率で最も高くなっています。

図表 86 成年後見制度について相談できる機関の認知度（全体、地区別／複数回答）

	全体	市役所	専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士など）	地域包括支援センター	家庭裁判所	社会福祉協議会	徳島市成年後見支援センター	障害者相談支援事業所	その他	知らない	無回答
全体	819	20.5	19.0	15.3	13.2	9.8	9.2	5.0	0.2	56.3	2.8
内町地区	16	25.0	25.0	12.5	18.8	6.3	-	6.3	-	37.5	6.3
新町地区	4	25.0	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-
西富田地区	8	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-	-	62.5	-
東富田地区	18	27.8	22.2	27.8	27.8	-	5.6	5.6	-	50.0	-
昭和地区	35	28.6	20.0	20.0	22.9	11.4	17.1	8.6	-	51.4	2.9
清東地区	74	16.2	16.2	8.1	8.1	6.8	4.1	-	-	64.9	1.4
渭北地区	63	15.9	9.5	12.7	7.9	7.9	9.5	4.8	-	58.7	6.3
佐古地区	41	22.0	24.4	22.0	17.1	4.9	12.2	4.9	-	48.8	4.9
沖洲地区	33	18.2	15.2	18.2	15.2	12.1	12.1	6.1	-	63.6	-
津田地区	50	16.0	22.0	16.0	16.0	6.0	8.0	4.0	-	46.0	4.0
加茂名地区	67	20.9	22.4	23.9	10.4	14.9	9.0	7.5	-	49.3	1.5
加茂地区	59	27.1	20.3	16.9	18.6	13.6	10.2	5.1	-	52.5	1.7
八万地区	97	18.6	20.6	13.4	14.4	10.3	10.3	5.2	-	60.8	3.1
勝占地区	47	25.5	21.3	17.0	10.6	8.5	12.8	4.3	2.1	66.0	-
多家良地区	23	30.4	30.4	17.4	21.7	13.0	8.7	4.3	-	39.1	4.3
上八万地区	31	12.9	19.4	12.9	16.1	16.1	12.9	6.5	-	61.3	-
入田地区	2	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
不動地区	4	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-	75.0	-
川内地区	53	28.3	20.8	11.3	9.4	7.5	1.9	3.8	-	52.8	3.8
応神地区	18	16.7	16.7	11.1	11.1	16.7	11.1	11.1	-	61.1	5.6
国府地区	58	12.1	13.8	12.1	10.3	5.2	6.9	5.2	1.7	62.1	5.2
南井上地区	10	20.0	10.0	30.0	-	20.0	20.0	10.0	-	70.0	-
北井上地区	5	40.0	40.0	-	-	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-

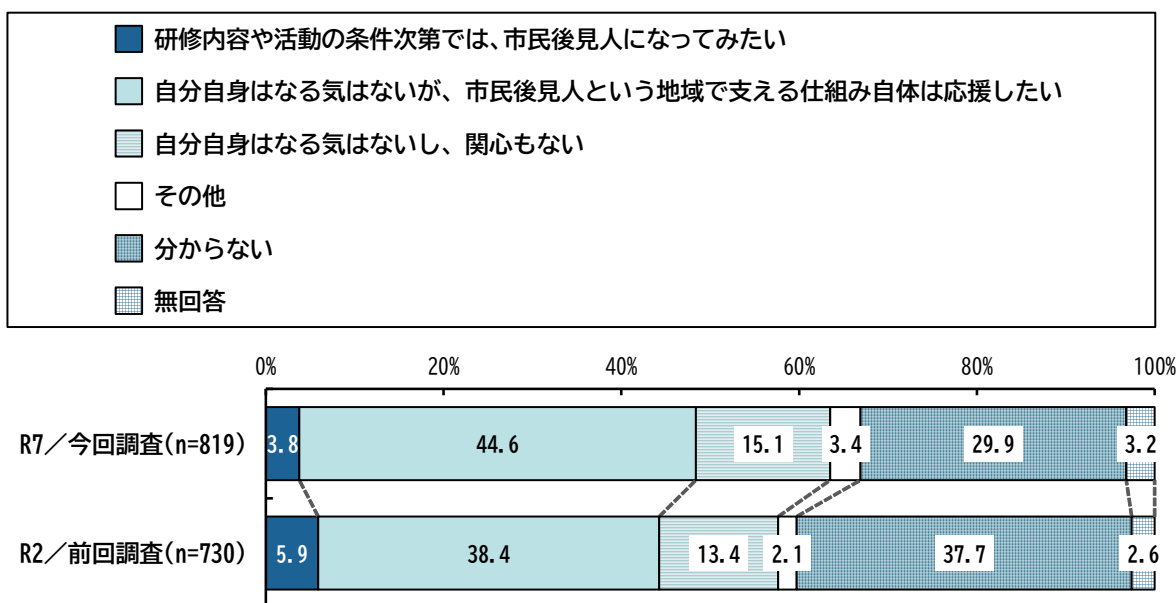
問 31 徳島市では、一定の研修を修了した一般の方に成年後見人として活動してもらう「市民後見人」の育成について今後検討していく予定です。この市民後見人について、あなたの考えに最も近いものをお答えください。【一つだけに○】

【全体の傾向】

「市民後見人」についての考えをみると、「自分自身はなる気はないが、市民後見人という地域で支える仕組み自体は応援したい」が44.6%と最も高く、次いで「分からない」が29.9%、「自分自身はなる気はないし、関心もない」が15.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「分からない」が7.8ポイント減少しています。

図表 87 「市民後見人」についての考え（全体、前回比較）



【属性別の傾向】

地区別にみると、18地区で「自分自身はなる気はないが、市民後見人という地域で支える仕組み自体は応援したい」が最も高くなっています。

図表 88 「市民後見人」についての考え（全体、地区別）

	全体	は、研修内容や活動の条件次第で市民後見人になる気はない	自分自身はなる気はないが、市民後見人という地域で支える仕組み自体は応援したい	自分自身はなる気はないし、関心もない	その他	分からない	無回答
全体	819	3.8	44.6	15.1	3.4	29.9	3.2
内町地区	16	-	56.3	6.3	6.3	31.3	-
新町地区	4	-	25.0	-	-	75.0	-
西富田地区	8	-	37.5	12.5	-	37.5	12.5
東富田地区	18	5.6	61.1	-	-	33.3	-
昭和地区	35	2.9	42.9	8.6	5.7	34.3	5.7
渭東地区	74	4.1	41.9	17.6	4.1	31.1	1.4
渭北地区	63	-	49.2	14.3	3.2	28.6	4.8
佐古地区	41	2.4	51.2	17.1	7.3	17.1	4.9
沖洲地区	33	3.0	42.4	9.1	-	45.5	-
津田地区	50	4.0	46.0	18.0	2.0	28.0	2.0
加茂名地区	67	10.4	43.3	19.4	3.0	20.9	3.0
加茂地区	59	8.5	55.9	16.9	-	18.6	-
八万地区	97	3.1	47.4	15.5	7.2	23.7	3.1
勝占地区	47	-	29.8	25.5	-	40.4	4.3
多家良地区	23	4.3	43.5	26.1	-	17.4	8.7
上八万地区	31	3.2	45.2	19.4	3.2	25.8	3.2
入田地区	2	-	-	-	50.0	50.0	-
不動地区	4	-	100.0	-	-	-	-
川内地区	53	3.8	39.6	13.2	7.5	32.1	3.8
応神地区	18	-	44.4	5.6	-	44.4	5.6
国府地区	58	5.2	32.8	8.6	1.7	46.6	5.2
南井上地区	10	-	40.0	20.0	-	40.0	-
北井上地区	5	-	40.0	20.0	-	40.0	-

5 「地域福祉の担い手づくり」について

1 地域活動について

問 32 あなたは、地域でどのような活動に参加していますか。また、参加してみたいですか。
【それぞれ一つだけに○】

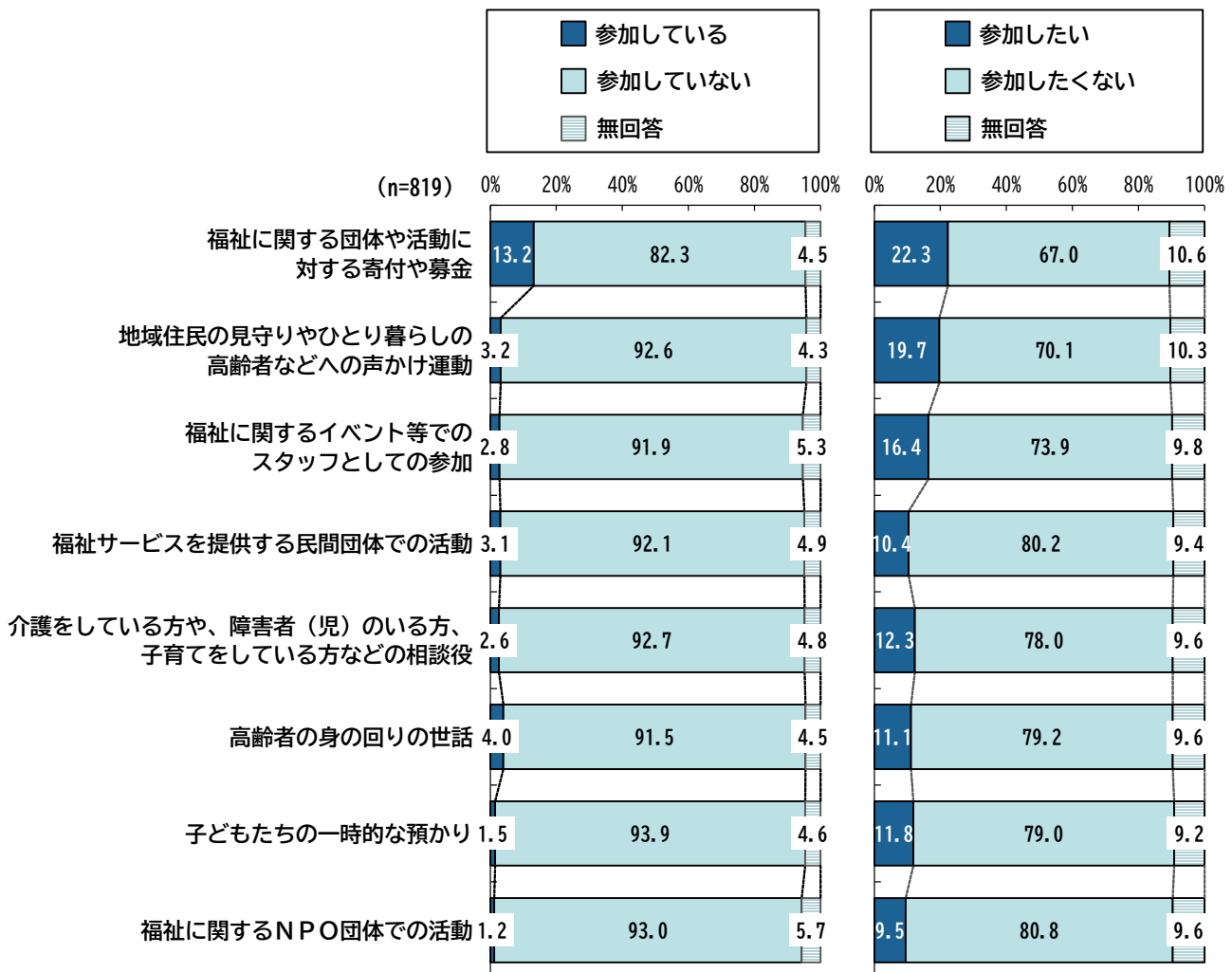
【全体の傾向】

地域活動の参加状況をみると、「参加している」割合が最も高いのは“福祉に関する団体や活動に対する寄付や募金”で13.2%となっています。その他の活動への参加率は、いずれも1割未満となっています。

一方、参加意向をみると、「参加したい」が最も高いのは参加状況と同様に“福祉に関する団体や活動に対する寄付や募金”となっています。

参加状況と参加意向を比較すると、いずれの活動においても「参加したい」が「参加している」を上回っていることから、参加したいけれど参加できていない人が多いという現状がみられます。

図表 89 地域活動の参加状況と参加意向（全体）



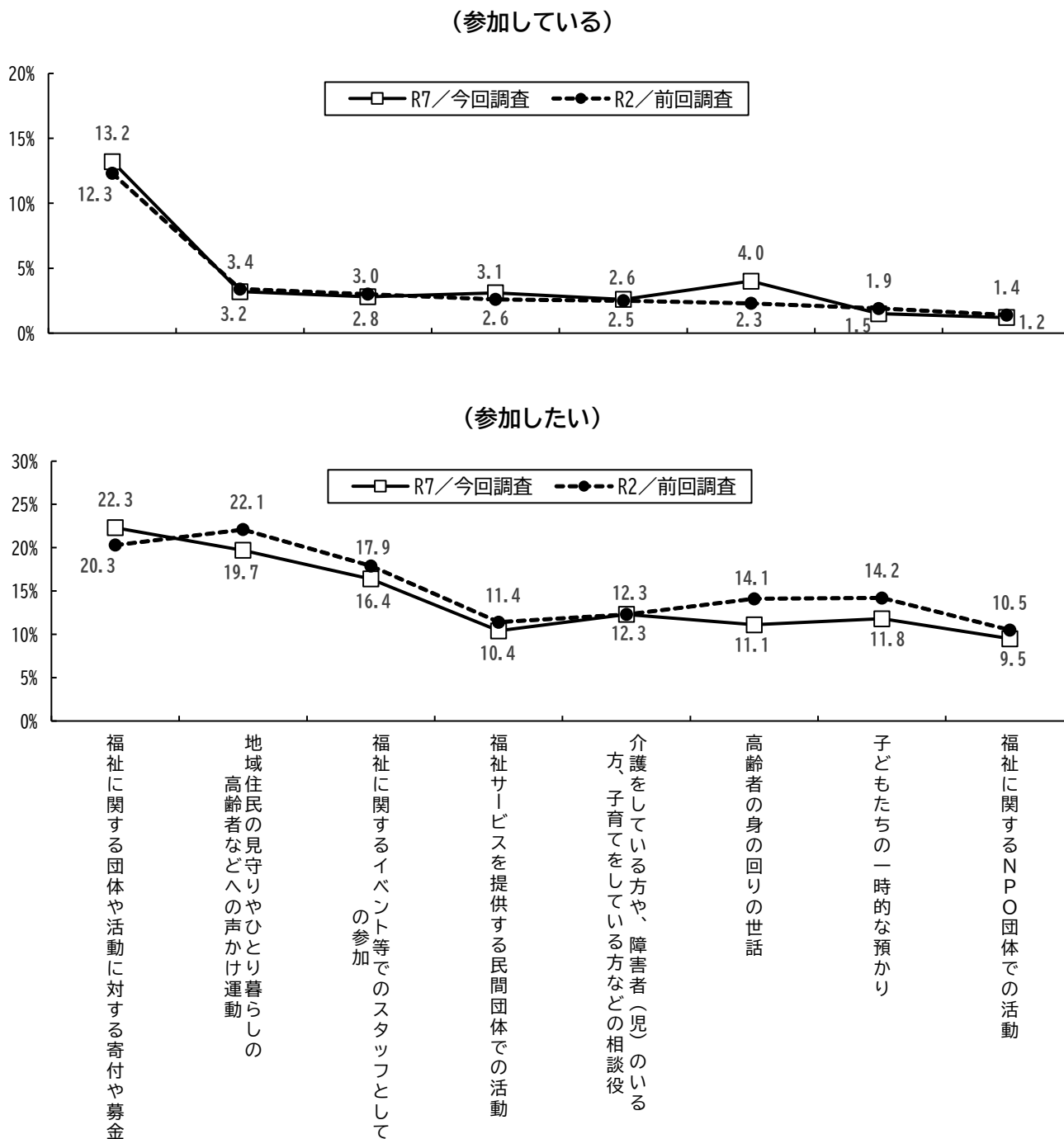
【前回比較】

前回調査と比較すると、参加している割合では“高齢者の身の回りの世話”が1.7ポイント増加しています。

一方、参加したい割合では、“高齢者の身の回りの世話”が3.0ポイント減少しています。また、“福祉に関する団体や活動に対する寄付や募金”については前回は上回っていますが、それ以外の活動については同率もしくは下回っています。

図表 90 地域活動の参加状況と参加意向（全体、前回比較）

※「参加している」および「参加したい」割合を比較している。

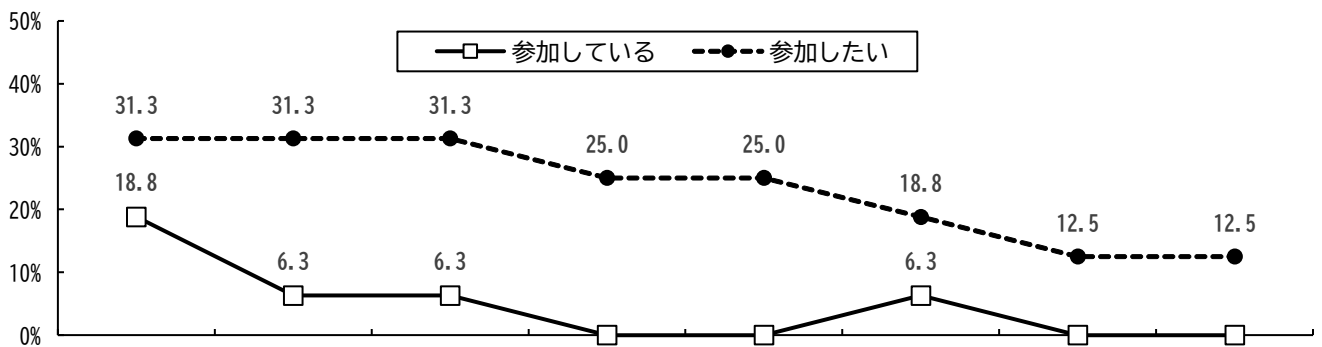


【地域別の傾向】

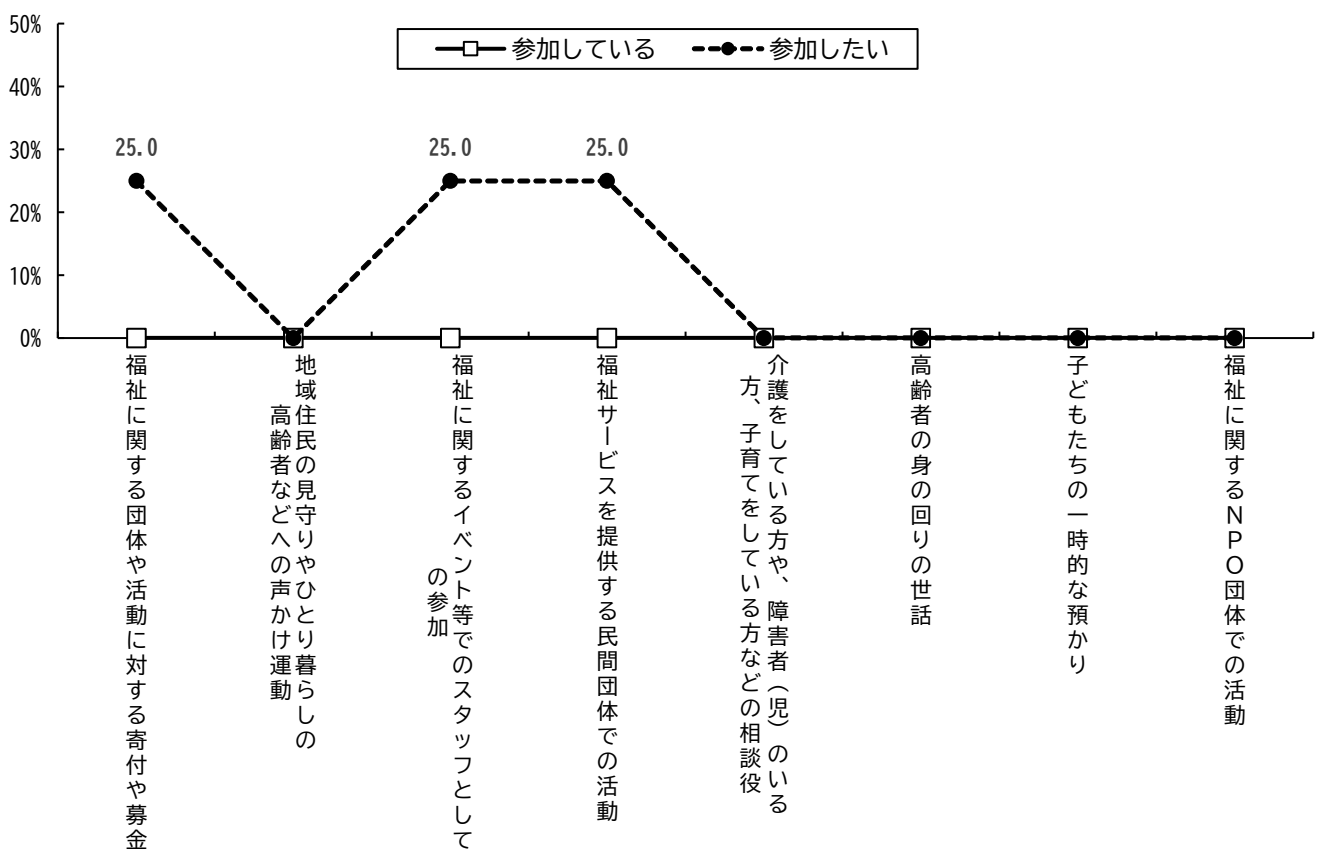
地区別にみると、ほとんどの地区のいずれの活動においても「参加したい」が「参加している」を上回っていますが、“福祉に関する団体や活動に対する寄付や募金”については、津田、不動、北井上地区で「参加している」が上回っています。また、“福祉サービスを提供する民間団体での活動”については、上八万地区、“高齢者の身の回りの世話”については、勝占地区で「参加している」が上回っています。

図表 91 地域活動の参加状況と参加意向（全体、地区別）

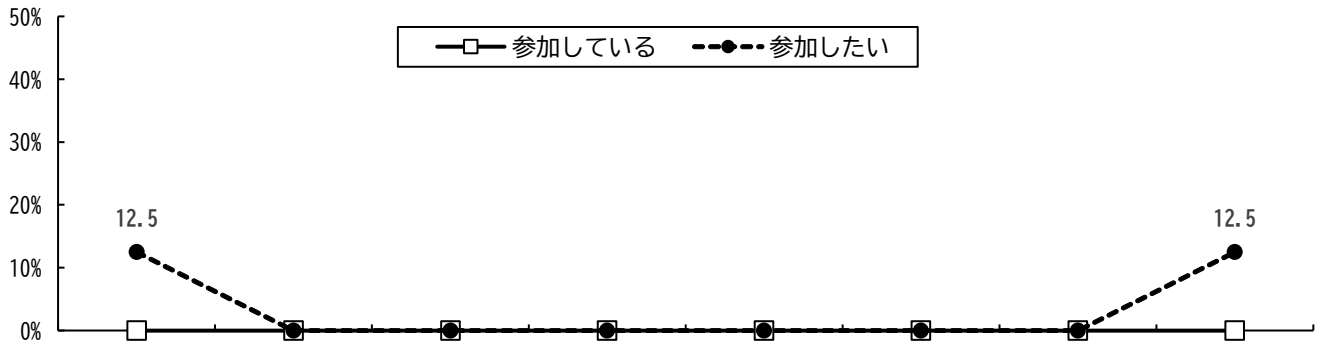
内町(n=16)



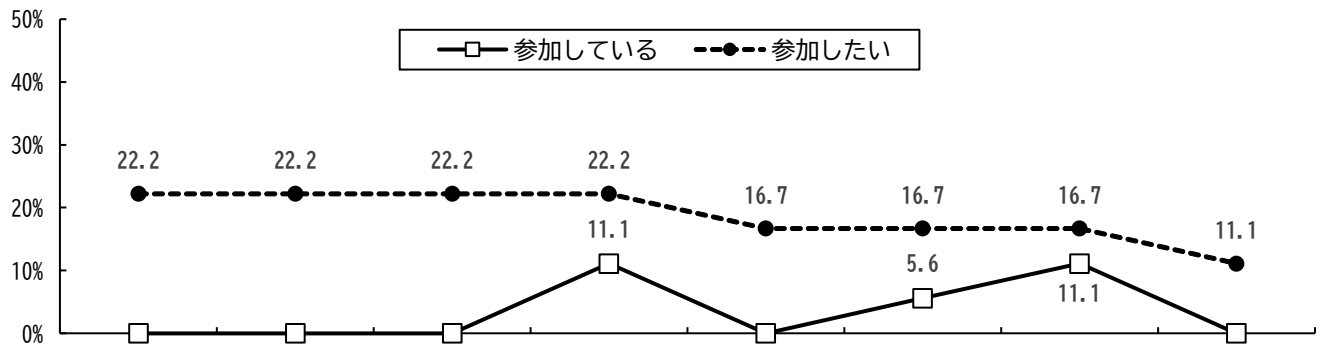
新町(n=4)



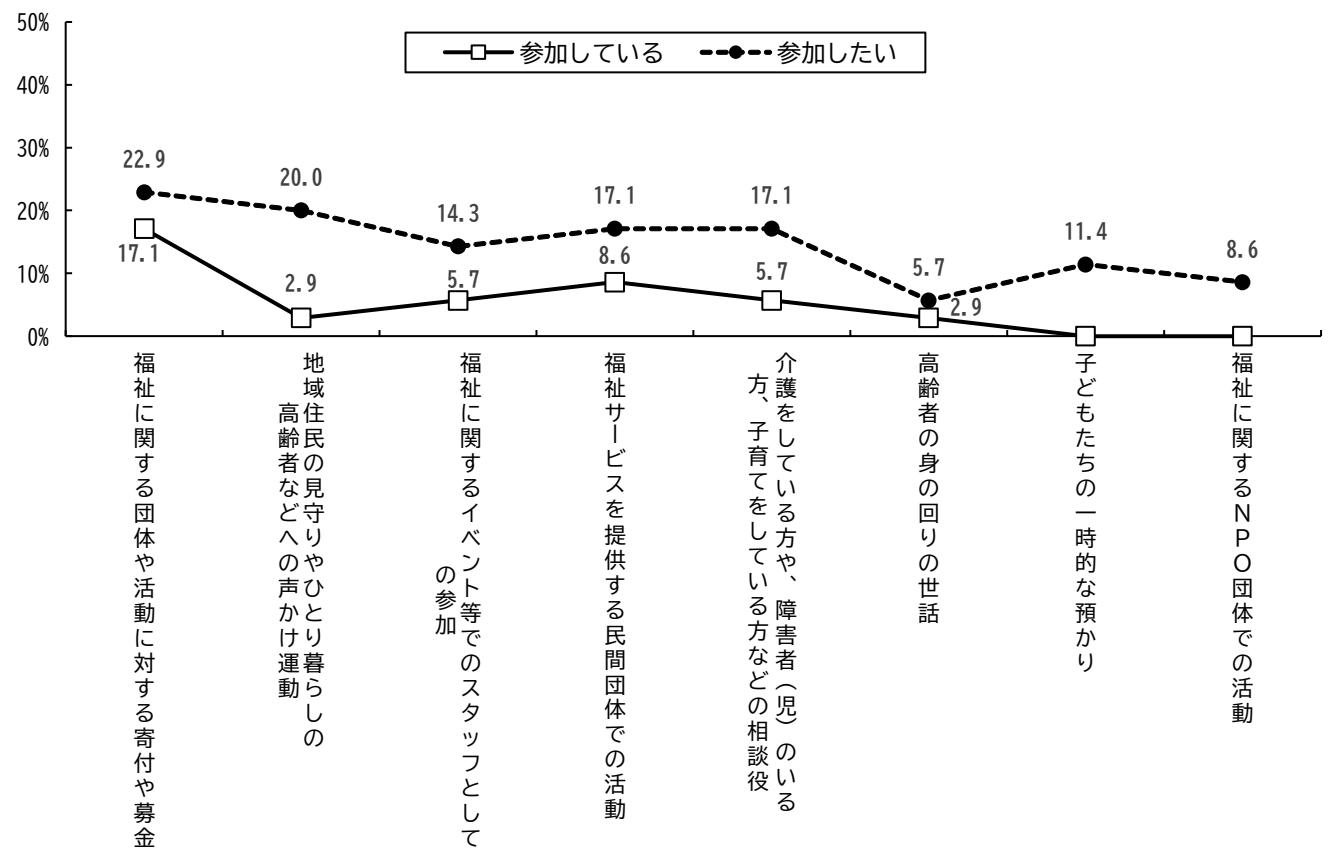
西富田(n=8)



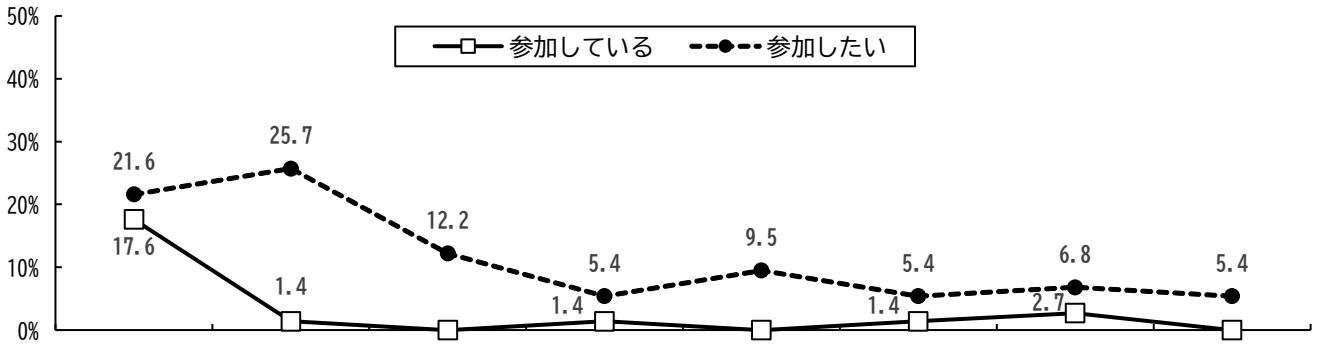
東富田(n=18)



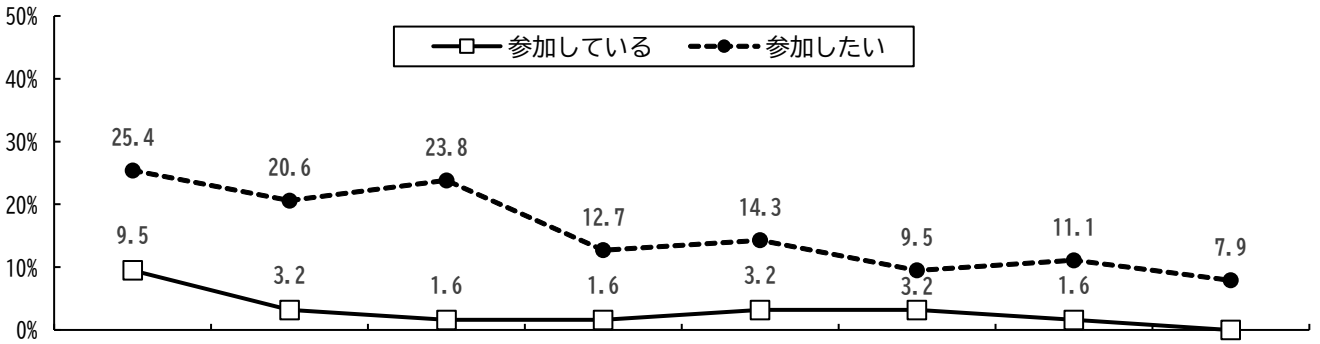
昭和(n=35)



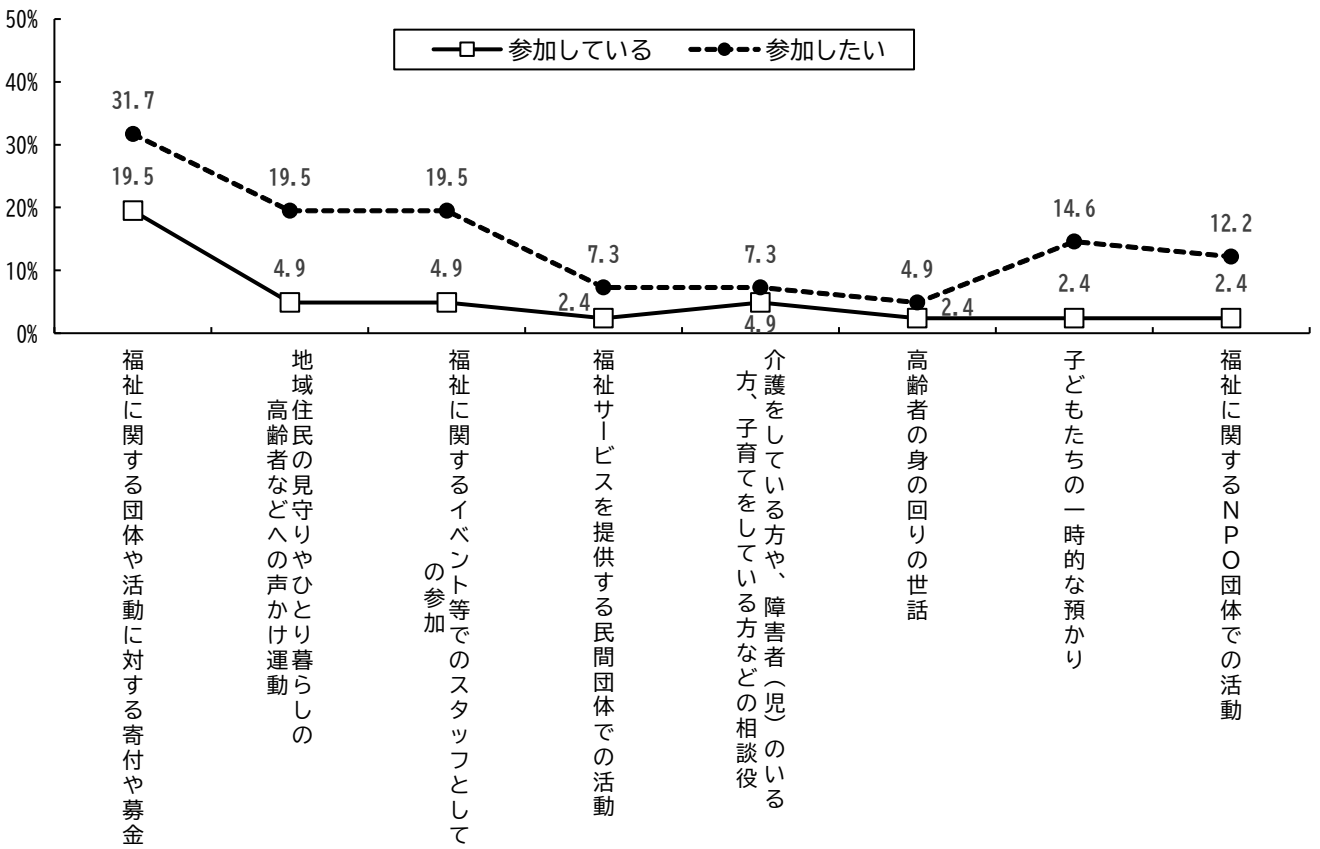
渭東(n=74)



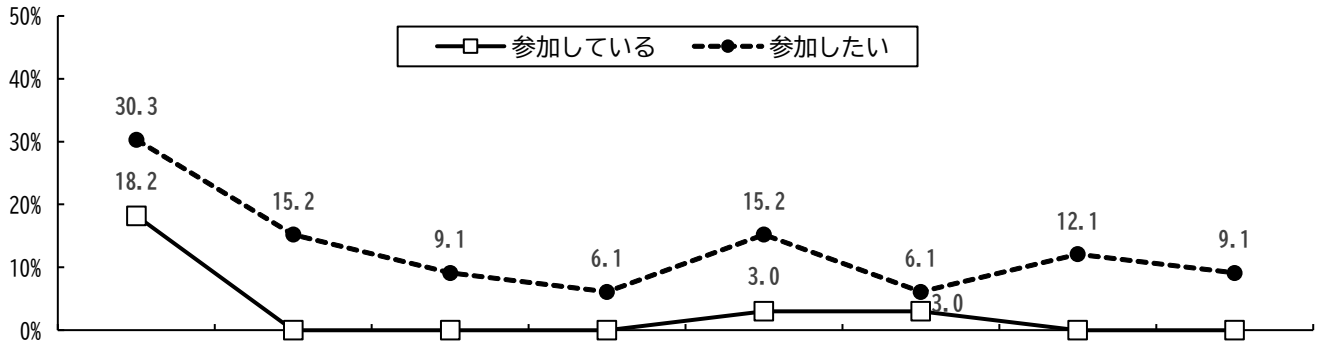
渭北(n=63)



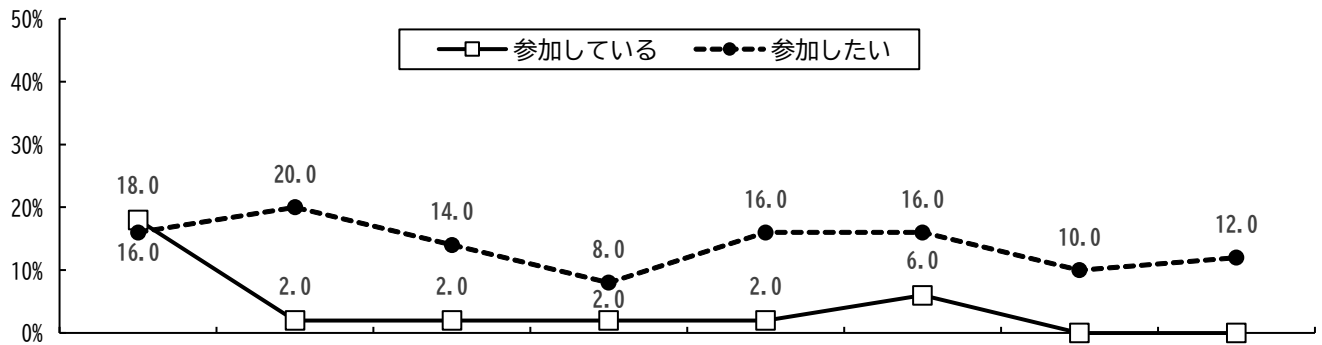
佐古(n=41)



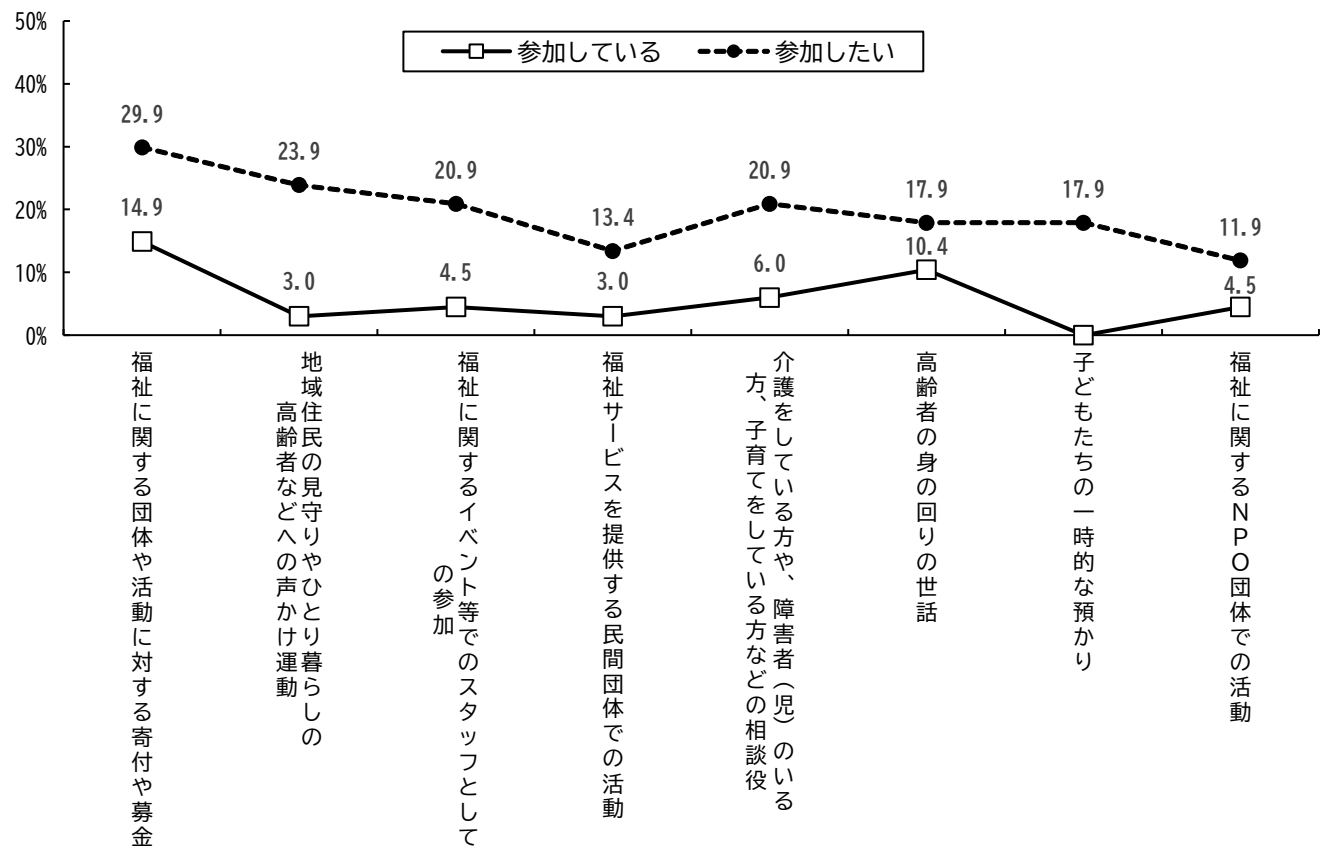
沖洲(n=33)



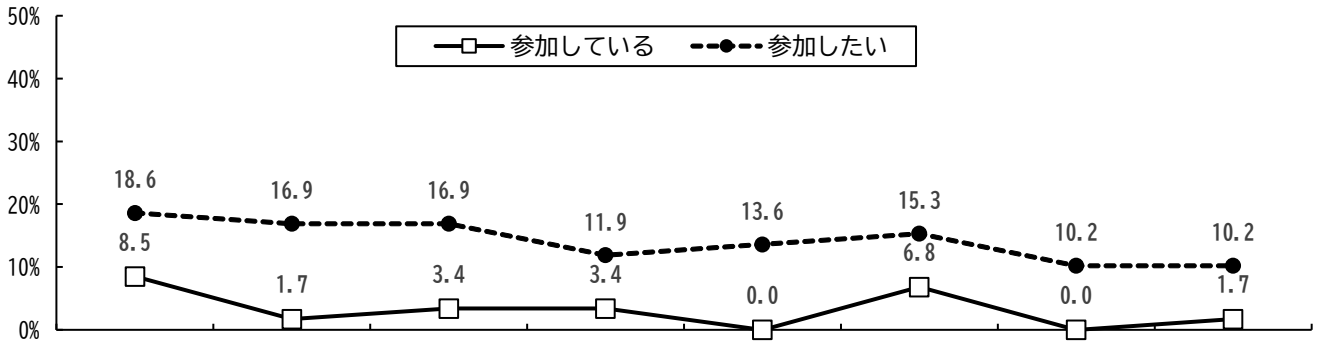
津田(n=50)



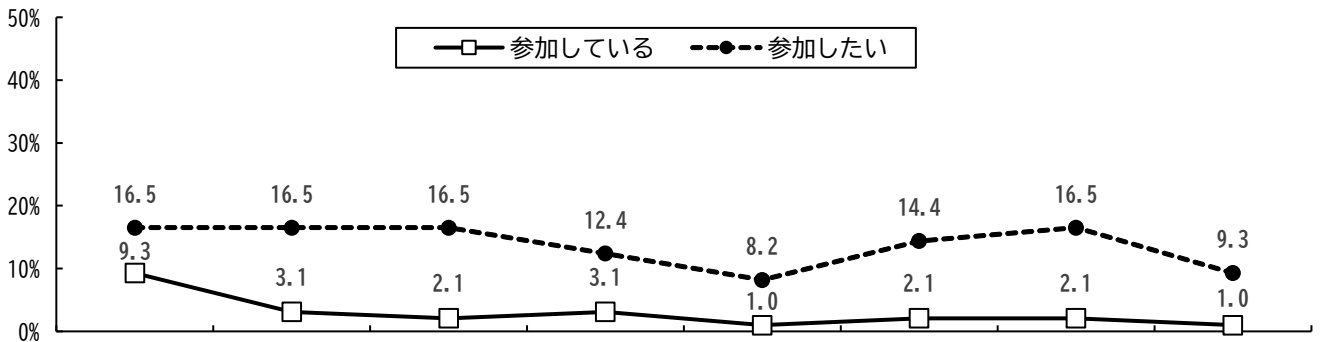
加茂名(n=67)



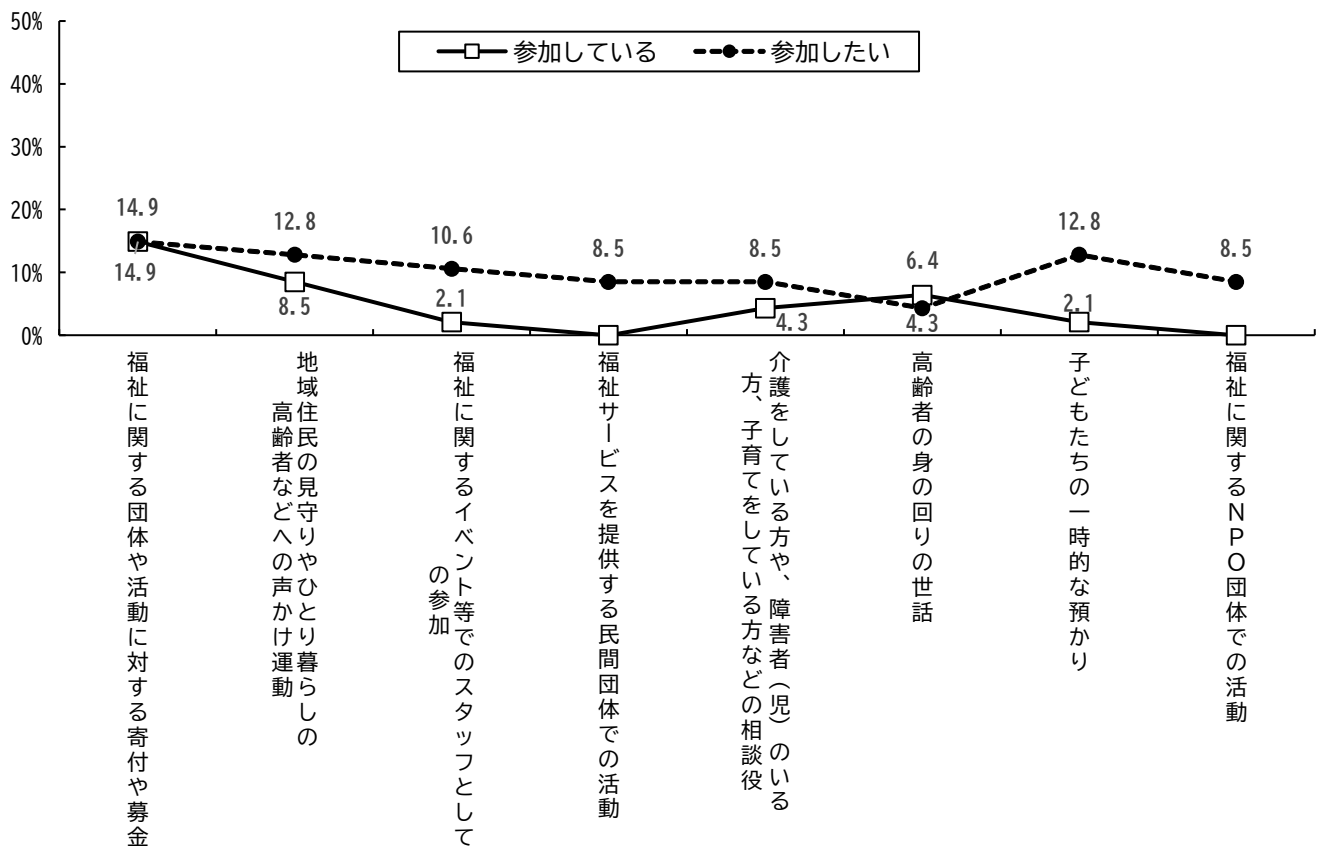
加茂(n=59)



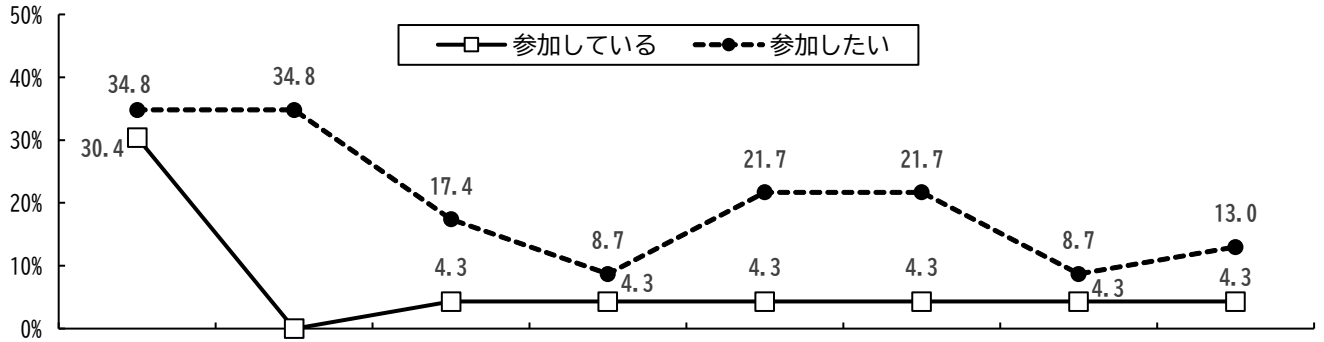
八万(n=97)



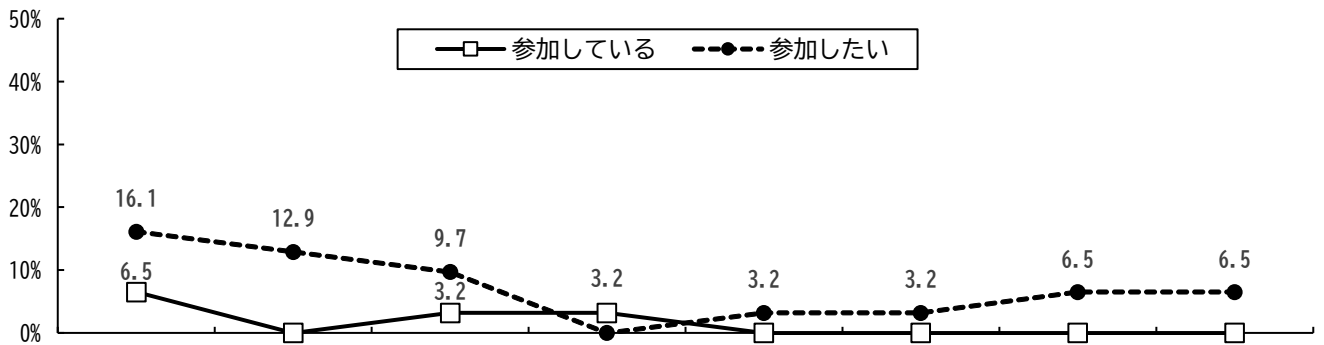
勝占(n=47)



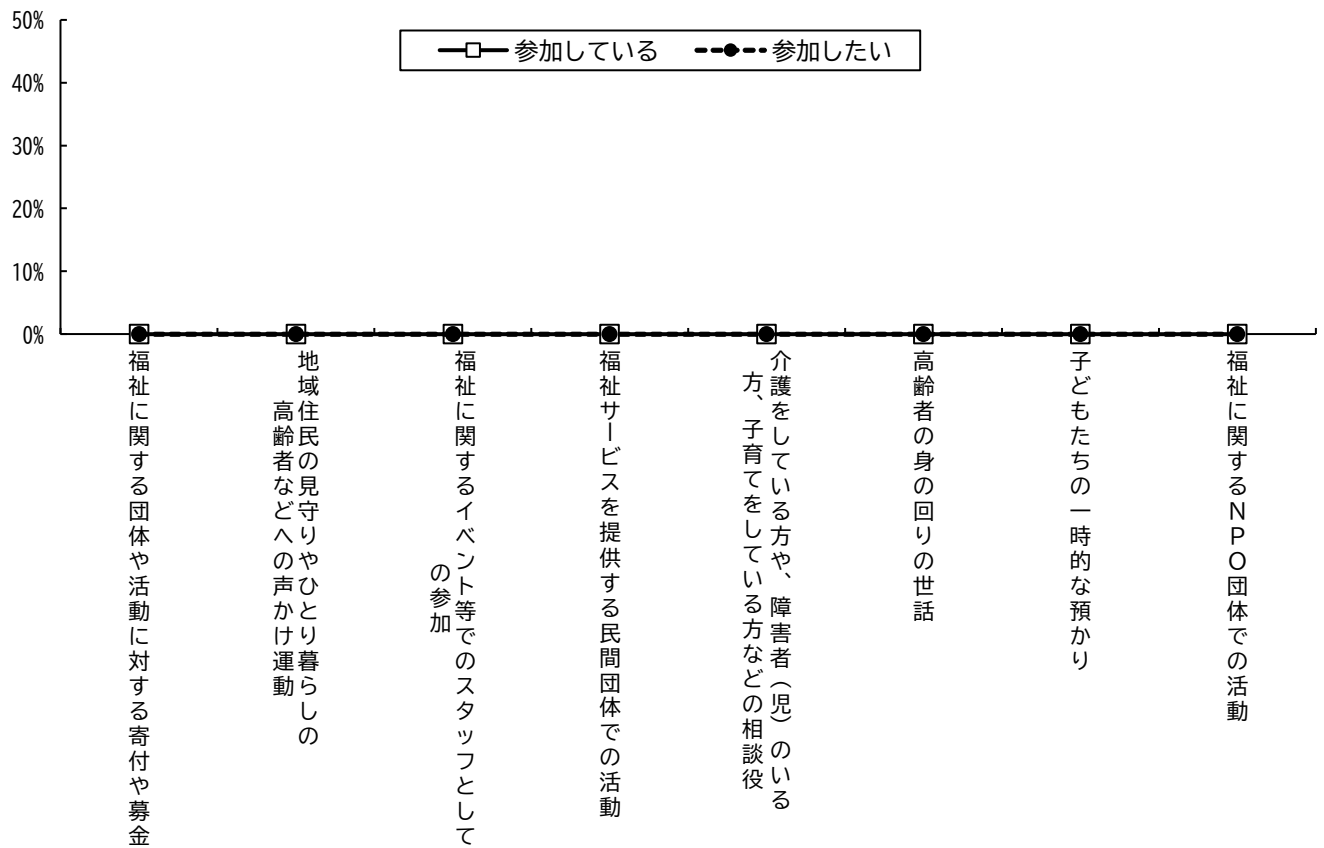
多家良(n=23)



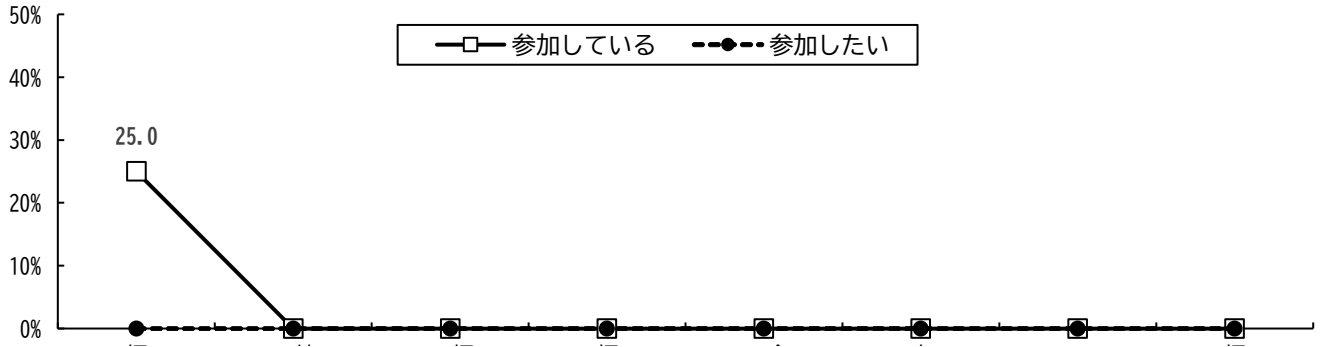
上八万(n=31)



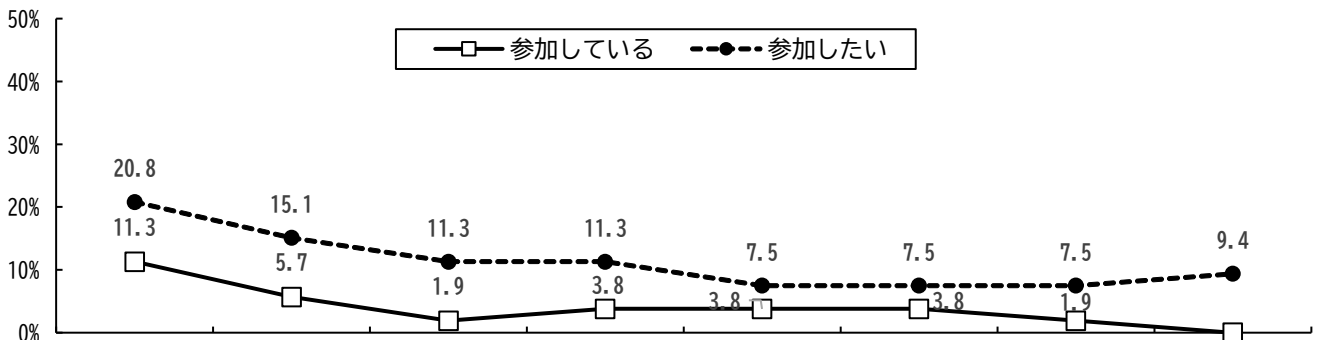
入田(n=2)



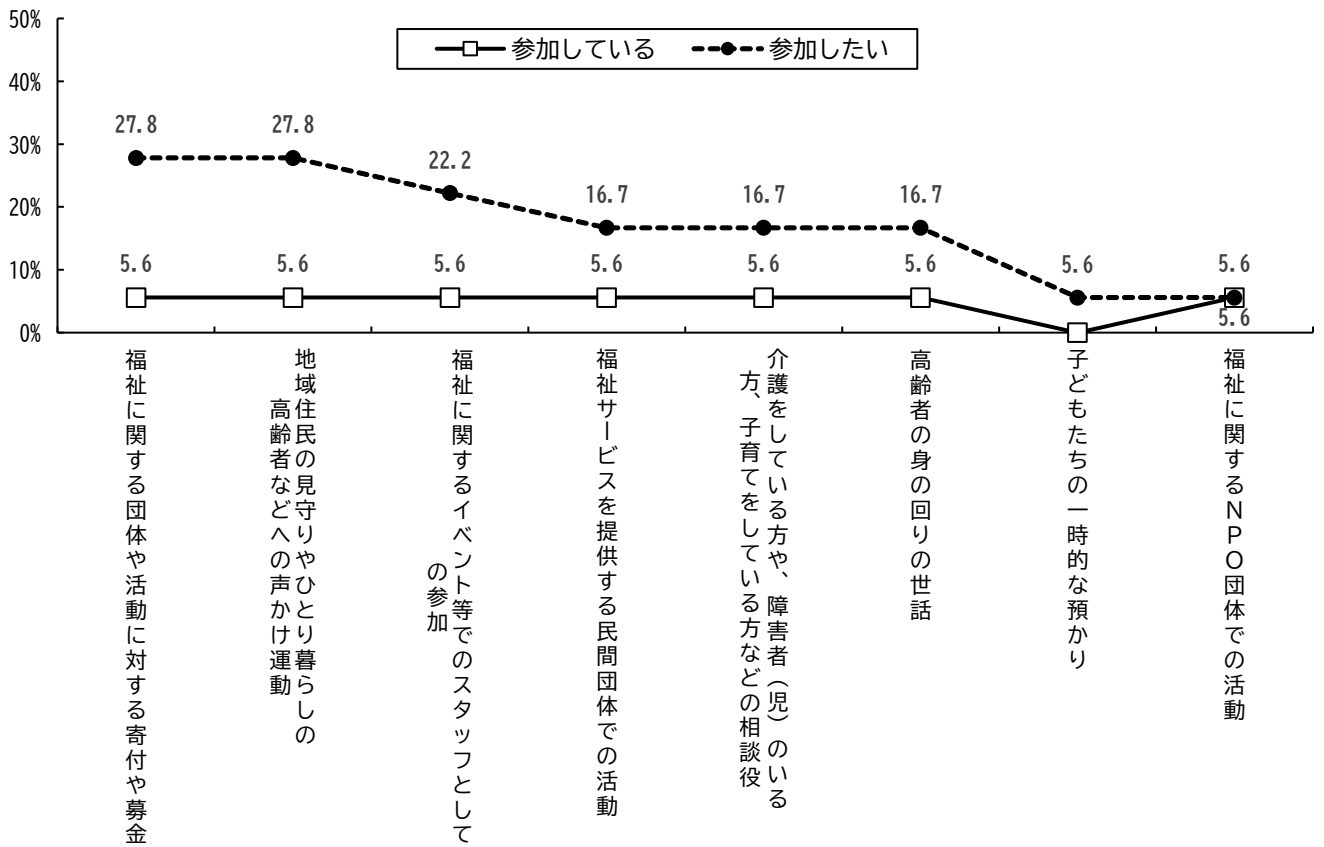
不動(n=4)



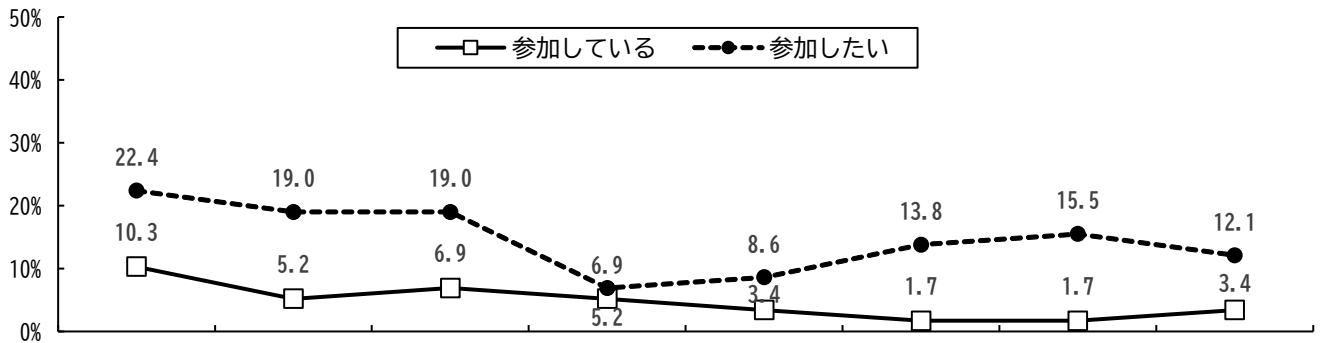
川内(n=53)



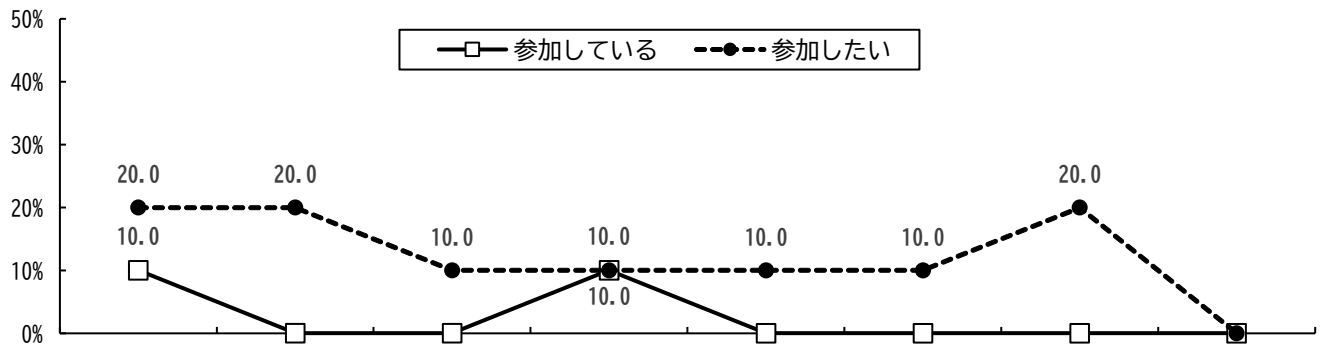
応神(n=18)



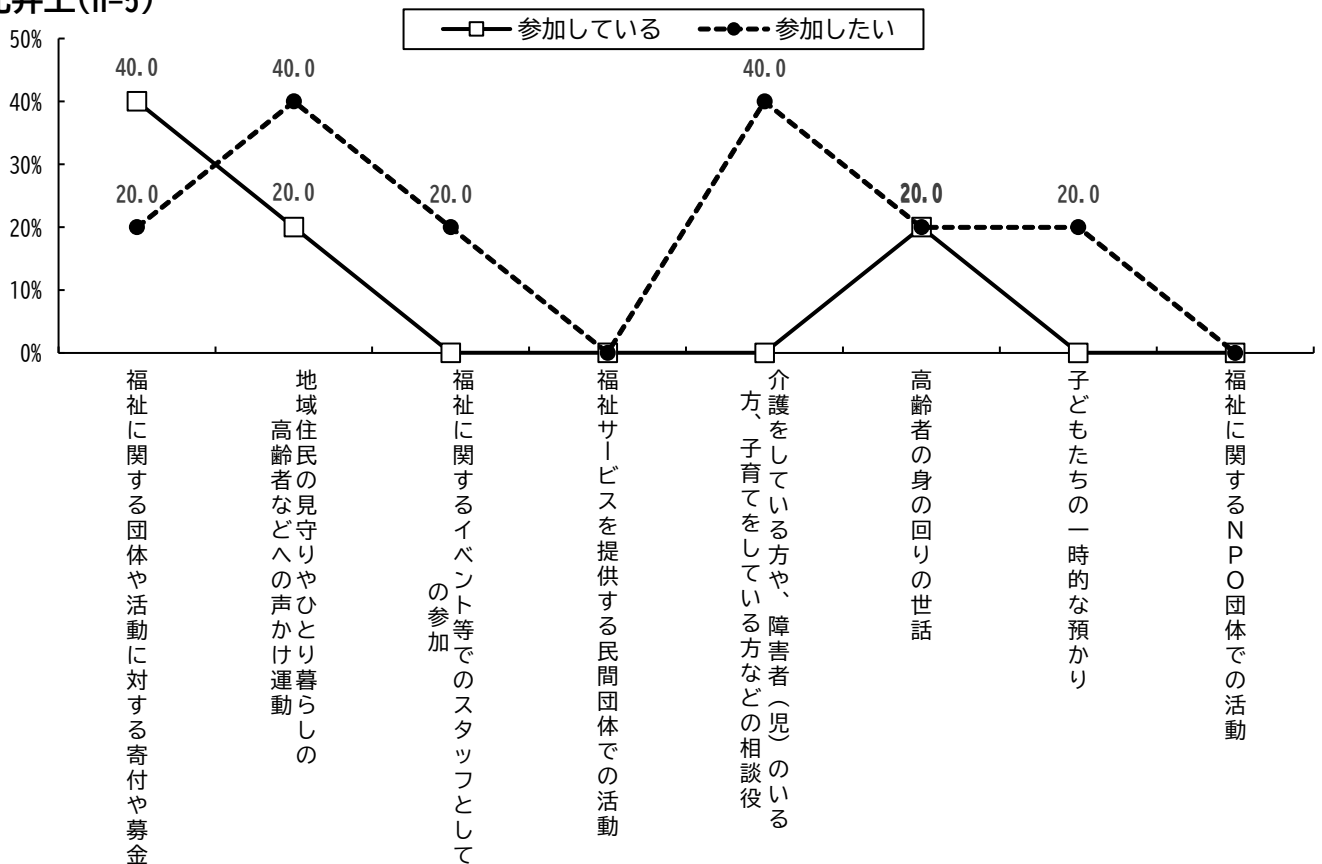
国府(n=58)



南井上(n=10)



北井上(n=5)



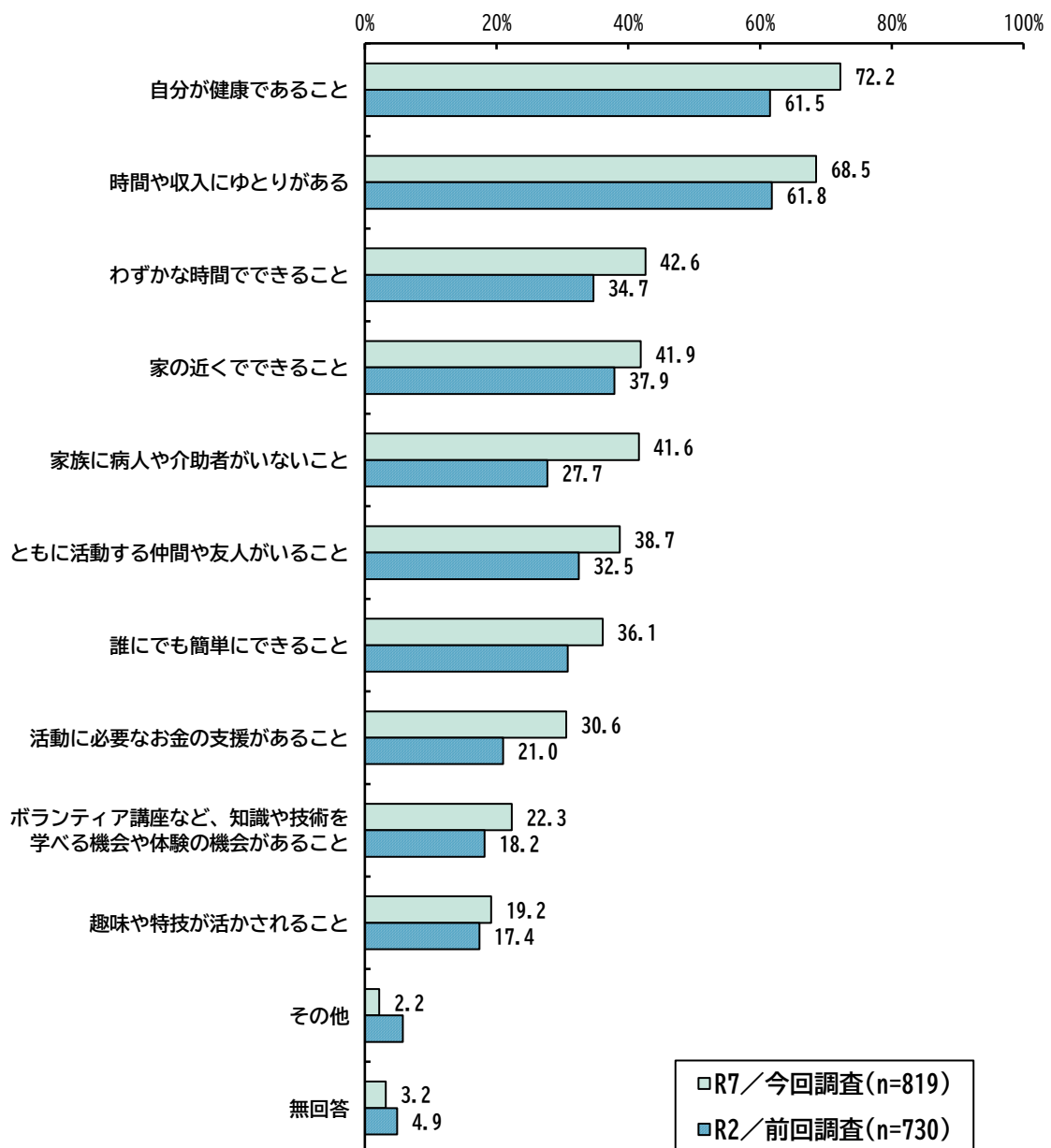
問 33 どのような条件が整えば、あなたがボランティア等の地域活動を継続できる、または今後参加ができると思いますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

地域活動継続の条件をみると、「自分が健康であること」が72.2%と最も高く、次いで「時間や収入にゆとりがある」が68.5%、「わずかな時間でできること」が42.6%と続いています。

前回調査と比較すると、「自分が健康であること」が10.7ポイント増加しています。

図表 92 地域活動継続の条件（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、15～50歳代では「時間や収入にゆとりがある」、60歳代以上では「自分が健康であること」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別にみると、いずれの地区も「自分が健康であること」もしくは「時間や収入にゆとりがある」が最も高くなっています。

図表 93 地域活動継続の条件（全体、年齢別／複数回答）

	全体	自分が健康であること	時間や収入にゆとりがある	わずかな時間でできること	家の近くでできること	と家族に病人や介助者がいないこと	ともに活動する仲間や友人がいること	誰にでも簡単にできること	活動に必要なお金の支援があること	技術やスキルを学ぶ機会や体験の機会があること	ボランティア講座など、知識や趣味や特技が活かされること	その他	無回答
全体	819	72.2	68.5	42.6	41.9	41.6	38.7	36.1	30.6	22.3	19.2	2.2	3.2
15～20歳代	165	57.6	90.3	37.6	29.7	29.7	46.7	37.6	32.7	21.8	26.1	0.6	1.2
30歳代	86	67.4	83.7	53.5	45.3	40.7	44.2	41.9	44.2	18.6	19.8	2.3	1.2
40歳代	105	65.7	86.7	42.9	38.1	41.9	34.3	38.1	44.8	23.8	19.0	4.8	-
50歳代	109	81.7	85.3	44.0	45.0	58.7	40.4	34.9	46.8	33.0	21.1	-	0.9
60歳代	112	77.7	67.9	51.8	46.4	58.0	45.5	39.3	28.6	30.4	15.2	1.8	4.5
70歳代以上	237	79.3	33.3	36.3	47.3	34.6	29.1	31.2	11.8	14.3	15.6	3.4	7.2

図表 94 地域活動継続の条件（全体、地区別／複数回答）

	全体	自分が健康であること	時間や収入にゆとりがある	わずかな時間でできること	家の近くでできること	と家族に病人や介助者がいないこと	ともに活動する仲間や友人がいること	誰にでも簡単にできること	活動に必要なお金の支援があること	技術や知識を学ぶ機会や体験の機会があること	ボランティア講座など、知識や技術を学べる機会や体験の機会があること	趣味や特技が活かされること	その他	無回答
全体	819	72.2	68.5	42.6	41.9	41.6	38.7	36.1	30.6	22.3	19.2	2.2	3.2	
内町地区	16	75.0	75.0	43.8	56.3	43.8	31.3	12.5	31.3	31.3	18.8	-	-	
新町地区	4	75.0	100.0	100.0	50.0	50.0	75.0	50.0	50.0	25.0	50.0	-	-	
西富田地区	8	37.5	50.0	12.5	-	12.5	-	25.0	-	-	25.0	-	12.5	
東富田地区	18	66.7	61.1	44.4	50.0	55.6	38.9	55.6	27.8	16.7	11.1	5.6	-	
昭和地区	35	68.6	74.3	28.6	34.3	45.7	37.1	34.3	31.4	22.9	22.9	-	2.9	
渭東地区	74	74.3	75.7	47.3	37.8	48.6	37.8	37.8	37.8	23.0	17.6	-	1.4	
渭北地区	63	65.1	65.1	38.1	33.3	31.7	33.3	25.4	27.0	20.6	22.2	1.6	7.9	
佐古地区	41	78.0	63.4	41.5	34.1	43.9	34.1	36.6	31.7	26.8	12.2	4.9	2.4	
沖洲地区	33	57.6	69.7	42.4	39.4	33.3	42.4	30.3	36.4	21.2	24.2	-	3.0	
津田地区	50	78.0	66.0	38.0	44.0	46.0	42.0	48.0	32.0	14.0	14.0	2.0	8.0	
加茂名地区	67	67.2	71.6	37.3	41.8	40.3	25.4	38.8	19.4	19.4	17.9	1.5	4.5	
加茂地区	59	69.5	84.7	50.8	33.9	33.9	45.8	39.0	44.1	25.4	16.9	3.4	-	
八万地区	97	82.5	66.0	41.2	44.3	46.4	45.4	33.0	30.9	20.6	19.6	2.1	1.0	
勝占地区	47	70.2	59.6	51.1	51.1	40.4	38.3	38.3	27.7	21.3	27.7	4.3	4.3	
多家良地区	23	87.0	56.5	43.5	52.2	47.8	60.9	30.4	39.1	43.5	39.1	8.7	-	
上八万地区	31	83.9	71.0	41.9	48.4	35.5	48.4	38.7	29.0	25.8	9.7	-	-	
入田地区	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	
不動地区	4	50.0	-	50.0	25.0	50.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	
川内地区	53	66.0	75.5	37.7	49.1	47.2	39.6	37.7	26.4	24.5	15.1	-	5.7	
応神地区	18	72.2	55.6	44.4	50.0	27.8	22.2	44.4	22.2	11.1	33.3	5.6	-	
国府地区	58	69.0	65.5	46.6	44.8	37.9	37.9	37.9	29.3	29.3	17.2	3.4	5.2	
南井上地区	10	80.0	70.0	40.0	30.0	60.0	60.0	30.0	40.0	20.0	10.0	-	-	
北井上地区	5	80.0	60.0	80.0	80.0	60.0	40.0	60.0	20.0	-	40.0	-	-	

2 地域共生社会について

問 34 地域における問題や課題解決に向けた住民同士の自主的な支え合いや助け合いについて、あなたはどのように思いますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

住民同士の自主的な支え合いや助け合いについての考えをみると、「必要であり、できる範囲で協力したい」が51.4%と最も高く、次いで「分からない」が42.9%、「必要だと思わない」が3.9%と続いています。

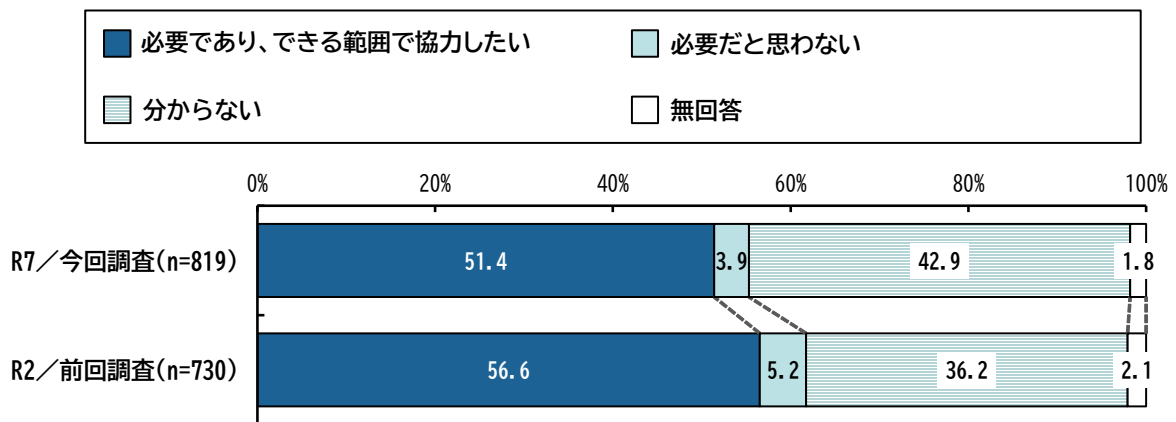
前回調査と比較すると、「分からない」が6.7ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

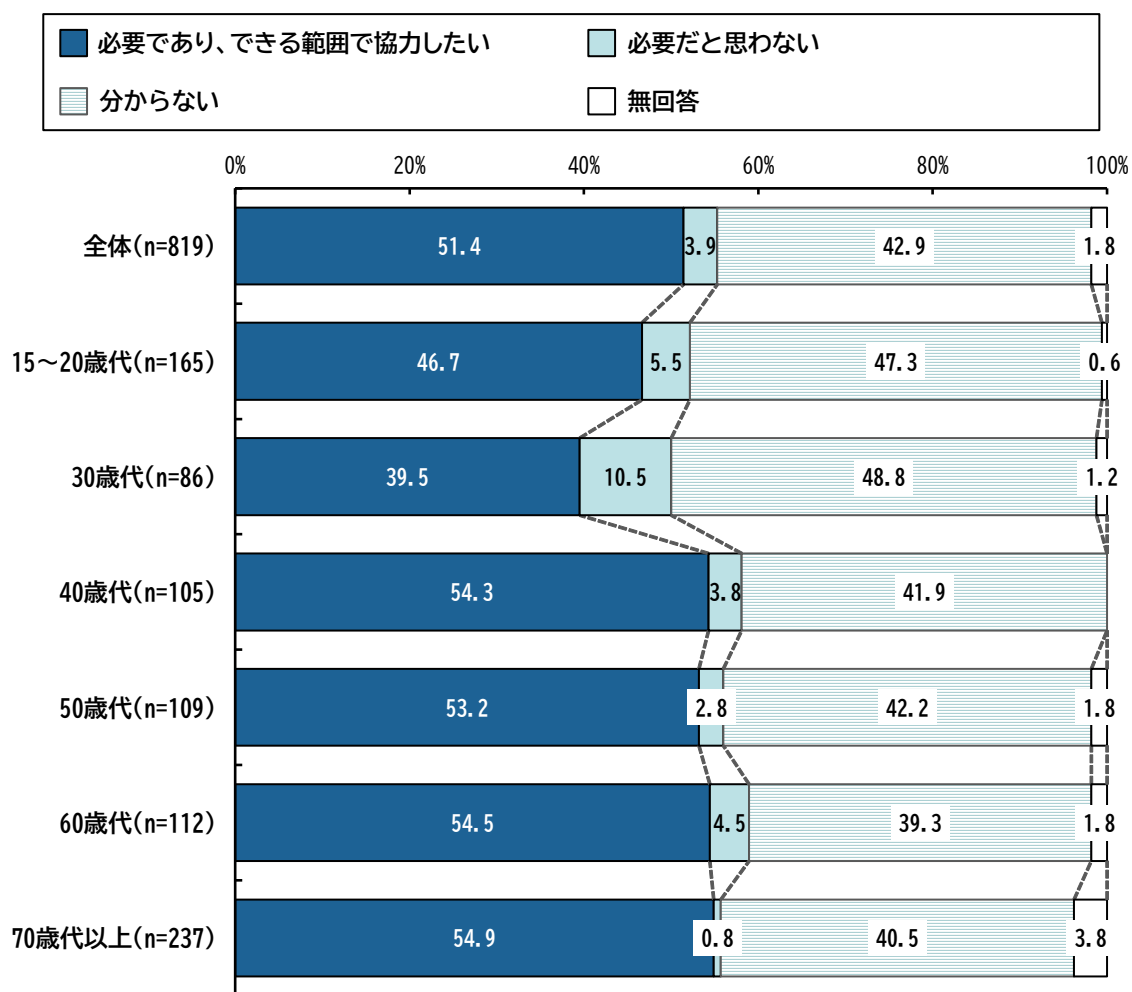
年齢別にみると、40歳代以上では「必要であり、できる範囲で協力したい」が半数以上を占めていますが、15～20歳代では46.7%、30歳代では39.5%とやや低くなっています。

地区別にみると、いずれの地区においても「必要であり、できる範囲で協力したい」が「必要だと思わない」を上回っています。

図表 95 住民同士の自主的な支え合いや助け合いについての考え（全体、前回比較）



図表 96 住民同士の自主的な支え合いや助け合いについての考え（全体、年齢別）



図表 97 住民同士の自主的な支え合いや助け合いについての考え（全体、地区別）

	全体	必要であり、 したい できる範囲で協力	必要だと思わない	分からない	無回答
全体	819	51.4	3.9	42.9	1.8
内町地区	16	56.3	-	43.8	-
新町地区	4	50.0	-	50.0	-
西富田地区	8	25.0	-	75.0	-
東富田地区	18	66.7	16.7	16.7	-
昭和地区	35	54.3	2.9	42.9	-
渭東地区	74	40.5	4.1	54.1	1.4
渭北地区	63	60.3	3.2	33.3	3.2
佐古地区	41	61.0	2.4	34.1	2.4
沖洲地区	33	45.5	-	51.5	3.0
津田地区	50	56.0	2.0	42.0	-
加茂名地区	67	49.3	4.5	43.3	3.0
加茂地区	59	47.5	10.2	42.4	-
八万地区	97	47.4	1.0	49.5	2.1
勝占地区	47	46.8	2.1	48.9	2.1
多家良地区	23	65.2	4.3	30.4	-
上八万地区	31	64.5	6.5	29.0	-
入田地区	2	50.0	-	50.0	-
不動地区	4	25.0	-	50.0	25.0
川内地区	53	45.3	1.9	49.1	3.8
応神地区	18	50.0	5.6	38.9	5.6
国府地区	58	53.4	5.2	39.7	1.7
南井上地区	10	50.0	10.0	40.0	-
北井上地区	5	80.0	20.0	-	-

問 34 で「必要であり、できる範囲で協力したい」を選択した方

問 34-1 現在、協力していることはありますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

地域課題解決に向けて協力していることはあるかをみると、「ある」が8.3%、「ない」が90.3%となっています。

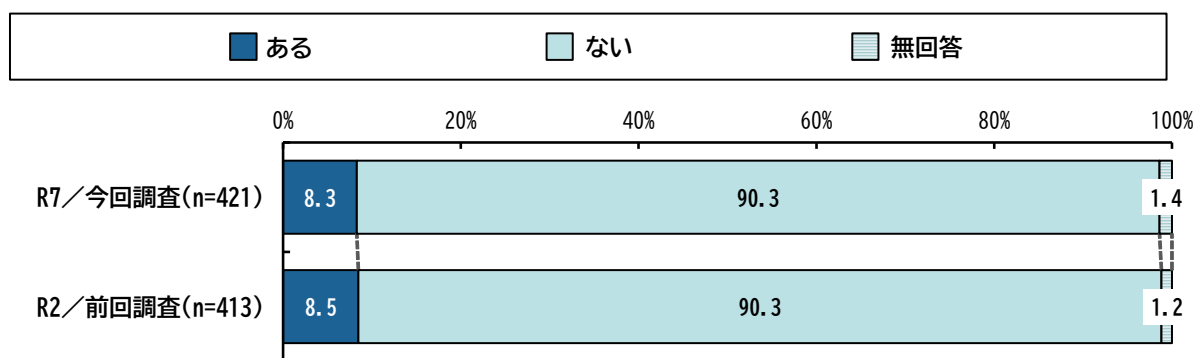
前回調査と比較すると、大きな違いはみられません。

【属性別の傾向】

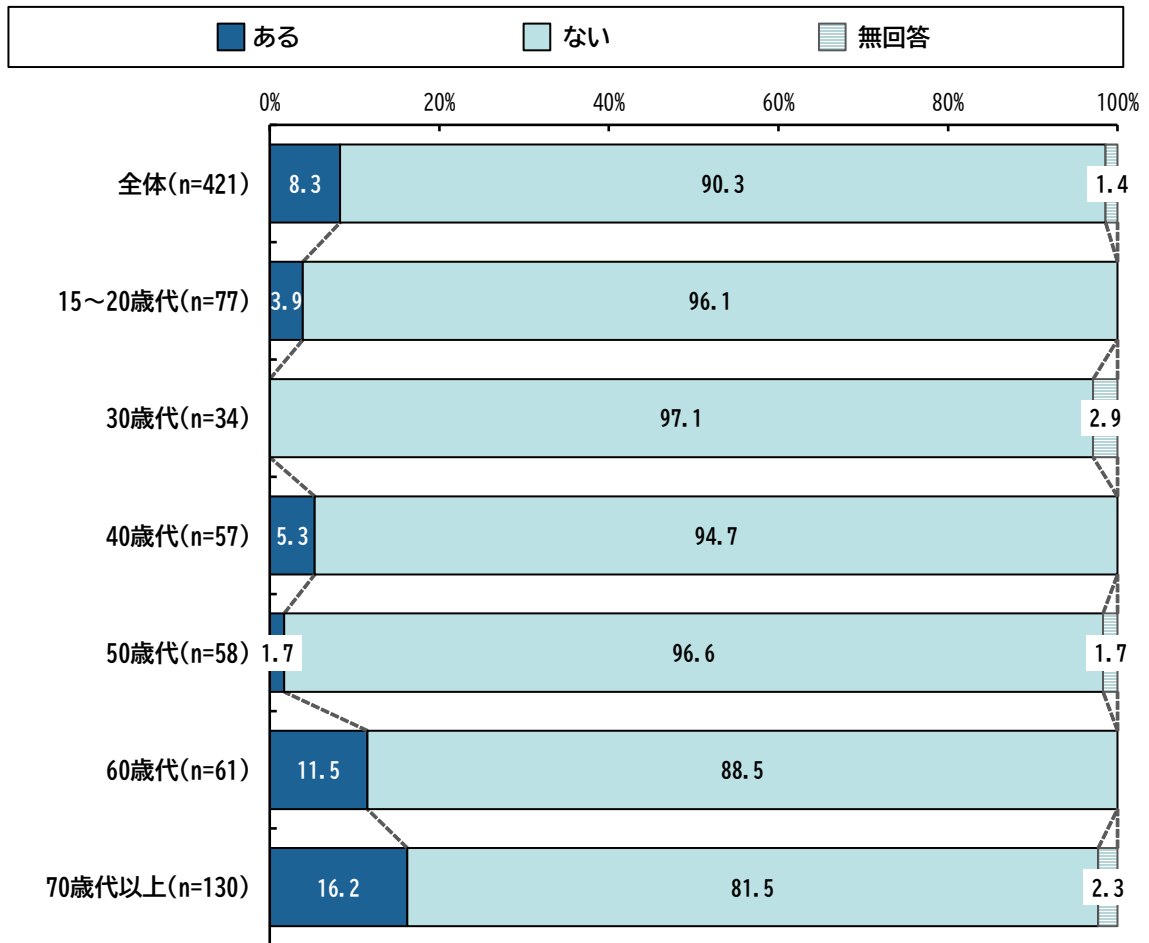
年齢別にみると、「ある」は70歳代以上が最も高くなっています。

地区別にみると、ほとんどの地区で「ない」が「ある」を上回っていますが、北井上地区では「ある」が上回っています。

図表 98 地域課題解決に向けて協力していることはあるか（全体、前回比較）



図表 99 地域課題解決に向けて協力していること（全体、年齢別）



図表 100 地域課題解決に向けて協力していること（全体、地区別）

	全 体	あ る	な い	無 回 答
全体	421	8.3	90.3	1.4
内町地区	9	-	100.0	-
新町地区	2	-	100.0	-
西富田地区	2	-	50.0	50.0
東富田地区	12	8.3	91.7	-
昭和地区	19	5.3	94.7	-
渭東地区	30	3.3	96.7	-
渭北地区	38	7.9	92.1	-
佐古地区	25	8.0	92.0	-
沖洲地区	15	-	100.0	-
津田地区	28	7.1	89.3	3.6
加茂名地区	33	9.1	90.9	-
加茂地区	28	7.1	89.3	3.6
八万地区	46	8.7	91.3	-
勝占地区	22	9.1	86.4	4.5
多家良地区	15	33.3	66.7	-
上八万地区	20	10.0	90.0	-
入田地区	1	-	100.0	-
不動地区	1	-	100.0	-
川内地区	24	4.2	91.7	4.2
応神地区	9	22.2	77.8	-
国府地区	31	6.5	93.5	-
南井上地区	5	-	100.0	-
北井上地区	4	50.0	25.0	25.0

問 34-1 で「ない」を選択した方

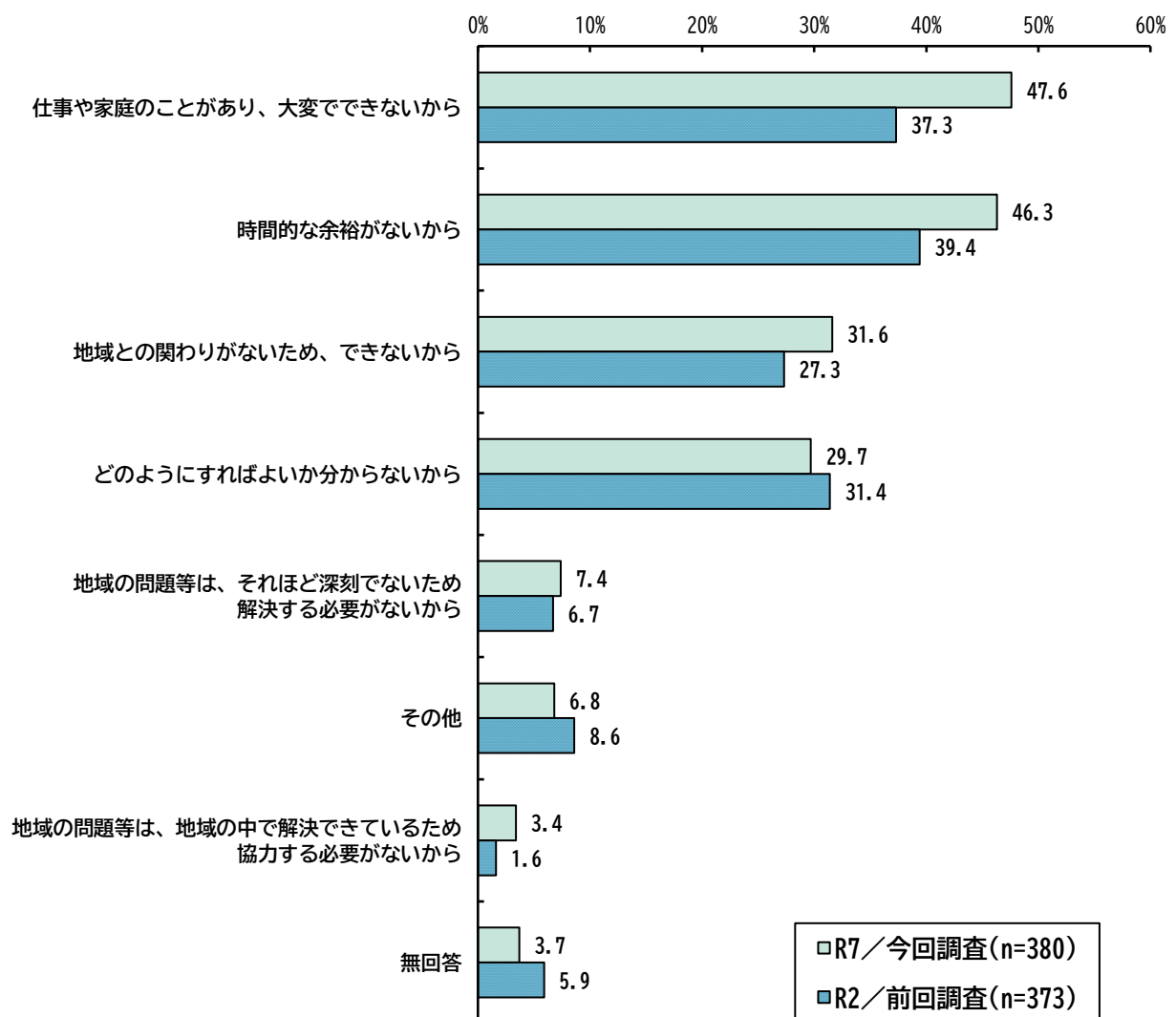
問 34-2 協力していない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

地域課題解決に向けた協力をしていない理由をみると、「仕事や家庭のことがあり、大変でできないから」が47.6%と最も高く、次いで「時間的な余裕がないから」が46.3%、「地域との関わりがないため、できないから」が31.6%と続いています。

前回調査と比較すると、「仕事や家庭のことがあり、大変でできないから」が10.3ポイント増加しています。

図表 101 地域課題解決に向けた協力をしていない理由（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、15～20歳では「時間的な余裕がないから」、30歳代～60歳代では「仕事や家庭のことがあり、大変でできないから」、70歳代以上では「地域の問題等は、それほど深刻でないため解決する必要がないから」がそれぞれ最も高くなっており、年齢による違いがみられます。

地区別にみると、ほとんどの地区で「仕事や家庭のことがあり、大変でできないから」もしくは「時間的な余裕がないから」が主な理由となっていますが、渭東地区では「どのようにすればよいか分からないから」が最も高くなっています。

図表 102 地域課題解決に向けた協力をしていない理由（全体、年齢別／複数回答）

	全体	仕事や家庭のことがあり、大変	時間的な余裕がないから	地域との関わりがないため、で	かならないため解決する必要がない	地域の問題等は、協力の必要	その他	どのようにすればよいか分から	無回答
全体	380	47.6	46.3	31.6	29.7	7.4	6.8	3.4	3.7
15～20歳代	74	35.1	58.1	32.4	39.2	4.1	1.4	1.4	4.1
30歳代	33	66.7	48.5	48.5	36.4	3.0	9.1	-	-
40歳代	54	74.1	66.7	33.3	22.2	3.7	7.4	-	1.9
50歳代	56	71.4	69.6	32.1	23.2	7.1	-	-	-
60歳代	54	48.1	44.4	31.5	35.2	5.6	3.7	5.6	5.6
70歳代以上	106	24.5	16.0	23.6	26.4	14.2	15.1	8.5	6.6

図表 103 地域課題解決に向けた協力をしていない理由（全体、地区別／複数回答）

	全体	仕事や家庭のことがあり、大変	時間的な余裕がないから	地域との関わりがないため、できなから	地域の問題等から	地域の問題等から	地域の問題等から	その他	などのようにすればよいか分から	無回答
全体	380	47.6	46.3	31.6	7.4	3.4	6.8	29.7	3.7	
内町地区	9	44.4	55.6	-	-	-	22.2	22.2	-	
新町地区	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	
西富田地区	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	
東富田地区	11	63.6	27.3	18.2	9.1	9.1	-	9.1	-	
昭和地区	18	55.6	66.7	33.3	-	-	5.6	22.2	5.6	
渭東地区	29	44.8	37.9	37.9	-	6.9	3.4	55.2	-	
渭北地区	35	40.0	45.7	25.7	11.4	-	11.4	31.4	-	
佐古地区	23	56.5	52.2	52.2	-	4.3	8.7	39.1	-	
沖洲地区	15	40.0	46.7	33.3	13.3	-	-	33.3	6.7	
津田地区	25	44.0	40.0	28.0	4.0	8.0	12.0	36.0	8.0	
加茂名地区	30	36.7	33.3	33.3	13.3	6.7	13.3	30.0	6.7	
加茂地区	25	52.0	56.0	28.0	8.0	4.0	-	32.0	4.0	
八万地区	42	50.0	35.7	42.9	11.9	-	7.1	33.3	4.8	
勝占地区	19	52.6	42.1	36.8	5.3	-	10.5	10.5	10.5	
多家良地区	10	50.0	60.0	30.0	10.0	-	10.0	10.0	10.0	
上八万地区	18	55.6	44.4	27.8	16.7	5.6	-	22.2	-	
入田地区	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	
不動地区	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
川内地区	22	54.5	54.5	27.3	-	4.5	-	27.3	4.5	
応神地区	7	28.6	42.9	14.3	-	-	14.3	14.3	14.3	
国府地区	29	41.4	58.6	31.0	6.9	3.4	6.9	34.5	-	
南井上地区	5	60.0	80.0	-	20.0	20.0	-	-	-	
北井上地区	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	

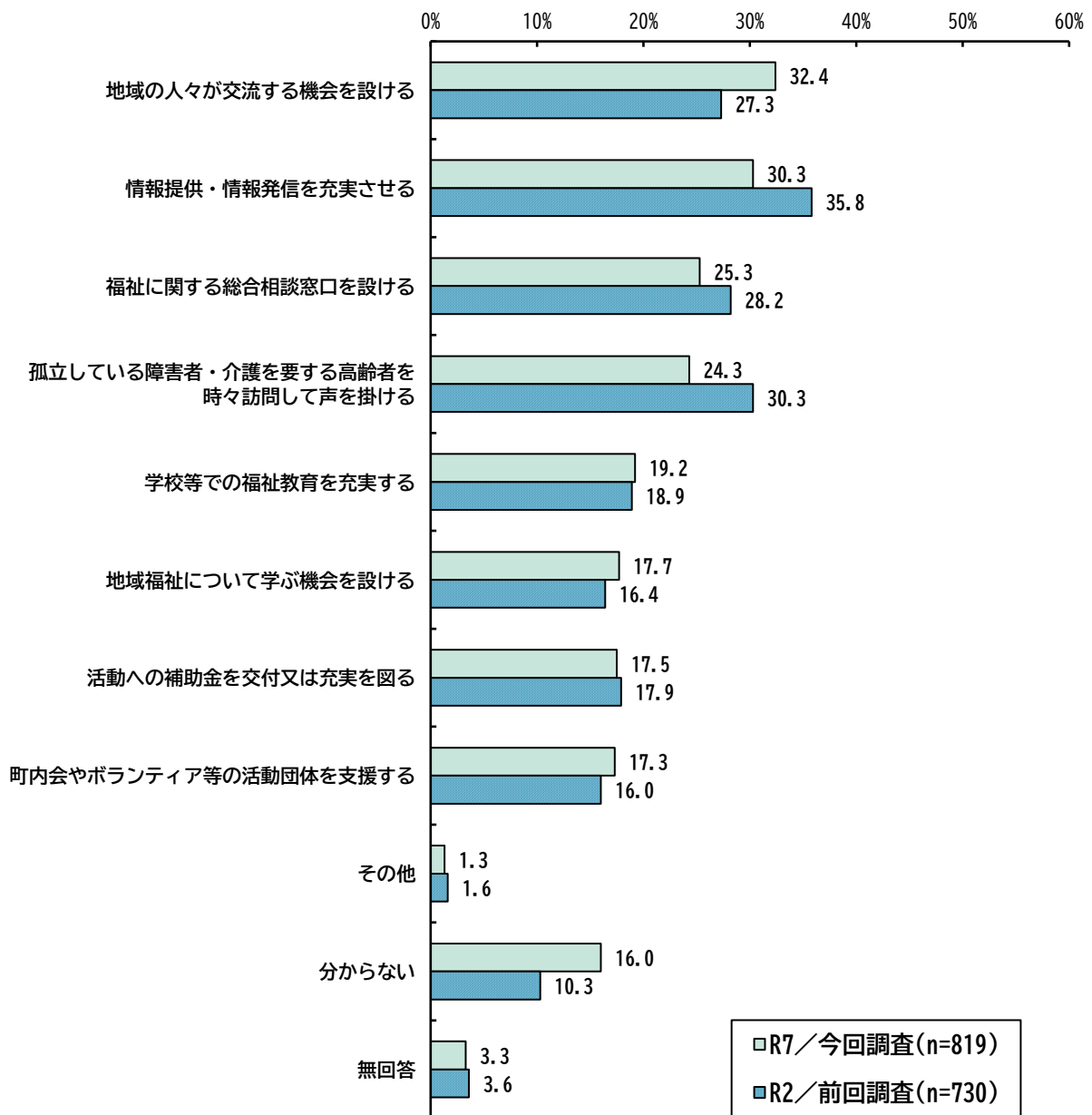
問 35 地域に住む住民同士が助け合い、支え合える地域づくりのために、今後、徳島市では、どのような支援を行う必要があると思いますか。【三つまで○】

【全体の傾向】

徳島市で行う必要があると思う支援をみると、「地域の人々が交流する機会を設ける」が 32.4%と最も高く、次いで「情報提供・情報発信を充実させる」が 30.3%、「福祉に関する総合相談窓口を設ける」が 25.3%と続いています。

前回調査と比較すると、「孤立している障害者・介護を要する高齢者を時々訪問して声を掛ける」が 6.0ポイント減少しています。

図表 104 徳島市で行う必要があると思う支援（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、15～20歳代、40歳代、70歳代以上では「地域の人々が交流する機会を設ける」、30歳代、50歳代、60歳代では「情報提供・情報発信を充実させる」がそれぞれ最も高くなっています。また、15～20歳代、40歳代では「学校等での福祉教育を充実する」も同率で第1位となっています。

地区別にみると、ほとんどの地区で「地域の人々が交流する機会を設ける」もしくは「情報提供・情報発信を充実させる」が最も高くなっています。また、佐古、加茂、不動地区では「福祉に関する総合相談窓口を設ける」、内町、上八万地区では「町内会やボランティア等の活動団体を支援する」が最も高くなっています。

図表 105 徳島市で行う必要があると思う支援（全体、年齢別／複数回答）

	全体	地域の人々が交流する機会を設ける	情報提供・情報発信を充実させる	福祉に関する総合相談窓口を設ける	孤立している高齢者を時々訪問して声を要する	学校等での福祉教育を充実する	地域福祉について学ぶ機会を設ける	活動への補助金を交付又は充実を図る	町内会やボランティア等の活動団体を支援する	その他	分からない	無回答
全体	819	32.4	30.3	25.3	24.3	19.2	17.7	17.5	17.3	1.3	16.0	3.3
15～20歳代	165	32.7	29.1	15.2	20.6	32.7	15.8	16.4	14.5	0.6	19.4	1.2
30歳代	86	27.9	33.7	30.2	24.4	20.9	18.6	19.8	16.3	-	15.1	1.2
40歳代	105	28.6	23.8	22.9	23.8	28.6	19.0	24.8	18.1	2.9	18.1	1.0
50歳代	109	30.3	37.6	33.9	25.7	20.2	19.3	17.4	14.7	-	11.0	4.6
60歳代	112	32.1	38.4	37.5	26.8	10.7	18.8	23.2	14.3	2.7	13.4	3.6
70歳代以上	237	35.4	26.2	21.5	25.7	8.9	16.0	11.8	21.5	1.7	16.9	5.5

図表 106 徳島市で行う必要があると思う支援（全体、地区別／複数回答）

	全体	地域の 人々が 交流する 機会を設 ける	情報提供・ 情報発信を 充実させる	福祉に関する 総合相談窓口 を設ける	孤立している 障害者・介護 を要する高齢者 を時々訪問して 声を掛ける	学校等での 福祉教育を 充実させる	地域福祉 について学ぶ 機会を設ける	活動への 補助金を 交付又は 充実を図る	町内会や ボランティア 等の活動 を支援する 団体	その他	分からない	無回答
全体	819	32.4	30.3	25.3	24.3	19.2	17.7	17.5	17.3	1.3	16.0	3.3
内町地区	16	18.8	31.3	18.8	12.5	12.5	12.5	25.0	31.3	-	25.0	-
新町地区	4	50.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-
西富田地区	8	50.0	50.0	12.5	-	-	12.5	-	37.5	-	12.5	12.5
東富田地区	18	44.4	61.1	22.2	22.2	16.7	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	-
昭和地区	35	40.0	37.1	22.9	25.7	28.6	14.3	17.1	20.0	2.9	8.6	-
渭東地区	74	27.0	35.1	21.6	28.4	14.9	17.6	16.2	20.3	1.4	18.9	2.7
渭北地区	63	33.3	36.5	27.0	20.6	20.6	19.0	15.9	14.3	-	14.3	4.8
佐古地区	41	24.4	24.4	26.8	14.6	19.5	22.0	26.8	22.0	4.9	12.2	7.3
沖洲地区	33	36.4	30.3	27.3	18.2	12.1	15.2	24.2	3.0	-	15.2	3.0
津田地区	50	22.0	38.0	36.0	24.0	16.0	24.0	12.0	6.0	-	16.0	4.0
加茂名地区	67	38.8	28.4	32.8	22.4	16.4	19.4	13.4	16.4	-	16.4	4.5
加茂地区	59	27.1	28.8	30.5	28.8	18.6	20.3	16.9	8.5	-	18.6	1.7
八万地区	97	33.0	26.8	30.9	29.9	18.6	16.5	17.5	18.6	-	19.6	2.1
勝占地区	47	29.8	17.0	25.5	25.5	23.4	10.6	17.0	21.3	-	17.0	6.4
多家良地区	23	30.4	34.8	13.0	13.0	8.7	21.7	26.1	30.4	-	8.7	-
上八万地区	31	32.3	19.4	16.1	19.4	22.6	16.1	22.6	38.7	6.5	16.1	3.2
入田地区	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
不動地区	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-
川内地区	53	22.6	35.8	11.3	35.8	32.1	18.9	22.6	17.0	1.9	13.2	3.8
応神地区	18	44.4	27.8	16.7	22.2	22.2	16.7	11.1	38.9	-	16.7	5.6
国府地区	58	39.7	20.7	27.6	22.4	19.0	15.5	15.5	6.9	5.2	20.7	3.4
南井上地区	10	70.0	20.0	10.0	30.0	30.0	30.0	30.0	-	-	-	-
北井上地区	5	40.0	20.0	20.0	60.0	20.0	20.0	-	40.0	-	-	-

6 「安全で安心して暮らせる環境づくり」について

1 買い物・通院時の移動手段について

問 36 買い物や病院などに行くとき、主にどのような方法で移動していますか。(一つだけに○)

【全体の傾向】

外出時の主な移動方法をみると、「自分で車やバイクを運転して行く」が 60.9%と最も高く、次いで「自転車または徒歩」が 19.3%、「家族にらせていってもら」が 16.6%と続いています。

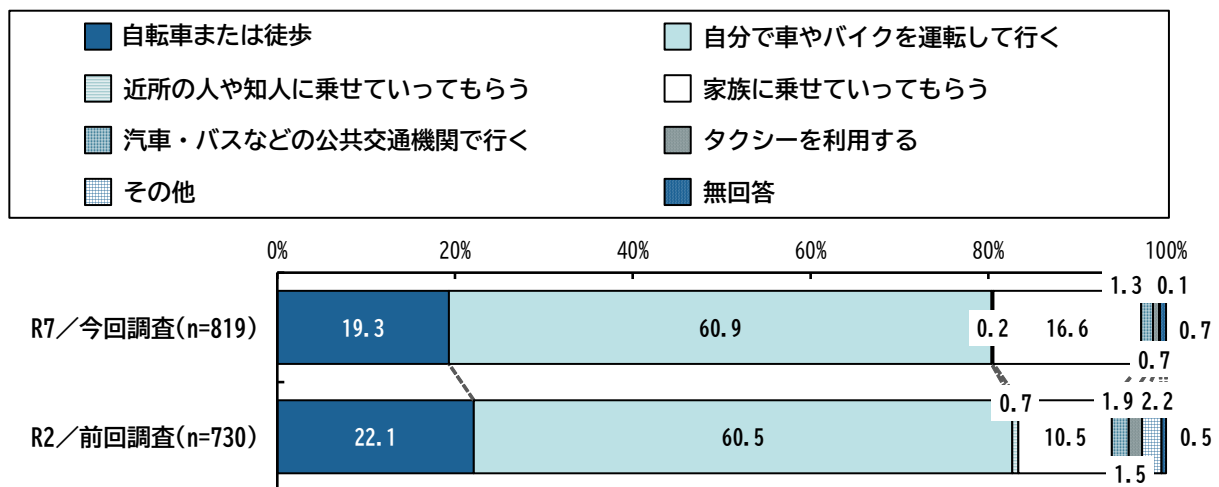
前回調査と比較すると、「家族にらせていってもら」が 6.1 ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

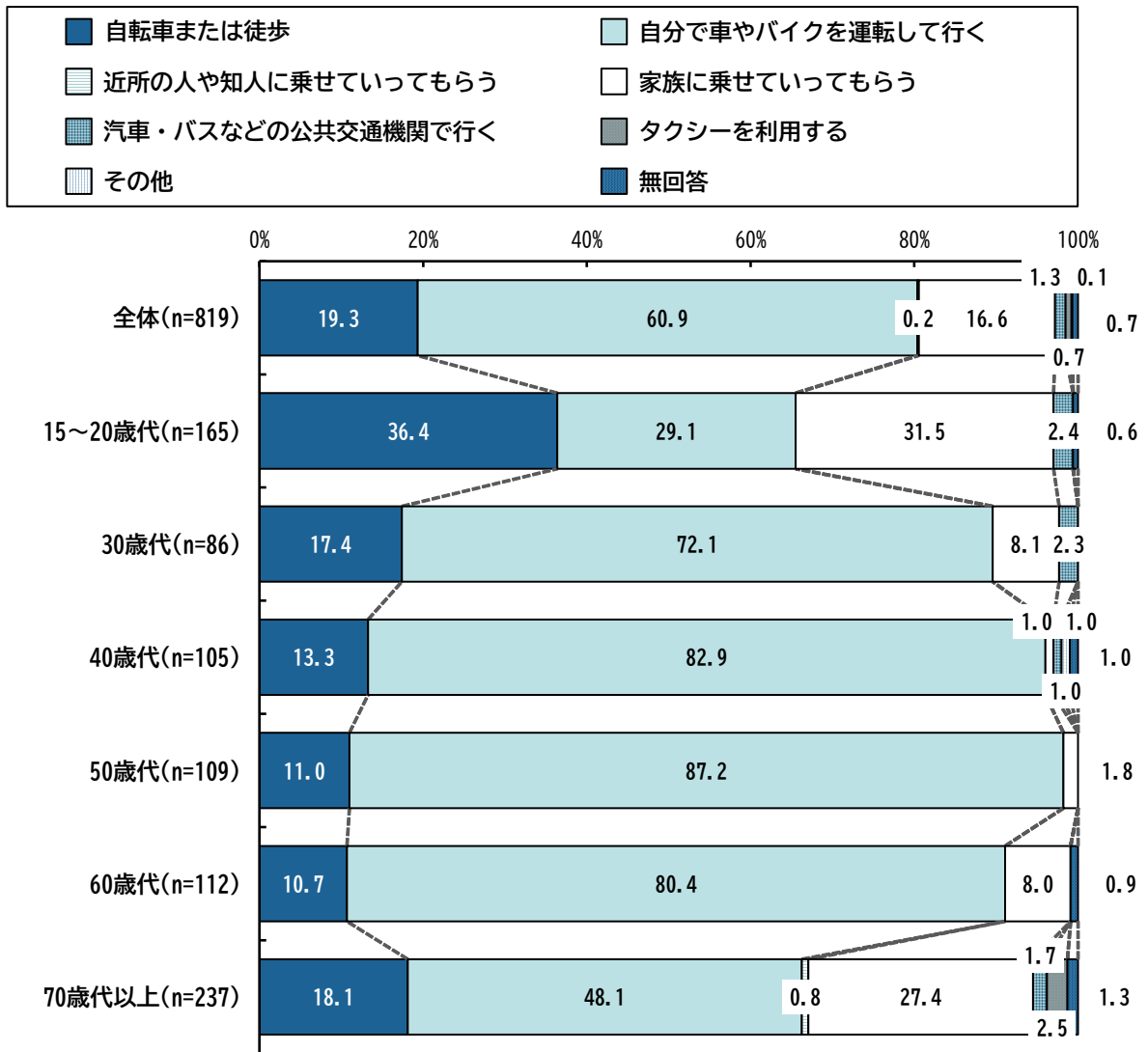
年齢別にみると、15～20 歳代では「自転車または徒歩」、30 歳代以上では「自分で車やバイクを運転して行く」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別にみると、ほとんどの地区で「自分で車やバイクを運転して行く」が最も高くなっていますが、西富田、東富田地区では「自転車または徒歩」が最も高くなっています。

図表 107 外出時の主な移動方法（全体、前回比較）



図表 108 外出時の主な移動方法（全体、年齢別）



図表 109 外出時の主な移動方法（全体、地区別）

	全体	自転車または徒歩	＜自分で車やバイクを運転して行く	近所の人や知人に乗せてもらう	家族に乗せてもらう	で 行く 汽車・バスなどの公共交通機関	タクシーを利用する	その他	無回答
全体	819	19.3	60.9	0.2	16.6	1.3	0.7	0.1	0.7
内町地区	16	31.3	62.5	-	6.3	-	-	-	-
新町地区	4	25.0	75.0	-	-	-	-	-	-
西富田地区	8	75.0	-	-	25.0	-	-	-	-
東富田地区	18	44.4	33.3	-	11.1	11.1	-	-	-
昭和地区	35	20.0	57.1	-	22.9	-	-	-	-
渭東地区	74	29.7	52.7	-	16.2	1.4	-	-	-
渭北地区	63	25.4	54.0	-	15.9	1.6	1.6	-	1.6
佐古地区	41	24.4	58.5	-	9.8	2.4	-	2.4	2.4
沖洲地区	33	12.1	66.7	-	21.2	-	-	-	-
津田地区	50	16.0	56.0	-	26.0	2.0	-	-	-
加茂名地区	67	22.4	55.2	1.5	17.9	1.5	1.5	-	-
加茂地区	59	23.7	55.9	-	18.6	-	1.7	-	-
八万地区	97	20.6	62.9	-	13.4	1.0	1.0	-	1.0
勝占地区	47	8.5	66.0	-	23.4	2.1	-	-	-
多家良地区	23	-	87.0	-	8.7	4.3	-	-	-
上八万地区	31	3.2	67.7	-	25.8	-	3.2	-	-
入田地区	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-
不動地区	4	-	75.0	-	-	-	25.0	-	-
川内地区	53	5.7	81.1	-	9.4	-	-	-	3.8
応神地区	18	11.1	66.7	-	22.2	-	-	-	-
国府地区	58	17.2	62.1	1.7	15.5	1.7	-	-	1.7
南井上地区	10	-	80.0	-	20.0	-	-	-	-
北井上地区	5	-	100.0	-	-	-	-	-	-

問 37 日常の買い物に、不便を感じられますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

日常の買い物に不便を感じるかをみると、「不便を感じている」が16.4%、「不便は感じていない」が82.1%となっています。

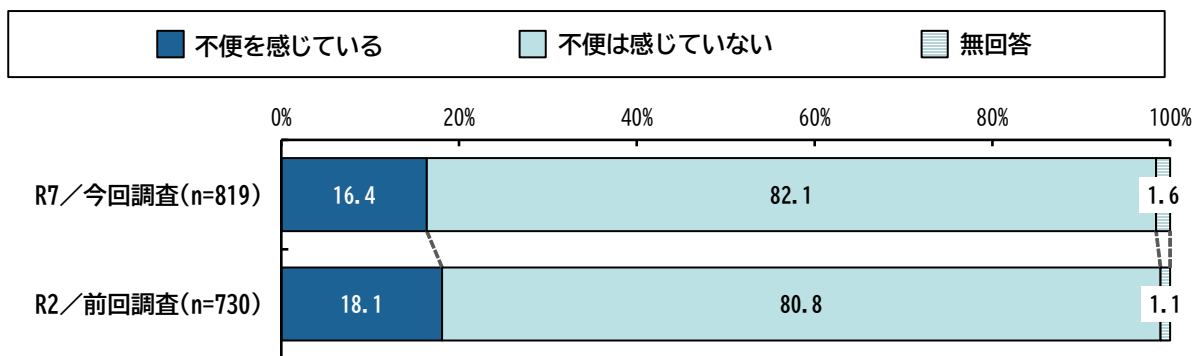
前回調査と比較すると、「不便を感じている」が1.7ポイント減少しています。

【属性別の傾向】

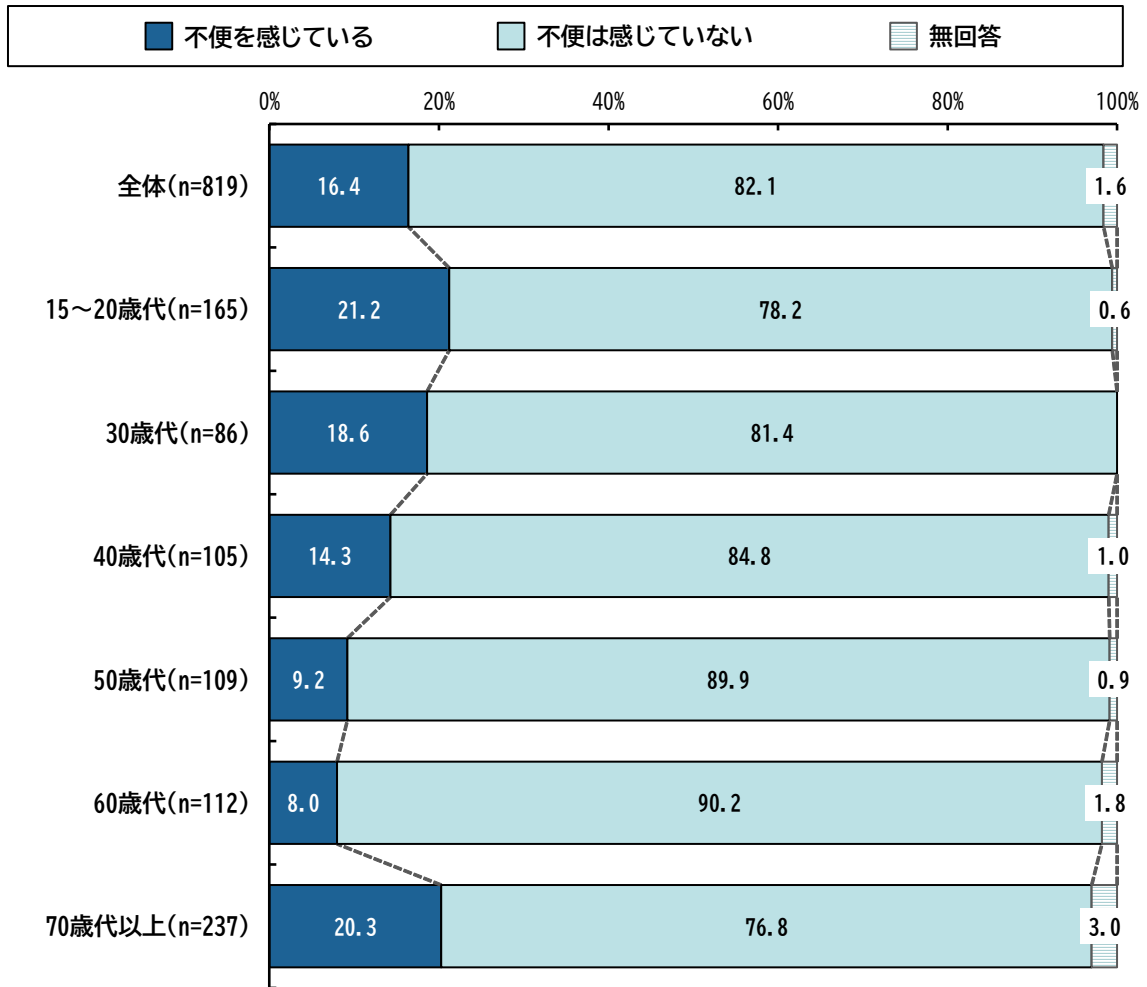
年齢別にみると、15～20歳代、70歳代以上では2割以上が不便を感じています。一方、50歳代、60歳代では不便を感じているのは1割未満となっています。

地区別にみると、ほとんどの地区で「不便は感じていない」が「不便を感じている」を上回っています。

図表 110 日常の買い物に不便を感じるか（全体、前回比較）



図表 111 日常の買い物に不便を感じるか（全体、年齢別）



図表 112 日常の買い物に不便を感じるか（全体、地区別）

	全体	不便を感じている	不便を感じていない	無回答
全体	819	16.4	82.1	1.6
内町地区	16	6.3	93.8	-
新町地区	4	-	100.0	-
西富田地区	8	25.0	62.5	12.5
東富田地区	18	16.7	77.8	5.6
昭和地区	35	5.7	94.3	-
渭東地区	74	6.8	90.5	2.7
渭北地区	63	19.0	81.0	-
佐古地区	41	22.0	73.2	4.9
沖洲地区	33	15.2	84.8	-
津田地区	50	14.0	86.0	-
加茂名地区	67	16.4	82.1	1.5
加茂地区	59	15.3	84.7	-
八万地区	97	10.3	88.7	1.0
勝占地区	47	44.7	55.3	-
多家良地区	23	21.7	78.3	-
上八万地区	31	22.6	77.4	-
入田地区	2	50.0	50.0	-
不動地区	4	25.0	75.0	-
川内地区	53	17.0	79.2	3.8
応神地区	18	27.8	61.1	11.1
国府地区	58	12.1	86.2	1.7
南井上地区	10	-	100.0	-
北井上地区	5	20.0	80.0	-

問 37 で「不便を感じている」を選択した方

問 37-1 それはなぜですか。【特にあてはまるもの一つに○】

【全体の傾向】

不便を感じている理由をみると、「店までの距離が遠い」が 46.3%と最も高く、次いで「家族などの協力がないと、買い物ができない」が 13.4%、「バス・汽車などの公共交通機関の停留所・駅まで遠い、本数が少ない」が 9.0%と続いています。

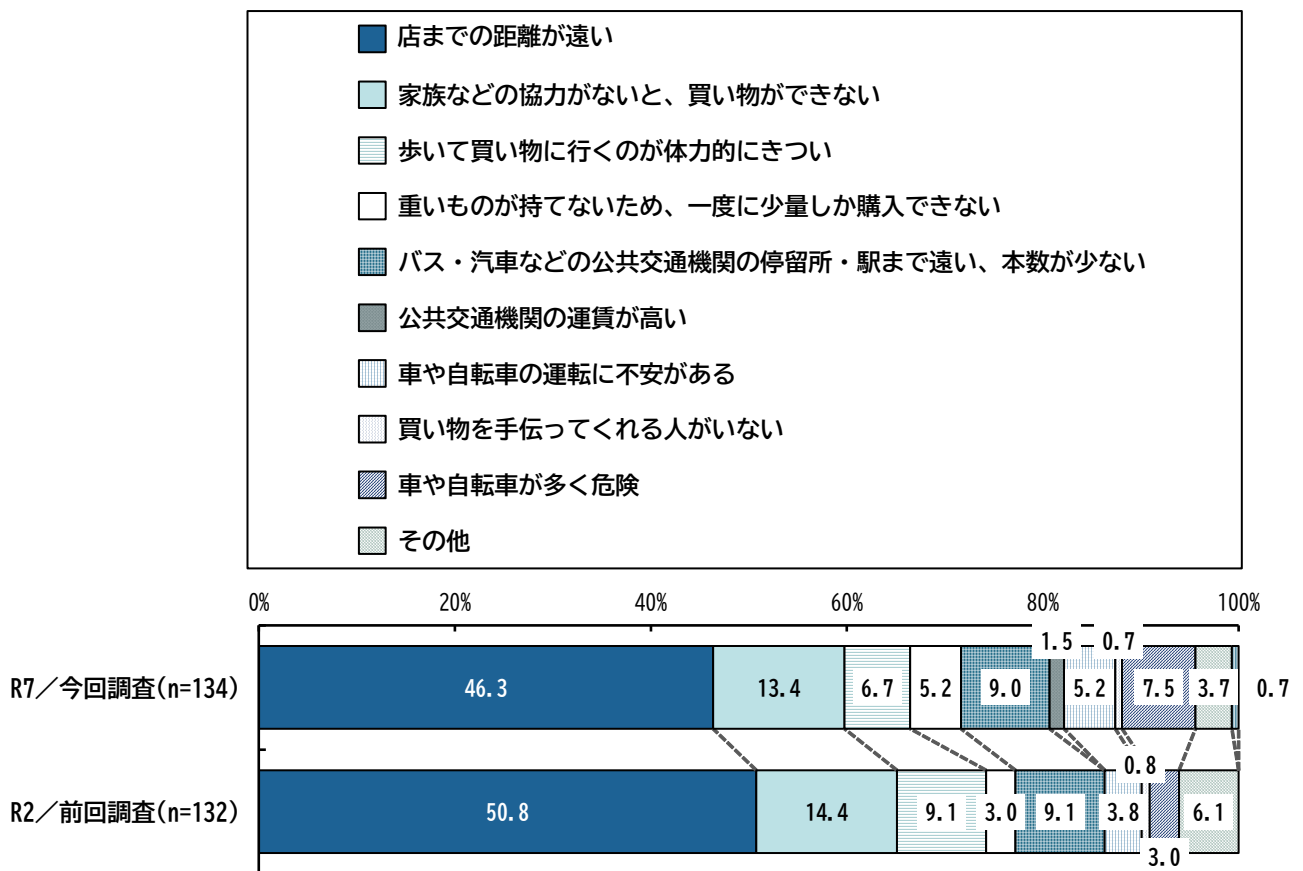
前回調査と比較すると、「店までの距離が遠い」が 4.5 ポイント減少しています。また、車や自転車が 多く危険が 4.5 ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

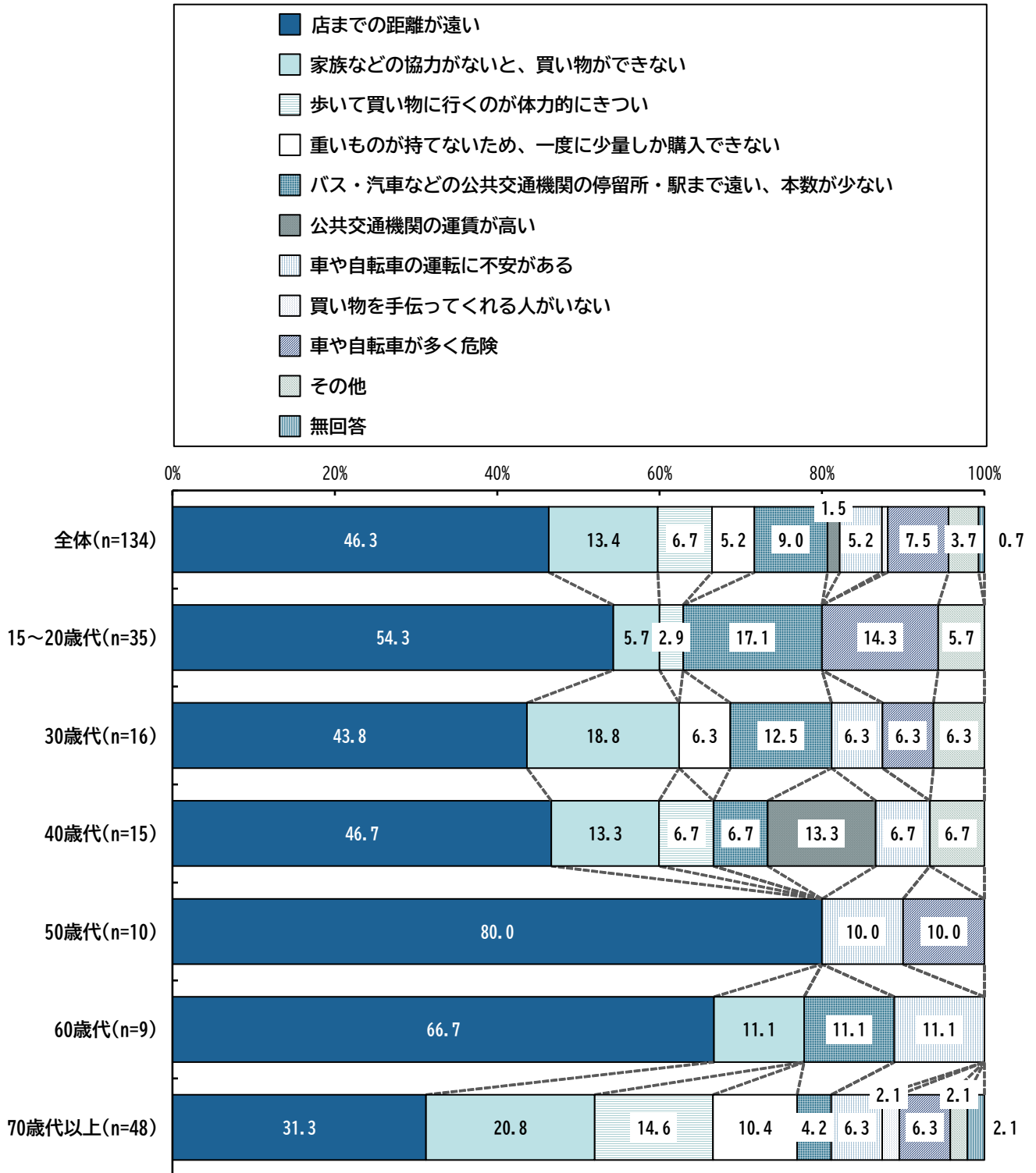
年齢別にみると、いずれの年齢でも「店までの距離が遠い」が最も高くなっていますが、50 歳代で特に高く、8割を占めています。また、40 歳代では「公共交通機関の運賃が高い」が「店までの距離が遠い」に次いで第 2 位となっています。

地区別にみると、ほとんどの地区で「店までの距離が遠い」が主な理由となっていますが、佐古、加茂、応神地区では「家族などの協力がないと、買い物ができない」が最も高くなっています。

図表 113 不便を感じている理由（全体、前回比較）



図表 114 不便を感じている理由（全体、年齢別）



図表 115 不便を感じている理由（全体、地区別）

	全体	店までの距離が遠い	家族などの協力がないと、買い物ができない	歩いて買い物に行くのが体力的にきつい	歩い少量しか購入できないため、一度に少量しか購入できない	重いものが持てないため、一度に少量しか購入できない	少ない	バスの停留所・駅まで遠い、本数が少ない	公共交通機関の運賃が高い	車や自転車の運転に不安がある	買い物を手伝ってくれる人がいない	車や自転車が多く危険	その他	無回答
全体	134	46.3	13.4	6.7	5.2	9.0	1.5	5.2	0.7	7.5	3.7	0.7		
内町地区	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新町地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西富田地区	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東富田地区	3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
昭和地区	2	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
渭東地区	5	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0
渭北地区	12	41.7	-	8.3	8.3	8.3	-	-	-	-	8.3	25.0	-	-
佐古地区	9	11.1	33.3	22.2	-	-	-	11.1	-	22.2	-	-	-	-
沖洲地区	5	40.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-
津田地区	7	28.6	14.3	-	-	14.3	-	28.6	-	14.3	-	-	-	-
加茂名地区	11	63.6	9.1	9.1	9.1	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-
加茂地区	9	11.1	22.2	-	-	22.2	-	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	-	-
八万地区	10	30.0	10.0	20.0	-	10.0	-	-	-	-	30.0	-	-	-
勝占地区	21	57.1	19.0	4.8	4.8	9.5	-	-	-	-	4.8	-	-	-
多家良地区	5	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上八万地区	7	85.7	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
入田地区	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不動地区	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川内地区	9	77.8	-	-	-	-	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-
応神地区	5	-	60.0	-	-	-	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-
国府地区	7	28.6	14.3	14.3	-	28.6	-	-	-	-	14.3	-	-	-
南井上地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北井上地区	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2 買い物支援サービスについて

問 38 民間事業者による買い物支援サービスを利用していますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

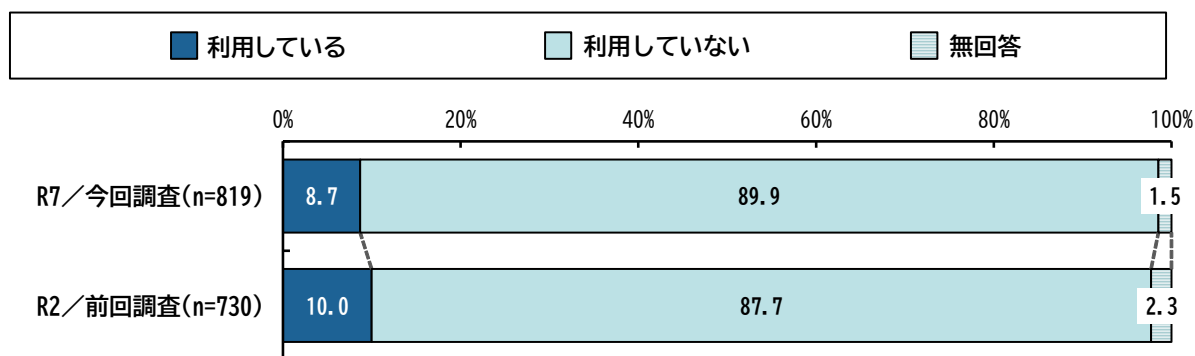
買い物支援サービスの利用状況を見ると、「利用している」が8.7%、「利用していない」が89.9%となっています。

前回調査と比較すると、「利用していない」が2.2ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

地区別にみると、いずれの地区も「利用していない」が「利用している」を上回っています。

図表 116 買い物支援サービスの利用状況（全体、前回比較）



図表 117 買い物支援サービスの利用について（全体、地区別）

	全体	利用している	利用していない	無回答
全体	819	8.7	89.9	1.5
内町地区	16	12.5	87.5	-
新町地区	4	-	100.0	-
西富田地区	8	12.5	87.5	-
東富田地区	18	11.1	88.9	-
昭和地区	35	8.6	91.4	-
渭東地区	74	4.1	95.9	-
渭北地区	63	7.9	90.5	1.6
佐古地区	41	12.2	85.4	2.4
沖洲地区	33	6.1	90.9	3.0
津田地区	50	10.0	88.0	2.0
加茂名地区	67	13.4	83.6	3.0
加茂地区	59	8.5	91.5	-
八万地区	97	9.3	89.7	1.0
勝占地区	47	8.5	91.5	-
多家良地区	23	8.7	91.3	-
上八万地区	31	6.5	93.5	-
入田地区	2	-	100.0	-
不動地区	4	25.0	75.0	-
川内地区	53	7.5	88.7	3.8
応神地区	18	5.6	88.9	5.6
国府地区	58	8.6	87.9	3.4
南井上地区	10	-	100.0	-
北井上地区	5	20.0	80.0	-

問 39 今後、買い物支援サービスを利用したいと思いますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

買い物支援サービスの利用意向をみると、「利用したいと思う」が31.4%、「利用したいとは思わない」が65.9%となっています。

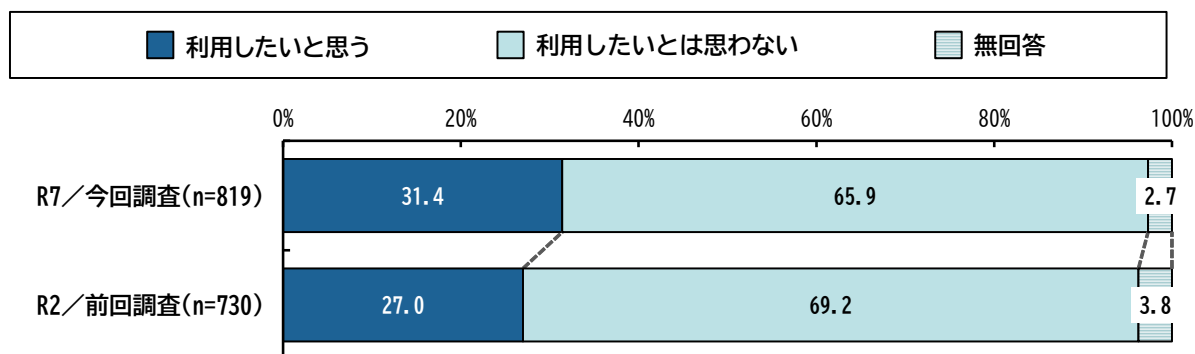
前回調査と比較すると、「利用したいと思う」が4.4ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

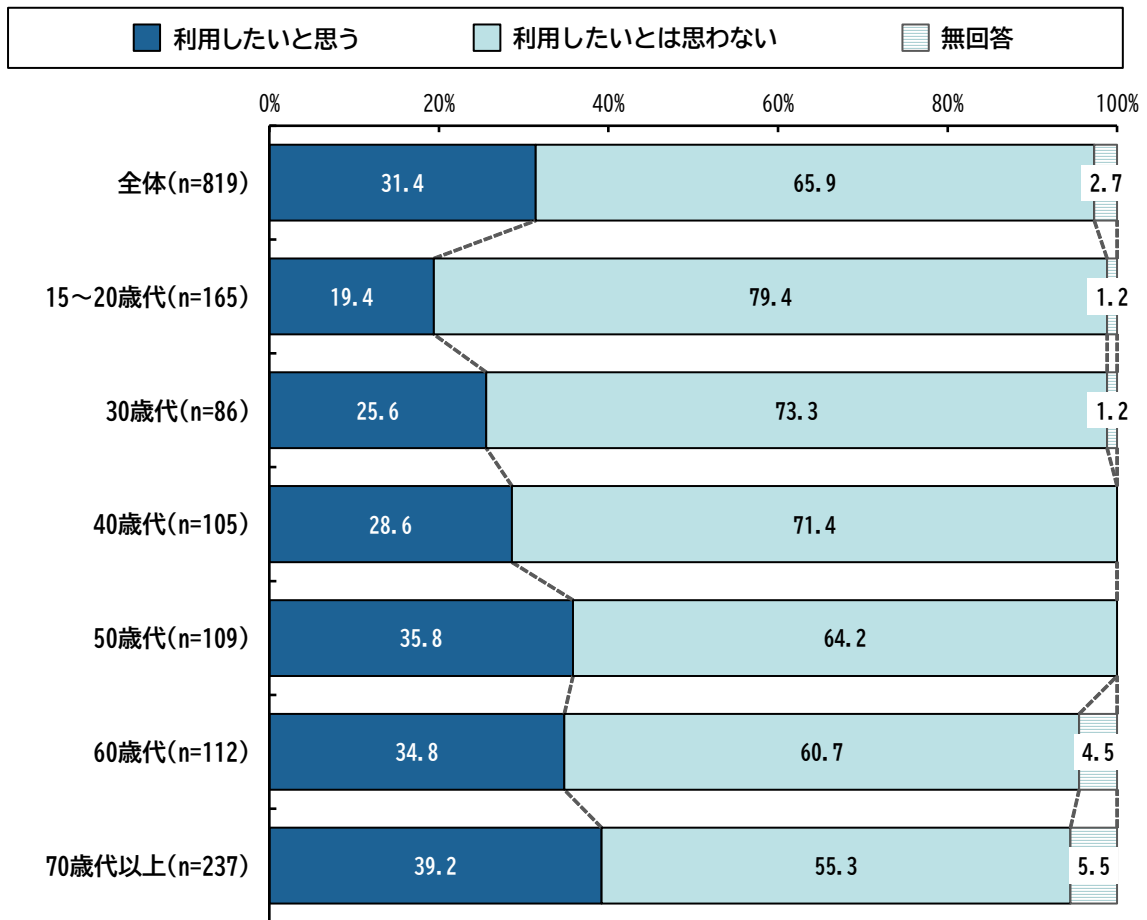
年齢別にみると、「利用したいと思う」は70歳代以上で最も高くなっています。

地区別にみると、ほとんどの地区で「利用したいとは思わない」が「利用したいと思う」を上回っていますが、不動地区では「利用したいと思う」が上回っています。

図表 118 買い物支援サービスの利用意向（全体、前回比較）



図表 119 買い物支援サービスの利用意向（全体、年齢別）



図表 120 買い物支援サービスの利用意向（全体、地区別）

	全体	利用したいと思う	利用したいとは思わない	無回答
全体	819	31.4	65.9	2.7
内町地区	16	31.3	68.8	-
新町地区	4	-	100.0	-
西富田地区	8	37.5	50.0	12.5
東富田地区	18	33.3	66.7	-
昭和地区	35	37.1	62.9	-
渭東地区	74	25.7	73.0	1.4
渭北地区	63	25.4	71.4	3.2
佐古地区	41	39.0	58.5	2.4
沖洲地区	33	15.2	78.8	6.1
津田地区	50	32.0	66.0	2.0
加茂名地区	67	35.8	61.2	3.0
加茂地区	59	27.1	69.5	3.4
八万地区	97	32.0	64.9	3.1
勝占地区	47	40.4	59.6	-
多家良地区	23	26.1	69.6	4.3
上八万地区	31	29.0	64.5	6.5
入田地区	2	-	100.0	-
不動地区	4	75.0	25.0	-
川内地区	53	39.6	58.5	1.9
応神地区	18	33.3	61.1	5.6
国府地区	58	27.6	69.0	3.4
南井上地区	10	30.0	70.0	-
北井上地区	5	40.0	60.0	-

3 防災に対する備えについて

問 40 あなたは日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

防災訓練の参加状況を見ると、「参加している」が11.4%、「参加していない」が86.8%となっています。

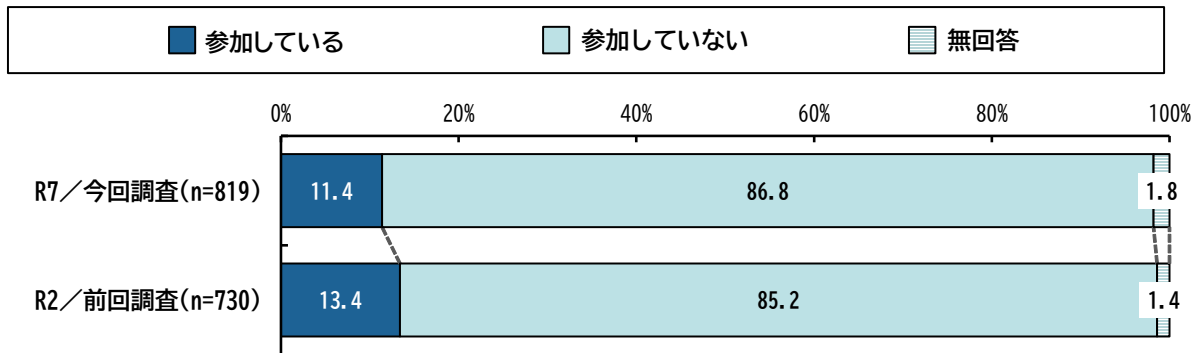
前回調査と比較すると、「参加している」が2.0ポイント減少しています。

【属性別の傾向】

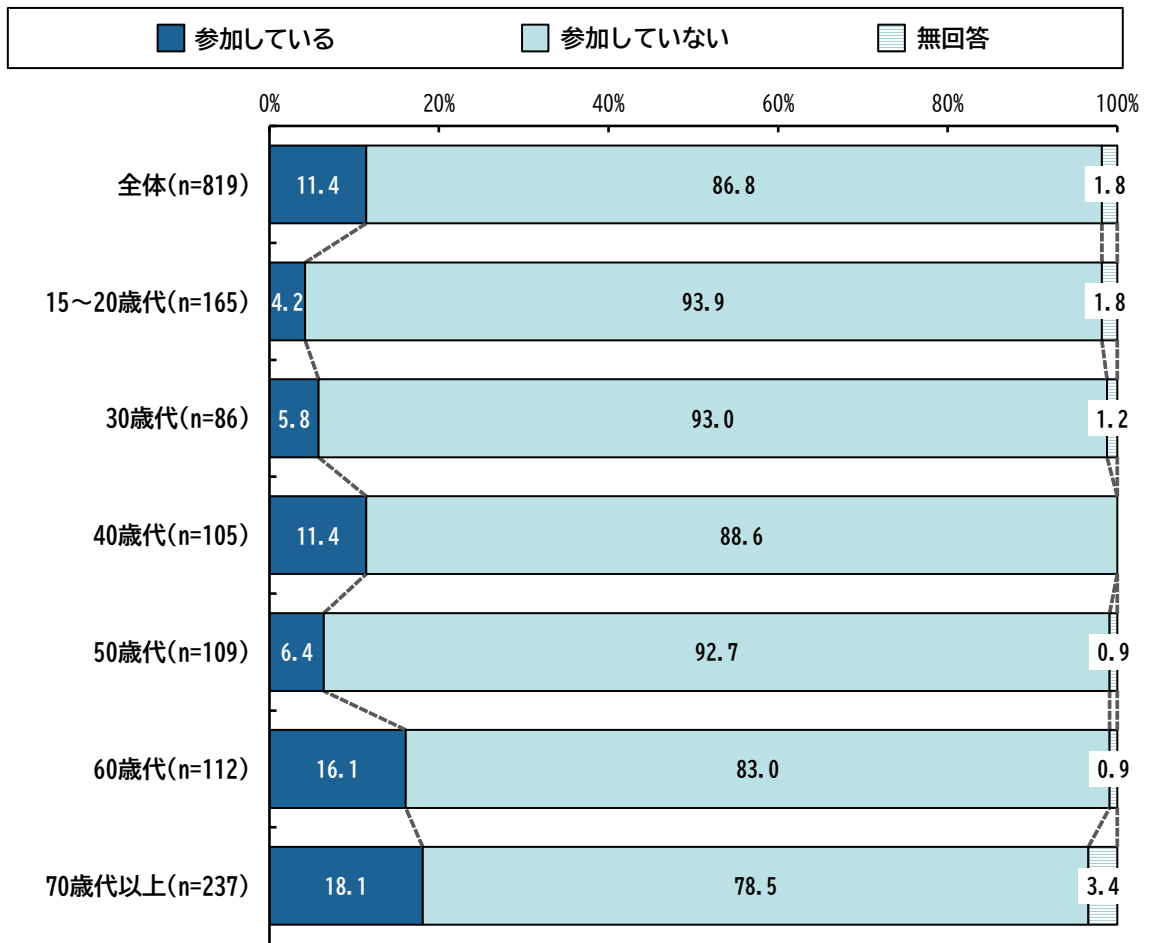
年齢別にみると、「参加している」が最も高いのは70歳代以上となっています。

地区別にみると、いずれの地区も「参加していない」が「参加している」を上回っています。

図表 121 防災訓練の参加状況（全体、前回比較）



図表 122 防災訓練の参加状況（全体、年齢別）



図表 123 防災訓練の参加状況（全体、地区別）

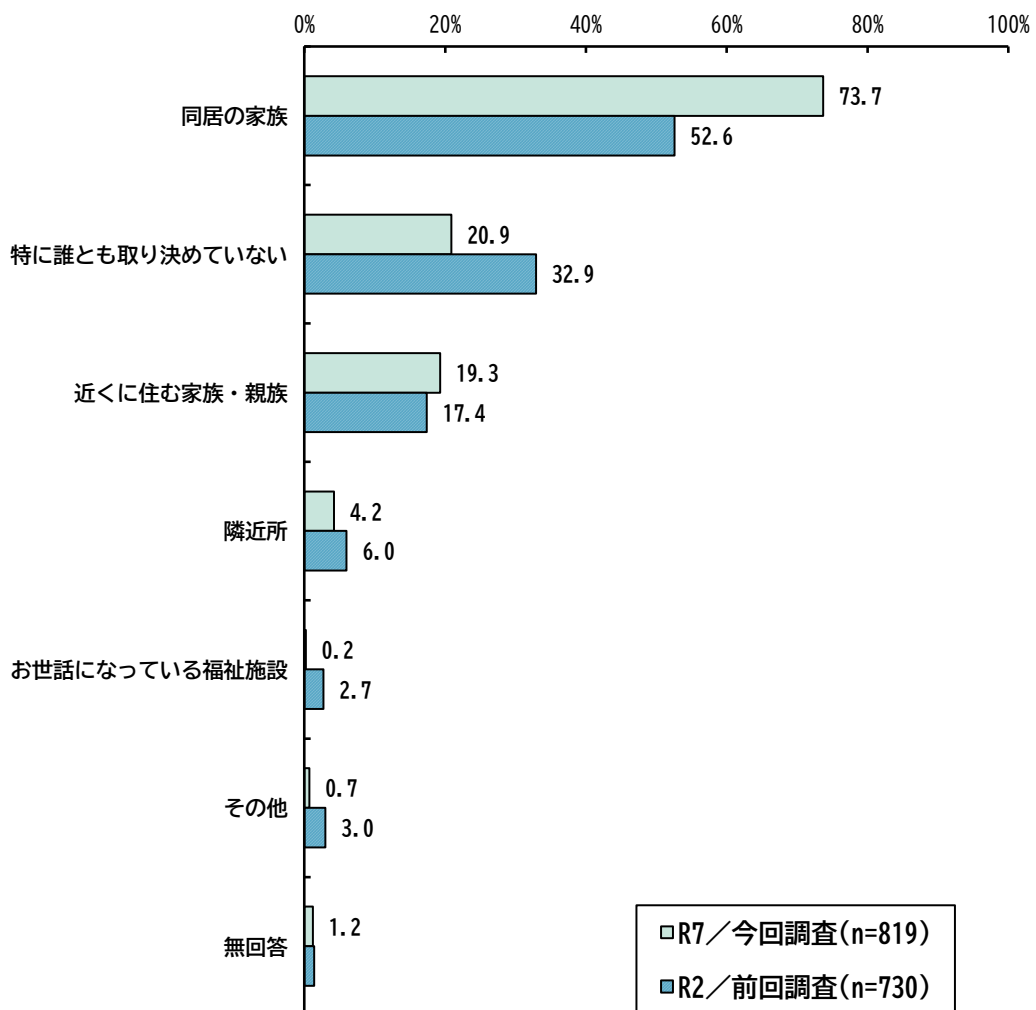
	全体	参加している	参加していない	無回答
全体	819	11.4	86.8	1.8
内町地区	16	12.5	87.5	-
新町地区	4	-	100.0	-
西富田地区	8	-	87.5	12.5
東富田地区	18	11.1	83.3	5.6
昭和地区	35	14.3	85.7	-
渭東地区	74	10.8	87.8	1.4
渭北地区	63	9.5	87.3	3.2
佐古地区	41	7.3	87.8	4.9
沖洲地区	33	-	97.0	3.0
津田地区	50	16.0	82.0	2.0
加茂名地区	67	9.0	91.0	-
加茂地区	59	3.4	94.9	1.7
八万地区	97	10.3	88.7	1.0
勝占地区	47	14.9	83.0	2.1
多家良地区	23	26.1	73.9	-
上八万地区	31	16.1	83.9	-
入田地区	2	-	100.0	-
不動地区	4	25.0	75.0	-
川内地区	53	11.3	86.8	1.9
応神地区	18	33.3	66.7	-
国府地区	58	12.1	84.5	3.4
南井上地区	10	10.0	90.0	-
北井上地区	5	20.0	80.0	-

問 41 あなたは、災害が発生した時の対応（連絡のとり方や避難の方法など）について、自分以外の誰かと取り決めていますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

災害発生時の対応を誰かと取り決めているかをみると、「同居の家族」が73.7%と最も高く、次いで「特に誰とも取り決めていない」が20.9%、「近くに住む家族・親族」が19.3%と続いています。前回調査と比較すると、「同居の家族」が21.1ポイント増加しています。

図表 124 災害発生時の対応を誰かと取り決めているか（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

地区別にみると、ほとんどの地区で「同居の家族」が最も高くなっていますが、北井上地区では「特に誰とも取り決めていない」が最も高くなっています。

図表 125 災害発生時の対応を誰かと取り決めているか（全体、地区別／複数回答）

	全体	同居の家族	特に誰とも取り決めていない	近くに住む家族・親族	隣近所	お世話になっている福祉施設	その他	無回答
全体	819	73.7	20.9	19.3	4.2	0.2	0.7	1.2
内町地区	16	75.0	25.0	6.3	-	-	-	-
新町地区	4	100.0	-	25.0	25.0	-	-	-
西富田地区	8	62.5	25.0	12.5	-	-	12.5	-
東富田地区	18	55.6	38.9	22.2	-	-	-	-
昭和地区	35	80.0	17.1	31.4	2.9	-	-	-
渭東地区	74	78.4	18.9	20.3	1.4	-	1.4	-
渭北地区	63	87.3	7.9	14.3	4.8	1.6	-	1.6
佐古地区	41	70.7	26.8	9.8	-	-	2.4	2.4
沖洲地区	33	72.7	12.1	24.2	-	-	-	3.0
津田地区	50	78.0	14.0	20.0	2.0	-	-	4.0
加茂名地区	67	73.1	22.4	22.4	6.0	1.5	-	-
加茂地区	59	81.4	16.9	16.9	3.4	-	-	-
八万地区	97	69.1	23.7	22.7	3.1	-	2.1	2.1
勝占地区	47	68.1	27.7	14.9	8.5	-	-	-
多家良地区	23	52.2	43.5	13.0	8.7	-	-	-
上八万地区	31	67.7	22.6	19.4	6.5	-	-	-
入田地区	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-
不動地区	4	50.0	50.0	25.0	-	-	-	-
川内地区	53	73.6	18.9	26.4	7.5	-	-	1.9
応神地区	18	77.8	16.7	11.1	22.2	-	-	-
国府地区	58	72.4	20.7	22.4	1.7	-	1.7	3.4
南井上地区	10	90.0	10.0	-	10.0	-	-	-
北井上地区	5	40.0	60.0	20.0	-	-	-	-

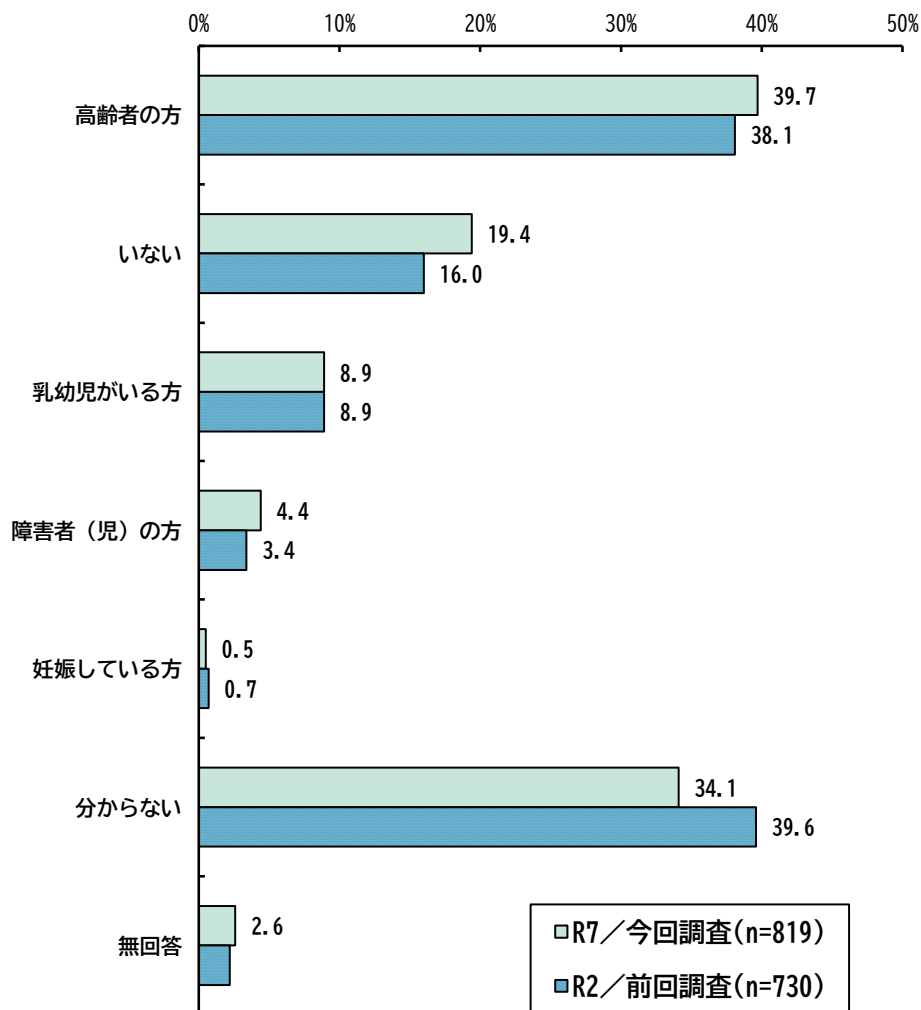
問 42 あなたの家の周りには、高齢者や障害者のひとり暮らし、乳幼児がいる世帯など、災害時に支援を必要としそうな方は住んでいますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

災害時に支援を必要としそうな方の有無をみると、「高齢者の方」が 39.7%と最も高く、次いで「いない」が 19.4%、「乳幼児がいる方」が 8.9%と続いています。

前回調査と比較すると、「いない」が 3.4 ポイント増加しています。

図表 126 災害時に支援を必要としそうな方の有無（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、40歳以上では「高齢者の方」が最も高くなっています。

地区別にみると、16地区で「高齢者の方」が最も高くなっています。

図表 127 災害時に支援を必要としそうな方の有無（全体、年齢別／複数回答）

	全体	高齢者の方	いない	乳幼児がいる方	障害者（児）の方	妊娠している方	分からない	無回答
全体	819	39.7	19.4	8.9	4.4	0.5	34.1	2.6
15～20歳代	165	35.2	17.6	11.5	6.1	0.6	42.4	1.2
30歳代	86	34.9	9.3	25.6	4.7	-	40.7	-
40歳代	105	48.6	21.0	9.5	4.8	1.0	24.8	-
50歳代	109	40.4	22.0	8.3	1.8	-	32.1	-
60歳代	112	39.3	23.2	6.3	5.4	0.9	33.9	2.7
70歳代以上	237	40.5	21.1	2.1	3.4	0.4	31.2	6.3

図表 128 災害時に支援を必要としそうな方の有無（全体、地区別／複数回答）

	全体	高齢者の方	いない	乳幼児がいる方	障害者（児）の方	妊娠している方	分からない	無回答
全体	819	39.7	19.4	8.9	4.4	0.5	34.1	2.6
内町地区	16	43.8	25.0	6.3	-	-	31.3	-
新町地区	4	75.0	-	-	-	-	25.0	-
西富田地区	8	12.5	12.5	-	-	-	62.5	12.5
東富田地区	18	50.0	11.1	-	-	-	38.9	-
昭和地区	35	34.3	8.6	8.6	8.6	-	51.4	-
渭東地区	74	32.4	21.6	13.5	4.1	1.4	39.2	1.4
渭北地区	63	44.4	14.3	7.9	3.2	1.6	28.6	7.9
佐古地区	41	31.7	24.4	17.1	4.9	2.4	34.1	2.4
沖洲地区	33	27.3	24.2	9.1	6.1	-	36.4	3.0
津田地区	50	40.0	14.0	8.0	6.0	-	40.0	2.0
加茂名地区	67	49.3	14.9	16.4	3.0	-	29.9	3.0
加茂地区	59	33.9	25.4	13.6	6.8	-	33.9	-
八万地区	97	43.3	16.5	9.3	5.2	-	36.1	2.1
勝占地区	47	34.0	21.3	2.1	4.3	-	40.4	-
多家良地区	23	39.1	26.1	-	4.3	-	34.8	-
上八万地区	31	41.9	32.3	3.2	3.2	-	25.8	-
入田地区	2	100.0	-	-	-	-	-	-
不動地区	4	25.0	50.0	-	-	-	25.0	-
川内地区	53	37.7	13.2	11.3	5.7	-	34.0	3.8
応神地区	18	44.4	16.7	-	-	-	22.2	16.7
国府地区	58	43.1	25.9	5.2	5.2	-	25.9	3.4
南井上地区	10	50.0	30.0	-	-	10.0	10.0	-
北井上地区	5	80.0	20.0	20.0	-	-	-	-

問 42 で「高齢者の方」～「妊娠している方」を選択した方

問 42-1 その方たちに対して、あなたが何か行動されていることはありますか。

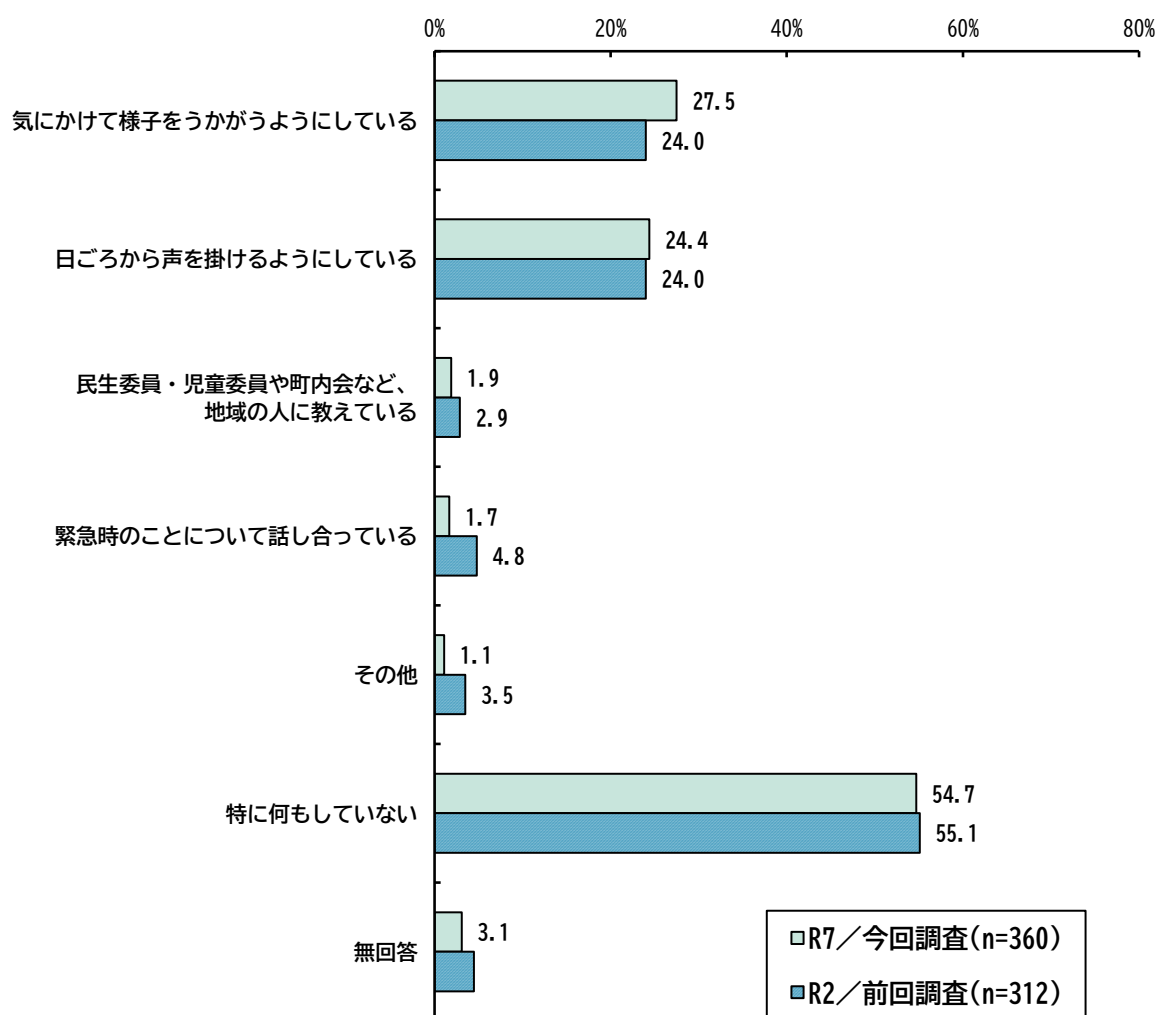
【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

要支援者に対する行動をみると、「気にかけて様子をうかがうようにしている」が27.5%、「日ごろから声を掛けるようにしている」が24.4%、「民生委員・児童委員や町内会など、地域の人に教えている」が1.9%と続いています。一方、「特に何もしていない」は54.7%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「気にかけて様子をうかがうようにしている」が3.5ポイント増加しています。

図表 129 要支援者に対する行動（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、15～60歳代では「特に何もしていない」が最も高くなっていますが、70歳代以上では「気にかけて様子をうかがうようにしている」が最も高くなっています。

地区別にみると、東富田、勝占、入田、南井上地区では「気にかけて様子をうかがうようにしている」が最も高くなっています。また、東富田地区では「日ごろから声を掛けるようにしている」も同率で第1位となっています。

図表 130 要支援者に対する行動（全体、年齢別／複数回答）

	全体	気にかけて 様子 をうかがう よう に し て い る	日ごろ から 声 を 掛 け る よ う に し て い る	民生委員・ 児童委員 や町内会 な ど、 地 域 の 人 に 教 え て い る	緊急時の こと に つ い て 話 し 合 っ て い る	その他	特に何も して い な い	無 回 答
全体	360	27.5	24.4	1.9	1.7	1.1	54.7	3.1
15～20歳代	64	12.5	12.5	-	3.1	-	75.0	4.7
30歳代	43	16.3	16.3	2.3	-	2.3	67.4	4.7
40歳代	57	22.8	22.8	-	1.8	-	61.4	1.8
50歳代	50	36.0	30.0	-	-	-	52.0	2.0
60歳代	45	28.9	31.1	6.7	6.7	4.4	42.2	2.2
70歳代以上	98	39.8	30.6	3.1	-	1.0	38.8	3.1

図表 131 要支援者に対する行動（全体、地区別／複数回答）

	全体	気にかけて様子をつかがうようにしている	日ごろから声を掛けるようにしている	民生委員・児童委員や町内会など、地域の人に教えている	緊急時のことについて話し合っている	その他	特に何もしていない	無回答
全体	360	27.5	24.4	1.9	1.7	1.1	54.7	3.1
内町地区	7	14.3	28.6	-	-	14.3	57.1	-
新町地区	3	33.3	-	-	-	-	66.7	-
西富田地区	1	-	-	-	-	-	100.0	-
東富田地区	9	55.6	55.6	-	-	-	33.3	-
昭和地区	14	14.3	21.4	-	-	-	71.4	-
渭東地区	28	25.0	7.1	-	3.6	-	71.4	-
渭北地区	31	35.5	22.6	-	3.2	-	45.2	6.5
佐古地区	16	25.0	31.3	-	-	-	56.3	-
冲洲地区	12	16.7	25.0	-	-	-	75.0	-
津田地区	22	36.4	13.6	-	-	4.5	54.5	-
加茂名地区	35	22.9	34.3	2.9	-	2.9	54.3	2.9
加茂地区	24	12.5	8.3	-	-	4.2	66.7	12.5
八万地区	44	27.3	36.4	-	2.3	-	47.7	-
勝占地区	18	44.4	27.8	11.1	11.1	-	38.9	5.6
多家良地区	9	11.1	22.2	-	-	-	66.7	-
上八万地区	13	30.8	30.8	7.7	-	-	46.2	7.7
入田地区	2	50.0	-	-	-	-	50.0	-
不動地区	1	-	-	-	-	-	100.0	-
川内地区	26	23.1	26.9	7.7	-	-	50.0	7.7
応神地区	8	25.0	12.5	12.5	-	-	50.0	-
国府地区	26	30.8	23.1	-	3.8	-	53.8	3.8
南井上地区	6	66.7	33.3	-	-	-	33.3	-
北井上地区	4	25.0	25.0	-	-	-	50.0	-

4 避難行動要支援者支援制度について

問 43 あなたは、「避難行動要支援者支援制度」を知っていますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

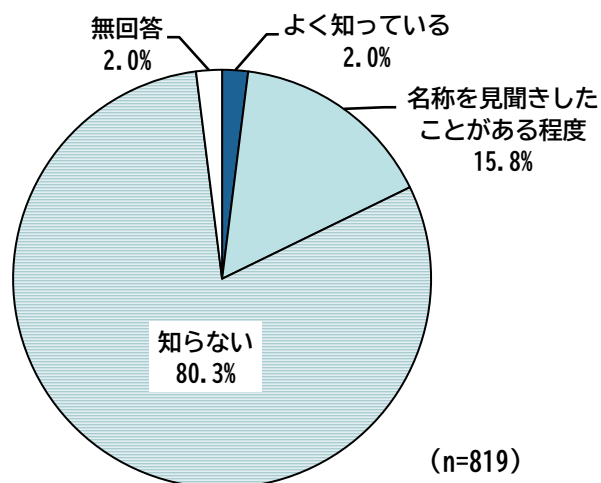
「避難行動要支援者支援制度」の認知状況をみると、「知らない」が 80.3%と最も高く、次いで「名称を見聞きしたことがある程度」が 15.8%、「よく知っている」が 2.0%と続いています。

【属性別の傾向】

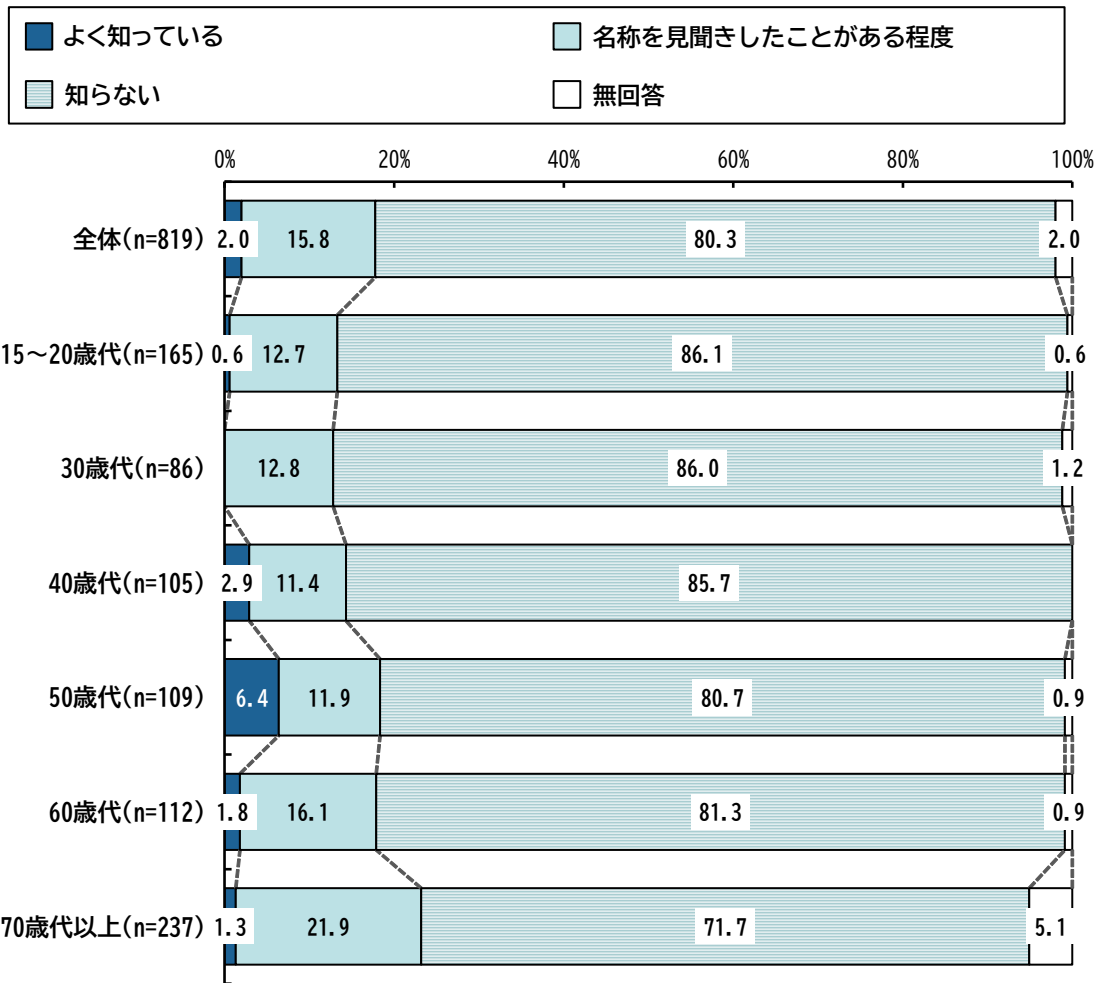
年齢別にみると、「よく知っている」は 50 歳代で最も高くなっています。

地区別にみると、いずれの地区も「知らない」が最も高くなっています。

図表 132 「避難行動要支援者支援制度」の認知状況（全体）



図表 133 「避難行動要支援者支援制度」の認知度（全体、年齢別）



図表 134 「避難行動要支援者支援制度」の認知度（全体、地区別）

	全体	よく知っている	名称を見聞きしたことがある程度	知らない	無回答
全体	819	2.0	15.8	80.3	2.0
内町地区	16	-	18.8	75.0	6.3
新町地区	4	-	-	100.0	-
西富田地区	8	-	12.5	87.5	-
東富田地区	18	-	16.7	77.8	5.6
昭和地区	35	5.7	11.4	82.9	-
清東地区	74	-	10.8	89.2	-
渭北地区	63	1.6	19.0	77.8	1.6
佐古地区	41	2.4	19.5	75.6	2.4
沖洲地区	33	3.0	12.1	81.8	3.0
津田地区	50	-	20.0	78.0	2.0
加茂名地区	67	3.0	20.9	73.1	3.0
加茂地区	59	5.1	13.6	81.4	-
八万地区	97	2.1	14.4	82.5	1.0
勝占地区	47	-	19.1	78.7	2.1
多家良地区	23	-	26.1	73.9	-
上八万地区	31	3.2	9.7	87.1	-
入田地区	2	-	50.0	50.0	-
不動地区	4	-	25.0	75.0	-
川内地区	53	-	15.1	83.0	1.9
応神地区	18	-	11.1	77.8	11.1
国府地区	58	3.4	13.8	77.6	5.2
南井上地区	10	10.0	-	90.0	-
北井上地区	5	-	20.0	80.0	-

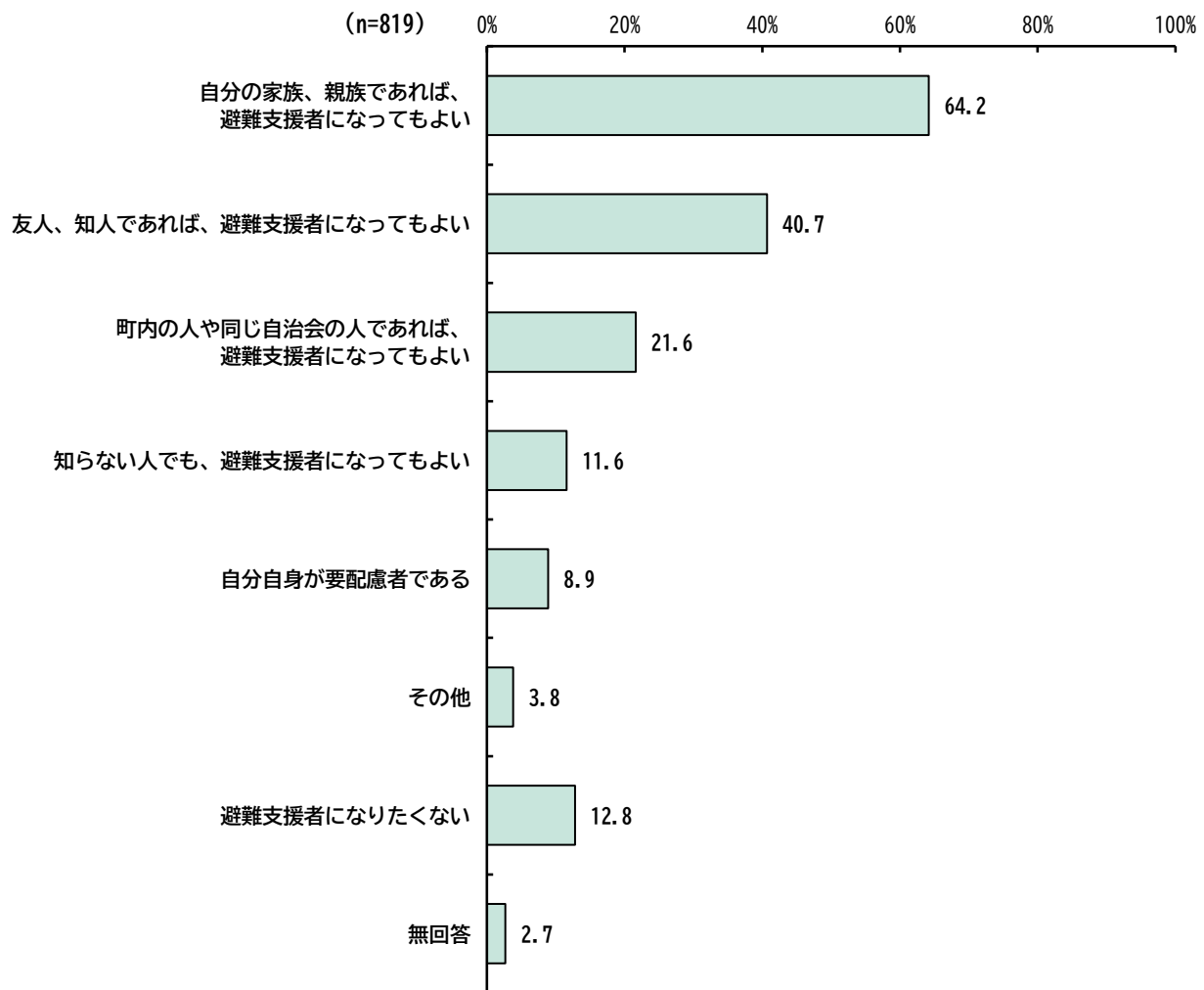
問 44 あなたは、避難支援者になることについて、どのように思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

避難支援者になることについての考えをみると、「自分の家族、親族であれば、避難支援者になってもよい」が64.2%と最も高く、次いで「友人、知人であれば、避難支援者になってもよい」が40.7%、「町内の人や同じ自治会の人であれば、避難支援者になってもよい」が21.6%と続いています。

図表 135 避難支援者になることについての考え（全体／複数回答）



【属性別の傾向】

地区別にみると、いずれの地区も「自分の家族、親族であれば、避難支援者になってもよい」が最も高くなっています。

図表 136 避難支援者になることについての考え（全体、地区別／複数回答）

	全体	自分の家族、親族であれば、避難支援者になってもよい	友人、知人であれば、避難支援者になってもよい	町内の人や同じ自治会の人であれば、避難支援者になってもよい	知らない人でも、避難支援者になってもよい	自分自身が要配慮者である	その他	避難支援者になりたくない	無回答
全体	819	64.2	40.7	21.6	11.6	8.9	3.8	12.8	2.7
内町地区	16	62.5	56.3	25.0	12.5	12.5	6.3	12.5	-
新町地区	4	100.0	75.0	50.0	-	-	-	-	-
西富田地区	8	50.0	25.0	12.5	25.0	12.5	-	25.0	-
東富田地区	18	88.9	33.3	27.8	16.7	5.6	5.6	5.6	-
昭和地区	35	77.1	34.3	20.0	5.7	11.4	2.9	11.4	-
清東地区	74	73.0	33.8	13.5	6.8	1.4	-	17.6	2.7
清北地区	63	54.0	34.9	20.6	12.7	12.7	1.6	12.7	7.9
佐古地区	41	61.0	39.0	22.0	9.8	9.8	4.9	14.6	2.4
沖洲地区	33	57.6	48.5	27.3	6.1	3.0	6.1	12.1	3.0
津田地区	50	58.0	40.0	18.0	8.0	16.0	8.0	16.0	2.0
加茂名地区	67	65.7	41.8	26.9	10.4	9.0	3.0	13.4	4.5
加茂地区	59	64.4	44.1	15.3	11.9	8.5	3.4	15.3	-
八万地区	97	67.0	51.5	25.8	16.5	11.3	4.1	9.3	2.1
勝占地区	47	55.3	34.0	14.9	17.0	6.4	4.3	10.6	2.1
多家良地区	23	60.9	39.1	34.8	17.4	4.3	4.3	8.7	8.7
上八万地区	31	67.7	41.9	19.4	12.9	9.7	3.2	9.7	3.2
入田地区	2	50.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-
不動地区	4	50.0	50.0	-	-	25.0	-	25.0	-
川内地区	53	52.8	30.2	18.9	7.5	7.5	-	20.8	1.9
応神地区	18	77.8	50.0	27.8	16.7	11.1	5.6	5.6	-
国府地区	58	69.0	44.8	22.4	13.8	8.6	8.6	6.9	3.4
南井上地区	10	50.0	40.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-
北井上地区	5	80.0	40.0	20.0	-	-	20.0	-	-

5 孤独・孤立・ひきこもりについて

問 45 あなたは、自分には人とのつきあいがないと感じることはありませんか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

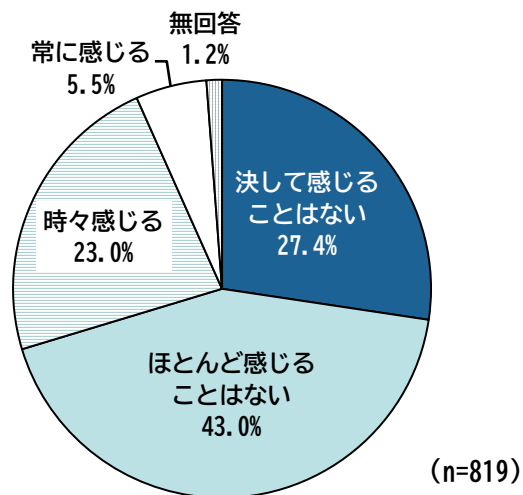
人とのつきあいがないと感じるかをみると、「ほとんど感じることはない」が43.0%と最も高く、「決して感じることはない」を合計すると70.4%が『感じることはない』と回答しています。一方、「時々感じる」と「常に感じる」を合計した『感じる』は28.5%となっています。

【属性別の傾向】

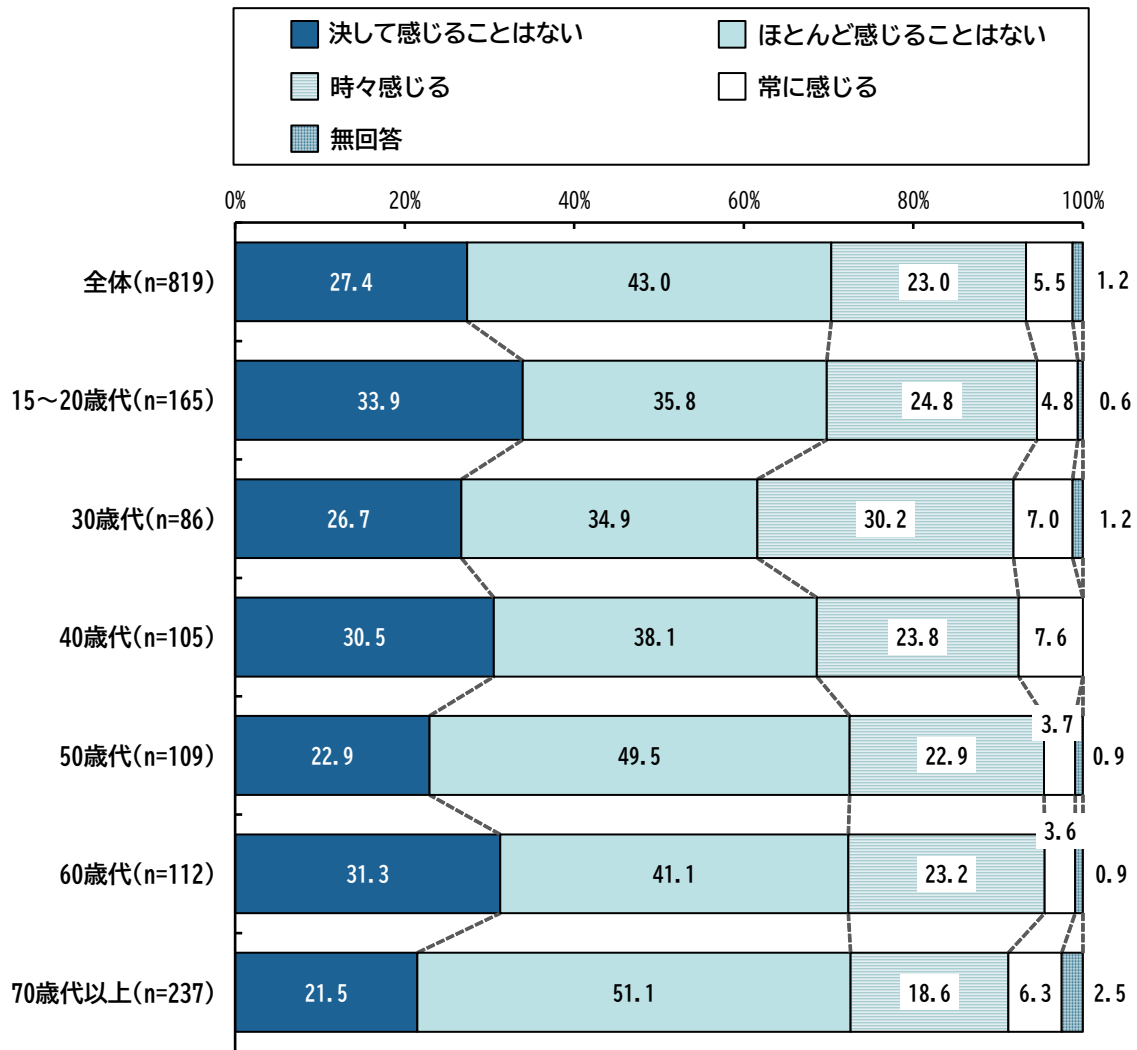
年齢別にみると、いずれの年齢も『感じることはない』が6割以上を占めていますが、30歳代が他の年齢に比べてやや低くなっています。

地区別にみると、ほとんどの地区で『感じることはない』が『感じる』を上回っています。

図表 137 人とのつきあいがないと感じるか（全体）



図表 138 人とのつきあいがないと感じるか（全体、年齢別）



図表 139 人とのつきあいがないと感じるか（全体、地区別）

	全体	決して感じることはない	ほとんど感じることはない	時々感じる	常に感じる	無回答	感じる（時々感じる＋常に感じる）	感じることはない（決して感じることはない）
全体	819	27.4	43.0	23.0	5.5	1.2	70.4	28.5
内町地区	16	31.3	43.8	18.8	-	6.3	75.1	18.8
新町地区	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0	0.0
西富田地区	8	12.5	50.0	25.0	12.5	-	62.5	37.5
東富田地区	18	27.8	44.4	11.1	11.1	5.6	72.2	22.2
昭和地区	35	40.0	40.0	11.4	8.6	-	80.0	20.0
渭東地区	74	20.3	44.6	29.7	4.1	1.4	64.9	33.8
渭北地区	63	17.5	58.7	20.6	3.2	-	76.2	23.8
佐古地区	41	29.3	34.1	29.3	7.3	-	63.4	36.6
沖洲地区	33	33.3	36.4	18.2	12.1	-	69.7	30.3
津田地区	50	22.0	50.0	20.0	6.0	2.0	72.0	26.0
加茂名地区	67	38.8	29.9	23.9	7.5	-	68.7	31.4
加茂地区	59	23.7	39.0	33.9	3.4	-	62.7	37.3
八万地区	97	27.8	45.4	22.7	2.1	2.1	73.2	24.8
勝占地区	47	19.1	42.6	29.8	8.5	-	61.7	38.3
多家良地区	23	34.8	47.8	17.4	-	-	82.6	17.4
上八万地区	31	32.3	41.9	25.8	-	-	74.2	25.8
入田地区	2	-	-	50.0	50.0	-	0.0	100.0
不動地区	4	75.0	25.0	-	-	-	100.0	0.0
川内地区	53	20.8	47.2	22.6	7.5	1.9	68.0	30.1
応神地区	18	33.3	38.9	27.8	-	-	72.2	27.8
国府地区	58	29.3	43.1	15.5	8.6	3.4	72.4	24.1
南井上地区	10	50.0	30.0	10.0	-	10.0	80.0	10.0
北井上地区	5	20.0	60.0	-	20.0	-	80.0	20.0

問 46 あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

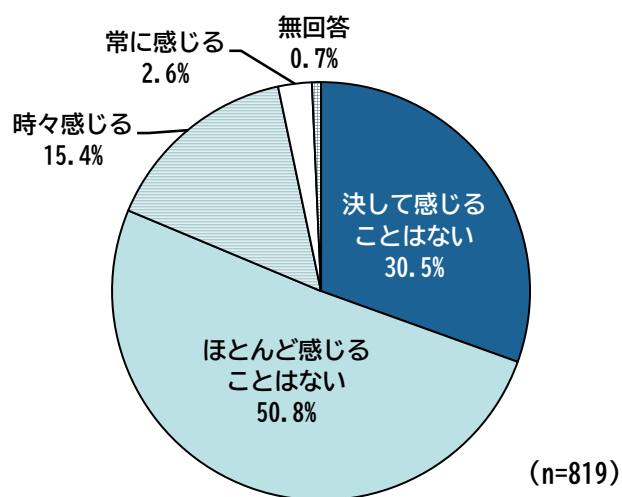
自分は取り残されていると感じるかを見ると、「ほとんど感じることはない」が 50.8%と最も高く、「決して感じることはない」を合計すると 81.3%が『感じることはない』と回答しています。一方、「時々感じる」と「常に感じる」を合計した『感じる』は 18.0%となっています。

【属性別の傾向】

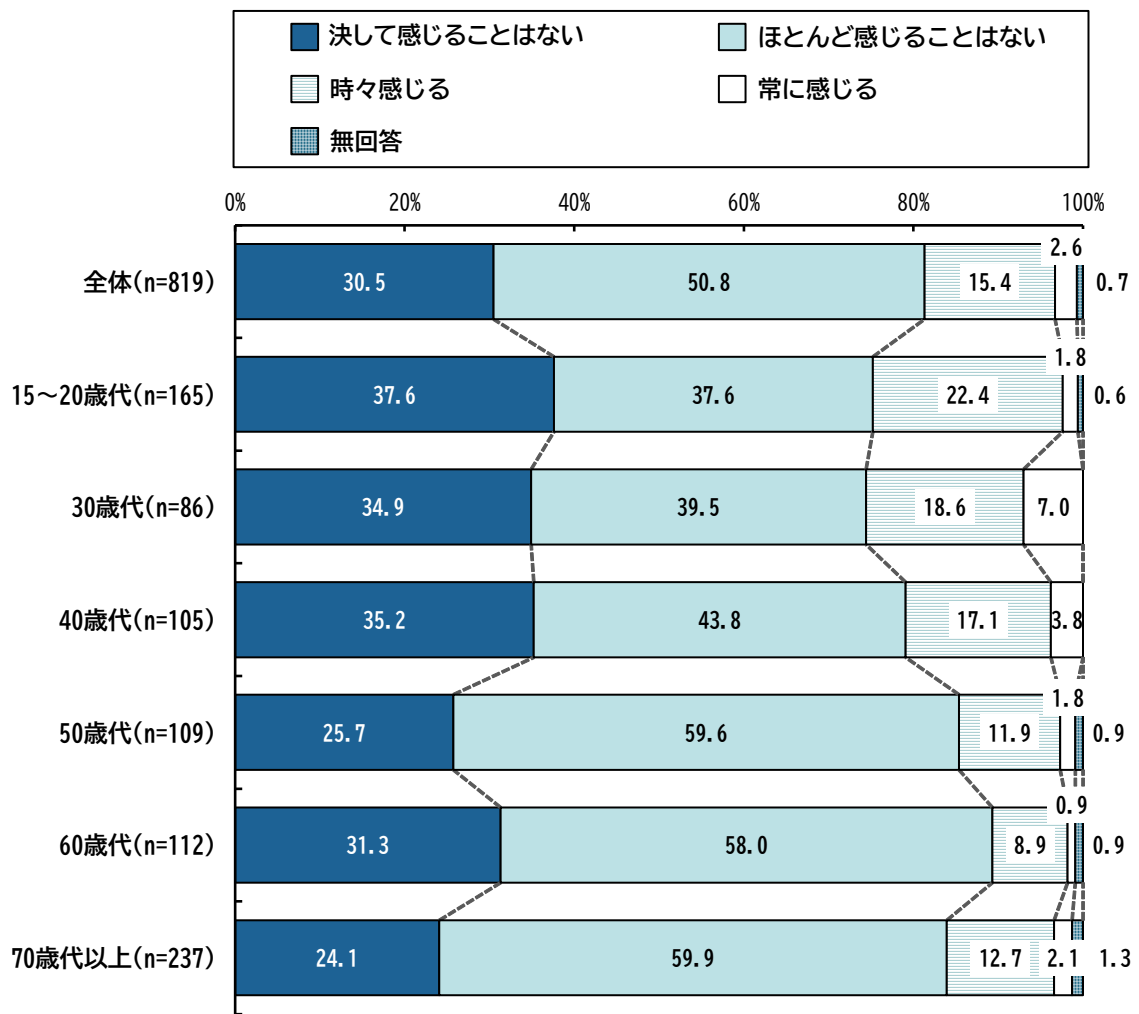
年齢別にみると、いずれの年齢も『感じることはない』が7割以上を占めています。一方、15～40歳代では2割以上が『感じる』と回答しています。

地区別にみると、いずれの地区も『感じることはない』が『感じる』を上回っています。

図表 140 自分は取り残されていると感じるか（全体）



図表 141 自分は取り残されていると感じるか（全体、年齢別）



図表 142 自分は取り残されていると感じるか（全体、地区別）

	全体	決して感じることはない	ほとんど感じることはない	時々感じる	常に感じる	無回答	感じる（時々感じる＋常に感じる）	感じることはない（決して感じることはない）
全体	819	30.5	50.8	15.4	2.6	0.7	81.3	18.0
内町地区	16	31.3	62.5	6.3	-	-	93.8	6.3
新町地区	4	75.0	25.0	-	-	-	100.0	0.0
西富田地区	8	-	62.5	25.0	12.5	-	62.5	37.5
東富田地区	18	27.8	38.9	16.7	11.1	5.6	66.7	27.8
昭和地区	35	40.0	48.6	11.4	-	-	88.6	11.4
渭東地区	74	23.0	60.8	13.5	1.4	1.4	83.8	14.9
渭北地区	63	25.4	63.5	11.1	-	-	88.9	11.1
佐古地区	41	29.3	53.7	12.2	4.9	-	83.0	17.1
沖洲地区	33	33.3	51.5	9.1	6.1	-	84.8	15.2
津田地区	50	22.0	52.0	20.0	4.0	2.0	74.0	24.0
加茂名地区	67	43.3	34.3	19.4	3.0	-	77.6	22.4
加茂地区	59	27.1	47.5	23.7	1.7	-	74.6	25.4
八万地区	97	35.1	50.5	11.3	2.1	1.0	85.6	13.4
勝占地区	47	25.5	51.1	21.3	2.1	-	76.6	23.4
多家良地区	23	43.5	52.2	4.3	-	-	95.7	4.3
上八万地区	31	25.8	54.8	19.4	-	-	80.6	19.4
入田地区	2	50.0	50.0	-	-	-	100.0	0.0
不動地区	4	50.0	25.0	25.0	-	-	75.0	25.0
川内地区	53	24.5	50.9	20.8	1.9	1.9	75.4	22.7
応神地区	18	27.8	50.0	16.7	5.6	-	77.8	22.3
国府地区	58	32.8	48.3	12.1	5.2	1.7	81.1	17.3
南井上地区	10	50.0	30.0	20.0	-	-	80.0	20.0
北井上地区	5	20.0	60.0	20.0	-	-	80.0	20.0

問 47 あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

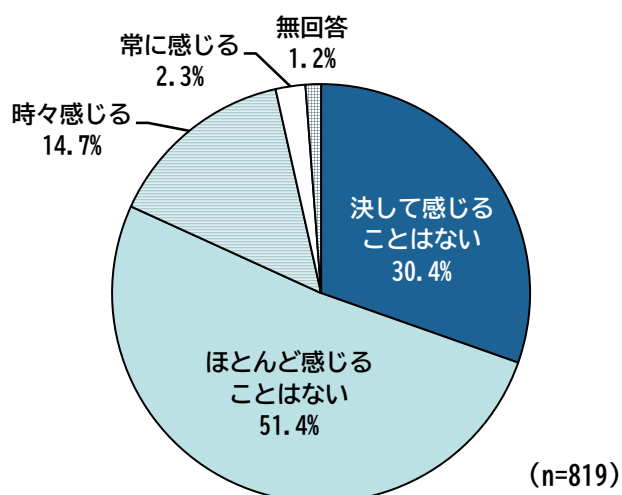
自分は取り残されていると感じるかを見ると、「ほとんど感じることはない」が 51.4%と最も高く、「決して感じることはない」を合計すると 81.8%が『感じることはない』と回答しています。一方、「時々感じる」と「常に感じる」を合計した『感じる』は 17.0%となっています。

【属性別の傾向】

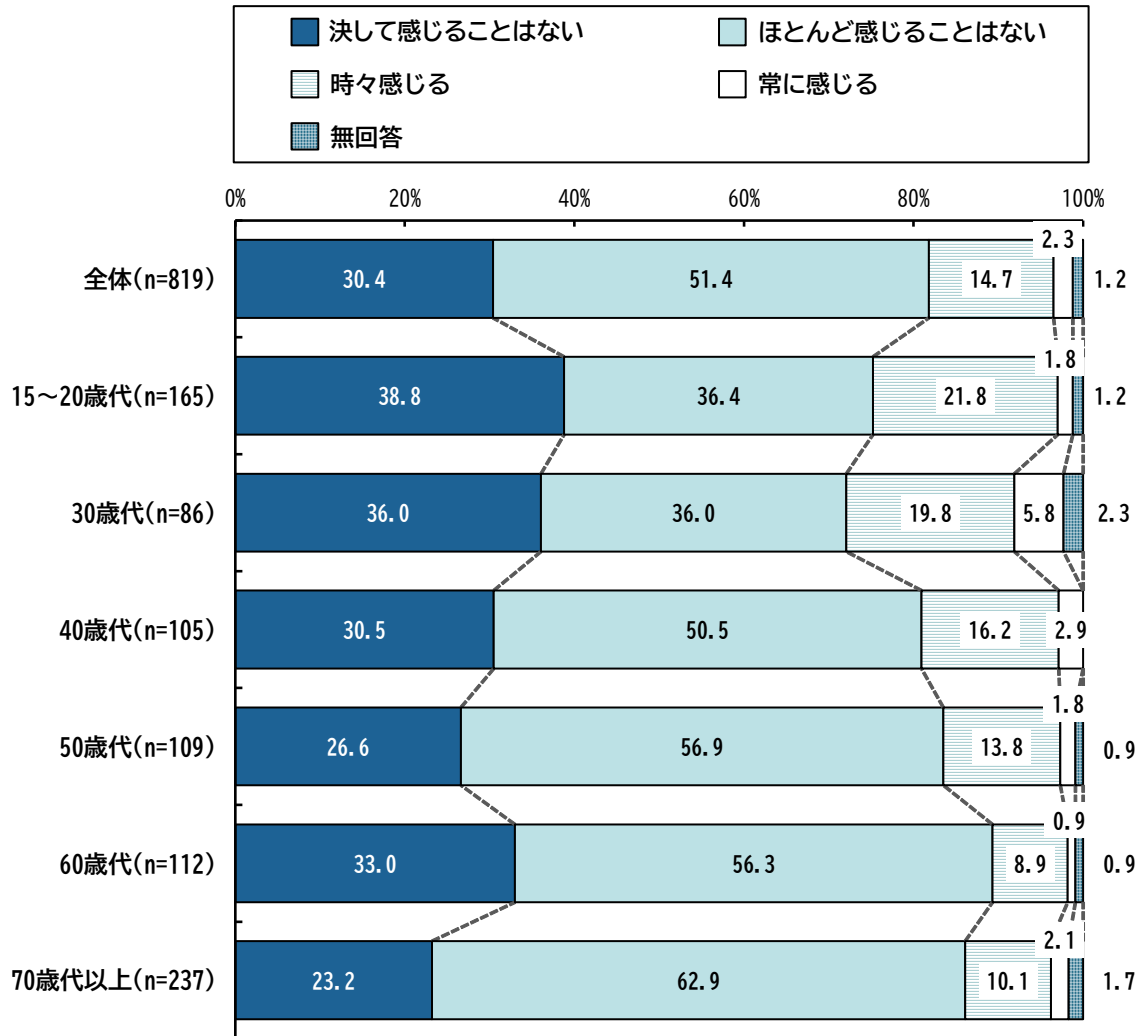
年齢別にみると、いずれの年齢も『感じることはない』が7割以上を占めています。一方、15～30歳代では2割以上が『感じる』と回答しています。

地区別にみると、いずれの地区も『感じることはない』が『感じる』を上回っています。

図表 143 自分は他の人たちから孤立していると感じるか（全体）



図表 144 自分は他の人たちから孤立していると感じるか（全体、年齢別）



図表 145 自分は他の人たちから孤立していると感じるか（全体、地区別）

	全体	決して感じることはない	ほとんど感じることはない	時々感じる	常に感じる	無回答	感じる（時々感じる＋常に感じる）	感じることはない＋ほとんど感じることはない
全体	819	30.4	51.4	14.7	2.3	1.2	81.8	17.0
内町地区	16	31.3	62.5	6.3	-	-	93.8	6.3
新町地区	4	75.0	25.0	-	-	-	100.0	0.0
西富田地区	8	-	62.5	25.0	12.5	-	62.5	37.5
東富田地区	18	27.8	44.4	11.1	5.6	11.1	72.2	16.7
昭和地区	35	37.1	48.6	11.4	2.9	-	85.7	14.3
渭東地区	74	24.3	56.8	16.2	1.4	1.4	81.1	17.6
渭北地区	63	22.2	68.3	9.5	-	-	90.5	9.5
佐古地区	41	22.0	65.9	7.3	4.9	-	87.9	12.2
沖洲地区	33	30.3	51.5	9.1	9.1	-	81.8	18.2
津田地区	50	24.0	56.0	16.0	2.0	2.0	80.0	18.0
加茂名地区	67	41.8	40.3	14.9	3.0	-	82.1	17.9
加茂地区	59	32.2	45.8	15.3	3.4	3.4	78.0	18.7
八万地区	97	35.1	46.4	14.4	2.1	2.1	81.5	16.5
勝占地区	47	25.5	59.6	14.9	-	-	85.1	14.9
多家良地区	23	43.5	47.8	8.7	-	-	91.3	8.7
上八万地区	31	25.8	54.8	19.4	-	-	80.6	19.4
入田地区	2	50.0	50.0	-	-	-	100.0	0.0
不動地区	4	50.0	25.0	25.0	-	-	75.0	25.0
川内地区	53	26.4	49.1	20.8	1.9	1.9	75.5	22.7
応神地区	18	44.4	33.3	16.7	5.6	-	77.7	22.3
国府地区	58	31.0	44.8	20.7	1.7	1.7	75.8	22.4
南井上地区	10	40.0	40.0	20.0	-	-	80.0	20.0
北井上地区	5	20.0	60.0	20.0	-	-	80.0	20.0

問 48 あなたは、どの程度孤独であると感じることがありますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

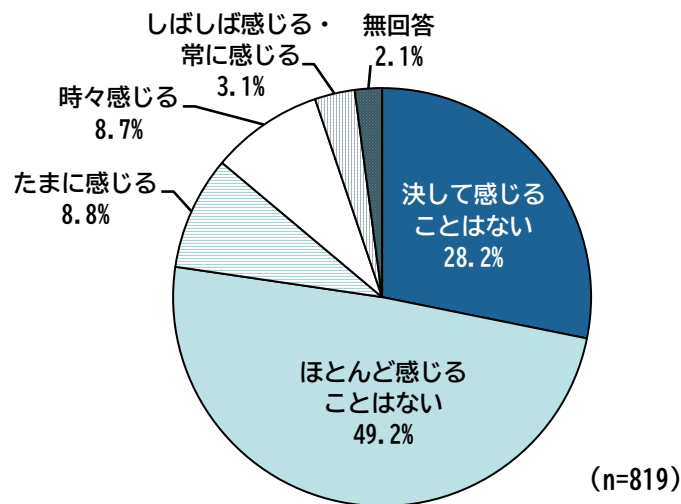
どの程度孤独であると感じるかを見ると、「ほとんど感じることはない」が49.2%と最も高く、「決して感じることはない」を合計すると77.4%が『感じることはない』と回答しています。一方、「たまに感じる」「時々感じる」「しばしば感じる・常に感じる」を合計した『感じる』は20.6%となっています。

【属性別の傾向】

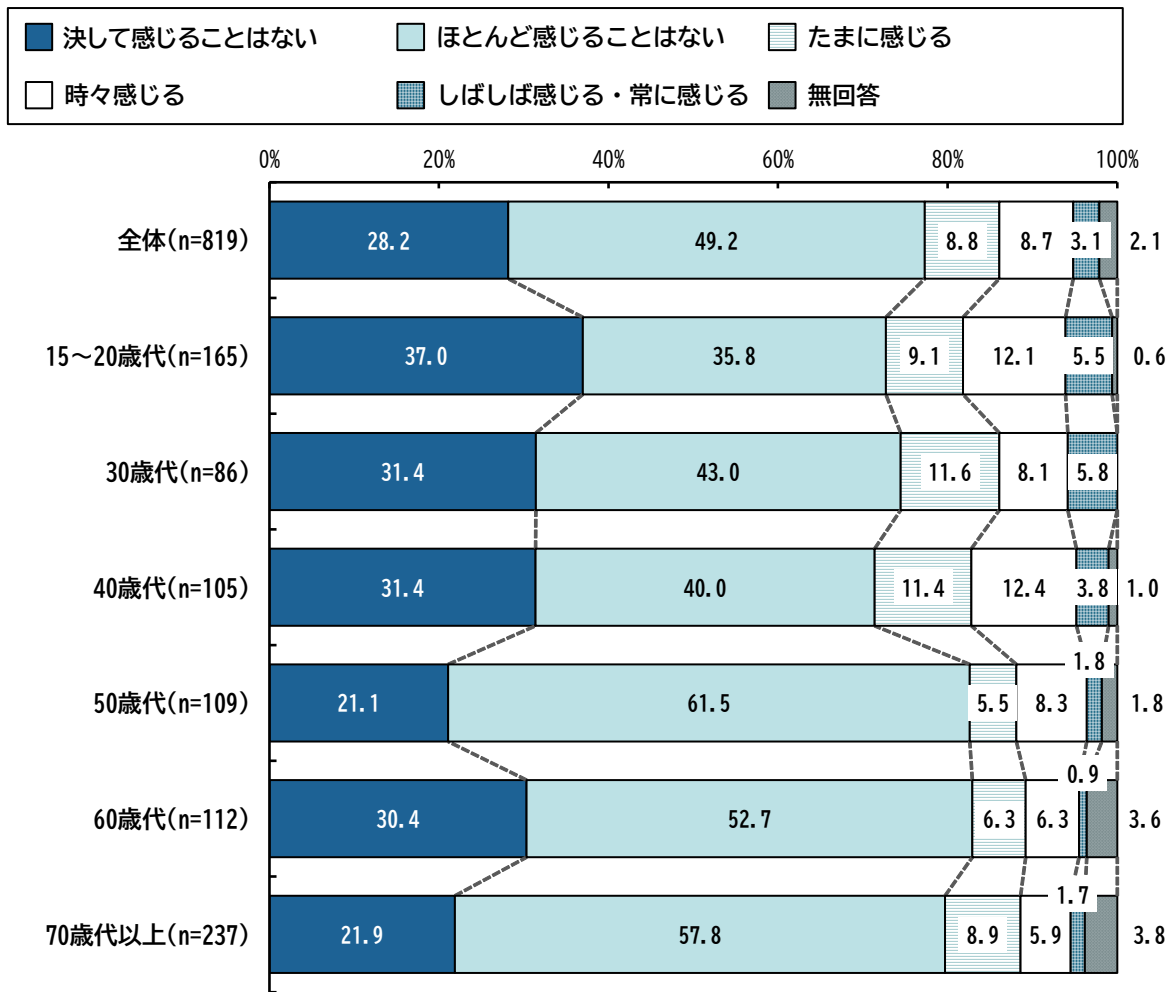
年齢別にみると、いずれの年齢も『感じることはない』が7割以上を占めています。一方、15～40歳代では2割以上が『感じる』と回答しています。

地区別にみると、いずれの地区も『感じることはない』が『感じる』を上回っています。

図表 146 どの程度孤独であると感じるか（全体）



図表 147 どの程度孤独であると感じるか（全体、年齢別）



図表 148 どの程度孤独であると感じるか（全体、地区別）

	全体	決して感じることはない	ほとんど感じることはない	たまに感じる	時々感じる	しばしば感じる・常に感じる	無回答	感じる（たまに感じる・時々感じる） + しばしば感じる・常に感じる （感じることは少ない） + ほとんど感じる （感じることは少ない）	感じる（たまに感じる・時々感じる） + しばしば感じる・常に感じる （感じることは少ない）
全体	819	28.2	49.2	8.8	8.7	3.1	2.1	77.4	20.6
内町地区	16	25.0	62.5	6.3	6.3	-	-	87.5	12.6
新町地区	4	75.0	25.0	-	-	-	-	100.0	0.0
西富田地区	8	-	62.5	-	25.0	12.5	-	62.5	37.5
東富田地区	18	27.8	44.4	-	5.6	11.1	11.1	72.2	16.7
昭和地区	35	34.3	51.4	2.9	8.6	2.9	-	85.7	14.4
渭東地区	74	23.0	50.0	14.9	8.1	2.7	1.4	73.0	25.7
渭北地区	63	25.4	54.0	9.5	9.5	1.6	-	79.4	20.6
佐古地区	41	22.0	53.7	9.8	7.3	4.9	2.4	75.7	22.0
沖洲地区	33	36.4	42.4	6.1	3.0	12.1	-	78.8	21.2
津田地区	50	16.0	56.0	12.0	10.0	-	6.0	72.0	22.0
加茂名地区	67	35.8	41.8	6.0	14.9	1.5	-	77.6	22.4
加茂地区	59	28.8	47.5	8.5	8.5	6.8	-	76.3	23.8
八万地区	97	26.8	54.6	9.3	7.2	1.0	1.0	81.4	17.5
勝占地区	47	23.4	53.2	8.5	8.5	4.3	2.1	76.6	21.3
多家良地区	23	47.8	39.1	4.3	8.7	-	-	86.9	13.0
上八万地区	31	29.0	54.8	6.5	6.5	-	3.2	83.8	13.0
入田地区	2	50.0	50.0	-	-	-	-	100.0	0.0
不動地区	4	50.0	50.0	-	-	-	-	100.0	0.0
川内地区	53	26.4	47.2	5.7	13.2	3.8	3.8	73.6	22.7
応神地区	18	27.8	44.4	11.1	5.6	5.6	5.6	72.2	22.3
国府地区	58	29.3	43.1	13.8	5.2	1.7	6.9	72.4	20.7
南井上地区	10	60.0	20.0	20.0	-	-	-	80.0	20.0
北井上地区	5	20.0	60.0	-	20.0	-	-	80.0	20.0

問 48 で「たまに感じる」～「しばしば感じる・常に感じる」を選択した方

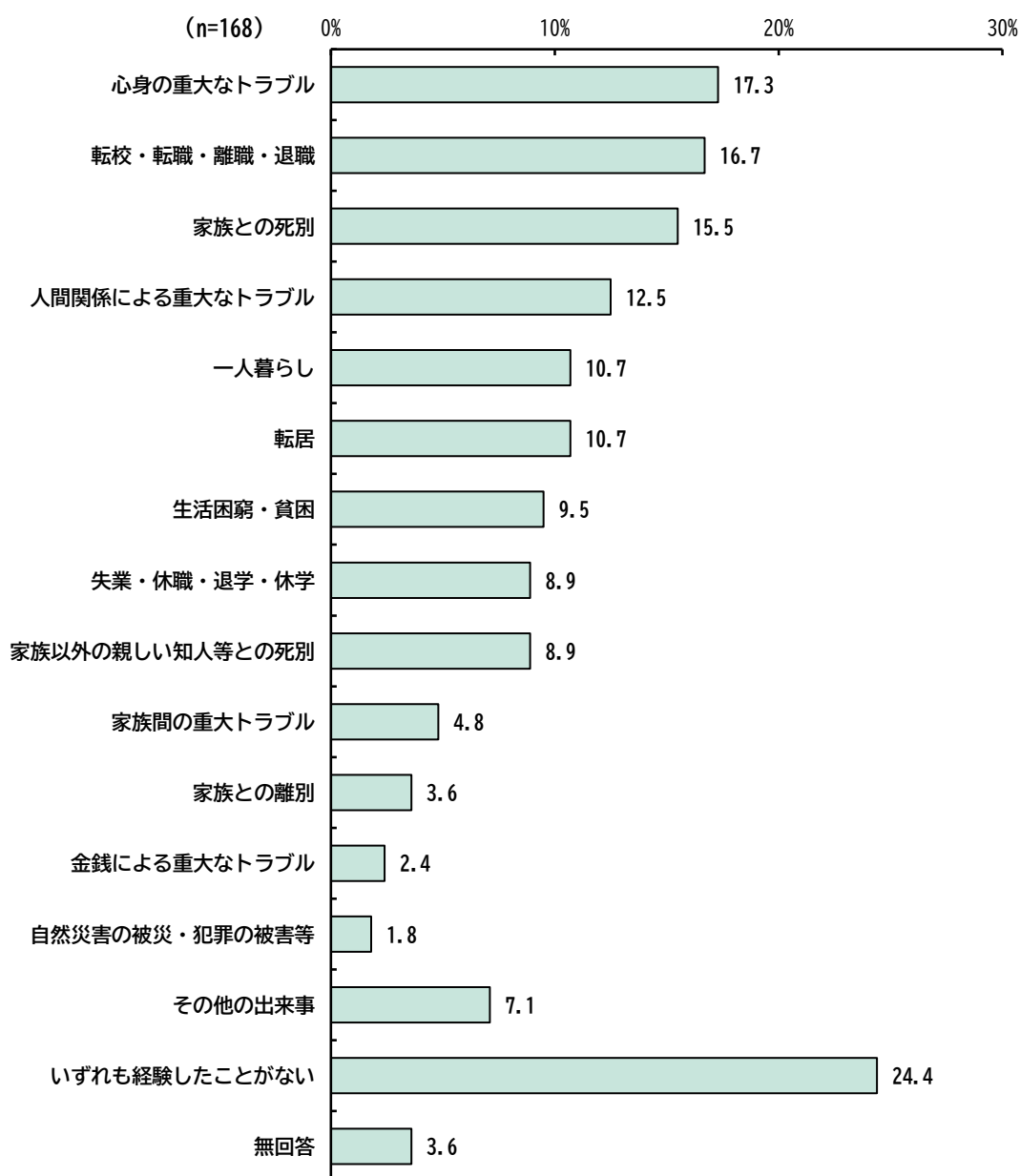
問 48-1 その孤独感にいたる前に経験した出来事をお答えください。

【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

孤独感の原因と思われる出来事をみると、「心身の重大なトラブル」が17.3%、「転校・転職・離職・退職」が16.7%、「家族との死別」が15.5%と続いています。一方、「いずれも経験したことがない」は24.4%と最も高くなっています。

図表 149 孤独感の原因と思われる出来事（全体／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、40歳代、60歳代では「転校・転職・離職・退職」、70歳代以上では「心身の重大なトラブル」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別にみると、渭北、国府地区では「転居」が最も高くなっています。

図表 150 孤独感の原因と思われる出来事（全体、年齢別／複数回答）

	全体	心身の重大なトラブル	転校・転職・離職・退職	家族との死別	人間関係による重大なトラブル	一人暮らし	転居	生活困窮・貧困	失業・休職・退学・休学	別	家族以外の親しい知人等との死	家族間の重大トラブル	家族との離別	金銭による重大なトラブル	自然災害の被災・犯罪の被害等	その他の出来事	いずれも経験したことがない	無回答
全体	168	17.3	16.7	15.5	12.5	10.7	10.7	9.5	8.9	8.9	4.8	3.6	2.4	1.8	7.1	24.4	3.6	
15～20歳代	44	11.4	9.1	4.5	20.5	22.7	6.8	13.6	13.6	2.3	2.3	2.3	2.3	-	13.6	29.5	-	
30歳代	22	18.2	22.7	9.1	13.6	4.5	22.7	9.1	4.5	4.5	-	4.5	9.1	-	9.1	27.3	-	
40歳代	29	17.2	27.6	13.8	13.8	-	10.3	10.3	10.3	3.4	6.9	3.4	-	-	3.4	20.7	3.4	
50歳代	17	11.8	11.8	17.6	17.6	11.8	17.6	17.6	17.6	11.8	5.9	-	5.9	-	5.9	29.4	11.8	
60歳代	15	6.7	40.0	20.0	-	6.7	13.3	6.7	6.7	20.0	6.7	6.7	-	-	6.7	13.3	-	
70歳代以上	39	30.8	7.7	28.2	5.1	10.3	2.6	2.6	2.6	17.9	7.7	5.1	-	5.1	2.6	23.1	7.7	

図表 151 孤独感の原因と思われる出来事（全体、地区別／複数回答）

	全体	心身の重大なトラブル	転校・転職・離職・退職	家族との死別	人間関係による重大なトラブル	一人暮らし	転居	生活困窮・貧困	失業・休職・退学・休学	別	家族以外の親しい知人等との死	家族間の重大トラブル	家族との離別	金銭による重大なトラブル	自然災害の被災・犯罪の被害等	その他の出来事	いずれも経験したことがない	無回答
全体	168	17.3	16.7	15.5	12.5	10.7	10.7	9.5	8.9	8.9	4.8	3.6	2.4	1.8	7.1	24.4	3.6	
内町地区	2	50.0	-	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	100.0	-	-	-	-	50.0	-	-	
新町地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
西富田地区	3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	
東富田地区	3	-	-	33.3	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	
昭和地区	5	-	60.0	-	-	60.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
渭東地区	19	5.3	15.8	15.8	10.5	5.3	5.3	5.3	-	15.8	5.3	5.3	-	-	5.3	31.6	5.3	
渭北地区	13	7.7	23.1	7.7	7.7	23.1	30.8	7.7	15.4	7.7	-	7.7	-	-	23.1	15.4	7.7	
佐古地区	9	33.3	33.3	11.1	33.3	-	-	22.2	22.2	11.1	22.2	-	-	-	11.1	22.2	-	
沖洲地区	7	28.6	-	14.3	14.3	-	14.3	14.3	-	14.3	-	-	14.3	14.3	-	28.6	14.3	
津田地区	11	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	-	-	9.1	-	18.2	-	-	-	9.1	27.3	-	
加茂名地区	15	26.7	13.3	6.7	6.7	13.3	6.7	13.3	-	6.7	-	6.7	-	-	-	20.0	6.7	
加茂地区	14	14.3	14.3	21.4	7.1	7.1	7.1	7.1	21.4	7.1	-	7.1	-	-	7.1	28.6	7.1	
八万地区	17	11.8	17.6	23.5	11.8	5.9	5.9	5.9	-	11.8	5.9	5.9	5.9	-	11.8	23.5	-	
勝占地区	10	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	10.0	-	50.0	-	
多家良地区	3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-	
上八万地区	4	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	75.0	-	
入田地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
不動地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
川内地区	12	16.7	41.7	25.0	16.7	25.0	16.7	8.3	41.7	-	8.3	-	-	8.3	-	16.7	-	
応神地区	4	-	25.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	
国府地区	12	25.0	16.7	8.3	8.3	8.3	33.3	8.3	-	8.3	-	-	-	-	-	16.7	8.3	
南井上地区	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
北井上地区	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	

問 48 で「たまに感じる」～「しばしば感じる・常に感じる」を選択した方

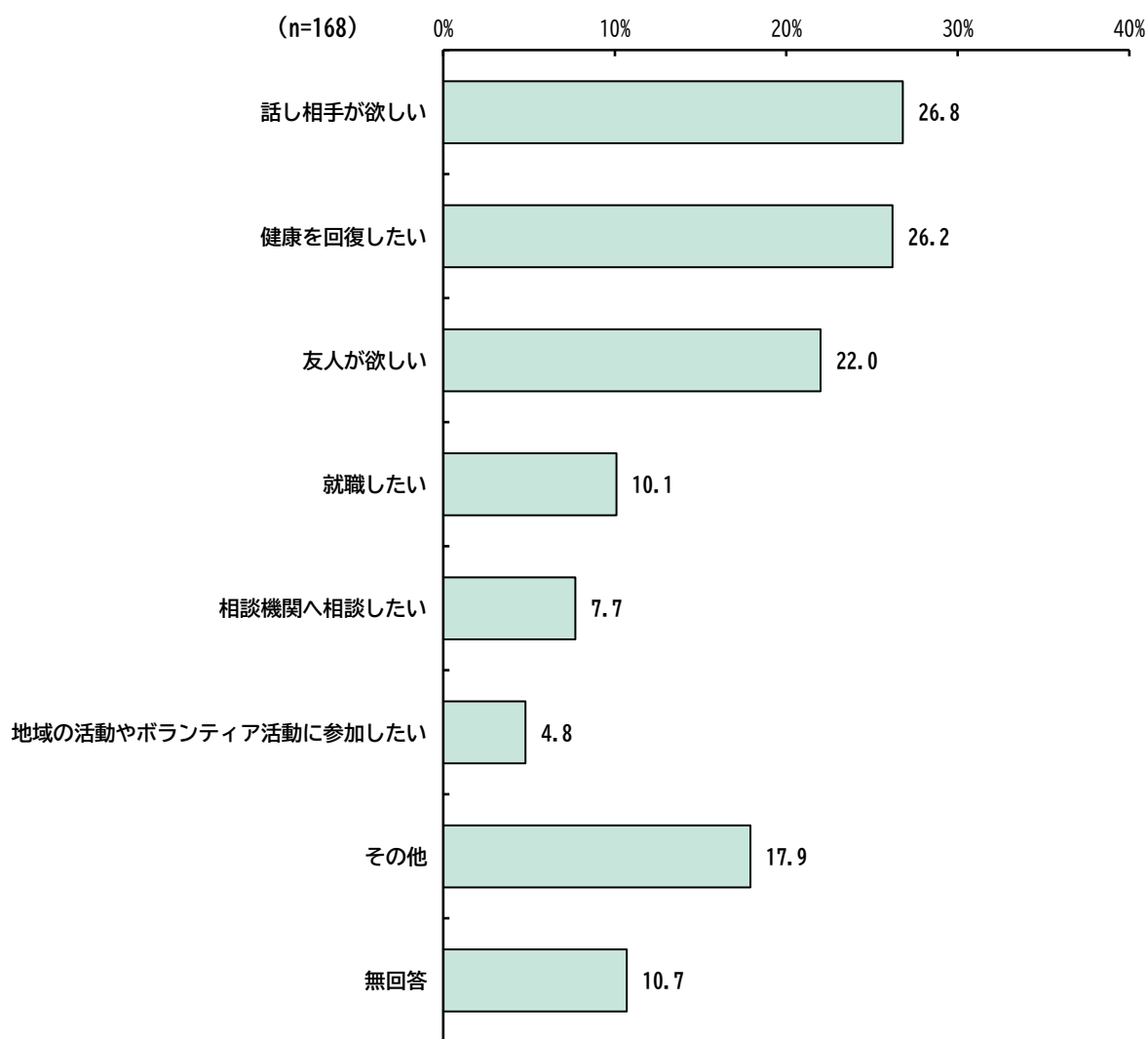
問 48-2 その孤独感を解消するために、何か希望することはありますか。

【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

孤独感を解消するために希望することをみると、「話し相手が欲しい」が 26.8%と最も高く、次いで「健康を回復したい」が 26.2%、「友人が欲しい」が 22.0%と続いています。

図表 152 孤独感を解消するために希望すること（全体／複数回答）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、15～40歳代では「話し相手が欲しい」、70歳代以上では「健康を回復したい」がそれぞれ最も高くなっています。また、60歳代では「話し相手が欲しい」と「健康を回復したい」が同率で最も高くなっています。50歳代では「その他」が最も高くなっていますが、その内容として、「なし」や「特に何もしなくていい」という意見がみられました。

地区別にみると、昭和、佐古、津田、勝占、多家良、上八万、応神、北井上地区では「話し相手が欲しい」が最も高くなっています。また、沖洲地区では「相談機関へ相談したい」が最も高くなっています。

図表 153 孤独感を解消するために希望すること（全体、年齢別／複数回答）

	全体	話し相手が欲しい	健康を回復したい	友人が欲しい	就職したい	相談機関へ相談したい	地域の活動やボランティア活動に参加したい	その他	無回答
全体	168	26.8	26.2	22.0	10.1	7.7	4.8	17.9	10.7
15～20歳代	44	34.1	22.7	29.5	11.4	6.8	4.5	13.6	6.8
30歳代	22	31.8	18.2	27.3	18.2	22.7	4.5	22.7	9.1
40歳代	29	31.0	24.1	17.2	13.8	3.4	6.9	20.7	10.3
50歳代	17	11.8	11.8	23.5	5.9	11.8	5.9	29.4	11.8
60歳代	15	33.3	33.3	20.0	13.3	6.7	6.7	13.3	13.3
70歳代以上	39	17.9	38.5	15.4	2.6	2.6	-	15.4	15.4

図表 154 孤独感を解消するために希望すること（全体、地区別／複数回答）

	全体	話し相手が欲しい	健康を回復したい	友人が欲しい	就職したい	相談機関へ相談したい	地域の活動やボランティア活動に参加したい	その他	無回答
全体	168	26.8	26.2	22.0	10.1	7.7	4.8	17.9	10.7
内町地区	2	50.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-
新町地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西富田地区	3	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	33.3
東富田地区	3	33.3	-	66.7	-	-	-	66.7	-
昭和地区	5	40.0	-	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-
渭東地区	19	10.5	26.3	31.6	5.3	-	5.3	15.8	21.1
渭北地区	13	23.1	-	7.7	7.7	7.7	7.7	46.2	-
佐古地区	9	55.6	22.2	22.2	11.1	-	-	22.2	22.2
沖洲地区	7	14.3	14.3	14.3	-	28.6	-	14.3	14.3
津田地区	11	45.5	36.4	9.1	9.1	-	-	-	18.2
加茂名地区	15	20.0	46.7	6.7	6.7	13.3	6.7	6.7	-
加茂地区	14	14.3	42.9	14.3	7.1	7.1	-	35.7	-
八万地区	17	29.4	17.6	35.3	17.6	17.6	-	23.5	11.8
勝占地区	10	30.0	30.0	20.0	-	20.0	-	-	10.0
多家良地区	3	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	-
上八万地区	4	75.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-
入田地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不動地区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川内地区	12	8.3	16.7	33.3	16.7	-	25.0	8.3	16.7
応神地区	4	75.0	50.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-
国府地区	12	16.7	16.7	16.7	16.7	-	8.3	16.7	25.0
南井上地区	2	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-
北井上地区	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-

問 49 あなた自身も含めた家族、または近所に「仕事や学校に行かず、家族以外の人との交流もほとんどせずに、6カ月以上続けて自宅にひきこもっている状態」と思われる方はいますか。ただし、妊娠中や病気の方は除きます。【一つだけに○】

【全体の傾向】

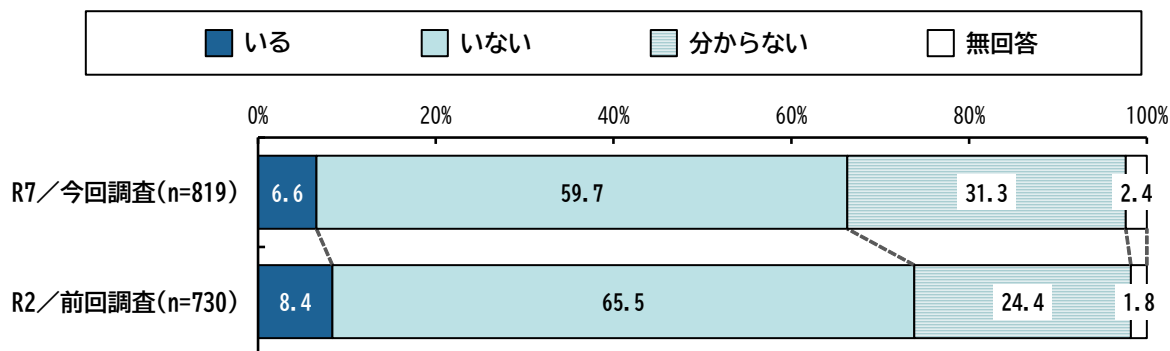
ひきこもり状態の方が身近にいるかをみると、「いない」が59.7%と最も高く、次いで「分からない」が31.3%、「いる」が6.6%と続いています。

前回調査と比較すると、「分からない」が6.9ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

地区別にみると、ほとんどの地区で「いない」が最も高く、「いる」は2割未満となっています。

図表 155 ひきこもり状態の方が身近にいるか（全体、前回比較）



図表 156 ひきこもり状態の方が身近にいるか（全体、地区別）

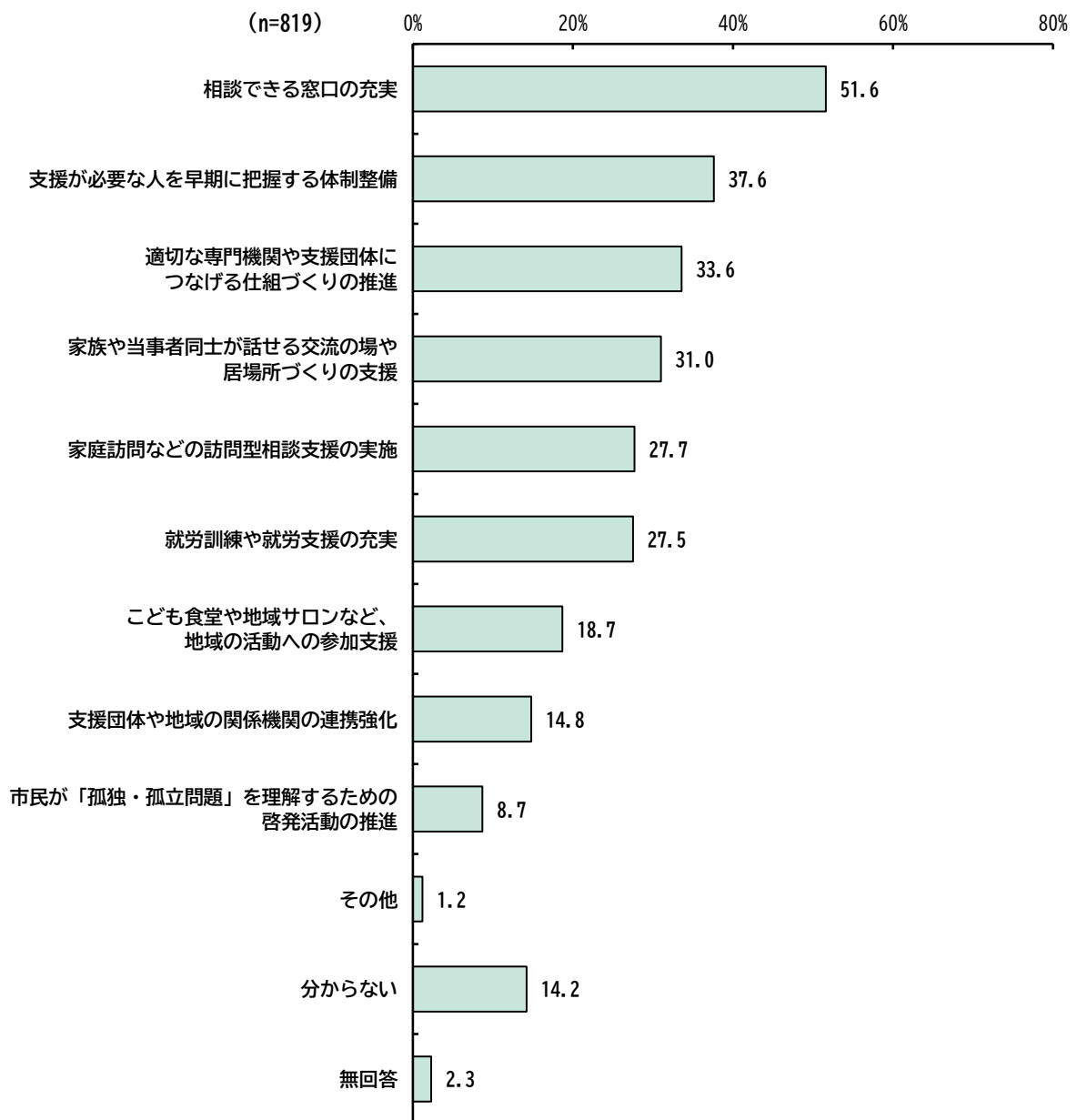
	全体	いる	いない	分からない	無回答
全体	819	6.6	59.7	31.3	2.4
内町地区	16	-	68.8	31.3	-
新町地区	4	-	100.0	-	-
西富田地区	8	-	25.0	75.0	-
東富田地区	18	11.1	55.6	22.2	11.1
昭和地区	35	17.1	54.3	25.7	2.9
清東地区	74	5.4	62.2	32.4	-
渭北地区	63	-	73.0	25.4	1.6
佐古地区	41	7.3	53.7	36.6	2.4
沖洲地区	33	-	54.5	45.5	-
津田地区	50	6.0	56.0	34.0	4.0
加茂名地区	67	9.0	58.2	31.3	1.5
加茂地区	59	5.1	57.6	35.6	1.7
八万地区	97	7.2	61.9	29.9	1.0
勝占地区	47	12.8	59.6	27.7	-
多家良地区	23	8.7	56.5	34.8	-
上八万地区	31	6.5	61.3	25.8	6.5
入田地区	2	-	-	100.0	-
不動地区	4	-	50.0	50.0	-
川内地区	53	5.7	60.4	28.3	5.7
応神地区	18	11.1	50.0	33.3	5.6
国府地区	58	8.6	63.8	22.4	5.2
南井上地区	10	-	50.0	40.0	10.0
北井上地区	5	-	60.0	40.0	-

問 50 孤独・孤立・ひきこもりの方を支援するために、どのような施策が必要だと思いますか。
【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

孤独・孤立・ひきこもり支援に必要だと思う施策をみると、「相談できる窓口の充実」が 51.6%と最も高く、次いで「支援が必要な人を早期に把握する体制整備」が 37.6%、「適切な専門機関や支援団体につなげる仕組づくりの推進」が 33.6%と続いています。

図表 157 孤独・孤立・ひきこもり支援に必要だと思う施策（全体／複数回答）



【属性別の傾向】

地区別にみると、ほとんどの地区で「相談できる窓口の充実」が最も高くなっていますが、川内地区では「支援が必要な人を早期に把握する体制整備」「家族や当事者同士が話せる交流の場や居場所づくりの支援」が同率で最も高くなっています。また、応神地区では「就労訓練や就労支援の充実」が最も高くなっています。

図表 158 孤独・孤立・ひきこもり支援に必要だと思う施策（全体、地区別／複数回答）

	全体	相談できる窓口の充実	支援が必要な人を早期に把握する体制整備	適切な専門機関や支援団体につなげる仕組みづくりの推進	家族や当事者同士が話せる交流の場や居場所づくりの支援	家庭訪問などの訪問型相談支援の実施	就労訓練や就労支援の充実	地域活動への参加支援	こども食堂や地域サロンなど、連携強化	支援団体や地域の関係機関の連携	市民が「孤独・孤立問題」を理解するための啓発活動の推進	その他	分からない	無回答
全体	819	51.6	37.6	33.6	31.0	27.7	27.5	18.7	14.8	8.7	1.2	14.2	2.3	
内町地区	16	62.5	62.5	25.0	37.5	25.0	31.3	31.3	-	12.5	-	12.5	-	
新町地区	4	75.0	-	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	
西富田地区	8	50.0	12.5	12.5	37.5	-	12.5	-	-	12.5	-	12.5	12.5	
東富田地区	18	50.0	33.3	50.0	33.3	16.7	33.3	27.8	16.7	16.7	-	16.7	5.6	
昭和地区	35	48.6	42.9	45.7	34.3	34.3	28.6	22.9	14.3	8.6	-	2.9	5.7	
渭東地区	74	51.4	41.9	35.1	24.3	33.8	20.3	21.6	14.9	8.1	1.4	14.9	-	
渭北地区	63	65.1	46.0	25.4	34.9	38.1	23.8	23.8	15.9	6.3	3.2	11.1	1.6	
佐古地区	41	48.8	26.8	36.6	31.7	29.3	31.7	26.8	19.5	9.8	2.4	14.6	7.3	
沖洲地区	33	54.5	30.3	33.3	24.2	21.2	24.2	18.2	6.1	3.0	-	15.2	-	
津田地区	50	60.0	30.0	36.0	22.0	16.0	36.0	12.0	8.0	10.0	2.0	20.0	-	
加茂名地区	67	50.7	44.8	47.8	40.3	37.3	35.8	16.4	16.4	9.0	-	11.9	3.0	
加茂地区	59	55.9	42.4	30.5	37.3	23.7	18.6	13.6	22.0	6.8	1.7	13.6	-	
八万地区	97	57.7	43.3	28.9	26.8	28.9	34.0	18.6	12.4	8.2	3.1	9.3	1.0	
勝占地区	47	48.9	34.0	27.7	38.3	31.9	29.8	21.3	12.8	6.4	-	17.0	4.3	
多家良地区	23	47.8	43.5	39.1	26.1	8.7	13.0	13.0	26.1	4.3	-	8.7	-	
上八万地区	31	58.1	35.5	32.3	45.2	29.0	32.3	9.7	12.9	6.5	3.2	9.7	-	
入田地区	2	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
不動地区	4	50.0	25.0	-	-	50.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	
川内地区	53	34.0	35.8	34.0	35.8	34.0	30.2	30.2	22.6	20.8	-	13.2	3.8	
応神地区	18	16.7	27.8	22.2	22.2	27.8	44.4	16.7	11.1	5.6	-	22.2	5.6	
国府地区	58	37.9	29.3	29.3	22.4	15.5	17.2	8.6	19.0	8.6	-	27.6	5.2	
南井上地区	10	50.0	10.0	30.0	30.0	40.0	30.0	10.0	-	-	-	30.0	-	
北井上地区	5	80.0	40.0	60.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-	

6 再犯防止の取組みについて

問 51 あなたは、再犯防止に関する取組みが進められていることを知っていますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

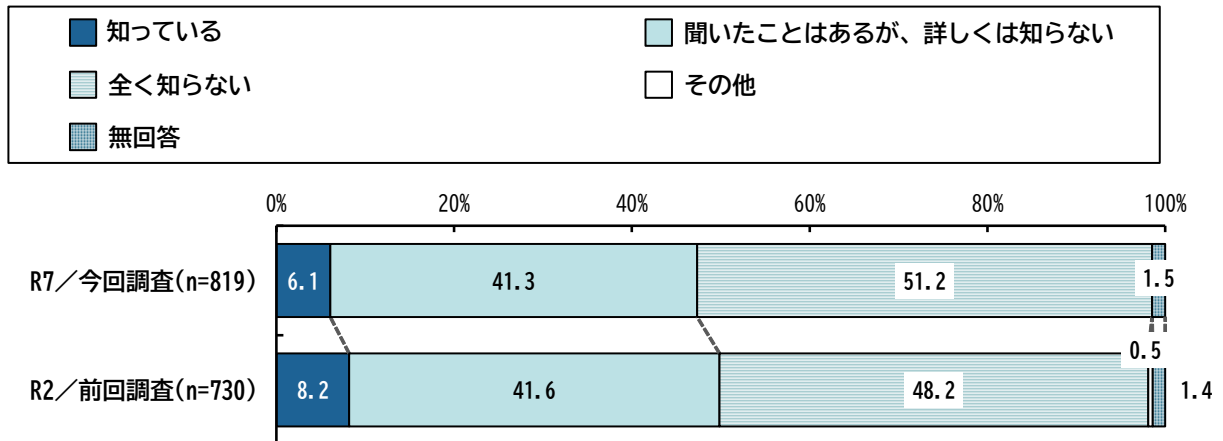
再犯防止に関する取組みの認知状況をみると、「全く知らない」が 51.2%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 41.3%、「知っている」が 6.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「全く知らない」が 3.0 ポイント増加しています。

【属性別の傾向】

地区別にみると、内町、昭和、佐古、加茂名、勝占、入田、不動地区では「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が最も高くなっています。

図表 159 再犯防止に関する取組みの認知状況（全体、前回比較）



図表 160 再犯防止に関する取組みの認知度（全体、地区別）

	全体	知っている	聞いたことはあるが、詳しくは知らない	全く知らない	その他	無回答
全体	819	6.1	41.3	51.2	-	1.5
内町地区	16	6.3	50.0	43.8	-	-
新町地区	4	-	25.0	75.0	-	-
西富田地区	8	-	37.5	62.5	-	-
東富田地区	18	5.6	33.3	55.6	-	5.6
昭和地区	35	5.7	51.4	42.9	-	-
渭東地区	74	5.4	35.1	58.1	-	1.4
渭北地区	63	6.3	42.9	50.8	-	-
佐古地区	41	7.3	51.2	39.0	-	2.4
沖洲地区	33	-	45.5	54.5	-	-
津田地区	50	4.0	46.0	50.0	-	-
加茂名地区	67	9.0	46.3	43.3	-	1.5
加茂地区	59	11.9	40.7	47.5	-	-
八万地区	97	6.2	42.3	50.5	-	1.0
勝占地区	47	-	48.9	48.9	-	2.1
多家良地区	23	-	43.5	56.5	-	-
上八万地区	31	12.9	32.3	54.8	-	-
入田地区	2	50.0	50.0	-	-	-
不動地区	4	25.0	50.0	25.0	-	-
川内地区	53	1.9	32.1	62.3	-	3.8
応神地区	18	16.7	22.2	50.0	-	11.1
国府地区	58	3.4	43.1	50.0	-	3.4
南井上地区	10	10.0	-	90.0	-	-
北井上地区	5	20.0	-	80.0	-	-

問 52 あなたは、再犯防止のために、どのようなことが必要だと思いますか。

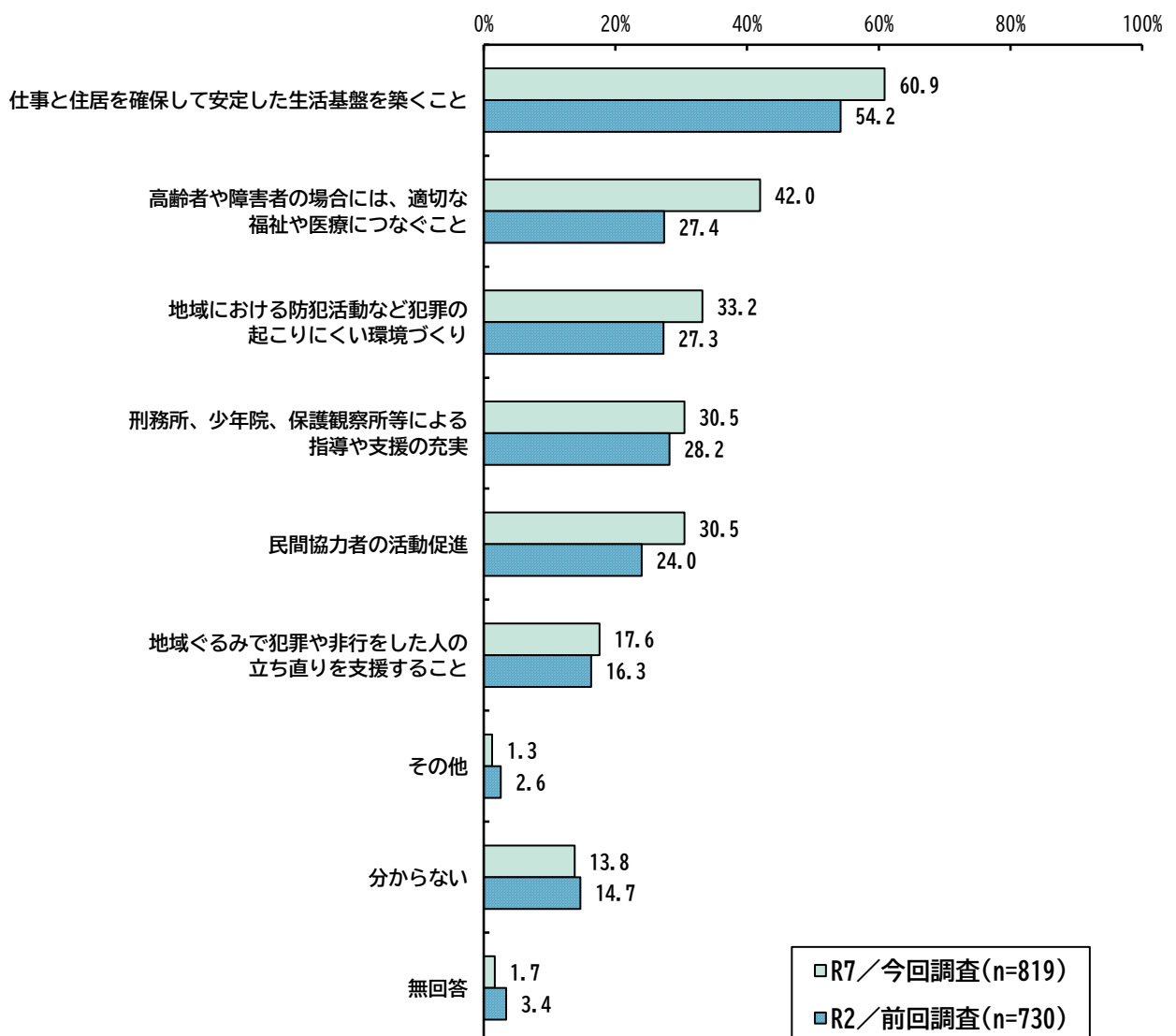
【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

再犯防止のために必要だと思うことをみると、「仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築くこと」が60.9%と最も高く、次いで「高齢者や障害者の場合には、適切な福祉や医療につなぐこと」が42.0%、「地域における防犯活動など犯罪の起こりにくい環境づくり」が33.2%と続いています。

前回調査と比較すると、「高齢者や障害者の場合には、適切な福祉や医療につなぐこと」が14.6ポイント増加しています。

図表 161 再犯防止のために必要だと思うこと（全体、前回比較／複数回答）



【属性別の傾向】

地区別にみると、ほとんどの地区で「仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築くこと」が最も高くなっていますが、加茂地区では「刑務所、少年院、保護観察所等による指導や支援の充実」が最も高くなっています。

図表 162 再犯防止のために必要だと思うこと（全体、地区別／複数回答）

	全体	仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築くこと	切な高齢者や障害者の場合には、適切な福祉や医療につなぐこと、適	高齢者や障害者の場合には、適切な福祉や医療につなぐこと、適	の起りにける防犯活動など犯罪	地域における防犯活動など犯罪	刑務所、少年院、保護観察所等による指導や支援の充実	民間協力者の活動促進	地域の立ち直りを支援すること	その他	分からない	無回答
全体	819	60.9	42.0	33.2	30.5	30.5	17.6	1.3	13.8	1.7		
内町地区	16	62.5	50.0	43.8	31.3	31.3	12.5	-	6.3	-		
新町地区	4	50.0	25.0	25.0	50.0	-	-	-	25.0	-		
西富田地区	8	62.5	25.0	12.5	25.0	12.5	25.0	-	25.0	-		
東富田地区	18	83.3	38.9	50.0	22.2	44.4	16.7	5.6	11.1	-		
昭和地区	35	71.4	45.7	31.4	25.7	40.0	17.1	-	5.7	-		
渭東地区	74	60.8	40.5	25.7	24.3	27.0	13.5	1.4	14.9	-		
渭北地区	63	61.9	41.3	31.7	30.2	31.7	25.4	3.2	12.7	3.2		
佐古地区	41	58.5	41.5	29.3	22.0	39.0	19.5	4.9	14.6	4.9		
沖洲地区	33	54.5	27.3	24.2	33.3	27.3	9.1	-	21.2	3.0		
津田地区	50	56.0	38.0	34.0	22.0	20.0	16.0	-	26.0	-		
加茂名地区	67	64.2	50.7	38.8	34.3	37.3	20.9	1.5	11.9	1.5		
加茂地区	59	47.5	40.7	44.1	54.2	30.5	11.9	-	10.2	-		
八万地区	97	62.9	44.3	35.1	34.0	30.9	19.6	2.1	13.4	2.1		
勝占地区	47	61.7	42.6	31.9	25.5	34.0	17.0	2.1	14.9	2.1		
多家良地区	23	60.9	56.5	34.8	21.7	21.7	21.7	-	8.7	-		
上八万地区	31	77.4	32.3	32.3	25.8	35.5	19.4	3.2	12.9	-		
入田地区	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-		
不動地区	4	75.0	25.0	-	-	50.0	-	-	-	-		
川内地区	53	56.6	45.3	41.5	34.0	24.5	17.0	-	11.3	3.8		
応神地区	18	72.2	50.0	33.3	22.2	27.8	11.1	-	16.7	-		
国府地区	58	46.6	36.2	20.7	39.7	32.8	20.7	-	13.8	5.2		
南井上地区	10	70.0	60.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-	20.0	-		
北井上地区	5	100.0	40.0	80.0	-	-	40.0	-	-	-		

7 その他

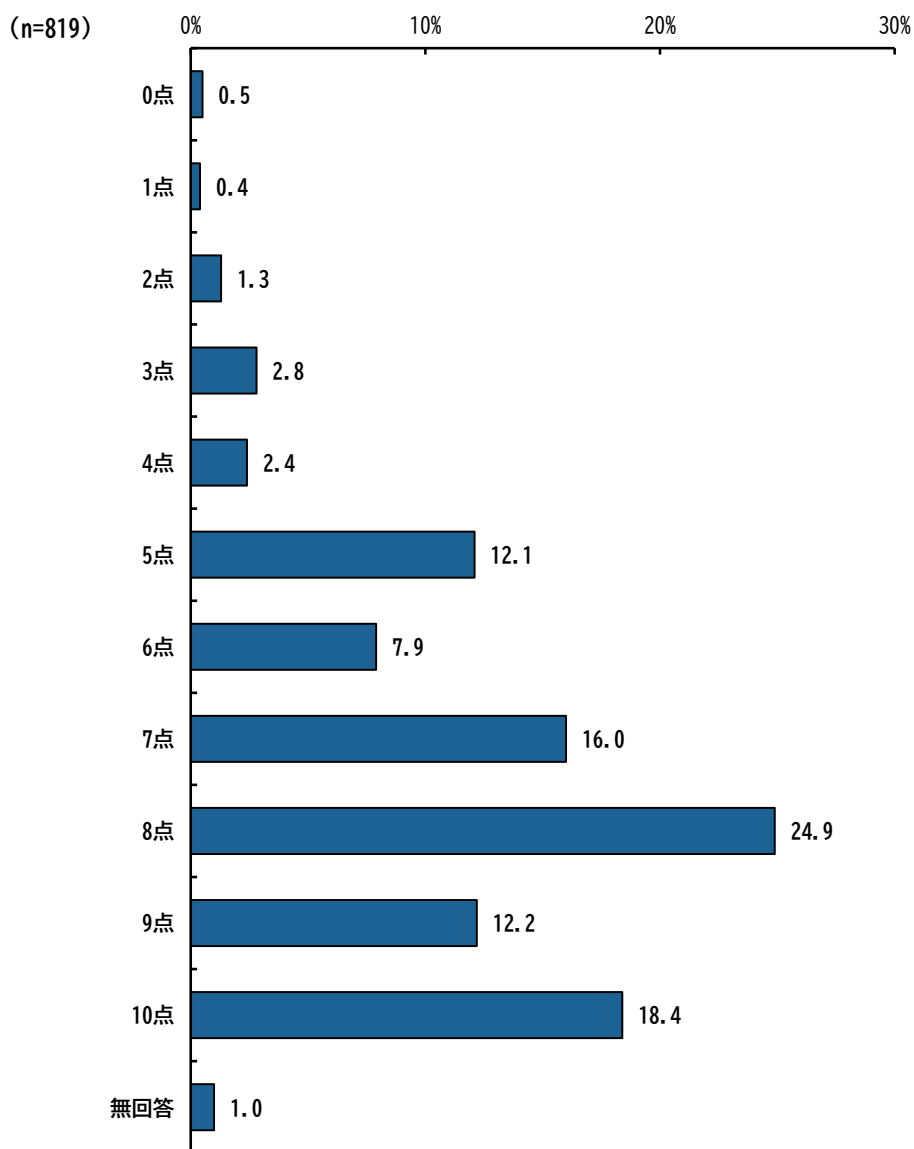
1 幸福度

問 53 あなたは、現在どの程度幸せですか。【一つだけに○】
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。）

【全体の傾向】

現在の幸福度をみると、「8点」が24.9%と最も高く、次いで「10点」が18.4%、「7点」が16.0%と続いています。

図表 163 幸福度（全体）



【属性別の傾向】

年齢別にみると、15～20歳代では「10点」、30歳代以上では「8点」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別にみると、内町、応神、国府地区では「10点」が最も高くなっています。

図表 164 幸福度（全体、年齢別）

	全体	0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点	無 回 答
全体	819	0.5	0.4	1.3	2.8	2.4	12.1	7.9	16.0	24.9	12.2	18.4	1.0
15～20歳代	165	-	-	2.4	1.8	0.6	11.5	7.3	18.8	20.6	10.3	26.1	0.6
30歳代	86	2.3	1.2	1.2	3.5	5.8	9.3	10.5	16.3	23.3	8.1	18.6	-
40歳代	105	-	1.0	2.9	5.7	2.9	15.2	11.4	13.3	21.9	7.6	18.1	-
50歳代	109	-	-	1.8	2.8	2.8	14.7	3.7	18.3	25.7	17.4	12.8	-
60歳代	112	-	-	0.9	2.7	0.9	9.8	6.3	16.1	30.4	12.5	18.8	1.8
70歳代以上	237	0.8	0.4	-	2.1	3.0	12.2	8.9	13.9	27.0	13.9	15.6	2.1

图表 165 幸福度（全体、地区別）

	全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	819	0.5	0.4	1.3	2.8	2.4	12.1	7.9	16.0	24.9	12.2	18.4	1.0
内町地区	16	-	-	-	-	6.3	18.8	6.3	12.5	12.5	18.8	25.0	-
新町地区	4	-	-	-	-	-	-	-	50.0	25.0	25.0	-	-
西富田地区	8	-	-	-	12.5	-	12.5	-	25.0	50.0	-	-	-
東富田地区	18	5.6	-	5.6	5.6	-	11.1	5.6	11.1	27.8	11.1	16.7	-
昭和地区	35	-	-	-	-	-	8.6	8.6	14.3	31.4	8.6	28.6	-
清東地区	74	-	-	-	2.7	4.1	14.9	9.5	14.9	18.9	17.6	17.6	-
渭北地区	63	-	-	-	6.3	1.6	6.3	11.1	11.1	30.2	7.9	25.4	-
佐古地区	41	-	-	-	2.4	4.9	14.6	7.3	9.8	36.6	14.6	9.8	-
冲洲地区	33	3.0	-	-	6.1	-	15.2	6.1	15.2	21.2	18.2	15.2	-
津田地区	50	-	-	2.0	-	4.0	20.0	2.0	10.0	28.0	16.0	16.0	2.0
加茂名地区	67	-	1.5	-	6.0	4.5	13.4	9.0	14.9	22.4	7.5	19.4	1.5
加茂地区	59	-	-	3.4	3.4	1.7	16.9	8.5	22.0	22.0	8.5	13.6	-
八万地区	97	-	2.1	2.1	2.1	1.0	9.3	8.2	23.7	15.5	12.4	21.6	2.1
勝占地区	47	-	-	-	-	2.1	19.1	10.6	23.4	17.0	8.5	17.0	2.1
多家良地区	23	-	-	-	-	8.7	8.7	13.0	13.0	30.4	13.0	13.0	-
上八万地区	31	-	-	-	3.2	-	6.5	-	16.1	45.2	9.7	19.4	-
入田地区	2	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
不動地区	4	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0	50.0	-	-	-
川内地区	53	-	-	1.9	1.9	3.8	7.5	7.5	11.3	35.8	15.1	11.3	3.8
応神地区	18	5.6	-	11.1	-	-	5.6	22.2	11.1	5.6	-	38.9	-
国府地区	58	1.7	-	-	3.4	1.7	10.3	5.2	15.5	22.4	13.8	24.1	1.7
南井上地区	10	-	-	10.0	-	-	10.0	-	20.0	30.0	20.0	10.0	-
北井上地区	5	-	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0	40.0	20.0	-

2 自由意見

問 54 徳島市の地域福祉に対するご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

自由記述については、合計 136 件の意見が寄せられました。内容については、「各種支援や取組みについて」が 29 件、「情報提供・周知・啓発」が 25 件、「相談場所・交流の場の設置」が 20 件、「道路環境・設備について」が 16 件、「市職員への意見・要望」が 14 件、「アンケート調査について」が 11 件、「交通手段」が 9 件、「地域、近所との付き合い」が 8 件、「その他」が 4 件となっており、それぞれ意見を抜粋して掲載しています。

図表 166 自由意見（記述）

各種支援や取組みについて

意見	性別	年齢
高齢者への支援を充実させていくことは今後を考えると必要ではあるが、出産、育児支援をより拡充、充実させていくことが大事であるとする。	男性	20代
国や地方自治体が主力となり、支援してほしい。	女性	70代
補助金の充実。インフラ整備の充実。教育制度の仕組み、教育の対応の仕組み。	女性	50代
子育て支援がもっと充実しているといいと思いました。	女性	30代
徳島駅の近くで働いていますが、このおじいさん（おばあさん）認知症っぽく、毎日ウロウロしているけど保護者はいるのかなと心配な時があります。見つけても自発的に報告したりすることはないので、駅員さんや近くで働く人たちへの聞き取りが出来たりしたら良いのにと思います。	女性	30代
人との交流の為に要支援Ⅰをもっと取得しやすくしてほしいです。デイサービスを利用できなければ、家で孤立してしまい、認知も引きおこしそうです。	女性	80代
地域の組織作りには行政からの指導、経済的助成がほしいです。	女性	70代
一人親世帯が増加しており、金銭的な面、生活的な面、様々な悩みをかかえる親子が多いと思う。特に、教育の格差は親の収入によって広がる一方だと感じるので、収入によって子どもの将来への選択肢が狭まることのないような支援を拡充していくべきではないかと考えています。	女性	20代
徳島市の市民が徳島市の地域福祉のために負担している費用（税金）を下げて、徳島市の市民の手取りを増やしてほしい。	男性	20代
都市部一極集中による人口減少に歯止めを掛けないと地方行政の財源確保も難しくなり、福祉充実の実現が難しいと感じるので、まずは、徳島市のアピールを図って、人口の増加への取組みにもっと力を入れてほしい。県の魅力度ランキングを上げてほしい。最下位でもなく、中途半端。	男性	30代
保育料が少し高いと感じています。	女性	30代
行政ありきの地域福祉では地域行政の負担が増すばかり、住民の自衛と相違工夫を促した取り組みが必要である。老老介護やヤングケアラーも、3世代同居なら普通の日常生活です。	女性	50代
徳島市で子育てしたいと思える制度を作ってほしい。また、住民の立場を親身になって考え、課同士連携し、よりよい行政サービスを提供してほしい。	女性	30代
本当に必要とされている支援に注力すること。ゴミの分別をシンプルにすること。市民が納得できる税金の使い方。希望が持てる社会づくり。透明性が高い地域運営。	女性	40代
いろいろな施策を実施することにより、よりいっそう徳島市の地域福祉の充実を図ってほしい。	男性	60代

情報提供・周知・啓発

意見	性別	年齢
徳島市の地域福祉は何の活動をされているのか全く知らない。市民と市役所が離れすぎている。市民が何かピンチに陥った時、とりあえず市役所に聞けば何か答えてくれる「お助け機関」になってほしい。	女性	60代
町内会活動に協力するよう市から呼びかけてほしい。高齢者に関する福祉サービスについて、地域包括支援について分かりやすく話してほしい。情報を知りたい。	女性	80代
一応健康に生活していますが、先月病気で買い物に行けずしばらく困りました。やはり福祉等ほしいサービスの周知がほとんどなく、こちらから市役所等に電話するしかありません。もう少し丁寧なガイドブック等が望まれます。	女性	70代
病院などの施設以外でも情報が入手しやすい提供の仕組みの充実。気軽に相談出来るような場所があれば良い（個人情報を守られる事も大事）。給付金や支援金、サービスの提供などがあっても、知っている人しか活用できない状態が多いと思うので、もっとみんなに分かりやすく知らせてほしい。	女性	50代
普段から地域福祉（徳島市）に関する事の情報が広報誌で見えるぐらいで十分でない。	女性	70代
ボランティア活動をしたいと思っているが、いきなりNPOとかボランティア団体への参加は少し抵抗がある。もっとカジュアルに参加ができるよう、市が中心となって日常的に小さなお手伝い程度のことでも、SNSなどでボランティアの募集をしてもらえると良いと思う。	女性	50代
徳島市が具体的に支援をどのようにしているのか、今までどのような支援をしてきたのかが、よく分らない。民生委員や児童委員など、誰が委員なのかも知らない。分らない事や知らない事が多すぎます。	女性	60代
社会的弱者（障害により働く事ができない、収入が少ない人、貧困家庭、育児により収入減の人、交通手段が限られた人、等）の支援を充実させてほしい。サービスについて、調べなければ分からない事が多すぎるため、情報発信の場所、手段を増やして行ってほしい。	女性	30代
今回アンケートに参加して、知らなかった制度、サービスを知りました。もっとCM、テレビ、ラジオで福祉のことを、わかりやすく発信してほしいし、参加したい思いもあるので、勉強出来る場を設け、発信してほしい。	女性	60代
何事においても、情報を入手する手段が、わかりにくい。新聞に折り込まれている「市の広報」みたいなものからしか、知らない。特に、若い人達は、新聞を読まないのも、市の役割（働き）相談等ができる機関であることを知らないと思う。	女性	50代
情報を解りやすく広報してくれるとよい。もしくは検索したらすぐに具体的な情報が得られるとよい。	女性	60代
どのような活動をしているか、知りたい。	男性	30代
今はどこにも所属していないので参加の方法など分かりません。新聞等などで情報をもっとあれば参加出来るようになるかと思えます。	女性	60代

相談場所・交流の場の設置

意見	性別	年齢
これからますます高齢化になっていくので、高齢者が安心して過ごせる町づくりや高齢者が若者と触れ合ったり、世代を超えた交流の場があればいいと思います。	男性	10代
地域のお祭りやイベントなど気軽に参加できる催しを増やしてほしいです。	男性	50代
NPO団体に頼ろうとしている質問が幾つかあったが気になった。お金を出してやった気になるだけでなく、意見箱等の設置を考えてみてはいかがでしょうか。	男性	40代
高齢者、障害者、幼児、それぞれ分別された施設で生活しているが、それぞれ地域つまり自宅の近くで包括的に生活でき近くで一緒に出来る事をしたり、介護や保護を受けながら一般の家庭とも交流出来るような場を、市が主導してどんどん作ってほしいと思う。お互いの理解を深める為。	女性	60代
ニュースで見た。よなきカフェは子育てで辛くなってるお母さんの見方になると思う。子育て終わった人や手伝えることがあれば良いと思うし、市の協力で回数や場所が増えるといいと思います。	女性	50代
地域とのつながりが、あまりないので、町内会を作してほしい。	女性	70代
悩みの相談窓口が少なすぎる。多県の窓口頼らざるを得ないことがある。LGBTQやDVなどの各種窓口を電話やLINEなど様々な媒体で利用可能にするべき。	男性	10代
きちんとした都市計画のもと、公共交通機関で、どのような年齢の人でも1人で行ける場所に集中して施設をあつめて住みやすい環境を整えてほしい。子どもが不便を感じ、県外に出て行くと増々人口が減る。	女性	30代
地域の人交流できる場がほとんどない。あっても開催日が少ない。近くに公園などの広場と相談できる窓口が同じ敷地内にあると利用しやすいと思う。	女性	20代
市役所へ地域の事での困り事について相談しても相手にしてもらえなかったと家族が言っていた。健やかに安心して暮らせる地域社会を実現するために、まず小さな事でも相談にのってもらいたいです。	女性	20代

道路環境・設備について

意見	性別	年齢
生活道路が凸凹で年寄りが多く住んでいる所なので、常に気を付けていないと転びます。パトロールカーで穴埋めだけでなく、舗装をお願いしたいものです（三軒屋町の川沿い）。	女性	80代
避難タワーをもっと作ってほしい（色々な所に）。	男性	40代
文化ホールの建設が停滞していることは、コミュニティの形成にも大きな影響があり損失は多大である。モラルの低下は犯罪も引き起こし、助け合いの気持ちを育まない。政治家、県民の意識改革もキーとなる。	男性	60代
身障者の駐車場を利用しています。もう少し多くして頂いたらうれしいです。	女性	70代
福祉とは直接関係がないかもしれませんが、高齢者など地域の人々の楽しみや、生きがいの場にもなっていたホール、またアリーナなどは早く進めるべきだと思います。揉めることをくり返し、時間がかかりすぎて、一市民としてあきれております。	女性	40代
家の周りは手入れされていない家（住んでいない）がたくさんあり、防犯面や災害時に倒壊しないかが心配。税金が高くなるため、家をそのままにしていると思う。更地にして駐車場にしてほしい。更地にするだけでも見通しもよくなり、安全な気がする。	女性	50代
体の不自由な祖母が192号線沿いの庄町辺りの歩道を歩いているが、自転車が往来したり危険に思う時がある。歩道橋もあるが階段がきつくて昇りきれないと言っている（年寄りには横断歩道までが遠いらしい）。歩道と自転車走行の場所を分けてほしい。※幼児やお年寄りが危険ではない道作りをしてほしい。学生など自転車で2人が並んで走っていたりする。	女性	20代
八万橋本に住んでいますが、街灯が少なく夜道が危ないです。街灯を増やしてほしいです。暗い道が多いので、防犯面や安全面を考えて、街灯や見守りカメラ等を早急に増やしてほしいと思います。	女性	10代

市職員への意見・要望

意見	性別	年齢
市役所職員は、町内活動や自主防災活動など積極的に地域の活動に参加すべきである。	女性	60代
市の職員に専門知識を持っている人や、資格などを持った人が地域福祉の担当者になっていただきたい。それと思いやりのある方、知識資格だけでなく福祉の現場で仕事をした方、心優しい方、そういう方が少ない様に見受けられます。	女性	70代
市会議員さん、市長と内向きに目を向けて戦うのではなく、全員で徳島市が良くなるよう協力し合っ てほしいです。利害関係とかなくして市民に目を向けて下さい。	女性	60代
市長と市議会との協調性がない。	男性	80代
満足しています。市は本当によくやっているように感じています。私の子どもは障害（知的）があるの ですが、支援制度や施設などを厚く受けられている様に感じています。ありがとうございます。	男性	50代
手伝えませんが、応援はしています。	女性	20代
何でも縦割りなので、横のつながりをスムーズにしてほしい。	女性	40代

アンケート調査について

意見	性別	年齢
質問が難しい。	男性	40代
アンケートの質問項目多すぎ。	女性	10代
引っ越してきて日も浅いため、十分に答えられずにおります。	女性	50代
いちおう記入しましたが、これから何を得られるのか不明です。費用対効果。	女性	70代
福祉に対して、関心をもつ年齢ではなかったのが、今回初めて知ったことがたくさんあり、勉強になり ました。	女性	10代
年齢的にもまだ福祉を必要としていないため、徳島市がどんな取り組みをしているか全く知りませ んでした。このアンケートを通じて福祉に対して考えさせられるいいきっかけとなったので、よりた くさんの人にこのようなアンケートを実施することができたら市民の皆さんの意識も変わるのではない かと思いました。	女性	30代

交通手段

意見	性別	年齢
車社会で不便。地域コミュニティバスの普及をすべき。高齢者の方が押し車に買い物した商品をたく さん乗せてフラフラと車道を歩いているのを見ると、非常に危なっかしく感じる。免許返納した方々 が移動しやすい、格安交通インフラを考えて頂けたらと思う。若者を呼び込みたい気持ちは分かるが、 高齢者に優しい社会をまずは目指してほしいと思う。	女性	40代
公共交通機関が少ないため。「車で行くか」と自動車やバスの選択肢が減る。運行数を増やしてほしい。	女性	20代
現在は車が運転できるので病院、買い物等は不自由なしで生活出来ているが、将来は不安です。	女性	70代
交通機関（特にバス）の最終の時間が20：30分と早く、本数も少ない為、もっと交通機関を普及さ せてほしいです。	女性	20代
交通の便が不便。バスを増やしたり、子どもや年寄りにはタクシー無料にしたらいいと思う。子どもにか かるもの（学校に必要な物、給食費、保育所、幼稚園）は全て無料にする。	女性	70代

地域、近所との付き合い

意見	性別	年齢
近くにあるアパートが、インド人などの外国人入居者が年々増えている。ゴミの日を間違えていたり夜遅くに話し声が聞こえたり、マナーが悪いが注意しづらい。外国人の日常生活を支援、教育、指導する人を増やして、日本のルールを守ってもらえるように関わってもらいたい。	女性	20代
近所が仲良くしているから住みやすいし、色々な相談事にも乗ってくれる。昔と同じ様な付き合いができれば、大きな問題もないと思っている。	女性	70代
地域福祉の充実のためには地域住民同士が顔の見える関係を築いていくことが重要と思う。衰退気味の町内会活動や自主防災活動、町内運動会などの行事等、市民の自主的な活動を(市役所の仕事とは関係薄いと捉えるのではなく)充実させるために市役所としてできることを考え、取り組んでほしい。	男性	60代
加茂名、加茂名南校区は他地域からの新規住民がかなり増えています。一部地域の地元民のご家庭は荒れているなど感じることもあり、これから小学校で同じになると少し不安を感じています。	女性	30代

その他

意見	性別	年齢
何にも参加は出来ませんが、安心して暮らしています。これからも続きますように。	女性	80代
個々の性格、年齢、家族環境がちがうので、福祉は難しいと思う。若い、心の優しい人が育ってくれて、良い時代になれば良い。	女性	80代

Ⅲ 調査結果（事業所）

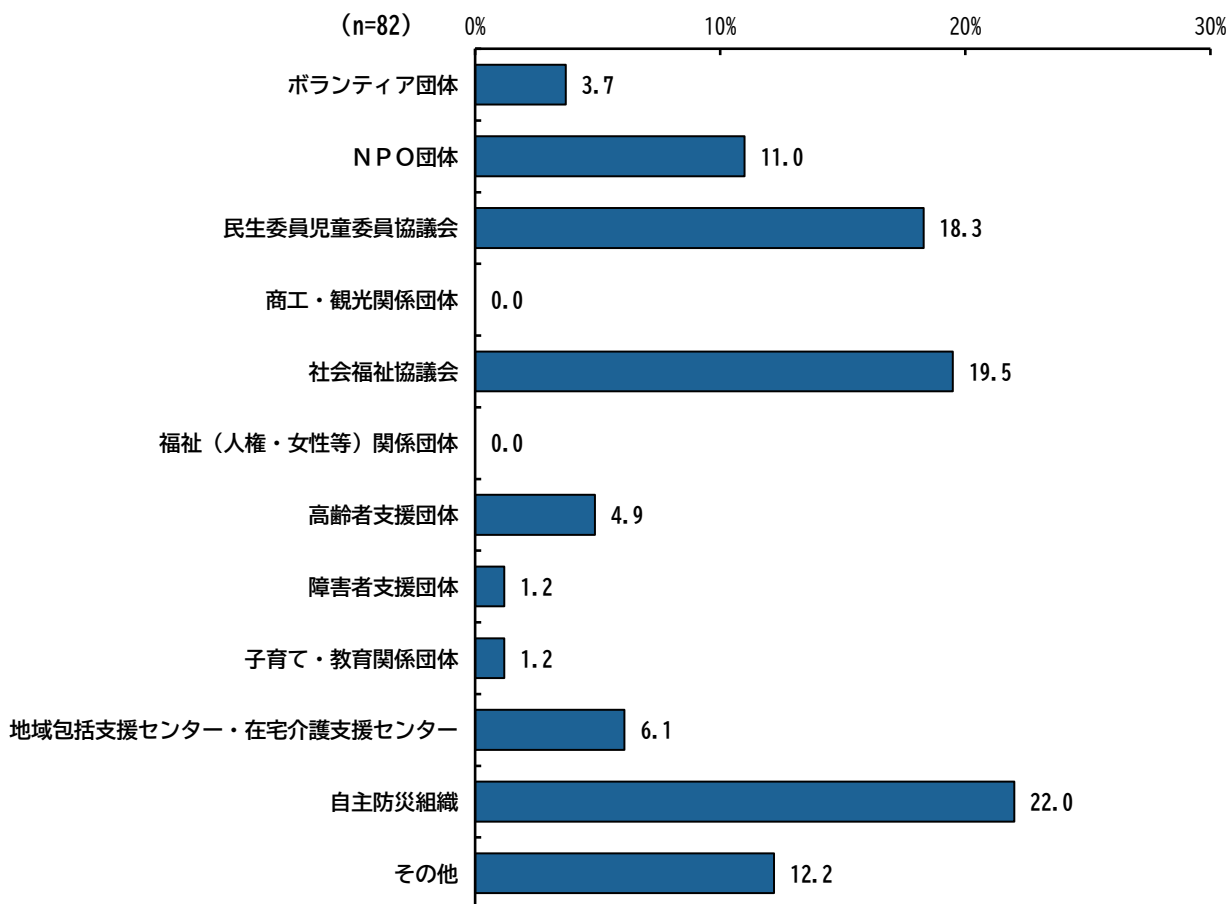
1 貴団体のことについて

問1 貴団体の組織形態は、次のどれにあてはまりますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

組織形態をみると、「自主防災組織」が22.0%と最も高く、次いで「社会福祉協議会」が19.5%、「民生委員児童委員協議会」が18.3%と続いています。

図表 167 組織形態（全体）



2 団体が取り組んでいる福祉活動について

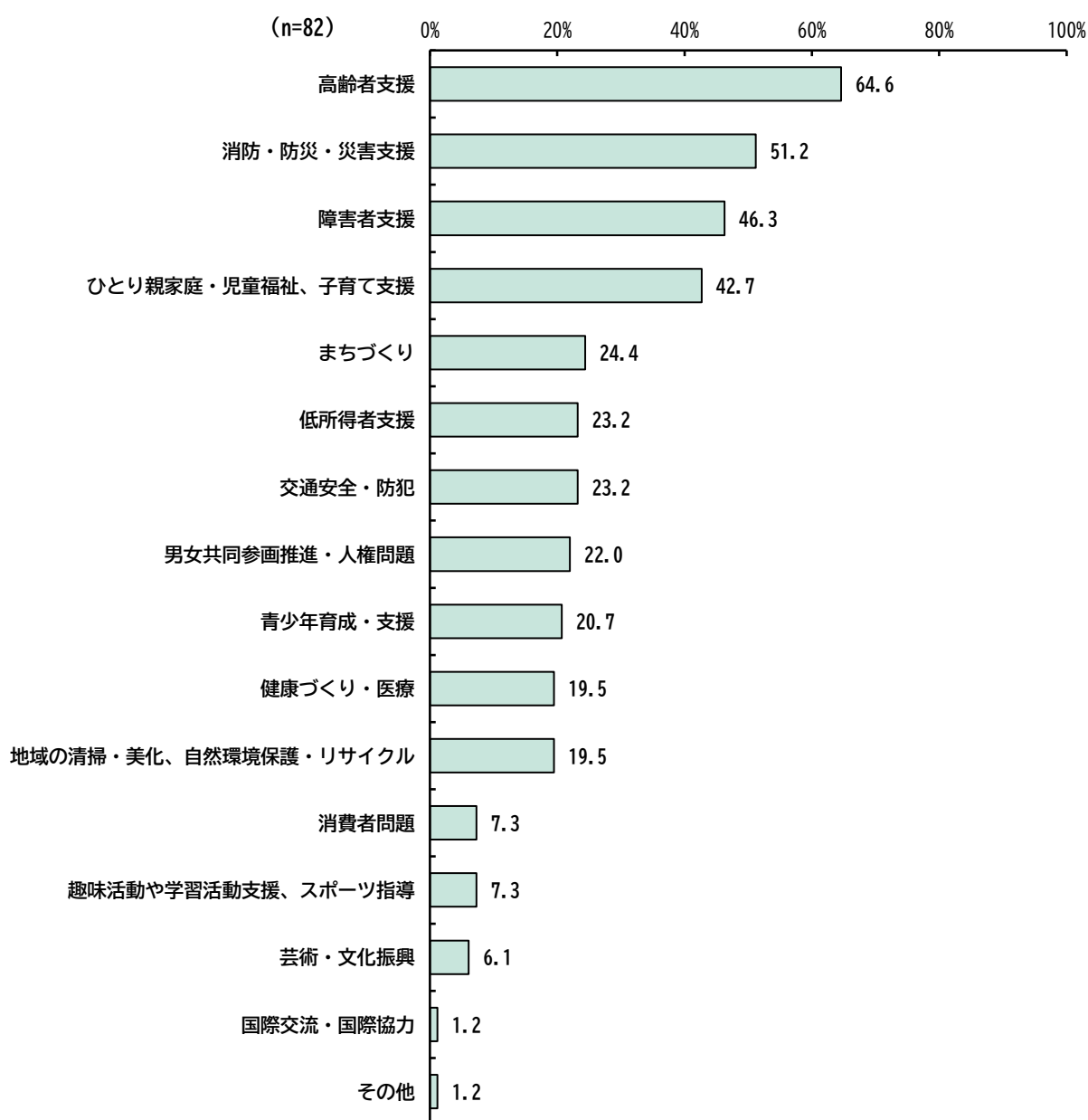
問2 貴団体で取り組んでいる福祉活動の分野は、次のどれにあてはまりますか。

【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

福祉活動の分野をみると、「高齢者支援」が64.6%と最も高く、次いで「消防・防災・災害支援」が51.2%、「障害者支援」が46.3%と続いています。

図表 168 福祉活動の分野（全体、複数回答）



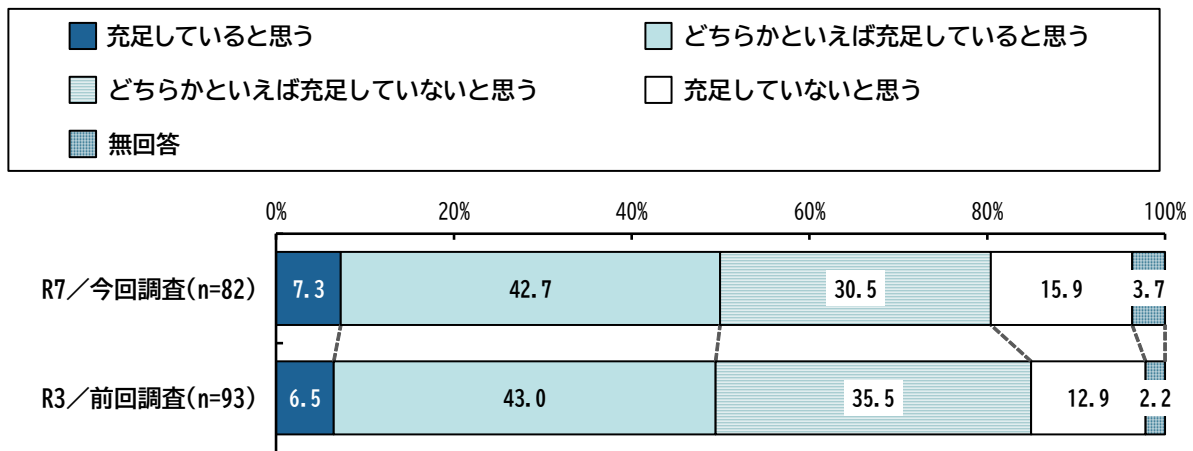
問3 貴団体で取り組んでいる福祉活動の分野で、行政の福祉（高齢者、障害者（児）、子育て支援、低所得者に対する福祉など）サービスは充足していると思われますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

サービスが充足しているかどうかをみると、「どちらかといえば充足していると思う」が42.7%と最も高く、「充足していると思う」を合計すると50.0%が『充足している』と回答しています。一方、「どちらかといえば充足していないと思う」と「充足していないと思う」を合計すると、46.4%が『充足していない』と回答しています。

前回調査と比較すると、「どちらかといえば充足していないと思う」が5.0ポイント減少しています。

図表 169 サービスは充足しているか（全体、前回比較）

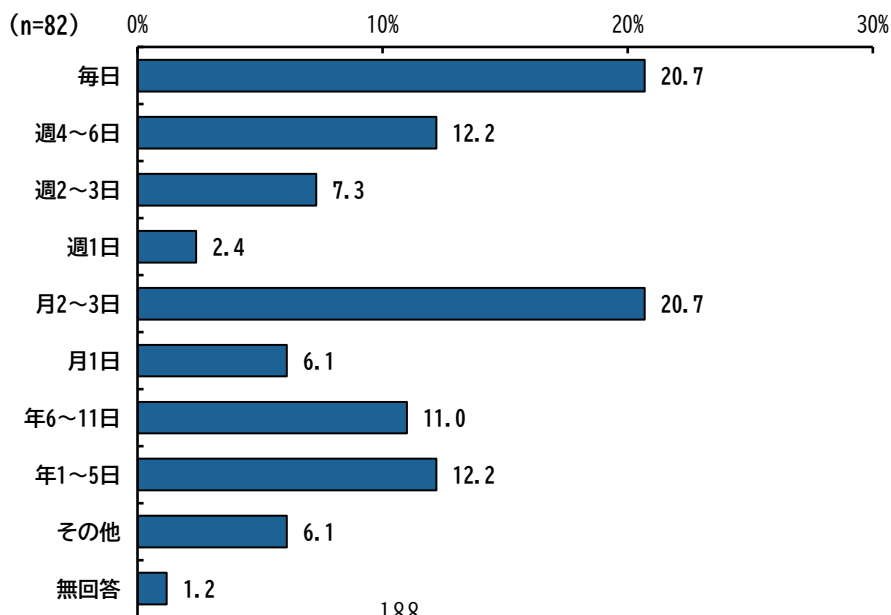


問4 貴団体は、どのくらいの頻度で福祉活動を行っていますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

福祉活動の頻度をみると、「毎日」「月2～3日」がともに20.7%と最も高く、次いで「週4～6日」「年1～5日」がともに12.2%と続いています。

図表 170 福祉活動の頻度（全体）

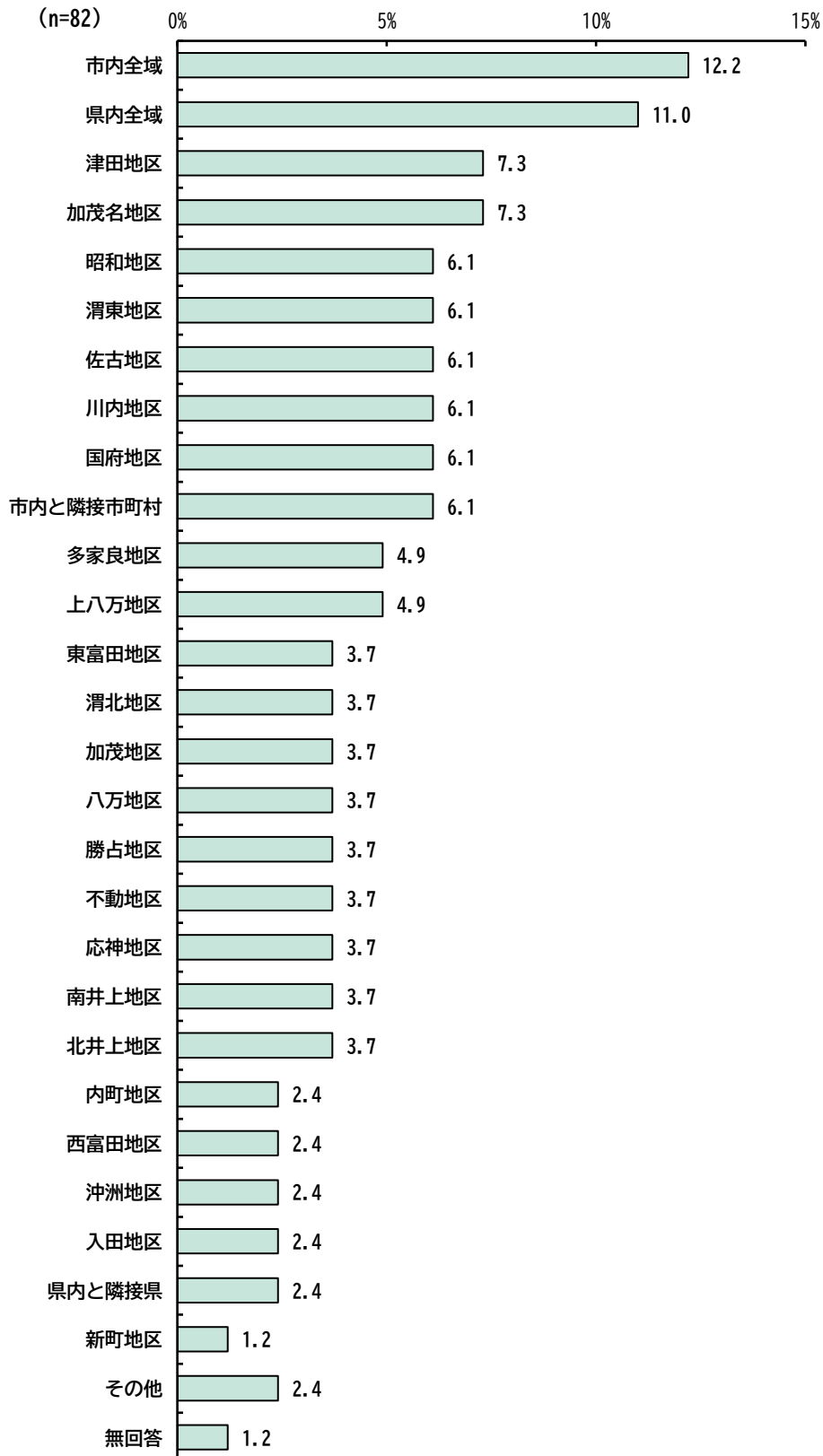


問5 貴団体の福祉活動範囲（地区等）は、次のうちどれですか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

福祉活動の範囲をみると、「市内全域」が12.2%と最も高く、次いで「県内全域」が11.0%、「津田地区」「加茂名地区」がともに7.3%と続いています。

図表 171 福祉活動の範囲（全体／複数回答）



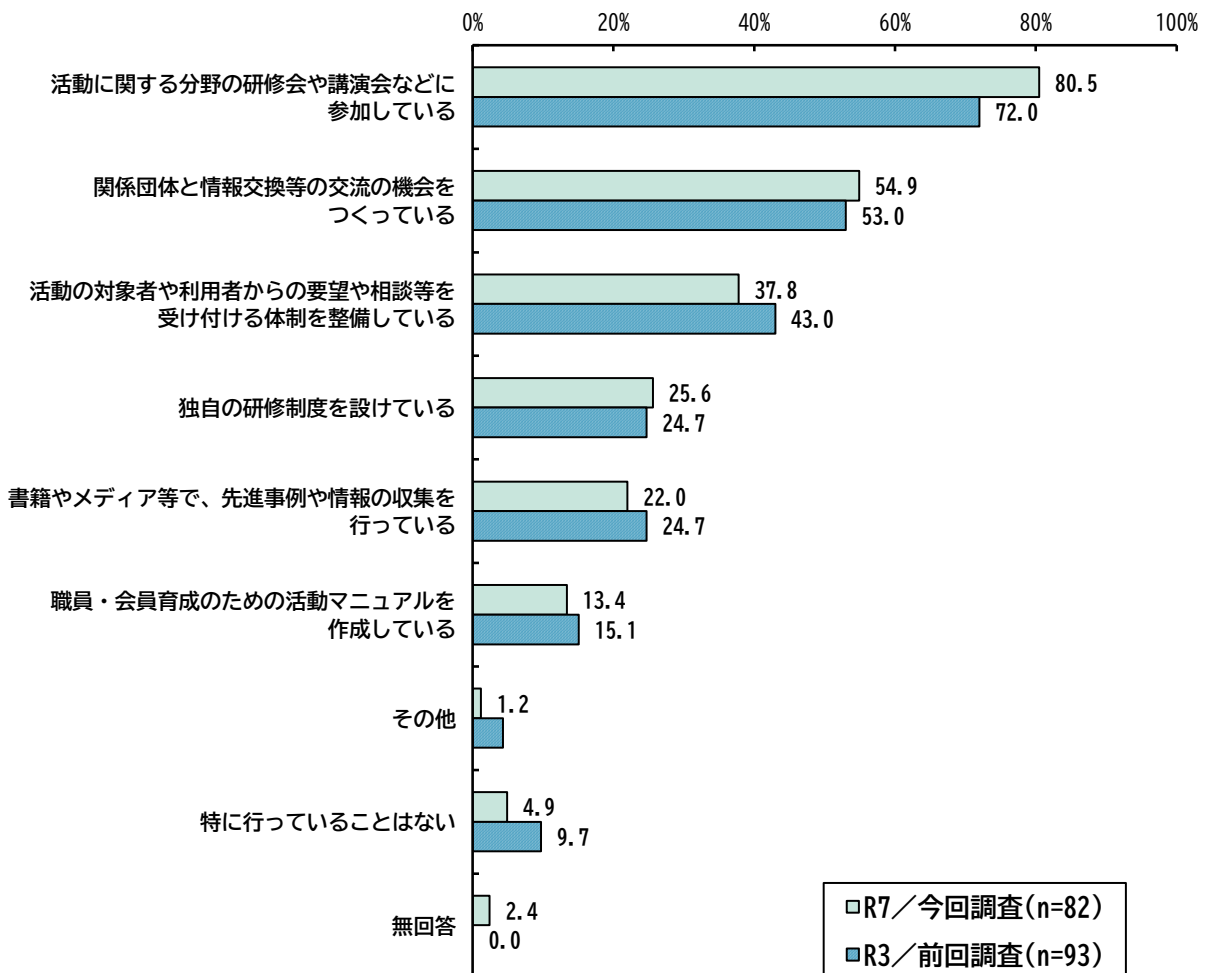
問6 貴団体の福祉活動の質（サービスや職員・会員の能力等）を向上させるための取組みを行っていますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

質の向上のための取組みをみると、「活動に関する分野の研修会や講演会などに参加している」が80.5%と最も高く、次いで「関係団体と情報交換等の交流の機会をつくっている」が54.9%、「活動の対象者や利用者からの要望や相談等を受け付ける体制を整備している」が37.8%と続いています。

前回調査と比較すると、「活動に関する分野の研修会や講演会などに参加している」が8.5ポイント増加しています。

図表 172 質の向上のための取組み（全体、前回比較／複数回答）



問6-1 貴団体の福祉活動の質（サービスや職員・会員の能力等）を向上させるための取組みに
 ついて、具体的な事例があれば記入してください。【自由記述】

【全体の傾向】

取組の具体例については37件の意見がみられました。大きく分類すると、「研修・講演会」が20件、「関係団体との交流」が16件、「その他」が1件となっています。

図表 173 取組の具体例（自由記述）

研修会・講演会

組織形態	内容
自主防災組織	市の積極的な講演とか、県外からの専門の方の話を聞く機会があればいいと思います。
民生委員児童委員協議会	研修などは積極的に参加しています。
自主防災組織	県や大学の防災に関する研修会、講演会に参加している。
社会福祉協議会	障害者差別など差別に関するビデオ視聴を行い意識の向上に努めている。
その他	事業所内で月1回以上研修を実施している。
その他	外部研修への参加。法人全体での研修の参加。
社会福祉協議会	外部研修への参加。
NPO団体	支援している家庭の毎回の記録を共有し、職員で話し合う。オンラインで研修に参加したり、ネットワーク会議に参加したりしている。
地域包括支援センター・ 在宅介護支援センター	職員研修の充実：認知症対応や虐待防止、感染症予防などの職員研修を定期的実施し、専門性向上を図っている。多機関（多職種）との連携強化：地域ケア会議の開催や関係機関との情報共有体制を整備し、支援の質の向上に取り組んでいる。住民主体の活動支援：フレイル予防・サロン活動・見守りボランティア等への助言や運営サポートを行い、地域力向上につなげている。
民生委員児童委員協議会	研修会に参加した時、相談を受けた時、何かに気づきがあった場合には、定例会等において発表して頂き、意見交換をするようにしております。
障害者支援団体	毎年1回、役員や相談員を対象とした、人権及び相談員研修会を開催している。感染症防止対策等の委員会を設置及び職員研修を実施。
ボランティア団体	年間を通じて行事と研修を毎月行っている。先進地視察、人権研修など。
高齢者支援団体	当団体の上位団体が実施する研修を基に、会員の質の向上を目指している。
NPO団体	理事長、役職者、各管理者が出席する会議を月1回開催し福祉活動の質を高める研修を行い法人職員や会員への情報共有を実施しています。
高齢者支援団体	会員については随時センター内での技能研修を受けている。役職員については、全国組織であるため上部団体が各種研修会を実施しており随時受講している。
その他	事業所内、外での研修に積極的に参加している。年に一度は他法人、事業所の方と交流の場を設け意見交換等している。
その他	会員の研修受講義務と会員に対する執務管理・支援を行っている。定期的に業務報告をすることによって、会員自らのその報告期間の後見等事務を振り返り、報告を受けた執務管理委員が業務報告を精査し、場合によっては修正を指示することで適切な後見等事務を遂行することになります。
地域包括支援センター・ 在宅介護支援センター	定期的に研修・会議を開催し、職員のスキルアップを図っている。

組織形態	内容
高齢者支援団体	各種研修会（フレイル予防、人権研修等）。
NPO団体	徳島市及び徳島県が主催する子育て支援に関する研修会にスタッフが必ず参加する。年1回開催される全国子育てひろば実践交流セミナーにできるだけスタッフが参加できるように取り組んでいる。また、日ごろから徳島市子育て安心ステーション利用するファミリーから細かな要望を聞き、徳島市と利用者のパイプ役となって情報提供するように心がけている。

関係団体との交流

組織形態	内容
自主防災組織	勝占中部地区コミセンの年間イベント（作品展）時に、地域の方々に防災意識向上に資する活動（大鍋でのカレー作りを体験）など消防署や分団の協力をいただき実施している。毎年実施。
民生委員児童委員協議会	会員同士の情報交換。包括支援センターによる啓発等。
民生委員児童委員協議会	毎月1回の定例会で情報の共有をしている。
自主防災組織	地域住民の要望に応え、防災出前講座を実施している。地域住民の防災力向上のため防災リーダー研修を実施。地域住民とともに年1回防災訓練を実施。
自主防災組織	避難行動要支援者名簿の管理に協力。
社会福祉協議会	役員同士が仲良くなるように接しているし、今はそういうメンバーがそろっている。
その他	KHJ全国の支部や本部とオンライン会議を行っている。臨床心理士による集団カウンセリングによりひきこもり当事者の理解や対応について学び合っている。
社会福祉協議会	徳島市社会福祉協議会の研修会。複合福祉施設の視察に参加。
社会福祉協議会	3ヶ月に1回、独居老人を昼食に招待して、健康のお話、血圧検査、昼食会、コーラス、落語や腹話術、警察署による交通事故防止や詐欺事件被害の防止等の注意事項の話等を実施している。
ボランティア団体	ボランティアスクール、勉強会、交流会など。
NPO団体	各会員個々が基本的には専門職なので、そこでひろい上げた課題を会員内の専門職につなぎ、解決の糸口を引き出しながら対応している。
社会福祉協議会	毎月1回の勉強会。
民生委員児童委員協議会	地域の諸団体と積極的に交流している。
自主防災組織	当自主防災組織のメンバーが中心となり、まちづくりkokufuを創設。連携し活動を行っている。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	民生委員協議会に参加し、社会福祉に関するその時に有意義な資料配布や他の関係機関やその広報等より情報交換を行い、知識・技術の向上を目指しています。
自主防災組織	避難所開設訓練、防火パレード、防災資機材の操作訓練など。

その他

組織形態	内容
民生委員児童委員協議会	地域の携帯アプリを使っている事で。

問7 貴団体が福祉活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。

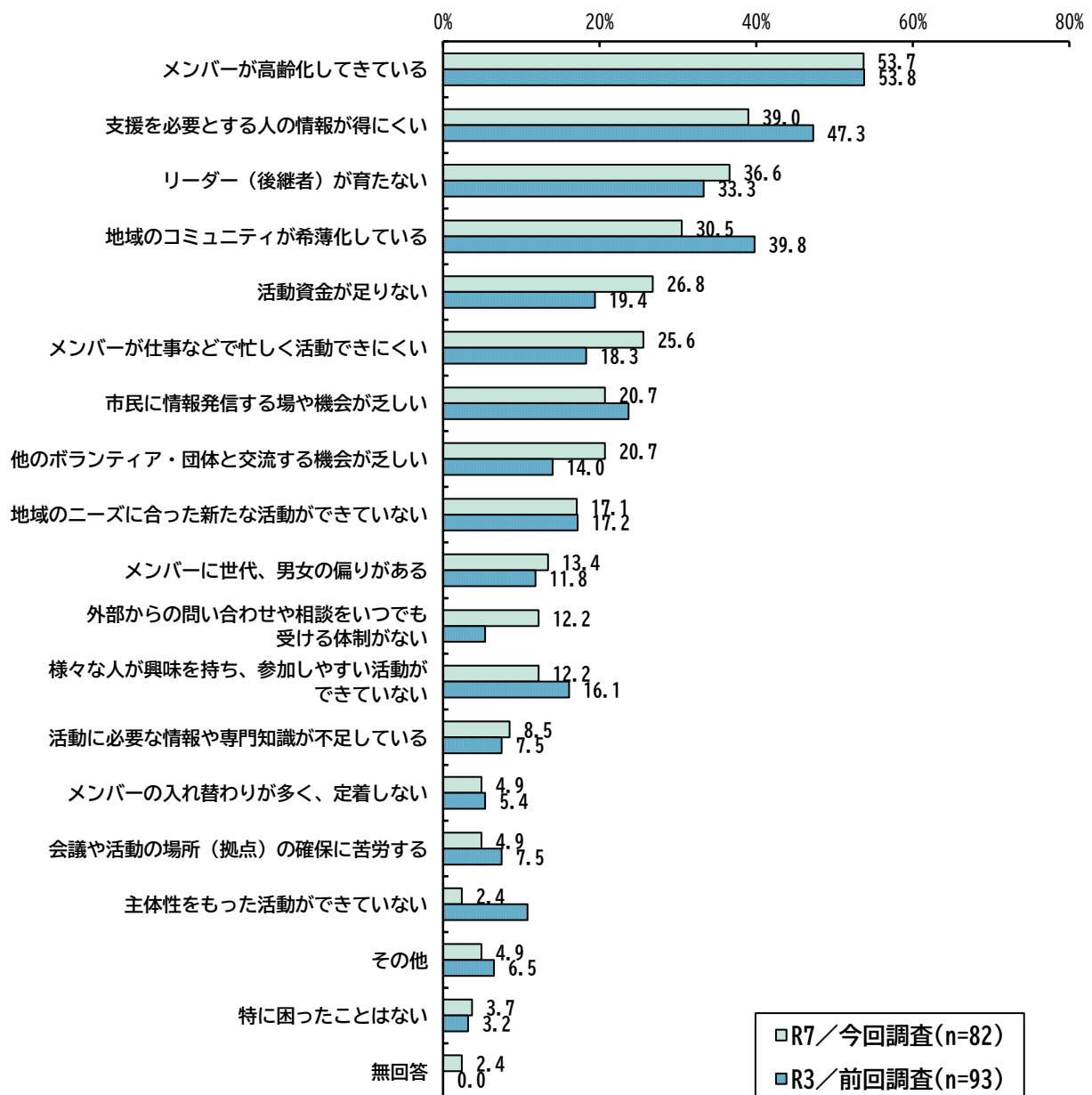
【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

福祉活動を行う上で困ることをみると、「メンバーが高齢化してきている」が53.7%と最も高く、次いで「支援を必要とする人の情報が得にくい」が39.0%、「リーダー（後継者）が育たない」が36.6%と続いています。

前回調査と比較すると、「地域のコミュニティが希薄化している」が9.3ポイント減少しています。

図表 174 福祉活動を行う上での困りごと（全体、前回比較／複数回答）



3 防災に対する備えについて

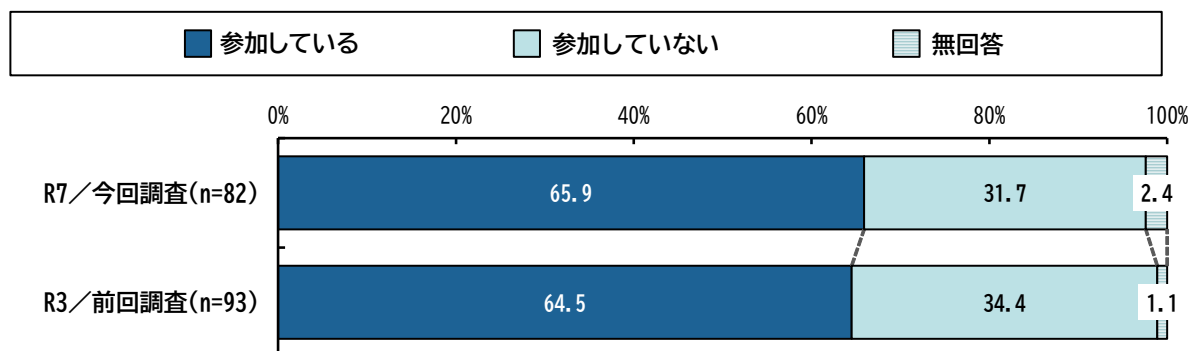
問8 貴団体では、日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

防災訓練の参加状況を見ると、「参加している」が65.9%、「参加していない」が31.7%となっています。

前回調査と比較すると、「参加していない」が2.7ポイント減少しています。

図表 175 防災訓練の参加状況（全体、前回比較）

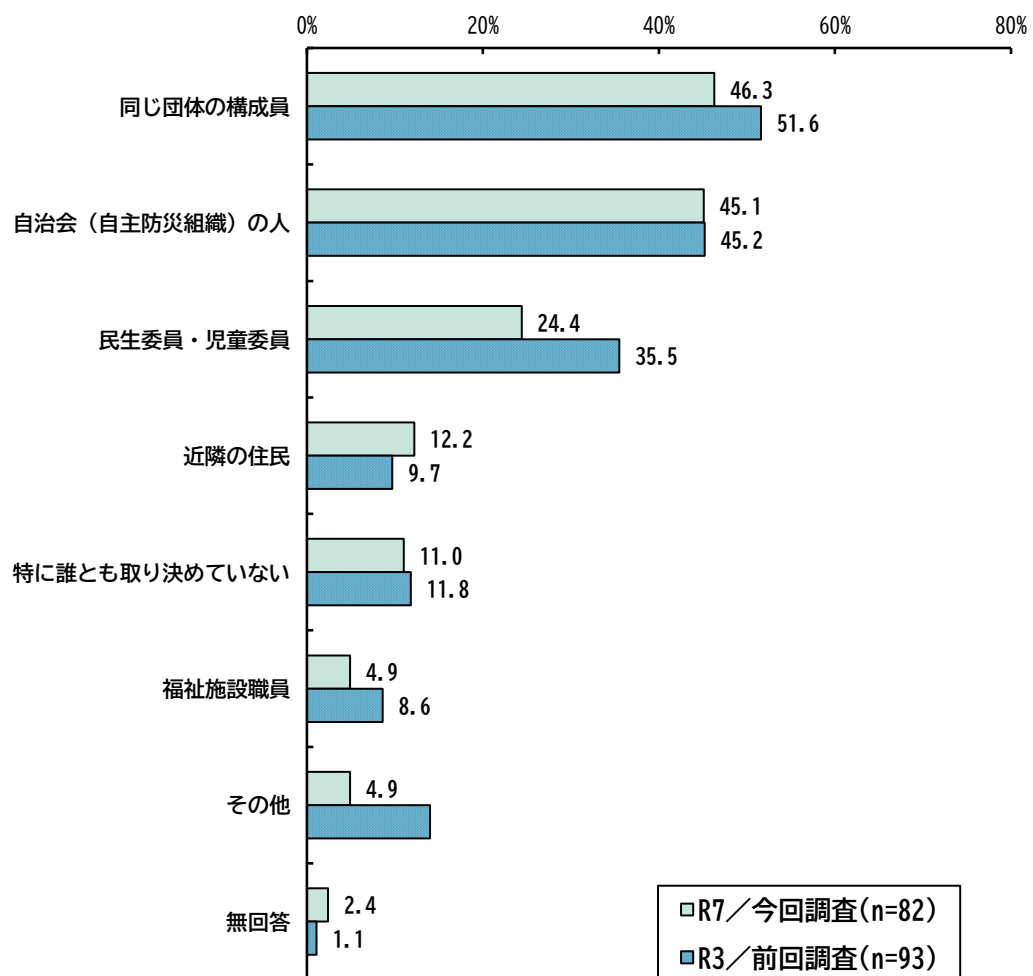


問9 貴団体では、災害が発生した時の対応（連絡のとり方や避難の方法など）について、誰かと決めていますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

災害発生時の対応を誰かと決めていているかをみると、「同じ団体の構成員」が46.3%と最も高く、次いで「自治会（自主防災組織）の人」が45.1%、「民生委員・児童委員」が24.4%と続いています。前回調査と比較すると、「民生委員・児童委員」が11.1ポイント減少しています。

図表 176 災害発生時の対応を誰かと決めていているか（全体、前回比較／複数回答）



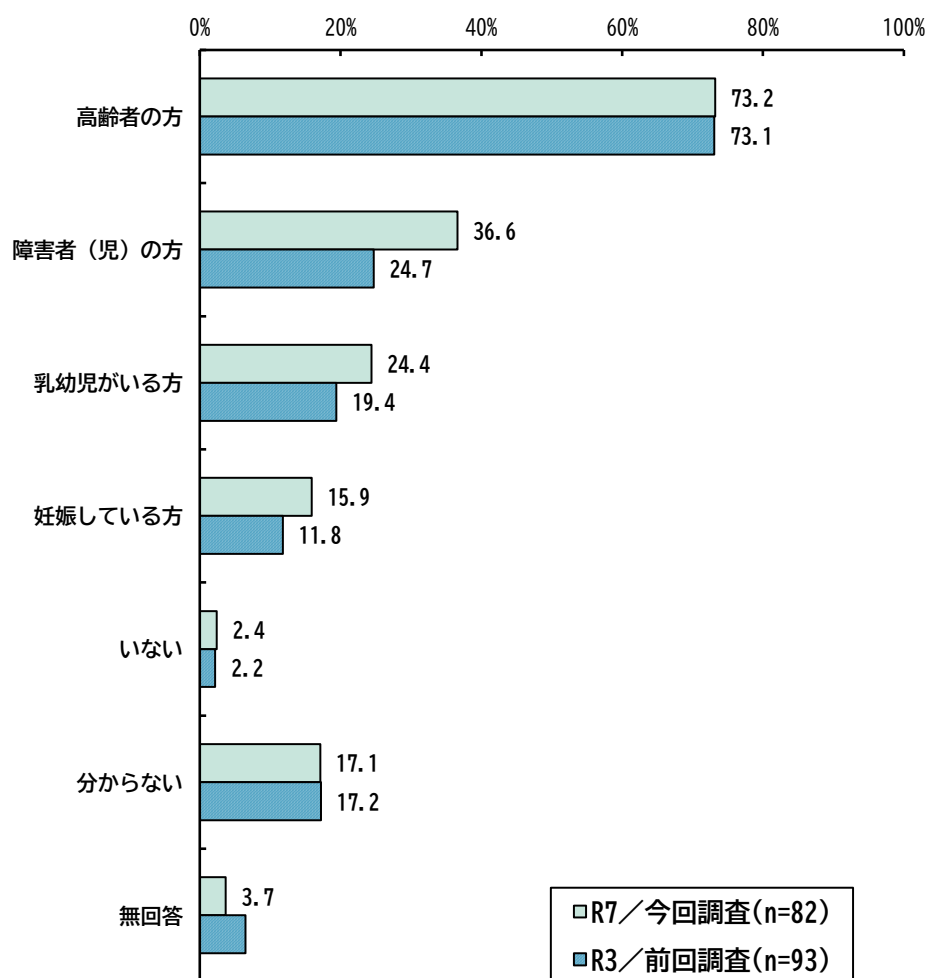
問 10 貴団体の活動場所の周りには、高齢者や障害者のひとり暮らし、乳幼児がいる世帯など、災害時に支援を必要としそうな方は住んでいますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

災害時に支援を必要としそうな方の有無をみると、「高齢者の方」が 73.2%と最も高く、次いで「障害者（児）の方」が 36.6%、「乳幼児がいる方」が 24.4%と続いています。

前回調査と比較すると、「障害者（児）の方」が 11.9 ポイント増加しています。

図表 177 災害時に支援を必要としそうな方の有無（全体、前回比較／複数回答）



問10で「高齢者の方」～「妊娠している方」を選択した団体

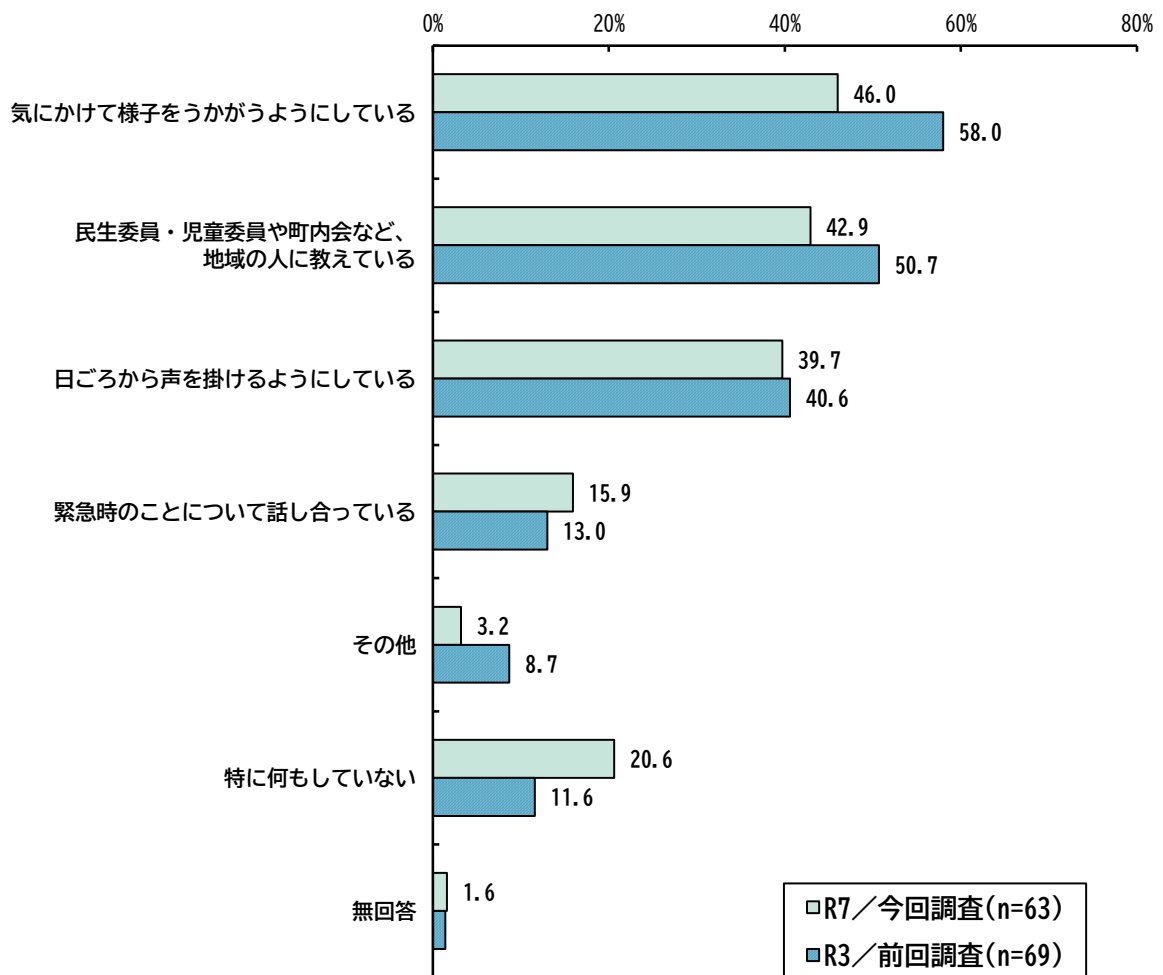
問10-1 その方たちに対して、貴団体は何か行動されていますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

要支援者に対する行動をみると、「気にかけて様子をうかがうようにしている」が46.0%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員や町内会など、地域の人に教えている」が42.9%、「日ごろから声を掛けるようにしている」が39.7%と続いています。

前回調査と比較すると、「気にかけて様子をうかがうようにしている」が12.0ポイント減少しています。

図表 178 要支援者に対する行動（全体、前回比較／複数回答）



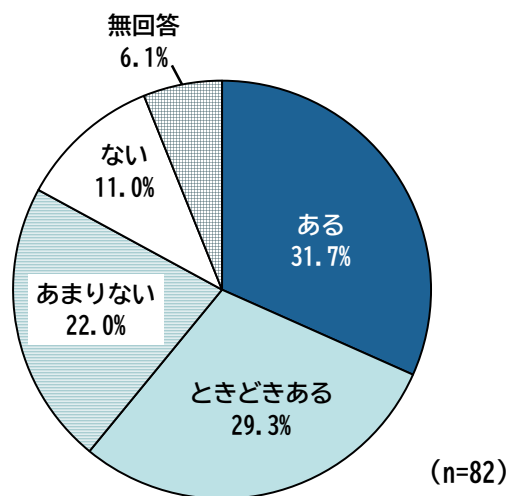
4 貴団体の福祉活動と他団体や地域との関わり合いについて

問 11 活動の中で困りごとの相談を受けることはありますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

困りごとの相談を受けることがあるかをみると、「ある」が31.7%と最も高く、「ときどきある」を合計すると、61.0%が『相談を受けたことがある』と回答しています。

図表 179 困りごとの相談を受けることがあるか（全体）



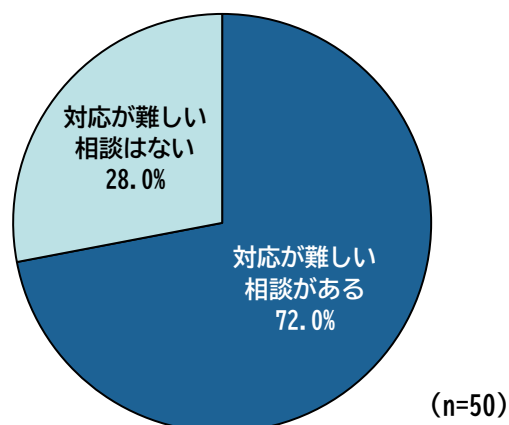
問 11 で「ある」「ときどきある」を選択した団体

問 11-1 団体内・事業所内では対応が難しい相談はありますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

対応が難しい相談の有無をみると、「対応が難しい相談がある」が72.0%、「対応が難しい相談はない」が28.0%となっています。

図表 180 対応が難しい相談の有無（全体）

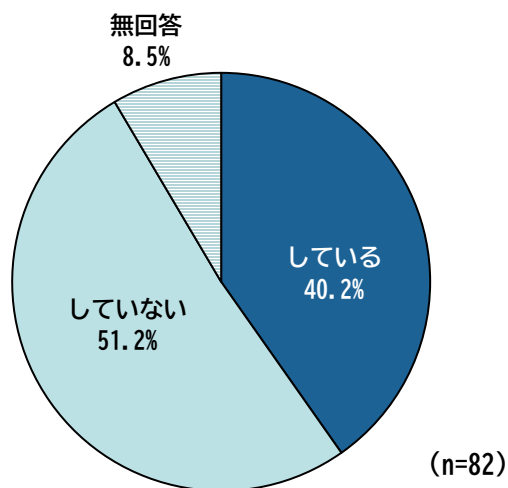


問 12 地域での生活上の課題や解決策の検討を協議する場（地域の課題や解決策について複数の団体が集まって話すもの）に参加していますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

協議の場への参加についてみると、「している」が40.2%、「していない」が51.2%となっています。

図表 181 協議の場への参加について（全体）



問 12 で「している」を選択した団体

問 12-1 具体的な名称や回数もご記入をお願いします。【主なものを三つ】

【全体の傾向】

具体的な協議の場と年間当たりの開催回数は以下のようになっています。

図表 182 具体的な協議の場と開催回数（記述）

団体名	協議の場の名称	開催回数（年間）
津田地区 社会福祉協議会	① コミュニティ定例会議	12
	② 自主防災組織	3
	③ 社協の定例会	5
津田地区民生委員 児童委員協議会	① 津田地区コミュニティ協議会	12
飯谷地区 自主防災連合会	① 公民館の会合	5
	② 老人会の会合	4
	③ 協議会の会合	1
南井上地区 自主防災連合会	① コミセンでの打合せや相談。	10
民生委員児童委員 協議会	① 地域包括支援センター	30
	② 行政窓口	5
内町地区民生委員 児童委員協議会	① まちづくり協議会	6
	② 社会福祉協議	6
	③ 民生児童委員協議会	12

団体名	協議の場の名称	開催回数（年間）
加茂名地区 社会福祉協議会	①	
	社会福祉協議会、総会、役員会議等	3
津田新浜地区自主 防災会連絡協議会	①	
	津田コミュニティ協議会	12
渭北自主防災会 連絡協議会	①	
	市自主防災連絡協議会	2
東富田民生委員 児童委員会	①	
	コミュニティー協議会	10
八万地区社会福祉 協議会	①	
	八万地区協議体	3
渭北地区 社会福祉協議会	①	
	渭北街づくり協議会	3
	②	
	渭北町内会連合会	5
徳島市南井上地区 社会福祉協議会	①	
	南海トラフ地震対策で弱者や独居者の避難対策	4
	②	
	敬老会の連絡方法（郵送等、切手代の高騰問題）	3
	③	
敬老会表彰者の欠席について記念品の贈り等	3	
住吉・城東地区 自主防災会連合会	①	
	コミュニティ協議会の役員会	15
青香福祉会指定居 宅介護支援事業所 青香福祉会在宅介 護支援センター	①	
	地域ケア会議	1
相談支援事業所 きぼう	①	
	徳島市自立支援協議会	20
上八万地区 社会福祉協議会	①	
	民生委員児童委員地区協議会	12
	②	
	コミュニティセンター（町づくり協議会）	1

団体名	協議の場の名称	開催回数（年間）
相談支援事業所 ビオス	①	
	自立支援協議会・運営会	12
社会福祉法人 徳島市社会福祉 協議会	①	
	国府地区協議体	4
	②	
	南井上地区協議体	4
	③	
佐古地区協議体	4	
佐古地区 社会福祉協議会	①	
	徳島市社会福祉協議会	4
徳島市地域包括 支援センター	①	
	徳島市地域ケア会議	6
	②	
徳島市地域ケア推進会議	1	
不動地区 自主防災連合会	①	
	不動地区人権教育推進協議会	3
	②	
	不動地区交通安全自治会	1
	③	
不動地区防犯協力会	1	
国府地区 自主防災連合会	①	
	協議体	6
	②	
コミュニティ協議会	1	
加茂地区民生委員 児童委員協議会	①	
	加茂地区コミュニティ協議会	2
社会福祉法人 徳島市身体障害者 連合会	①	
	徳島市消費者被害防止ネットワーク	1
徳島市多家良地区 社会福祉協議会	①	
	多家良地区社会福祉協議会総会	1
	②	
共同募金説明会	1	

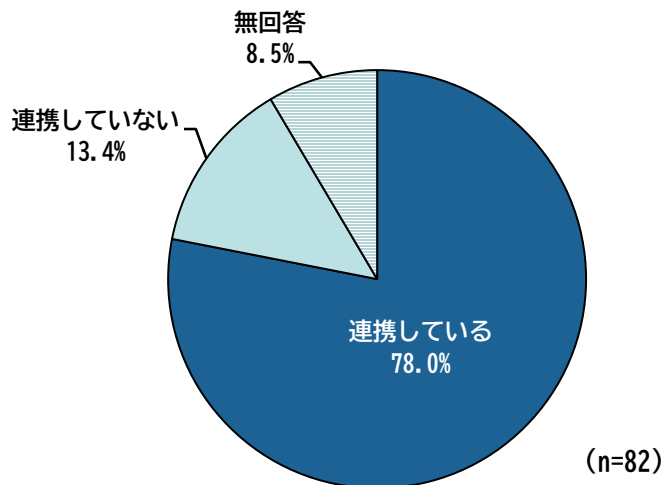
団体名	協議の場の名称	開催回数（年間）
徳島市婦人 連絡協議会	①	
	(一財) 徳島県婦人団体連合会	-
	②	
	日本赤十字社徳島県支部	-
	③	
公益財団法人結核予防会	2	
新町地区 自主防災連行組織	①	
	新町コミュニティ協議会	3
公益社団法人 コスモス成年後見 サポートセンター 徳島県支部	①	
	成年後見制度利用促進協議会	-
	②	
成年後見制度利用促進関係会議	-	
入田民生児童委員 協議会	①	
	毎月の民生児童委員定例会時	12
リーガルサポート 徳島支部	①	
	成年後見利用促進の関連会議	-
	②	
	支援検討会議	-
	③	
受任調整会議	-	
白寿会在宅介護 支援センター	①	
	渭東地区協議体	10
	②	
住吉・城東地区協議体	5	
佐古 自主防災会連合会	①	
	佐古社会福祉協議会	6
	②	
	佐古コミュニティ協議会	6
	③	
佐古町内会連合会	4	
NPO法人 フェロシップ77	①	
	渭東協議体	-

問 13 貴団体では、福祉活動を行う上で、公共団体や他のボランティア・団体等と連携していますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

他団体との連携はあるかをみると、「連携している」が78.0%、「連携していない」が13.4%となっています。

図表 183 他団体との連携はあるか（全体）

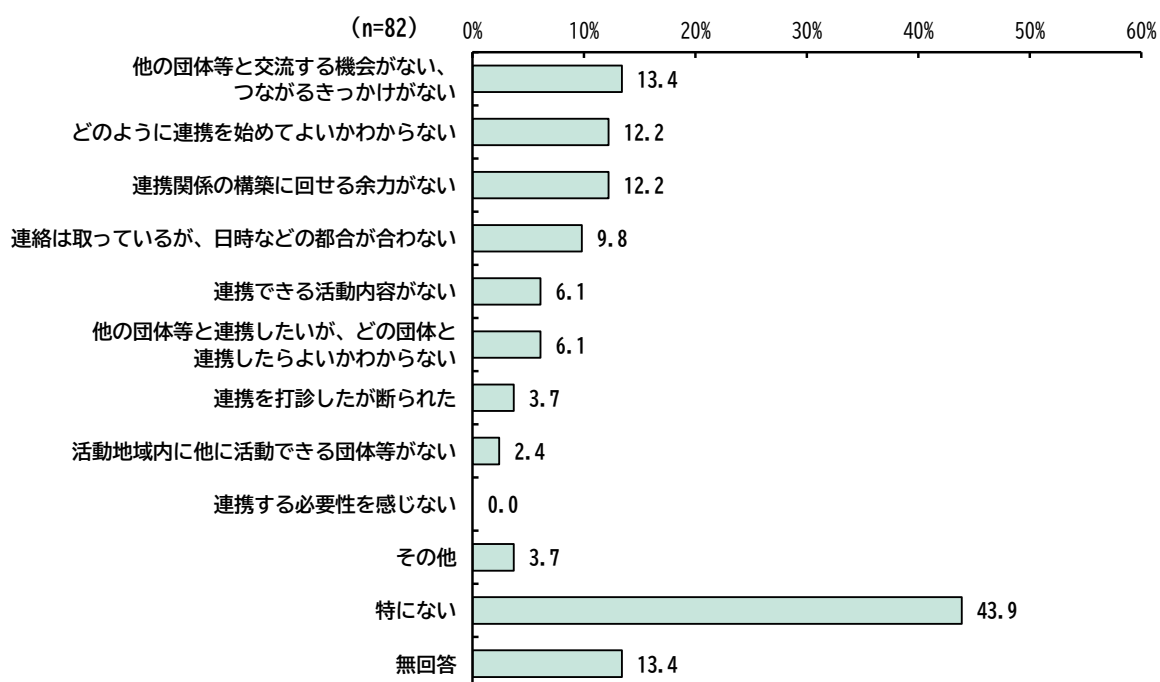


問 14 他の団体等と連携する上で困っていることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

連携する上での困りごとをみると、「他の団体等と交流する機会がない、つながるきっかけがない」が13.4%、「どのように連携を始めてよいかわからない」および「連携関係の構築に回せる余力がない」がともに12.2%となっています。一方、「特にない」は43.9%と最も高くなっています。

図表 184 連携する上での困りごと（全体／複数回答）

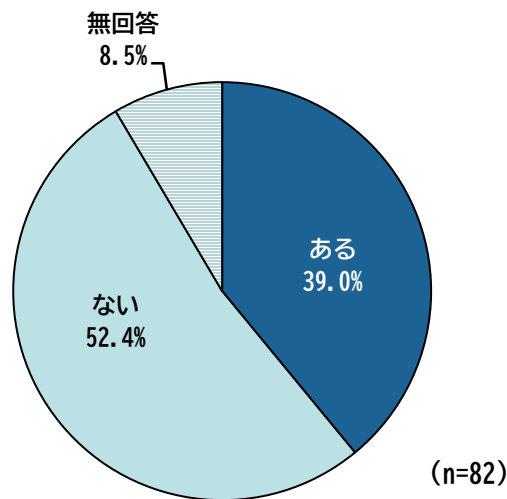


問 15 活動の中で寄せられる情報から、複合的な課題を抱えているようなケースを聞くことはありますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

複合的な課題を抱えているケースの有無をみると、「ある」が39.0%、「ない」が52.4%となっています。

図表 185 複合的な課題を抱えているケースの有無（全体）



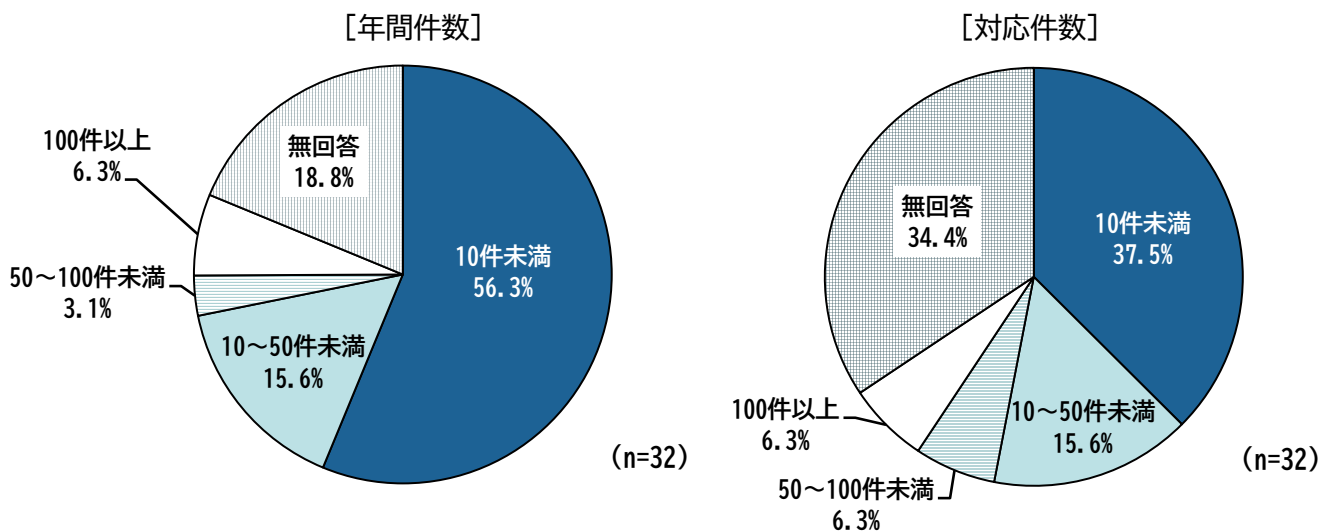
問 15で「ある」を選択した団体

問 15-1 複合的な課題を抱えているようなケースがある場合、年間件数とそのうち対応している件数について教えてください。

【全体の傾向】

年間件数、対応件数をみると、ともに「10件未満」が最も高くなっています。

図表 186 複合的な課題の年間件数と対応件数（全体）



問 15 で「ある」を選択した団体

問 15-2 具体的にどのようなケースがありましたか。また、もし支援先につないだり、対応をした場合は、②対応や③連携先も教えてください。

【全体の傾向】

具体的なケース、対応、連携先は以下のようになっています。

図表 187 具体的なケース、対応、連携先（記述）

団体名	①内容	②対応	③連携先
津田地区 社会福祉協議会	ケース 1		
	空家。	持主が不明。	
	ケース 2		
	痴呆症。	家族の人に言いにくい。	
津田地区民生委員 児童委員協議会	ケース 1		
	空家問題	色んなところに相談したが解決しない。	
国府民生委員 児童委員協議会	ケース 1		
	個人的な内容を含むので記入できない。	包括支援センターに相談する。	地域包括支援センター
民生委員児童委員 協議会	ケース 1		
	個人的なケースは把握していないが、傾聴などを行っている。		
勝占地区民生児童 委員協議会	ケース 1		
	近所への不満を民生委員にぶつけてくる。多少認知の気がある。	地域包括支援センターに連絡。	地域包括支援センター
加茂名地区 社会福祉協議会	ケース 1		
	空家について。木が隣家に覆ってくる。トタン等の音。蜂の巣。	敷地外であれば枝等を切っている。トタンは砂袋をのせている。	市、警察、町内会
	ケース 2		
	認知症の徘徊について。徘徊者が隣家等の花をハサミで切っていく。近くの山に入って出てこれない。	住民と協力して原因を追究して誰がしているか特定する。	包括支援センター、警察、町内会
	ケース 3		
	違法駐車について。	相手に説明。	警察、町内会

団体名	①内容	②対応	③連携先
徳島市昭和地区 民生委員児童委員 協議会	ケース1		
	ゴミ屋敷のような物。	民生委員何人かで対応。	地域包括支援センター
渭北自主防災会 連絡協議会	ケース1		
	避難行動要支援者の把握。	避難行動要支援者名簿の保管、運用に協力。	
佐古地区民生委員 児童委員協議会	ケース1		
	アパート室内にゴミがいっぱい片付けられない。	大家さんに相談して対応してもらった。	交番etc
	ケース2		
ひとり暮らしの方から、タンスを持ってないので2階からおろして、捨てる日に捨てる場所に持って行ってほしい。	同じ民生委員に相談して対応してもらった。		
KHJ全国ひきこもり 家族会連合会 徳島県つばめの会	ケース1		
	ひきこもり当事者さん（65歳）の方が両親を亡くされ、ひきこもりからはじめて外へ出たが、どこへ相談したらよいか何を相談すればよいかすら分からないと話されました。	徳島県のひきこもり支援センターへ電話してみることを知らせました。	ひきこもり支援センター
	ケース2		
	ひきこもり当事者さんとその家族さんが、徳島市外の方で地元の方に相談を希望ということで、その方の地域の支援センターを紹介。	こまつしま自立支援センターへ相談に行くようつなげる。	こまつしま自立支援センター
	ケース3		
	8050問題で家族が準備しておくことは何なのか不安を抱えられています。親が亡くなった後、当事者支援の福祉先は、年金暮らしの家計問題は、生活保護を受けるには、その他たくさん不安があります。	家族会では徳島市内（県内）でこのような問題を専門的に対応していただける団体や専門家の対応を求めています。	
認定非営利活動 法人フードバンク とくしま	ケース1		
	直接的には食材支援を求めるものではあるが、生活苦や未就労、病気であるケースがある。	単にその時の食料支援だけでは不十分なので、相談・支援機関を紹介した。	市町村社協、労働福祉協議会
住吉・城東地区 自主防災会連合会	ケース1		
	町内会の解散、復活、分裂、脱退。	個別に聞き取り。人間関係は難しい。	コミュニティ協議会、民生委員

団体名	①内容	②対応	③連携先
青香福祉会 指定居宅介護 支援事業所 青香福祉会 在宅介護支援 センター	ケース1		
	独居家族や別居娘に対する被害妄想強い。兄弟や娘との関わりが全くなく、民生委員の受け入れも拒否。夏には熱中症で倒れていたが本人からの連絡はない。連絡がつかないことから民生委員が包括、在介、警察に連絡し、警察がドアをこじ開けて発見した。	本人が受け入れできる人が少ない。在介が月1回の見守り訪問を行い、民生委員も時折様子を見ている。在介訪問時の様子は包括と娘に連絡している。	地域包括支援センター、民生委員
	ケース2		
	高齢夫妻と娘の3人世帯。妻は要介護状態で夫が主に介護しているが、夫も手が動きにくく、耳が遠く、コミュニケーションが取りづらい。娘は障がいがあり車いす生活。妻はヘルパー等の介護サービスを利用しているが、夫の介護疲れがひどくなると3人とも生活困難になる。	介護サービス事業所やケアマネが訪問し、3人の様子を確認する。変わった様子があれば、介護サービスの追加や主治医に連絡する。	介護サービス事業所、ケアマネジャー、主治医
	ケース3		
高齢の母と虚弱な娘との二人暮らし。母は車椅子生活で、娘とヘルパーが母の介護を行っている。娘は若い頃から統合失調症があり職歴なし。母の年金と県外在住の息子の仕送りで生活している。娘は申請等をしていなかったため障害年金はなく無収入。娘は近所のコンビニに行く程度で外出なし。	母が利用しているヘルパーとケアマネが定期的に様子観察を行っている。生活保護の申請も検討していたが、いずれ自宅が市の物になるのが不満で申請を見送った。介護サービスには社会福祉法人減免制度を利用。	介護サービス事業所、ケアマネジャー、市生活福祉課、市高齢介護課	
上八万地区 社会福祉協議会	ケース1		
	ゴミ屋敷問題。	警察に相談。	警察
	ケース2		
不在屋敷。	行政に相談。		
相談支援事業所 ピオス	ケース1		
	子が障がい親が高齢。	関係機関とともに訪問し、必要なサービスについてつなげた。	地域包括支援センター、医療機関、訪看ST
	ケース2		
	障がいを持つ親（母子家庭）子がひきこもり。	訪問予定だが、自宅に来られることを嫌がっており、電話のみで対応している。	医療機関、児相
	ケース3		
経済的な困窮（世帯で）子が障がいあり。	関係機関とともに訪問し、サービス利用について説明。	児相、社協、医療機関	

団体名	①内容	②対応	③連携先
社会福祉法人 徳島市社会福祉 協議会	ケース1		
	母と娘の二人世帯。母は介護保険、娘は後見制度と障害サービスを利用し自宅で生活されていたが、母が入院となり、数か月後には娘も精神科病院へ入院となった。自宅には犬が放し飼いにされており、室内外含めて劣悪な環境であった。入院後に母の通帳管理をしている親戚から金銭面の相談の電話が何度もある。	居住環境についてはシルバー人材センターを利用し、草刈等を依頼する。飼い犬については入院期間中に娘と面会し、新たな飼い主に譲渡する。母の通帳管理をしている親せきとも数回面談し、話を進める。その後母の保佐人が選任されたことから自宅の管理等の話し合いを行っている。状況によっては世帯分離し、生保申請も検討する。	障害者相談支援事業所、訪問介護事業所、訪問看護事業所、病院、ペットホテル、NPO法人、司法書士事務所、地域包括支援センター
	ケース2		
	母、子どもが二人の障がい者世帯。母が世帯の金銭管理をしているが、困窮している。娘の通院のため車を所持しており、生保が受給できず収入が少ないため、借金をしている。母は過去に自己破産している。	法テラスで破産手続きを相談支援事業所が進め、生保受給、日常生活自立支援事業で世帯全員の金銭管理を行う予定。支援者で連携し、見守りを実施。	障害者相談支援事業所、徳島市安心サポートセンター、ヘルパー、生活福祉課、法テラス、B型作業所、日常生活自立支援事業
	ケース3		
母、息子二人の障害者世帯。家に入入るサービスには拒否がありゴミ屋敷。母は介護保険でデイサービス、息子はB型作業所、二人ともに日常生活自立支援事業を利用。母が入院から入所となり、息子一人での自宅での生活が厳しくなった。その後、息子の突然死で葬儀や残された自宅のこと、母の認知症進行等と問題が起こった。	母入院後は相談支援事業所を中心にヘルパーにつなげ、息子の自宅での生活が維持できるようにサポート。息子死亡時は、福祉施設職員を中心に母と相談し、葬儀、永代供養を実施。死後事務を支援者で役割分担した。その後、徳島市貢献支援センターへ相談し、法テラスにつなぎ、母の成年後見制度の申し立てを行った。	障害者相談支援事業所、日常生活自立支援事業、ケアマネ、高齢者施設、徳島市後見支援センター、法テラス	
特定非営利活動 法人 Creer	ケース1		
	こども定食で訪問する過程は、ごみが散らかっている家庭が多いが、劣悪なケースもたびたびある。	市に連絡。社協さんと同行。ごみ引き取り。家事支援を紹介。	
	ケース2		
	ひきこもりの子ども、不登校、うつの母親が孤立。	週に1回食事や食材を届け、話をする。	
ケース3			
親子とも発達障がいがある。生活が成り立っていない。	子ども食堂で食事提供。居場所づくり。		
渭北地区民生委員 児童委員協議会	ケース1		
	ゴミ屋敷。	ケアマネジャーに連絡。	地域包括支援センター
徳島市地域包括 支援センター	ケース1		
	虐待。	分離等。	施設等
	ケース2		
認知症。	後見人等。	社会福祉協議会	

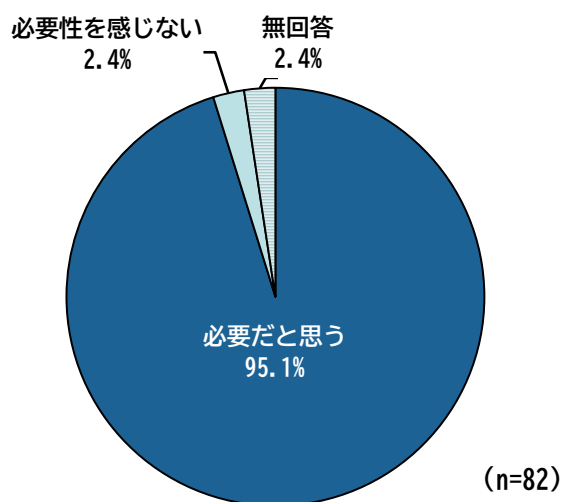
団体名	①内容	②対応	③連携先
特定非営利 活動法人徳島市 手をつなぐ親の会	ケース1		
	障がい者の妹と2人暮らし。入所施設に不満があり自宅に引き取った。自分は高齢でありこの度入院することになった。ケアマネにも不満がある。どこか妹を預かってくれる施設を探している。	徳島市地域包括支援センターに連絡。対応をお願いした。	徳島市地域包括支援センター
	ケース2		
	障がい者がいる家庭であり、親が高齢で働いておらず生活に窮している。	生活支援員の働きで、生活保護を申請	生活支援員
	ケース3		
高齢の障害者で一人暮らし。ヘルパーを派遣してもらっているが、ヘルパーに不満がある。交代してもらえないのか。	徳島市障害福祉課に対応をお願いした。	徳島市障害福祉課	
国府地区自主防災 連合会	ケース1		
	要配慮者避難。		
	ケース2		
高齢者の困りごと相談。	主催の他団体を支援。		
加茂地区民生委員 児童委員協議会	ケース1		
	ひきこもり。	警察官と一緒に。	警察
	ケース2		
孤独死。	警察官と一緒に。	警察	
社会福祉法人 光風会	ケース1		
	地域から孤立している高齢者。	地域包括支援センターよりランチ訪問の依頼。	たまき青空居宅介護事業所
	ケース2		
被害妄想のある認知症の独居高齢者。	地域包括支援センターより、ランチ訪問依頼。	やまもも小規模多機能型居宅介護事業所	
入田民生児童委員 協議会	ケース1		
	ごみ屋敷状態に居住の住人。	実地調査。	保健所、警察
	ケース2		
引きこもり状態の住人。	社協引きこもりセンターへ連絡。	徳島市社会福祉協議会	
白寿会在宅介護 支援センター	ケース1		
	認知症の独居高齢者、障害等の家族がいる高齢者。		徳島市地域包括支援センター
佐古自主防災会 連合会	ケース1		
	ゴミの不法投棄。		

問 16 今後、複合的な課題を解決していくために、他団体機関との連携が必要だと感じますか。
【どちらかに○】

【全体の傾向】

他団体機関との連携が必要だと感じるかをみると、「必要だと思う」が 95.1%、「必要性を感じない」が 2.4%となっています。

図表 188 他団体機関との連携が必要だと感じるか（全体）



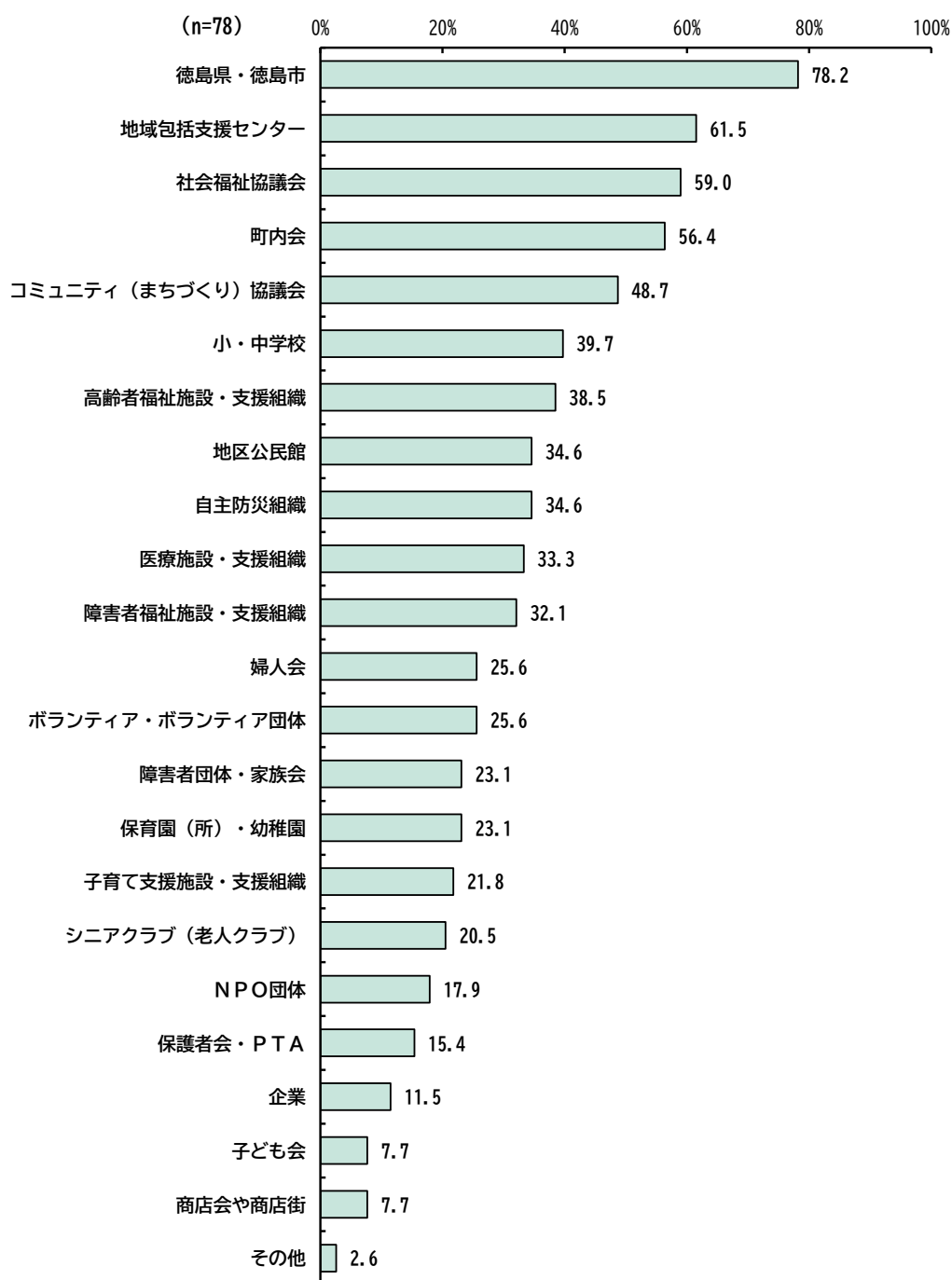
問 16 で「必要だと思う」を選択した団体

問 16-1 貴団体が連携、協力したい団体や機関はどこですか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

連携、協力したい団体や機関についてみると、「徳島県・徳島市」が 78.2%で最も高く、次いで「地域包括支援センター」が 61.5%、「社会福祉協議会」が 59.0%と続いています。

図表 189 連携、協力したい団体や機関（全体／複数回答）

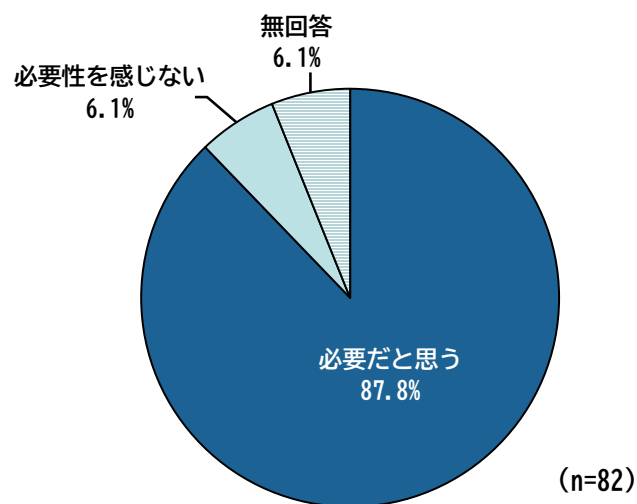


問 17 徳島市において「重層的支援体制整備事業」は必要だと思いますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

「重層的支援体制整備事業」の必要性をみると、「必要だと思う」が87.8%、「必要性を感じない」が6.1%となっています。

図表 190 「重層的支援体制整備事業」の必要性（全体）



問 18 複合的な課題を解決するうえで、どのような支援や仕組みがあるとよいと思いますか。

【自由記述】

【全体の傾向】

複合的な課題を解決するうえで必要だと思う支援については、40 件の意見がみられました。分類すると、「連携・ネットワーク」が 17 件、「相談窓口や相談できる場の設置」が 10 件、「情報発信・啓発」が 3 件、「その他の支援など」が 10 件となっています。

図表 191 複合的な課題を解決するうえで必要だと思う支援（自由記述）

連携・ネットワーク

組織形態	内容
社会福祉協議会	徳島市全体で各関係者で問題提起を行い、解決策を検討する。
自主防災組織	各団体との情報交換が必要。
社会福祉協議会	高齢化、少子化、困窮等の分野を横断した課題に対し、包括的な支援や地域づくりに向けた支援を一体的に取り組む体制が必要と思われる。
民生委員児童委員協議会	横の連携。
NPO団体	強力なネットワーク。
社会福祉協議会	情報の共有。
社会福祉協議会	支援体制をどう関連のある分野との連携を進めていくか、内容を決めていくか、組織の構築が必要と思われる。
その他	各分野の支援者が意見交換できる場があれば良い。
その他	部署や機関をこえての関りが出来るような体制支援チームを作る。
社会福祉協議会	縦割りではなく、包括的に相談ができ、1回の説明で各機関が動ける仕組みづくりが必要。できれば福祉以外の税金、国保料など解決方法も一緒に考える。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	医療・介護・福祉の関係機関が迅速に情報共有できる仕組みや複雑な課題に対して専門職がチームで対応できる体制があると良いと考える。また、孤立防止のための地域の見守り・相談体制を強化し、困りごとを早期にキャッチできる仕組みが整うことで、支援の連続性が確保できると思う。
NPO団体	関係機関が集まって具体的なケースについて、それぞれにどういった支援ができるを検討する機関があればいいと思います。似たような組織はあると思いますが、より具体的に検討ができる、またその構成員も組織の長でなく、各組織を十分理解している職員等で検討できるような場があればいいと思います。
民生委員児童委員協議会	縦割りではなく、組織を横断する体制。
障害者支援団体	既にこのような問題の解決に向け取り組んでいる民間の団体を巻き込んで対応する。
自主防災組織	共有の話合い。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	地域で孤立にならないように、だれかと繋がり状況が分かるように、又見守り隊の情報が共有できるような仕組み。
民生委員児童委員協議会	各部署で入手した情報の共有する仕組み。

相談窓口や相談できる場の設置

組織形態	内容
社会福祉協議会	1回で解決できる公的支援センター。
社会福祉協議会	困った人がすぐ相談できる窓口の広い相談所。
自主防災組織	とりあえず何でも相談できる総合窓口。
ボランティア団体	出会える場があればと思う。
NPO団体	オンラインで解決を支援するための話し合いができる。時間をしばられず、グループチャット、LINEグループなどでやり取りできる。
民生委員児童委員協議会	難儀な相談のほとんどが、夜間・休日にあるので24時間体制で支援・助言してくれるセンターがあると嬉しい。
NPO団体	相談窓口を増やしたり、ニーズを吸い上げる機会を作り対象となる方々に周知できる仕組みがあればと思いますので、ご検討いただければ幸いです。
その他	気軽に相談できる窓口の設置と周知。誰もが参加できるコミュニティ。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	気軽に相談できるコーディネーターが必要であるが、相当なスキルのある方でないと難しい。
NPO団体	現在、徳島市が行ってる利用者支援事業がありますが、おもに窓口で、子育て家庭等から保育サービスに関する相談に応じ、保育所や各種の保育サービスに関する情報提供や利用者に向けての支援を行っているようです。利用者支援の基本型では、身近な子育て支援拠点で気軽に相談ができ、個別のニーズで情報の提供や相談機関へのつながりができます。ぜひ、子育て支援拠点である子育て安心ステーションに利用者支援のスタッフを置いてほしいと常々考え要望しています。また、地域から孤立した子育て家庭を把握した場合、ホームスタート事業等を活用することで支援を直接家庭に届けることが可能となります。以前、当法人では、このホームスタート事業を徳島県の事業として行い、孤立する家庭を支援していましたが、徳島県の事業が終了したため、金銭的に継続することが難しく、法人の独自事業として成り立たなくなりました。そのため、孤立した子育て家庭を支援することが難しくなった事例があります。

情報発信・啓発

組織形態	内容
民生委員児童委員協議会	該当者が気軽に情報発信できるようなシステムができないか。
ボランティア団体	まずは、気楽に相談できるところがあることをピーアール。
自主防災組織	行政が関係する各部署を取りまとめ一元的に情報を発信し、応対し処理をしていただきたい。

その他の支援など

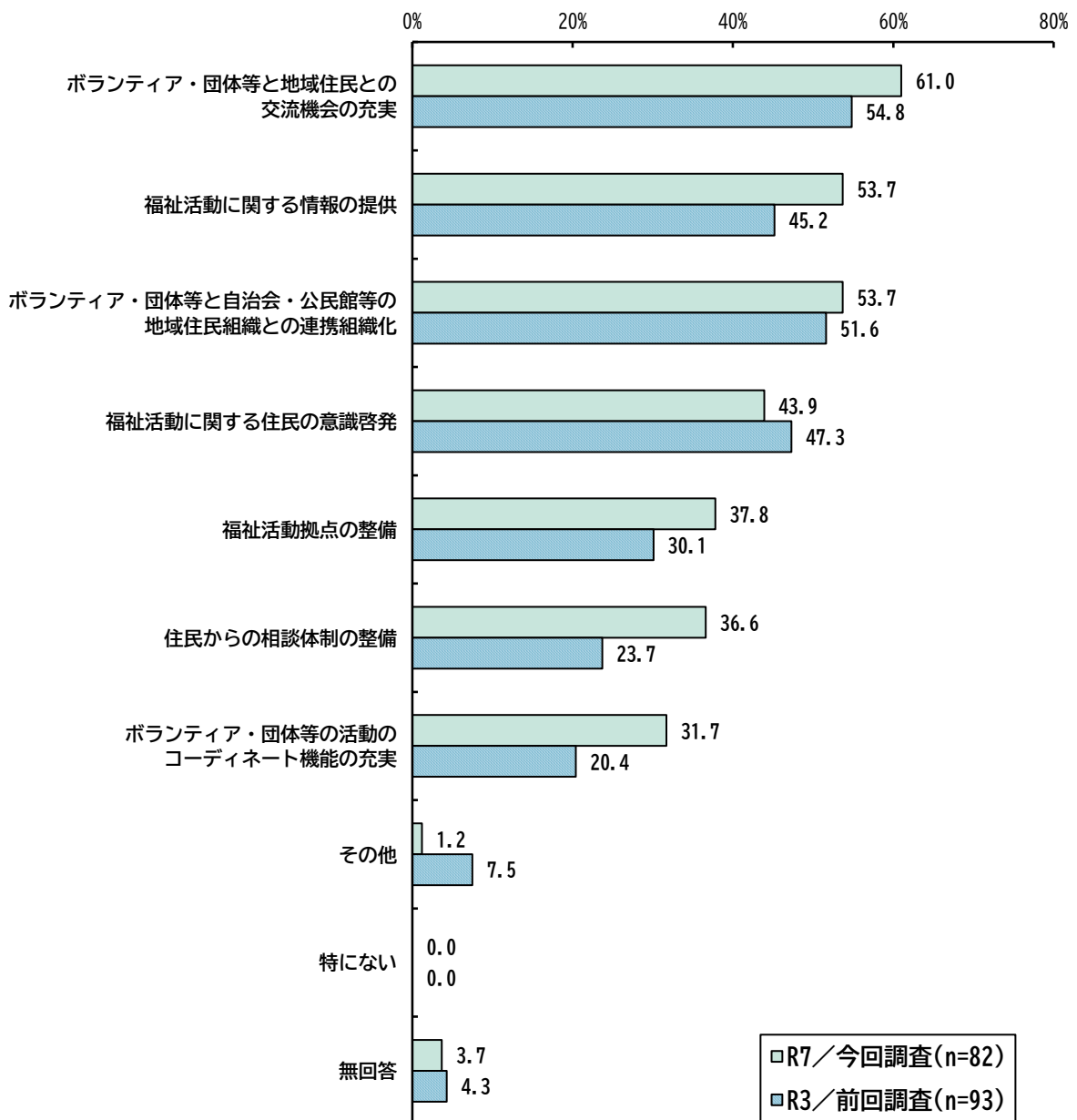
組織形態	内容
民生委員児童委員協議会	予算的、人的活動のできるような支援。
民生委員児童委員協議会	重層的支援事業。
自主防災組織	避難行動要支援者。
社会福祉協議会	母が高齢で息子が盲目で支援が必要なのは息子の方だったけど、若いと支援しにくいことがあった。
社会福祉協議会	ボランティアに頼らない支援、仕組み。
その他	専門家による支援（ひきこもりの状態を理解して下さっている支援者であること）。
NPO団体	核になる自治体の活動の柔軟な対応。
社会福祉協議会	良くわからない。
社会福祉協議会	町内会の整備。
自主防災組織	団体の活動が持続できるような、人、モノ、金、情報の支援制度と柔軟に変化できる仕組みが必要。活動をボランティアに依存し過ぎている現在の仕組みでは、持続出来ないし、目標達成(課題解決)は極めて難しい。

問 19 福祉活動を行う上で、地域住民の参加や協力を得るためには、どのようなことが必要である
 と思いますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

地域住民の参加や協力を得るために必要だと思うことをみると、「ボランティア・団体等と地域住民との交流機会の充実」が61.0%と最も高く、次いで「福祉活動に関する情報の提供」および「ボランティア・団体等と自治会・公民館等の地域住民組織との連携組織化」がともに53.7%と続いています。前回調査と比較すると、「住民からの相談体制の整備」が12.9ポイント増加しています。

図表 192 地域住民の参加や協力を得るために必要だと思うこと（全体、前回比較／複数回答）



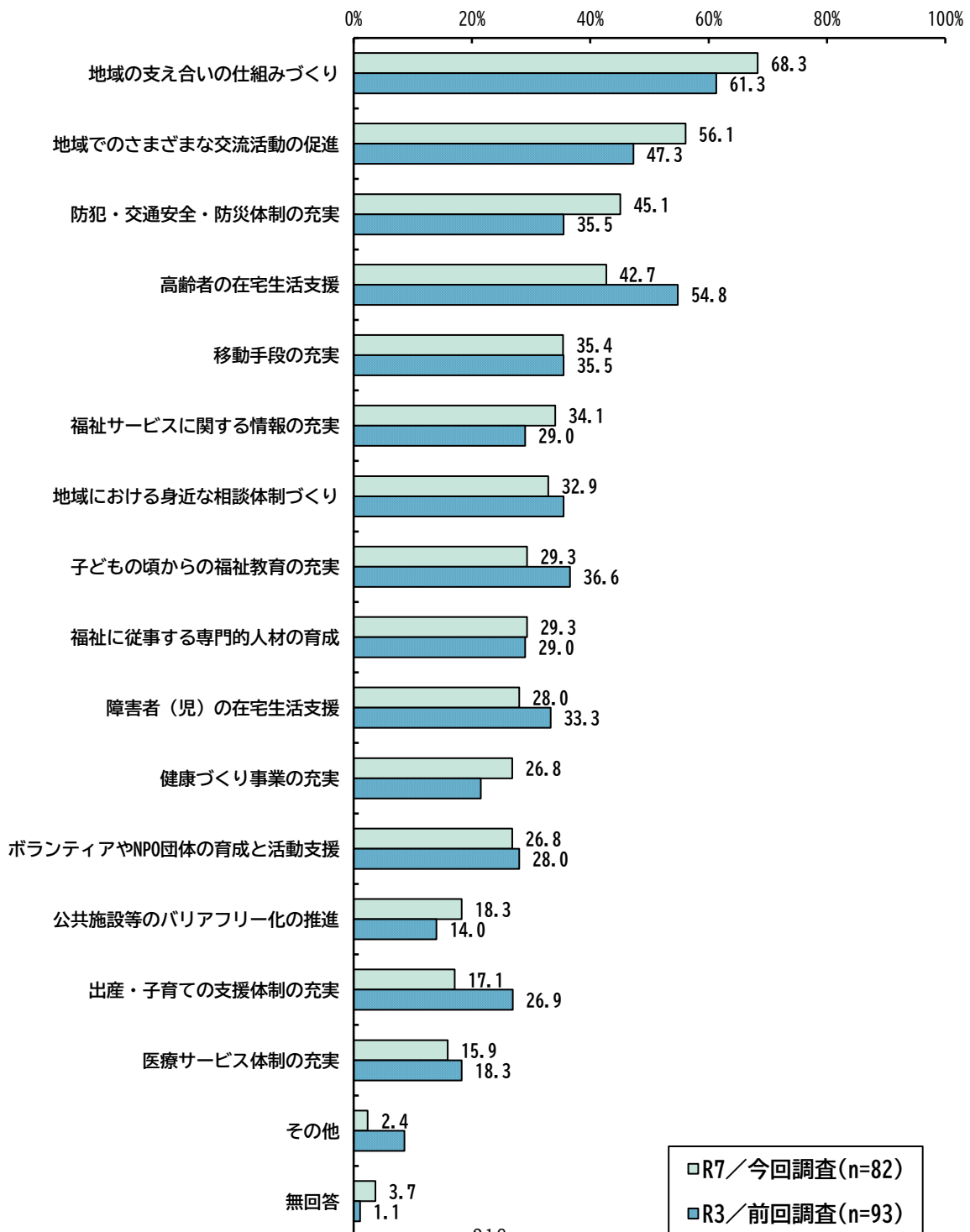
問 20 徳島市の福祉施策をより充実していくために、貴団体が重要と考える取組みはどれですか。
【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

福祉施策充実のために重要と考える取組みをみると、「地域の支え合いの仕組みづくり」が68.3%と最も高く、次いで「地域でのさまざまな交流活動の促進」が56.1%、「防犯・交通安全・防災体制の充実」が45.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「高齢者の在宅生活支援」が12.1ポイント減少しています。

図表 193 福祉施策充実のために重要と考える取組み（全体、前回比較／複数回答）



5 地域共生社会の実現に向けて

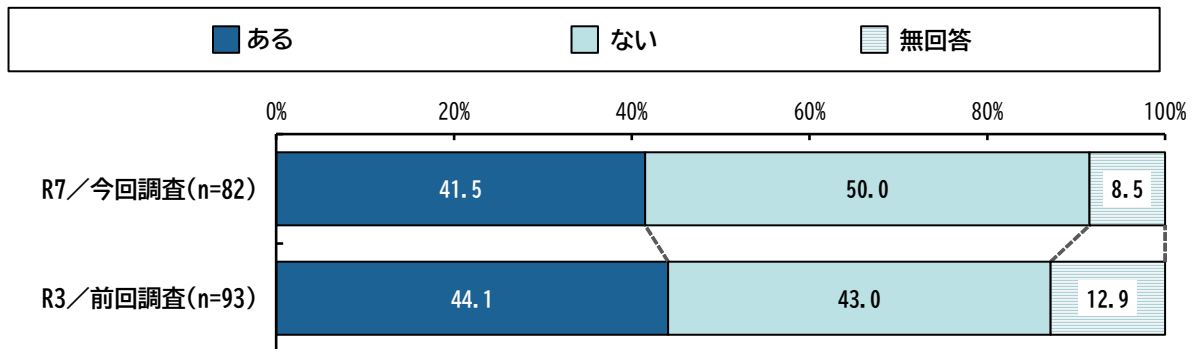
問 21 貴団体では、地域における問題や課題解決に向けた住民同士の自主的な支え合いや助け合いに関して協力していることはありますか。【どちらかに〇】

【全体の傾向】

住民同士の自主的な支え合いや助け合いについて協力していることがあるかをみると「ある」が41.5%、「ない」が50.0%となっています。

前回調査と比較すると、「ない」が7.0ポイント増加しています。

図表 194 住民同士の自主的な支え合いや助け合いについて協力していること（全体、前回比較）



問 21-1 その協力状況や課題（協力に至っていない理由を含む）について、具体的に記入してください。【自由記述】

【全体の傾向】

協力状況や課題について、「ある」場合と「ない」場合それぞれをまとめると以下のようにになりました。

図表 195 「ある」場合

組織形態	内容
民生委員児童委員協議会	相談があれば徳島市包括支援センターに協力をお願いする。
自主防災組織	地域防災マップ作成。
自主防災組織	親しい人とは常日頃から会話を交わし、変わりがないか確認しています。面識だけの人とは挨拶をしたりしてつながりを保っています。
民生委員児童委員協議会	高齢者宅への見守り。地域の行事への参加。各種研修会への参加。
民生委員児童委員協議会	町内会との交流。
社会福祉協議会	認知症カフェを週1回開催していて、困り事や相談などを解決している。
自主防災組織	町内会、自主防災組織の中で助け合いを行っていると思っている。
自主防災組織	年数回の街づくり協議会代表者会議。町内会連合会の理事会月1回。
社会福祉協議会	地域での一斉清掃を日曜朝7時から毎年行っているが、あまり会わない人と1時間くらい話したことがあって、近所に親戚がいることがわかって、後に役立ったことがある。
社会福祉協議会	情報を共有化して話し合っている。
民生委員児童委員協議会	自主防災会等の会合への出席。
社会福祉協議会	「通いの場」をはじめ、関係福祉団体への支援。
NPO団体	相談があったり見たりした時には協力する。
NPO団体	民生委員、児童委員協議会が地域で開催しているイベントに食材支援やキッチンカーによる配食サービスに協力している。
社会福祉協議会	防災訓練があれば協力している。
自主防災組織	町内会や自主防災会への助言。
自主防災組織	コミュニティーセンターに住民が多く集まるように工夫しています。
その他	当法人は、国府町に総合的な地域生活支援拠点「ふらっとKOKUFU」という交流施設を運営しており、子どもの居場所づくりや子ども食堂を開催している。
自主防災組織	避難訓練時の近隣との声掛けの啓発。
社会福祉協議会	地区社協及び民生委員への協力支援。生活支援コーディネーターとしての地域活動活性化を目指して活動。課題は、地区社協及び民生委員の構成員の高齢化及び担い手不足。
NPO団体	子ども食堂に地域住民どなたでも集まって協力して食事作りや音楽、芸術、工作、農作業などに取り組んでいる。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	徳島市生活支援体制整備事業を実施している。一部の地域では担い手の確保が難しく、住民の負担感や参加者不足により、継続的な協力が進みにくい点が課題と考える。

組織形態	内容
自主防災組織	自主防災活動の目的は、防災意識の啓発や避難訓練、災害死ゼロが狭義の目的。広義には、まちづくりと捉えており、会員も全ての在住者、通勤通学者と会則を改訂した。また、まちづくりの法人も創設した。狭義の防災活動については、コミュニティ協議会の構成団体や企業や事業所などと連携協働を試みているが、協力を得られていない。理由は構成団体などの防災や福祉、まちづくりへの無関心。地区のコミュニティ意識が低く、活動が停滞しているため、受け入れられにくい。組織の役員の高齢化と活動的若手リーダーの不足。
障害者支援団体	徳島市内の23の地区毎に「地区障害者会」があり、活動実績のある障害者会へ育成金を交付している。
ボランティア団体	町内各種団体と協力して、町民運動会、町民文化祭、二十歳を祝う会などの開催をおこなっている。
NPO団体	防災ラジオの取り付けや町内会の開催場所を提供する等をさせていただいています。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	町内会の行事に参加している。
自主防災組織	我々の防災啓発活動に限らず、すべての活動情報が地域住民に充分行き届かない。町内会組織の加入率低下が大きな外因と考える。
高齢者支援団体	友愛訪問制度。
NPO団体	まずは近所付き合い・挨拶から始めることの周知や、会話ができるようなイベント開催。

図表 196 「ない」場合

組織形態	内容
自主防災組織	過去から運営が活発でなく、組織を維持するのに精一杯。
民生委員児童委員協議会	最近、町内会なども解散したり情報が入りづらい。
社会福祉協議会	他団体との情報交換の場がない。
社会福祉協議会	職員体制が少なく、高齢であるため実際は活動できない状況にある。
高齢者支援団体	人員不足。
民生委員児童委員協議会	コロナ前までは食事会等の交流を行っていたが、以後できていない。
その他	業務的にも人員的にも不可能である。
その他	地域住民がまだまだひきこもりについて無理解であるため声をあげられない家族が多いため。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	どのように関わっていくかわからない状況です。
社会福祉協議会	今のところ、住民同士の自主的な支えが必要と思われる情報を把握できていない。
その他	コロナ以降地域の集まりに行くことがほとんどなくなったため。
子育て・教育関係団体	機会がない。
NPO団体	地域住民との交流が少なく、協力できる機会が少ない。
民生委員児童委員協議会	活動範囲外。
自主防災組織	活動する人材がいらない。

組織形態	内容
自主防災組織	日頃から隣近所の人と繋がりを持つよう啓発はしているが、特に組織として協力に至っていないと考える。
NPO団体	障がい者を支援する団体であり、特に地域との結びつきがないため。
自主防災組織	役員が高齢なため。
高齢者支援団体	現状では当組織において個々の会員の活動領域には想定されていないため。
民生委員児童委員協議会	自主防災マニュアル作成の途中であること。
その他	高齢者支援の相談がほとんどである。
NPO団体	現在の活動の中心が徳島市子育て安心ステーションやショッピングセンターでの出張子育てひろばになります。月に数回行くショッピングセンターであったりするので直接地域とつながることがほとんどありません。そこは別のベビーカーを押していける範囲にある子育て支援拠点（行政が補助金を出し、建物を借りてひろばを運営しているところもあります。）であれば、団体と地域、子育て家庭と地域のつながりができるかと思いますが、NPO法人独自の運営は、厳しい状況です。

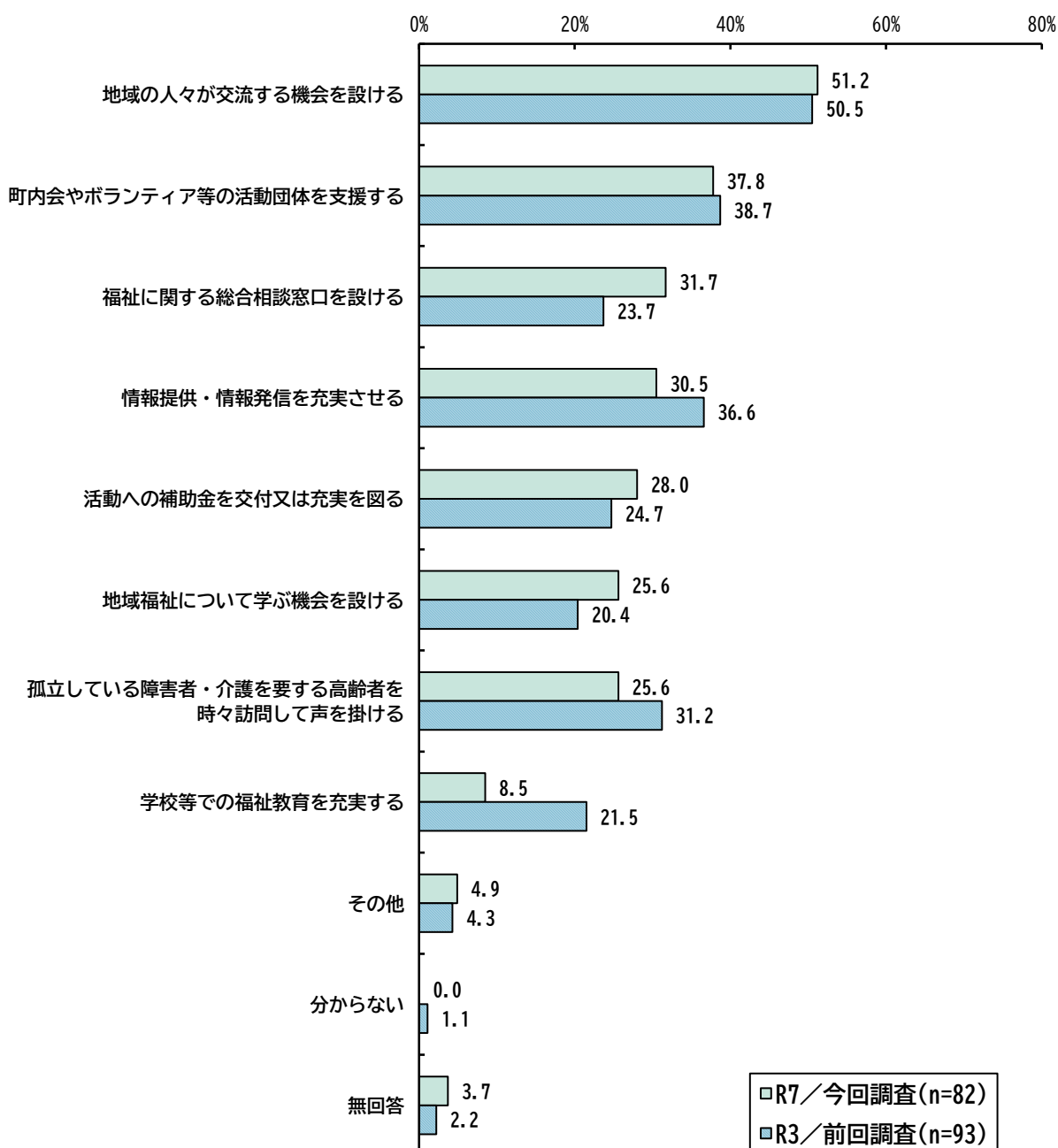
問 22 地域に住む住民同士が助け合い、支え合える地域づくりのために、今後、徳島市では、どのような支援を行う必要があると思いますか。【三つまで○】

【全体の傾向】

支え合える地域づくりのために必要だと思う支援をみると、「地域の人々が交流する機会を設ける」が51.2%と最も高く、次いで「町内会やボランティア等の活動団体を支援する」が37.8%、「福祉に関する総合相談窓口を設ける」が31.7%と続いています。

前回調査と比較すると、「学校等での福祉教育を充実する」が13.0ポイント減少しています。

図表 197 支え合える地域づくりのために必要だと思う支援（全体、前回比較／複数回答）



6 孤独・孤立・ひきこもり対策について

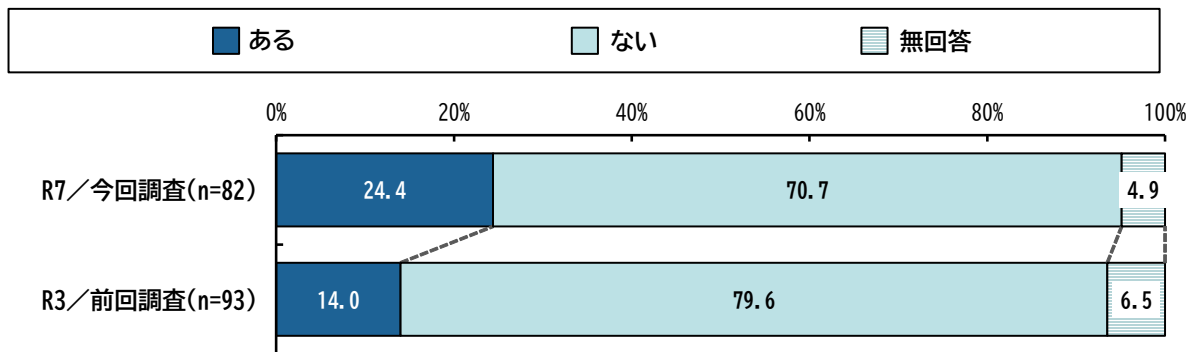
問 23 孤独・孤立・ひきこもり対策に関して、取り組んでいることはありますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

孤独・孤立・ひきこもり対策に関する取組みをみると、「ある」が24.4%、「ない」が70.7%となっています。

前回調査と比較すると、「ある」が10.4ポイント増加しています。

図表 198 孤独・孤立・ひきこもり対策に関する取組み（全体、前回比較）



問 23-1 その取組み状況や課題（取り組んでいない理由を含む）について、具体的に記入してください。【自由記述】

【全体の傾向】

孤独・孤立・ひきこもり対策に対する取組み状況や課題について、「ある」場合と「ない」場合それぞれをまとめると以下ようになりました。

図表 199 「ある」場合

組織形態	内容
民生委員児童委員協議会	1人暮らしの訪問、見回り。
民生委員児童委員協議会	ひとり暮らし高齢者への食事会。食事の後、アトラクションも実施。
社会福祉協議会	自主防災会で隣近所を月1回訪問し、ひとり暮らしの安否を把握している。災害時の絆作りにつなげている。
社会福祉協議会	70歳を越えた男性だったが、独居老人の食事サービスにはずっと誘っていた。一度来たが女性ばかりだといって来なくなった。その内近所の病院に入院したが亡くなった。
その他	当事者、家族が孤独、孤立するのがひきこもりの一番大きな問題です。当事者を支える家族が孤立せず、理解し合える仲間と不安や対応方法を話し合ったり傾聴しています。家族とは別に当事者会も行っています。SNSでもつながるようになっていきます。
NPO団体	ひきこもり家族への支援。声かけ、訪問などの充実。
社会福祉協議会	ひとり暮らしの80歳以上の高齢者宅に友愛訪問をしている。民生委員の活動に参加、協力している。
その他	中高年のひきこもりの子と高齢の親世帯は多くみられる。子と社会の関りはほとんどないが、親に関わることで自然と子の様子も確認できる。必要時は市や包括に連絡する。
その他	関係機関から相談があれば、本人や家族と連絡をとったり、訪問などの支援を行っている。市町村との連携がもっと出来たらと思っている。
社会福祉協議会	社協ではひきこもり支援会議を開催。居場所づくりを提供（あんしんサポートセンターに相談があった方限定）。自立相談支援事業の中で孤独、孤立、ひきこもりの相談を常に受け付けている。
NPO団体	こども宅食を行い、食事を持って訪問している（月2回から4回）子ども食堂での楽しいイベントを案内して、来店につなげられたケースが26件（4年間で）ある。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	当センターでは、孤独・孤立・ひきこもりが疑われる高齢者に対し、定期的な見守り訪問等を行い、状態の把握と必要な支援につなげるよう努めている。民生委員やランチと連携し、日常の中で気づきが得られる体制づくりにも取り組んでいる。また、生活機能低下や社会参加の意欲が低い方に対しては、通いの場やサロンへの参加支援を行い、地域とのつながりを持てるよう支援している。
民生委員児童委員協議会	警察官と連携し、みまもりをしている。
障害者支援団体	当会では、身体障害者に対する相談窓口を設置しており、相談のあった場合は、その状況に応じて、社会へ踏み出す一歩として、B型作業所を紹介している。

組織形態	内容
社会福祉協議会	独居老人への食事及び話し合いの場の提供。
NPO団体	コミュニティセンターをお借りして元気高齢者づくり事業として体操教室を徳島市各教室で週2回程度開催しています。
高齢者支援団体	地域ふれあい教室という地域の高齢者が自由に参加できる工作等の教室を年8回実施している。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	徳島市包括支援センターから依頼があれば訪問している。
高齢者支援団体	会員に友愛訪問員になってもらい互いに訪問し合う。

図表 200 「ない」 場合

組織形態	内容
社会福祉協議会	学校関係であり不明である。
自主防災組織	地域内に事例が見当たらない。
民生委員児童委員協議会	孤独・孤立・ひきこもりの情報が入ってこない。
社会福祉協議会	町内会、民生委員ともに家族の方との交流はあるが、当人との話し合い等ではできていない。
自主防災組織	近所の方とはいつも会話、情報交換等をしている。
自主防災組織	今までそういう場に出くわしたことはありません。
社会福祉協議会	職員体制が少なく、高齢であるため重要なことだと認識しているが現実には困難である。職員は就業または家族があるため、時間的な余裕がない。
民生委員児童委員協議会	ひきこもりの人がいない。
高齢者支援団体	人員不足。
民生委員児童委員協議会	ひきこもり等に対しての情報が少なく、対応できていない。
民生委員児童委員協議会	自分のことで精一杯で、他人の事まで手が回らない。
自主防災組織	防災会の行事等で手一杯。それぞれの立場でできることを実施している状況です。
その他	業務的にも人員的にも不可能である。
社会福祉協議会	把握することが難しい。
民生委員児童委員協議会	身近にいない。
民生委員児童委員協議会	ひきこもりと思っていたが勘違いだった。
その他	情報がない。
社会福祉協議会	荷が重すぎる。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	直接的にヤングケアラー、ひきこもりの相談がない。
NPO団体	当方は積極的に外に出る活動は行っていないため取り組んではいないが、支援者（個人・団体）からの依頼に基づき食材の提供を行っている。

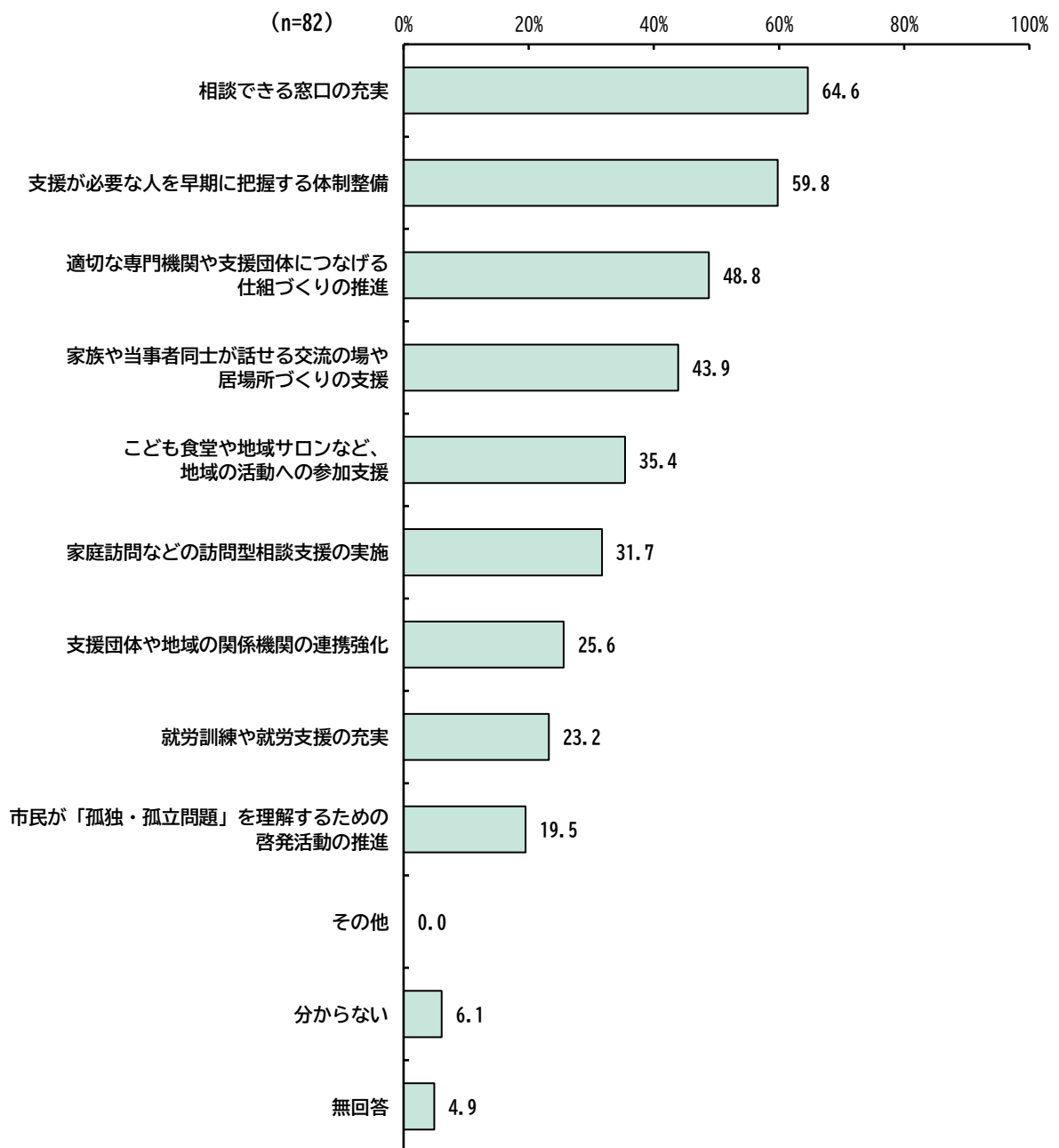
組織形態	内容
社会福祉協議会	事例があるかどうかわからない。
自主防災組織	自主防災会にはその様な相談は来ない。個人的に相談に来る人は時々いる。
ボランティア団体	なかなか出会いが無いため。
自主防災組織	そこまで手が届かないため。
その他	当事業所では実施していないが、支援が必要な方に対して、他機関を情報提供している。
子育て・教育関係団体	機会がない。
社会福祉協議会	ひきこもりをしていてもわからない。親からの相談もない。
民生委員児童委員協議会	活動範囲外。
社会福祉協議会	実数も実体も把握できていない。
自主防災組織	組織の枠外。
自主防災組織	組織の取り組み内容とは違っているように思う。
NPO団体	障がい者の支援団体であるため。
自主防災組織	自主防災連合会の目的外である。また、切実な地域課題とは認識していない。
ボランティア団体	婦人会で行うには力が足りない。
自主防災組織	家族から申出がないため。
民生委員児童委員協議会	実態を把握するのが困難。親族等から相談があってはじめて判明するのが殆んど。
その他	相談が入れば訪問等の対応ができる体制はとっている。高齢者支援については孤立しないよう配慮している。
自主防災組織	その様な情報に触れる事が少ない。
NPO団体	現在の環境では、なかなか孤立、引きこもり等の情報はいってきません。子育て家庭では母親の孤立や孤独から産後うつになってしまいます。母親の産後うつは、なかなか情報として外にでることは少ないです。また、産後は、母親も父親も環境の変化についていけなくて「産後クライシス」が起こる場合もあります。このような「産後うつ」「産後クライシス」も子育て支援拠点の利用者支援と保健センターや助産師会、男女共同参画センターなどと連携することでそれぞれにあったサービスを提供できると思います。

問 24 孤独・孤立・ひきこもりの方を支援するために、どのような施策が必要だと思いますか。
【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

孤独・孤立・ひきこもり支援のために必要だと思う施策をみると、「相談できる窓口の充実」が64.6%と最も高く、次いで「支援が必要な人を早期に把握する体制整備」が59.8%、「適切な専門機関や支援団体につなげる仕組づくりの推進」が48.8%と続いています。

図表 201 孤独・孤立・ひきこもり支援のために必要だと思う施策（全体／複数回答）



7 再犯防止の取組みについて

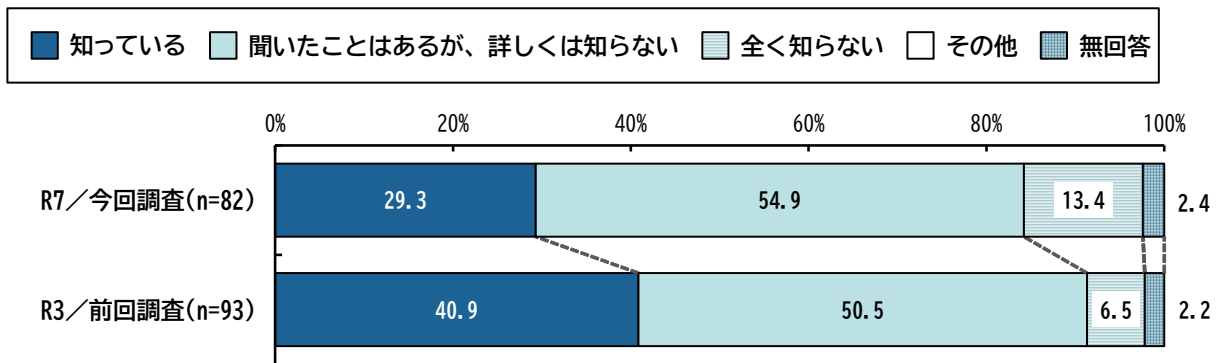
問 25 再犯防止に関する取組みが進められていることを知っていますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

再犯防止に関する取組みの認知状況をみると、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 54.9% と最も高く、次いで「知っている」が 29.3%、「全く知らない」が 13.4% となっています。

前回調査と比較すると、「知っている」が 11.6 ポイント減少しています。

図表 202 再犯防止に関する取組みの認知状況（全体、前回比較）



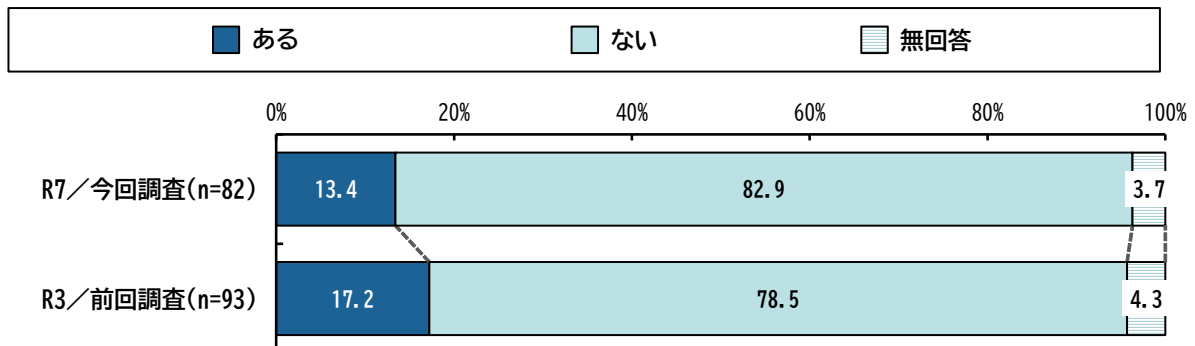
問 26 再犯防止に関して、取り組んでいることや協力していることはありますか。【どちらかに○】

【全体の傾向】

再犯防止に関して取り組んでいることをみると、「ある」が 13.4%、「ない」が 82.9% となっています。

前回調査と比較すると、「ない」が 4.4 ポイント増加しています。

図表 203 再犯防止に関して取り組んでいること（全体、前回比較）



問 26-1 その取組み状況や課題（協力に至っていない理由を含む）について、具体的に記入してください。【自由記述】

【全体の傾向】

再犯防止に関する取組み状況や課題について、「ある」場合と「ない」場合それぞれをまとめると以下のようにになりました。

図表 204 「ある」場合

組織形態	内容
社会福祉協議会	地域生活定着支援センターの講師派遣事業を活用し、再犯防止の研修を受けて理解を深めた。
民生委員児童委員協議会	保護司として活動している。
その他	沖洲更生保護女性会に協力。
社会福祉協議会	少年院等から指導教育を受けて帰ってくるので受け入れをする方も更正に意欲をもって出所するので頑張れるような暖かい環境を作り、相談に努めてあげることです。
その他	当法人の中に「徳島県地域定着支援センター」があり、必要時は協働し対応している。
その他	「社会を明るくする運動」で再発防止の広報活動。中学校生徒弁論大会の実施。
NPO団体	電話、メール、訪問、この関係作るまでの場所、時間、人材。
その他	医療観察のケースが多いため、医療と連携しながら支援を行っている。
地域包括支援センター・ 在宅介護支援センター	再犯防止の観点から、生活基盤が不安定な高齢者等に対して、住居確保や制度利用の調整、見守り体制の構築などを行っている。また、他機関と連携し、孤立や経済困窮が背景にあるケースについて支援を行うことで、地域での生活が安定するよう取り組んでいる。
民生委員児童委員協議会	保護司、厚生保護女性会活動に協力している。
地域包括支援センター・ 在宅介護支援センター	養護老人ホームへの入所の案内。
自主防災組織	保護司として活動中。

図表 205 「ない」場合

組織形態	内容
社会福祉協議会	保護司が行っているので現在は行っていない。
自主防災組織	事例がない。
民生委員児童委員協議会	再発防止のやりかたがわからない。
民生委員児童委員協議会	保護司の活動が伝わってこない。
社会福祉協議会	身近にそのような人がいない。
自主防災組織	保護司をしている人の仕事だと思っていましたので関心がなかったです。
社会福祉協議会	再犯防止に対する知識がない。
民生委員児童委員協議会	保護司の方が任うのでは？
民生委員児童委員協議会	該当者を把握できていない。
高齢者支援団体	人員不足。

組織形態	内容
民生委員児童委員協議会	再発防止には保護司の方が努力していると思うが、民生委員には機会もスキルもない。
社会福祉協議会	面接する場所がない。一人で対応できない。就職等の世話ができない。家族等の協力が無い。
その他	今まで関わる事が全くない。
自主防災組織	保護司不足。
社会福祉協議会	今のところ依頼がない。
民生委員児童委員協議会	事件がよくテレビで取りあげられていて怖いと思うことがある。
社会福祉協議会	何をすべきかわからない。
その他	再犯防止の取組みについて理解できていないため。
地域包括支援センター・ 在宅介護支援センター	全く関りが無い。
NPO団体	分野外であることから協力ができていないが、支援のための食材提供依頼には応えている。
社会福祉協議会	情報が入ってない。
社会福祉協議会	警察の関係者に任せ方がよいと思っている。
自主防災組織	自主防災会にそのような話は来ない。ただし地域のコミュニティ協議会にはあるらしい。
自主防災組織	自主防災組織ではしていない。
その他	全く知識がないので何をすれば良いかもわからない。
子育て・教育関係団体	機会がない。
自主防災組織	よく理解できていない。
社会福祉協議会	再犯防止に関する取組はしていないが、本会では「ふれあい相談センター」として、市民からの生活上の困りごと相談を受け付けている。相談窓口該当する相談者が来所した際には、生活困窮者自立支援事業や権利擁護者支援事業の制度利用につなぐ等の対応をしている。課題としては、制度の狭間で支援につながる方への対応をどうするかが課題である。
NPO団体	再犯のケースが報道されたりするので、習癖を治すことは難しく感じる。繰り返し犯罪を犯さないよう見守ることは怖いし、難しい。
民生委員児童委員協議会	活動範囲外。
自主防災組織	組織的枠外。
自主防災組織	協力の要請がない。
NPO団体	障がい者の支援団体であるため。
自主防災組織	自主防災連合会の活動目的外である。
障害者支援団体	専門的知識がない。
ボランティア団体	婦人会では課題が大きすぎる。
自主防災組織	公開してないため。
NPO団体	当法人の情報収集不足で取り組めていません。
民生委員児童委員協議会	保護司による、社会を明るくする運動に頼っている。
その他	取り組み自体を知らない人が多い。また、就労者にとっては時間的、精神的に余裕がない。
NPO団体	私たちの法人の活動の主は子育て支援にあります。当法人が主となってする事業はとくにありません。現在、再犯防止に取り組む団体との連携はありません。

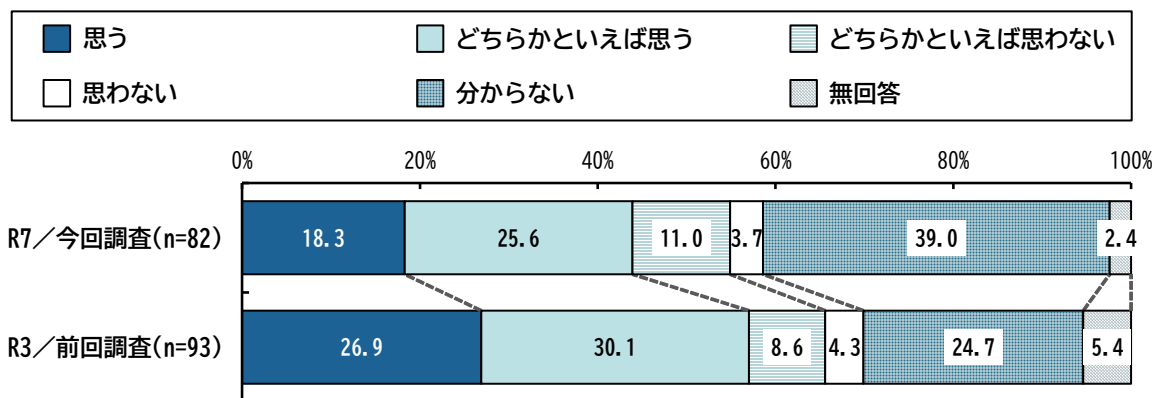
問 27 犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。【一つだけに○】

【全体の傾向】

犯罪をした人の立ち直りに協力したいかをみると、「わからない」が39.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえば思う」が25.6%、「思う」が18.3%と続いています。また、「思う」と「どちらかといえば思う」を合計すると、43.9%が『協力したいと思う』と回答しています。

前回調査と比較すると、「分からない」が14.3ポイント増加しています。

図表 206 犯罪をした人の立ち直りに協力したいか（全体、前回比較）



問 27 で「思う」「どちらかといえば思う」を選択した団体

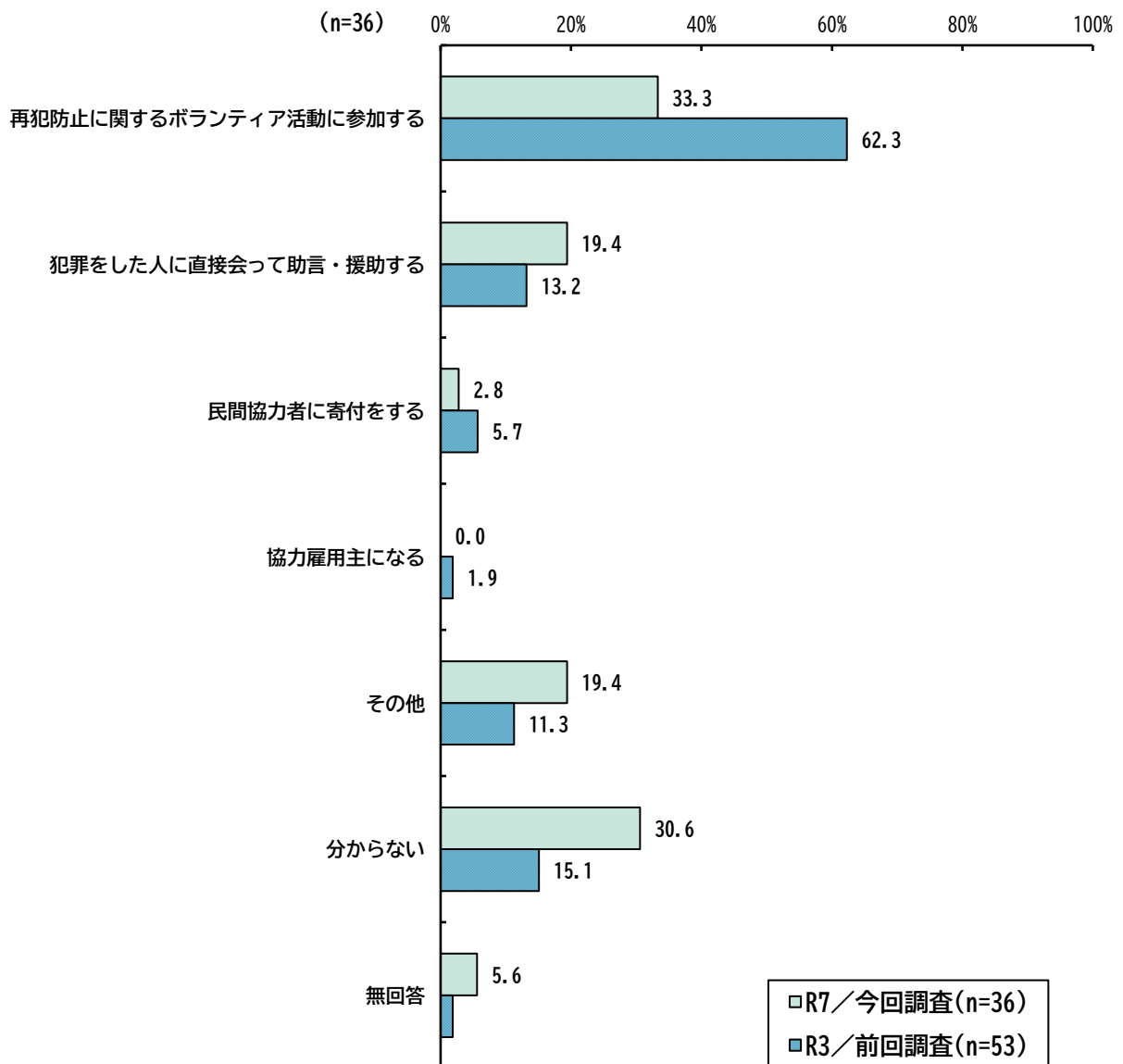
問 27-1 どのような協力をしたいと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

どのような協力をしたいかをみると、「再犯防止に関するボランティア活動に参加する」が 33.3%と最も高く、次いで「分からない」が 30.6%、「犯罪をした人に直接会って助言・援助する」19.4%と続いています。

前回調査と比較すると、「再犯防止に関するボランティア活動に参加する」が 29.0 ポイント減少しています。

図表 207 どのような協力をしたいか（全体、前回比較／複数回答）



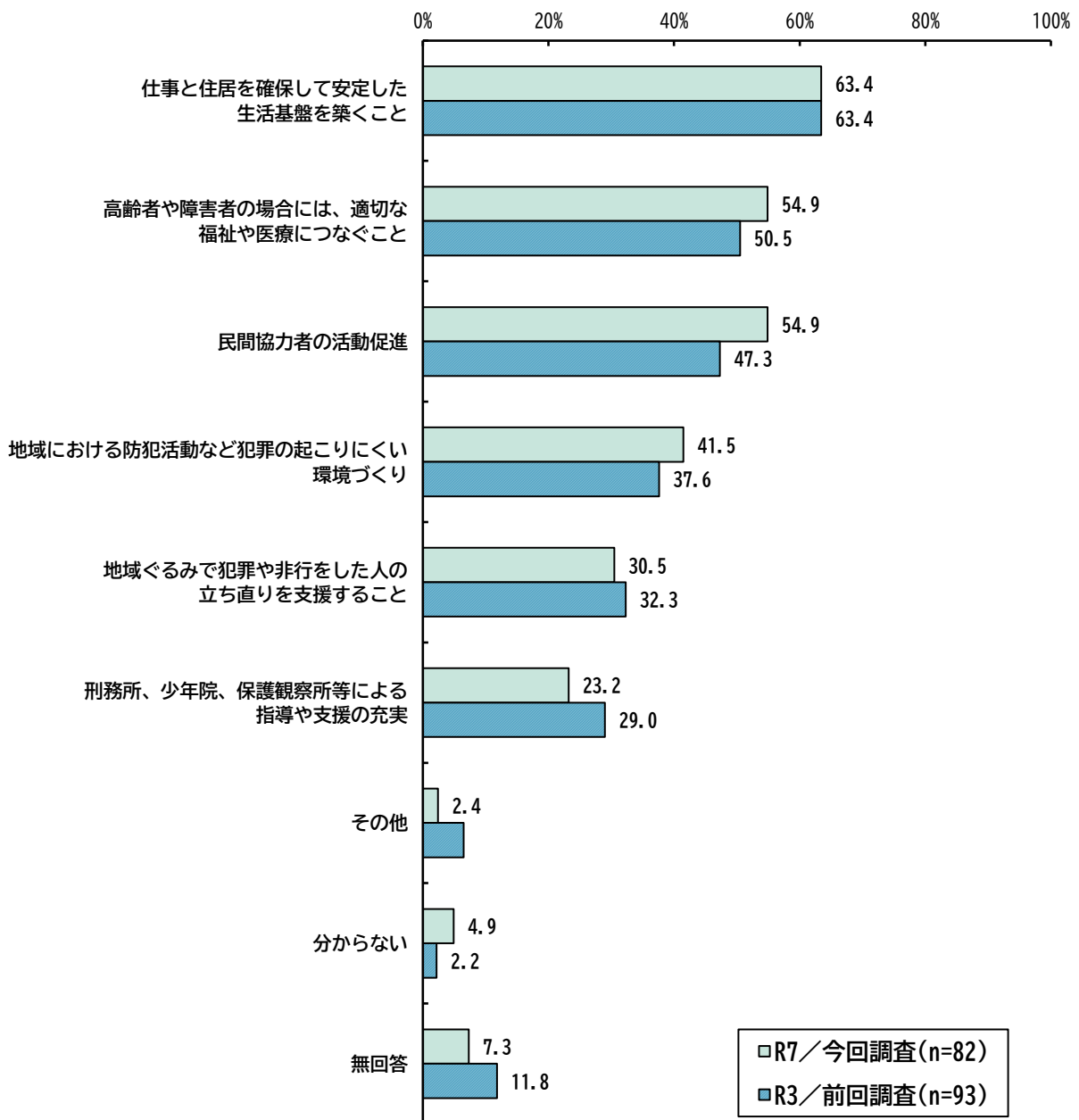
問 28 再犯防止のために、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

再犯防止のために必要だと思うことをみると、「仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築くこと」が63.4%と最も高く、次いで「高齢者や障害者の場合には、適切な福祉や医療につなぐこと」および「民間協力者の活動促進」がともに54.9%となっています。

前回調査と比較すると、「民間協力者の活動促進」が7.6ポイント増加しています。

図表 208 再犯防止のために必要だと思うこと（全体、前回比較／複数回答）



8 成年後見制度について

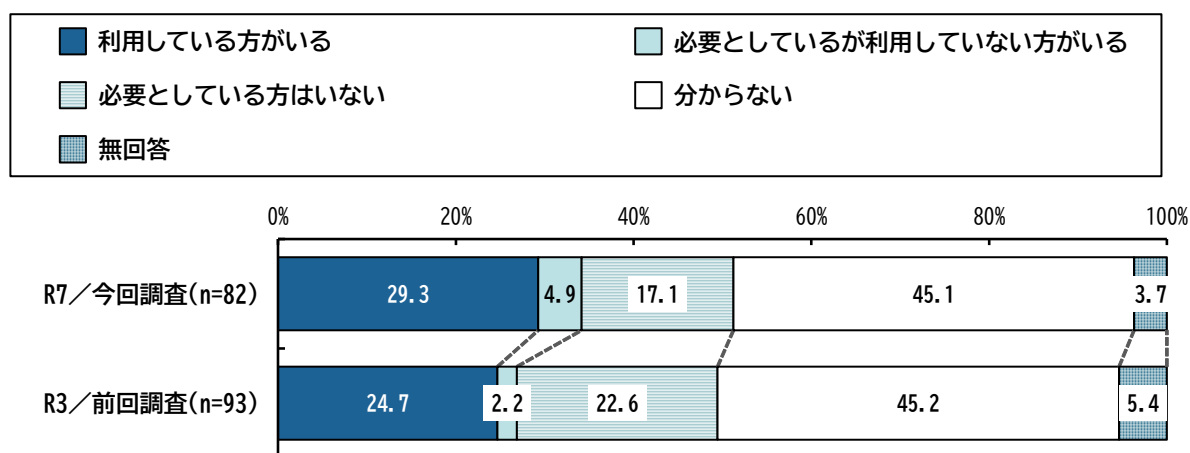
問 29 貴団体の利用者の中で、「成年後見制度」を利用または必要としている方はいますか。
【一つだけに○】

【全体の傾向】

「成年後見制度」の利用状況みると、「わからない」が45.1%と最も高く、次いで「利用している方がいる」が29.3%、「必要としている方はいない」が17.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「必要としている方はいない」が5.5ポイント減少しています。

図表 209 「成年後見制度」の利用状況（全体、前回比較）



問 29 で「必要としているが利用していない方がいる」を選択した団体

問 29-1 利用していない理由について、ご自由に記入してください。【自由記述】

【全体の傾向】

「成年後見制度」を利用していない理由は4件あり。以下の通りとなっています

図表 210 「成年後見制度」を利用していない理由（記述）

組織形態	内容
民生委員児童委員協議会	聞いたことはあるが実際はよくわからない。
民生委員児童委員協議会	必要としている人と話し合い中。
自主防災組織	手続きとしては養子縁組の方が簡単で早い。私も叔母の養子になっている。
NPO団体	後見人をつける協力をしたが、後日、本人が解任してしまった。今は若く必要がないかもしれないが、将来は必要だと思う人がいる。

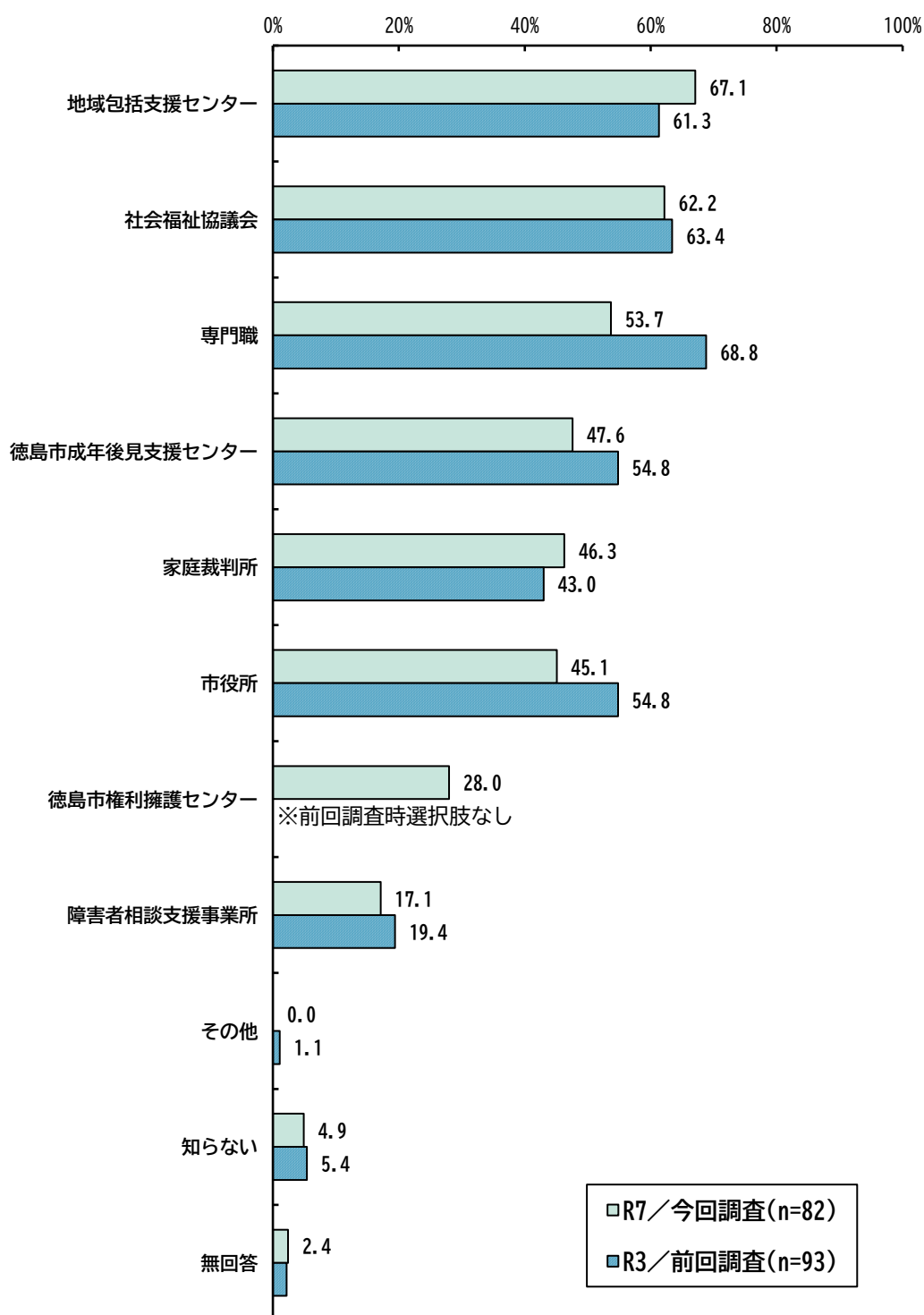
問 30 成年後見制度について相談できる機関を知っていますか。【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

成年後見制度に関する相談機関の認知状況をみると、「地域包括支援センター」が67.1%と最も高く、次いで「社会福祉協議会」が62.2%、「専門職」が53.7%と続いています。

前回調査と比較すると、「専門職」が15.1ポイント減少しています。

図表 211 成年後見制度に関する相談機関の認知状況（全体、前回比較／複数回答）



問 31 成年後見制度の利用の促進・充実のためにはどのようなことが必要だと思いますか。

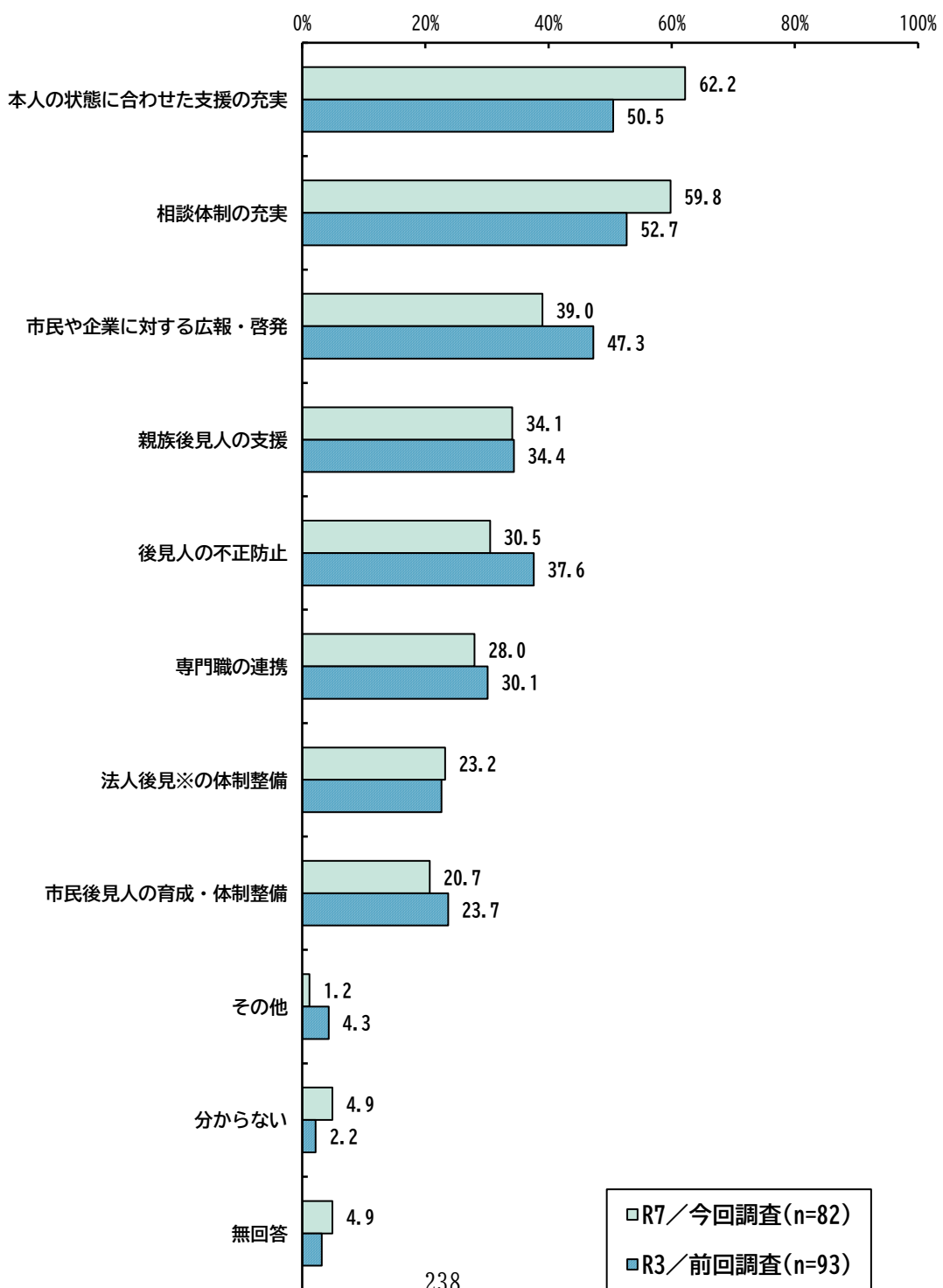
【あてはまるものすべてに○】

【全体の傾向】

成年後見制度利用の促進・充実のために必要だと思うことをみると、「本人の状態に合わせた支援の充実」が 62.2%と最も高く、次いで「相談体制の充実」が 59.8%、「市民や企業に対する広報・啓発」が 39.0%と続いています。

前回調査と比較すると、「本人の状態に合わせた支援の充実」が 11.7 ポイント増加しています。

図表 212 成年後見制度利用の促進・充実のために必要だと思うこと（全体、前回比較／複数回答）



9 その他について

問 32 徳島市の地域福祉に対するご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

【全体の傾向】

全部で 28 件の意見が寄せられました。大きく分類すると、「障がい者・生活困窮者などへの支援」が 7 件、「地域活動について」が 6 件、「高齢者への支援について」が 4 件、「資金・財政面での支援について」が 3 件、「人材の不足について」が 3 件、「子ども子育て支援について」が 2 件、「その他について」が 3 件となっています。

図表 213 自由意見（記述）

障がい者・生活困窮者などへの支援

組織形態	内容
その他	ひきこもり家族会は週のうち土曜、日曜の2日間しか活動ができません。また、当事者も平日は普通就学や就労日であることで人目が気になり外へ出ることができず、夜間や土曜、日曜に短時間でないと無理です。このことを考慮していただける支援をお願いいたします。この度のアンケートを行ってくださったことに大変感謝いたします。どうか生きづらさをかかえる当事者さんやその家族に支援の手をいただけますようよろしくお願いいたします。
NPO団体	生活保護が実際に必要な方、そうでない方の見極めをしっかりとしてほしい。忙しいとは思いますが、私たちの税金を使っているのだから、仕事をしていないじゃなくて仕事をやろうとしない人がいるのでは。子育て、老人、いっぱい支援がいる人が多いと思います。老人は迷惑をかけてはいけないと介護支援を断っている方がいます。
その他	特に障害に関してですが、個別のケースにも積極的に介入していただけるといいなと思っています。地域課題について検討していけるような場づくりも必要だと感じます。個別ケースから地域課題、必要な支援サービスについて検討していくという流れではない。困りごとについて一緒に考えてほしいです。
NPO団体	知的障害者の支援団体ですが、支援を必要としている者の把握について、個人情報とのことで療育手帳所持者の情報等も一切開示がなく把握ができない。知的障害者は社会に対して発信する力が弱い方が多く、自ら連絡してくることも少ないため実態把握が困難となっている。
障害者支援団体	当団体は、かつては市内23行政区に身体障害者会を設置し、身体障害者の社会活動や福祉の向上に努めてきた。しかし、活動会員の高齢化や個人情報の開示がなされない状況下で、新会員の参加がほとんどなく、地区の会は半減している。市としても、民間活力を利用してはどうか。
自主防災組織	高齢者は話し合いの場が整って来ていると思いますが障害者、ひきこもりの方はまだまだだと思います。
民生委員児童委員協議会	援助が必要と思われる人の情報が、援助者にはわからない事がある。個人情報保護も大事だが、条例により情報提供できるようにする事も考えるべきでは。

地域活動について

組織形態	内容
社会福祉協議会	あらたな地域福祉計画の策定に当たっては、地域区住民に直接接し、地域住民の様々な課題に対応している「地区社協の経営基盤の強化」が必要であると思われます。他の22地区社協においても共通課題（人材不足や資金不足）である中、新たな地域福祉計画の策定は、理想的な項目を掲げるのではなく、地域と一体となっている地区社協の福祉活動の推進こそ地域福祉計画の実効性があると考えられます。
民生委員児童委員協議会	民生委員はあくまでも関係機関につながる事が目的なので、日頃の住民の方との交流や傾聴を積極的に行いたい。徳島市は広報活動にも重点をおいてもらいたいです。
社会福祉協議会	誰もが安心して暮らすことができる街づくりのイベント活動には参加、協力していきたいと思っています。
その他	地域福祉等に参加している人が、負担が少なく積極的に参加しやすい社会的環境づくりが必要。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	地域の課題を一人一人の住民が自分事として考えてくれたら、少しは優しい地域になると思います。地域交流の場所や活動に、小さい時幼児から親しむことができ世代交流がなされていたらと思います。学校などで地域交流会を開く。
自主防災組織	福祉に限らず市役所の組織は縦割りで非効率。話はやや脱線するが街路灯（防犯灯）町内会で設置→市民生活相談課。大きな交差点→道路建設課。小さな交差点→道路維持課。公園とその周辺→公園緑地課。河川関係→河川水路課。学校とその周辺→教育委員会。その他市有地→財産管理活用課などタライ回し。ひとつの電柱に街路灯が2基あることもある。お役所仕事。街路灯も立派な福祉設備。

高齢者への支援について

組織形態	内容
自主防災組織	私の地区（昭和町地域）では高齢者が多く、何をすることも難しいです。徳島市内には後期高齢者が多いと思います。将来に向かって徳島市で高齢者の住みよい町にしたいと思っています。若い方が県内に生活できる町に。
ボランティア団体	介護者不足の問題。核施設のバリアフリー化。公共交通機関のバリアフリー化など。
NPO団体	高齢独居、全成人（年齢関係なく）のような人が共同生活できるシェアハウスの普及（課題は多いけど）全国拡大中。「安否確認見守りパートナー」同居まではしないが、一緒に食事をしたり旅行などができるようなパートナーづくりを推進中。
地域包括支援センター・在宅介護支援センター	高齢者が安心して暮らせる地域づくりのため、孤立防止や生活支援、医療・介護・福祉の連携をさらに強化していきたいと考える。サロンや通いの場への参加支援、相談窓口の充実、認知症や複合的課題へのチーム支援体制の整備など、高齢者分野の施策を拡充することで、地域全体で支え合える環境がより整うと思う。

人材の不足について

組織形態	内容
民生委員児童委員協議会	支援対応のための人員確保を拡充する。
社会福祉協議会	当協議会では、職員3名がボランティアとして活動しているが、職員全員が65以上の高齢者であり、仕事に従事し、そのうち1名は80代の方も活動しており、職員の高齢化と合わせて若い担い手不足が顕在となっている。
民生委員児童委員協議会	民生委員の意見ですが、福祉の担い手である民生委員のなり手が不足している現状から、民生委員の補助員制度を作り、不測の事態に陥った時でも安心して業務に精通できるように、後任の教育等、業務を行えるように制度を整える。

資金・財政面での支援について

組織形態	内容
社会福祉協議会	地区社協の主な活動財源は、地区内で集められた赤い羽根共同募金の2分の1額が戻入されて主要な財源となっている。加えて、急激な少子化により地区全体の人口漸減や町内会の加入率の減少、物価高も加わり、これまでの継続的な活動が厳しい状況となっている。現に、令和7年度予算の策定には、前年度繰越金20万円を取り崩して策定しており、今後4年程度で繰越金が枯渇する見込みであり、その際には、地区の福祉活動を縮小または停止せざるを得ない状況にある。
NPO団体	当方はNPO法人でフードバンク事業を展開しているが、事業費（集荷・配送等）への助成は一部あるものの、管理・運営費についてはほとんど助成されず、その経費の工面に苦慮しており、行政からの支援をお願いしたいと思っています。
社会福祉協議会	成年後見利用支援事業における報酬助成を市長申立以外も利用できるように拡大をお願いしたい。以前は社会福祉センターや中央公民館などサークル等で利用できる場所があったが、ふれあい健康館などに集中し、場所がとりにくくなっているのと、利用料が発生するので活動の拠点づくりをお願いしたい。

子ども子育て支援について

組織形態	内容
NPO団体	ひとり親家庭、生活困窮家庭の子どもが格差がある生活環境にあり、幸せな将来を送る為のネットワークが必要。私たちは食事の支援をすること、その日楽しく過ごしてもらうことはできるが、生活を立て直す、学習の場に到達できるようにする不自由のない明るい毎日を楽しく幸せに生きるための子どもの権利が守られていない。
NPO団体	①ぜひ、子育て支援拠点の「徳島市子育て安心ステーションすきっぷ」に利用者支援（基本型）のスタッフの配置を検討していただきたい。 ②地域と連携できる子育て支援拠点として公設民営の子育てひろばの設置を検討していただきたいです。子育てひろばに高齢者や学生のボランティアを受け入れをすることで多世代の地域交流ができ、災害時も顔見知りがいることで早めの行動ができたりすると思います。 ③パパママ教室の最後に子育て支援拠点（子育て安心ステーションすきっぷや親子ふれあいプラザ）の体験を加えてほしいです。事前に子育て支援拠点を見学や体験しておくことで孤独になりやすい出産後の0～3ヵ月児のとき、気軽に外向いてスタッフに子育てや家庭のことを相談しやすくなります。

その他について

組織形態	内容
社会福祉協議会	アンケートには協力致しましたが、全体での調査をまとめるとは思います。フィードバックがほしいですね。
民生委員児童委員協議会	包括支援センターさんがアドバイスを下さる。行政の担当者がよくして下さいのが助かります。
民生委員児童委員協議会	民生委員が行っている高齢者調査は本当に必要なことなのか。地区ごとにある社会福祉協議会で把握しておけばいいのでは。地域福祉を発展させるには、地区社協をもっとしっかりとした組織にしなければいけないと思う。佐古地区はもっと社協を発展させるべきだ。